

芦屋市のまちづくりについての市民意識調査
調査結果報告書

令和6年1月

目 次

1 調査概要	1
（1）調査の目的.....	1
（2）調査方法.....	1
（3）配布・回収.....	1
（4）性別・年代別回答状況.....	2
（5）地区別回答状況.....	3
（6）回答方法別.....	3
（7）標本誤差について.....	5
（8）分析についての注意点.....	6
2 結果の要約	7
（1）お住まいの地域での生活や住みやすさ.....	7
（2）芦屋市のまちづくりの目標の達成状況など.....	8
（3）市民マナー条例.....	8
（4）文化的なふれあいや学び.....	9
（5）新型コロナウイルス感染症の影響.....	9
（6）自由記述.....	9
3 アンケート調査結果	10
問1 年齢.....	10
問2 性別.....	11
問3 職業.....	12
問4 居住地区.....	13
問5 定住意向.....	14
問6 地域の活動や行事への参加状況.....	16
問7 地域外の活動や行事への参加状況.....	18
問8 日常的に子どもと接する機会の有無.....	20
問9 家族以外での困りごとの相談相手・場所の有無.....	22
問10 まちの緑の景観評価.....	25
問11 まちの緑の景観を育成・維持する活動への参加頻度.....	27
問12 市内公園の利用頻度.....	29
問13 自然災害に対する日頃の備え.....	33
問14 地球温暖化防止に向けた取組.....	36
問15 市内での移動の利便性.....	38
問16 生活用品の購入場所.....	40
問17 理想と現実の夫婦役割分担.....	54
問18 市役所の手続の利便性.....	63
問19 第5次芦屋市総合計画の各施策の満足度.....	66

問20	芦屋市の現状の評価	95
問21	力を入れて取り組むべき施策目標	97
問22	「市民マナー条例」の認知度	109
問23	芦屋市のまちは清潔で快適だと思うか	111
問24	マナー向上のために市が特に取り組むべきこと	113
問25	市内文化的資源の利用・見学経験の有無	117
問26	過去1年間での文化的活動の有無	119
問27	自分の学びのための学習会・セミナーへの参加頻度	121
問28	「広報あしや」の満足度	123
問29	「広報あしや」について不満な理由	125
問30	「市のホームページ」の満足度	127
問31	「市のホームページ」について不満な理由	129
問32	新型コロナウイルス感染症による困りごと・不安なこと	131
問33	感染拡大を判断する際に重視すること	135
問34	市に対して重点的に取り組んでほしい施策	138
4	自由意見	142
問35	自由意見	142
5	資料編（調査票）	147

1 調査概要

(1) 調査の目的

令和3年9月に策定した第5次芦屋市総合計画前期基本計画に係る各施策の進捗状況把握及び評価のため、「市民意識調査」を実施した。

(2) 調査方法

①調査対象	芦屋市在住の18歳以上の市民3,000人 (令和5年(2023年)6月1日現在の住民基本台帳登録者)
②調査対象の抽出方法	過去の市民意識調査における年代別の回答傾向を踏まえ、想定される回答サンプル数の年代別・地区別の構成比が実際の芦屋市の人口構成に近似するように抽出サンプル数を想定した上で、住民基本台帳から無作為抽出した。
③調査方法	1. 郵送による配布・回収(督促状を1回送付) 2. パソコン・スマートフォン等によりWEBで回答 (郵送によるアンケート票にWEB回答の案内を印刷)
④調査期間	令和5年(2023年)6月14日(水)～6月30日(金)

(3) 配布・回収

	件数	備考
①対象者数	3,000	
②有効配布数	2,997	未配達3件
③有効回答数	1,598	用紙回収:926件(無効2件除く)、WEB回収:672件
④有効回収率	53.3%	③有効回答数÷②有効配布数

[過去の調査との回答状況の比較]

	配布数(未配達数)	有効回収数	有効回収率(%)
平成16年度(2004年度)調査	2,000(15件)	1,203	60.6
平成20年度(2008年度)調査	3,000(15件)	1,811	60.7
平成24年度(2012年度)調査	2,000(11件)	1,015	51.0
平成26年度(2014年度)調査	3,000(11件)	1,426	47.7
平成29年度(2017年度)調査	3,000(3件)	1,611	53.7
令和元年度(2019年度)調査①	3,000(11件)	1,377	46.1
令和元年度(2019年度)調査②	3,000(5件)	1,430	47.7

(4) 性別・年代別回答状況

従来のアンケートでは、若年層の回答率が低く、高齢層の回答率が高い傾向がみられるため、過去の年代階層別の回答率を考慮して、前回調査に引き続き、年代別の抽出数を設定した。結果として性別・年代別の構成比においては、概ね実際の人口構成に近似した回答が得られている。

性別	年代	母集団		配布数		回答者		性別	年代	母集団		配布数		回答者	
		実数	比率	実数	比率	実数	比率			実数	比率	実数	比率	実数	比率
男性	10歳代	942	1.2	82	2.7	18	1.1	答えたくない	10歳代	-	-	-	-	0	0.0
	20歳代	3,525	4.4	260	8.7	76	4.8		20歳代	-	-	-	-	2	0.1
	30歳代	3,691	4.6	185	6.2	67	4.2		30歳代	-	-	-	-	2	0.1
	40歳代	5,855	7.2	288	9.6	121	7.6		40歳代	-	-	-	-	2	0.1
	50歳代	7,162	8.9	350	11.7	171	10.7		50歳代	-	-	-	-	3	0.2
	60歳代	5,408	6.7	169	5.6	107	6.7		60歳代	-	-	-	-	2	0.1
	70歳代	5,575	6.9	151	5.0	102	6.4		70歳代	-	-	-	-	0	0.0
	80歳以上	3,541	4.4	85	2.8	62	3.9		80歳以上	-	-	-	-	0	0.0
	無回答	-	-	-	-	0	0.0		無回答	-	-	-	-	0	0.0
	計	35,699	44.1	1,570	52.3	724	45.3		計	-	-	-	-	11	0.7
女性	10歳代	872	1.1	46	1.5	14	0.9	無回答	10歳代	-	-	-	-	0	0.0
	20歳代	3,848	4.8	201	6.7	75	4.7		20歳代	-	-	-	-	0	0.0
	30歳代	4,430	5.5	178	5.9	81	5.1		30歳代	-	-	-	-	1	0.1
	40歳代	7,283	9.0	211	7.0	148	9.3		40歳代	-	-	-	-	0	0.0
	50歳代	8,609	10.6	254	8.5	162	10.1		50歳代	-	-	-	-	0	0.0
	60歳代	6,514	8.1	159	5.3	110	6.9		60歳代	-	-	-	-	1	0.1
	70歳代	7,185	8.9	184	6.1	142	8.9		70歳代	-	-	-	-	0	0.0
	80歳以上	6,439	8.0	197	6.6	121	7.6		80歳以上	-	-	-	-	0	0.0
	無回答	-	-	-	-	2	0.1		無回答	-	-	-	-	5	0.3
	計	45,180	55.9	1,430	47.7	855	53.5		計	-	-	-	-	7	0.4
1,2にあてはまらない	10歳代	-	-	-	-	0	0.0	計	10歳代	1,814	2.2	128	4.3	32	2.0
	20歳代	-	-	-	-	0	0.0		20歳代	7,373	9.1	461	15.4	153	9.6
	30歳代	-	-	-	-	0	0.0		30歳代	8,121	10.0	363	12.1	151	9.4
	40歳代	-	-	-	-	0	0.0		40歳代	13,138	16.2	499	16.6	271	17.0
	50歳代	-	-	-	-	1	0.1		50歳代	15,771	19.5	604	20.1	337	21.1
	60歳代	-	-	-	-	0	0.0		60歳代	11,922	14.7	328	10.9	220	13.8
	70歳代	-	-	-	-	0	0.0		70歳代	12,760	15.8	335	11.2	244	15.3
	80歳以上	-	-	-	-	0	0.0		80歳以上	9,980	12.3	282	9.4	183	11.5
	無回答	-	-	-	-	0	0.0		無回答	-	-	-	-	7	0.4
	計	-	-	-	-	1	0.1		計	80,879	100.0	3,000	100.0	1,598	100.0

※「10歳代」は、実際の人口から10～17歳を除いた数値。令和5年3月31日現在。

(5) 地区別回答状況

地区別の構成比について母集団と回答者の比率を比較すると、概ね実際の人口に近似した回答が得られている。

地区	母集団		回答者	
	実数	比率	実数	比率
奥池地区	1,172	1.4	27	1.7
山手小学校区（奥池地区除く）	15,966	19.7	307	19.2
岩園小学校区	10,974	13.6	250	15.6
朝日ヶ丘小学校区	7,798	9.6	157	9.8
精道小学校区	11,166	13.8	221	13.8
宮川小学校区	9,781	12.1	196	12.3
打出浜小学校区	8,234	10.2	144	9.0
浜風小学校区	6,201	7.7	129	8.1
潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）	4,692	5.8	76	4.8
南芦屋浜地区	4,895	6.1	85	5.3
無回答	-	-	6	0.4
合計	80,879	100.0	1,598	100.0

※「母集団」は、各地区の実際の人口から0～17歳を除いた数値。令和5年3月31日現在。

(6) 回答方法別

回答方法別の構成比を比較すると、市全体では郵送が約60%、WEBが約40%となっている。

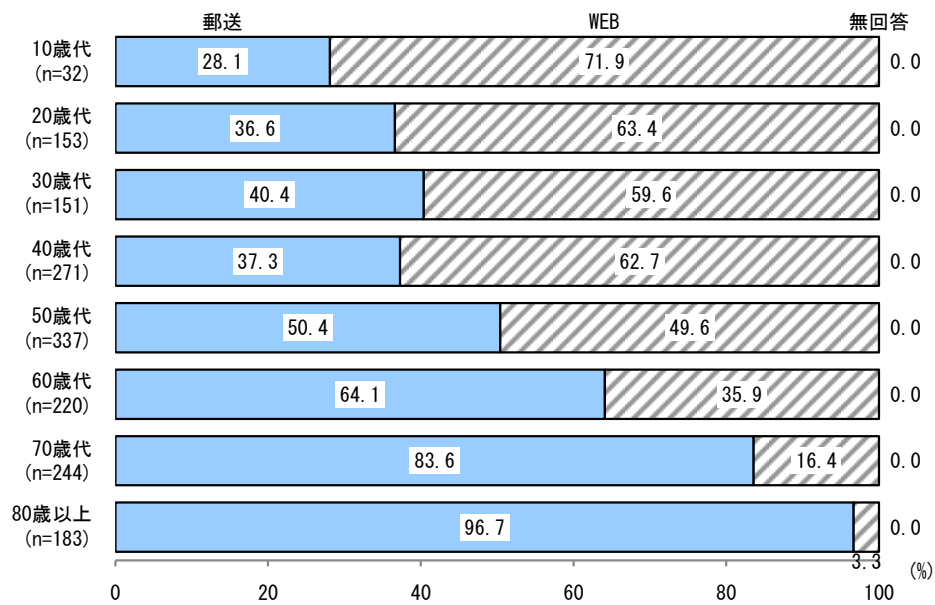
また、性別・年代別・地区別それぞれについて、属性別の合計を100としたときの回答方法別の比率を比較すると、年代別では、40歳以下において回答者のうちの約6割がWEB回答を行っており、年代が高い程、郵送回答が増える傾向がみられる。また、地区別では、浜風小学校区、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）以外の地区で40%以上がWEB回答を行っている。

	郵送		WEB		合計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
市全体	926	57.9	672	42.1	1,598	100.0

性別	郵送		WEB	
	実数	比率	実数	比率
男性	380	52.5	344	47.5
女性	536	62.7	319	37.3
1,2に当てはまらない	-	-	1	100.0
答えたくない	4	36.4	7	63.6
無回答	6	85.7	1	14.3

年代	郵送		WEB	
	実数	比率	実数	比率
10歳代	9	28.1	23	71.9
20歳代	56	36.6	97	63.4
30歳代	61	40.4	90	59.6
40歳代	101	37.3	170	62.7
50歳代	170	50.4	167	49.6
60歳代	141	64.1	79	35.9
70歳代	204	83.6	40	16.4
80歳以上	177	96.7	6	3.3
無回答	7	100.0	-	-

地区	郵送		WEB	
	実数	比率	実数	比率
奥池地区	14	51.9	13	48.1
山手小学校区 (奥池地区除く)	173	56.4	134	43.6
岩園小学校区	148	59.2	102	40.8
朝日ヶ丘小学校区	87	55.4	70	44.6
精道小学校区	126	57.0	95	43.0
宮川小学校区	112	57.1	84	42.9
打出浜小学校区	84	58.3	60	41.7
浜風小学校区	80	62.0	49	38.0
潮見小学校区 (南芦屋浜地区除く)	53	69.7	23	30.3
南芦屋浜地区	43	50.6	42	49.4
無回答	6	100.0	-	-



(7) 標本誤差について

○一般的に標本調査においては、信頼度 95% (※) のレベルでの結果を評価することが妥当とされており、信頼度 95%における標本誤差は次の式で算出される。今回調査の標本誤差については下表の通りとなっている。

○例えば回答者全体 (1,598 人) が回答している設問について、ある選択肢に回答した比率が 50%であった場合、回答比率の誤差範囲は±2.4% (47.6%~52.4%) の間にあることが推測できる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

(※) 信頼度 95%：同一の調査を 100 回実施した場合、うち 95 回はこの誤差の範囲におさまるということ

N：母集団数 (令和 5 年 3 月 31 日時点の 18 歳以上の男女 80,879 人)

n：標本数

P：測定値 (回答の比率)

	母集団	n	p										
			5%または 95%	10%または 90%	15%または 85%	20%または 80%	25%または 75%	30%または 70%	35%または 65%	40%または 60%	45%または 55%	50%	
回答者総数	80,879	1,598	±1.1%	±1.5%	±1.7%	±1.9%	±2.1%	±2.2%	±2.3%	±2.4%	±2.4%	±2.4%	
性別	男性	35,699	724	±1.6%	±2.2%	±2.6%	±2.9%	±3.1%	±3.3%	±3.4%	±3.5%	±3.6%	±3.6%
	女性	45,180	855	±1.4%	±2.0%	±2.4%	±2.7%	±2.9%	±3.0%	±3.2%	±3.3%	±3.3%	±3.3%
年代別	10歳代	1,814	32	±7.5%	±10.3%	±12.3%	±13.7%	±14.9%	±15.7%	±16.4%	±16.8%	±17.1%	±17.2%
	20歳代	7,373	153	±3.4%	±4.7%	±5.6%	±6.3%	±6.8%	±7.2%	±7.5%	±7.7%	±7.8%	±7.8%
	30歳代	8,121	151	±3.4%	±4.7%	±5.6%	±6.3%	±6.8%	±7.2%	±7.5%	±7.7%	±7.9%	±7.9%
	40歳代	13,138	271	±2.6%	±3.5%	±4.2%	±4.7%	±5.1%	±5.4%	±5.6%	±5.8%	±5.9%	±5.9%
	50歳代	15,771	337	±2.3%	±3.2%	±3.8%	±4.2%	±4.6%	±4.8%	±5.0%	±5.2%	±5.3%	±5.3%
	60歳代	11,922	220	±2.9%	±3.9%	±4.7%	±5.2%	±5.7%	±6.0%	±6.2%	±6.4%	±6.5%	±6.5%
	70歳代	12,760	224	±2.8%	±3.9%	±4.6%	±5.2%	±5.6%	±5.9%	±6.2%	±6.4%	±6.5%	±6.5%
	80歳以上	9,980	183	±3.1%	±4.3%	±5.1%	±5.7%	±6.2%	±6.6%	±6.8%	±7.0%	±7.1%	±7.2%
地区別	奥池地区	1,172	27	±8.1%	±11.2%	±13.3%	±14.9%	±16.2%	±17.1%	±17.8%	±18.3%	±18.6%	±18.6%
	山手小学校区	15,966	307	±2.4%	±3.3%	±4.0%	±4.4%	±4.8%	±5.1%	±5.3%	±5.4%	±5.5%	±5.5%
	岩園小学校区	10,974	250	±2.7%	±3.7%	±4.4%	±4.9%	±5.3%	±5.6%	±5.8%	±6.0%	±6.1%	±6.1%
	朝日ヶ丘小学校区	7,798	157	±3.4%	±4.6%	±5.5%	±6.2%	±6.7%	±7.1%	±7.4%	±7.6%	±7.7%	±7.7%
	精道小学校区	11,166	221	±2.8%	±3.9%	±4.7%	±5.2%	±5.7%	±6.0%	±6.2%	±6.4%	±6.5%	±6.5%
	宮川小学校区	9,781	196	±3.0%	±4.2%	±4.9%	±5.5%	±6.0%	±6.4%	±6.6%	±6.8%	±6.9%	±6.9%
	打出浜小学校区	8,234	144	±3.5%	±4.9%	±5.8%	±6.5%	±7.0%	±7.4%	±7.7%	±7.9%	±8.1%	±8.1%
	浜風小学校区	6,201	129	±3.7%	±5.1%	±6.1%	±6.8%	±7.4%	±7.8%	±8.1%	±8.4%	±8.5%	±8.5%
	湖見小学校区	4,692	76	±4.9%	±6.7%	±8.0%	±8.9%	±9.7%	±10.2%	±10.6%	±10.9%	±11.1%	±11.2%
	南芦屋浜地区	4,895	85	±4.6%	±6.3%	±7.5%	±8.4%	±9.1%	±9.7%	±10.1%	±10.3%	±10.5%	±10.5%

(8) 分析についての注意点

- 集計・分析においては、実数とともに、特記しない限り有効回答数 (n=1,598) を母数とした出現率 (%) を算出している。
- 比率の合計は、小数点第二位を四捨五入している関係から、内訳の合計と一致しない場合がある。
- 「2つ以上を選択」の複数回答設問については、回答者数を母数として出現率を算出しているため、出現率の合計が 100% を超える場合がある。
- 属性別のクロス集計のうち、年代別の「10 歳代」(32 件)、地区別の「奥池地区」(27 件) については回答者数が少なく、前項の通り誤差が大きくなっていることから結果の利用には注意が必要である。
- 報告書における「前回調査」は、令和 2 年 7 月に実施した市民アンケートを指す。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。
- 表については、属性別のうち上位 3 位まで順に丸数字を振っている。また、分析のコメントを記載している箇所には色付けをしている。

2 結果の要約

(1) お住まいの地域での生活や住みやすさ

- 定住意向については、全体で「今の場所に住み続けたい」が7割を超えているものの、10歳代から30歳代では6割未満と、若い世代で定住意向が薄い傾向がみられる。
- 地域活動・行事への『参加している』（「よく参加している（年数回以上参加／運営に関わっている）」＋「ときどき参加している（参加者として年1回以上参加）」）割合については、全体で3割を超えているが、奥池地区、浜風小学校区、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）、南芦屋浜地区で4割を超え、高い傾向がみられる。
- 子どもと接する機会については、全体で「あいさつをすることがある」が4割を超え最も高いものの、20歳代では「全くない」が6割近くを占め、若い世代における地域とのつながりの希薄化が推察される。
- 家族以外での困りごとの相談相手・場所の有無については、男性で「ない」が3割を超え女性（22.1%）より高くなっていることから、男性が相談しやすい環境づくりが求められる。
- まちなみやまちなかの緑の景観については、全体で『良い』（「良い」＋「どちらかといえば良い」）が9割を超え、高い評価となっている。
- まちなかの緑を育てたり維持する活動への参加については、全体で『年1回以上』（「月1回以上」＋「年数回程度」＋「年1回程度」）の割合が2割未満であるものの、60歳以上で2割を超え、比較的高齢の世代での参加率が高い傾向がみられる。
- 市内公園の利用頻度については、全体で「月1回以上」が3割未満となっているものの、子育て世帯が多いと推察される30歳代と40歳代で「月1回以上」が3割を超え、他の年代より高くなっている。
- 自然災害に対する日頃の備えについては、年代が高い程「芦屋市防災ガイドブックを読んだことがある」が高くなる傾向がみられ、60歳以上で8割以上の方が読んだことがあると回答している。また、女性で7割を超え男性（68.1%）より高くなっていることから、男性の行動促進に向けた周知が求められる。
- 地球温暖化防止に向けた取組については、全体で「買い物には、マイバックを持っていく」が9割近くを占め最も高く、女性は94.7%と男性（84.4%）より高くなっている。
- 市内での移動の利便性については、全体で『便利』（「便利」＋「どちらかというと便利」）が7割を超えている一方で、奥池地区・芦屋浜地区で『不便』（「どちらかというと不便」＋「不便」）が5割を超えており、市内中心部から遠い程、不便と感じる傾向がみられている。
- 生活用品の購入場所については、全体で食料品・日用品・医薬品で「主に市内」が6割を超える一方で、衣料品は「主に市外」が6割を超えており、市内における衣料品関連の商業施設が少ないことが要因の1つと推察される。
- 夫婦の役割分担については、一般的に「同程度・適宜分担」を理想とする割合が高いものの、現実では生活費は男性、家事・育児・子育てについては女性が主に負担している傾向がみられる。
- 市役所の手続の利便性については、20歳代と30歳代で『利用しにくい』（「どちらかといえば利用しにくい」＋「利用しにくい」）が『利用しやすい』（「利用しやすい」＋「どちらかといえば利用しやすい」）を上回っている。職業別では、正社員・正職員（常勤）、派遣社員・契約社員で『利用しにくい』が4割を超えており、仕事により平日に手続をしづらいことが要因の1つであると推察される。

(2) 芦屋市のまちづくりの目標の達成状況など

- まちづくりへの評価では、全体で「⑨住宅都市の魅力」、「⑥良好な生活環境と魅力的な暮らし」、「⑩持続可能なインフラ整備」、「⑧日常の安全安心」などで肯定的意見（「満足」+「やや満足」）が高く、住宅環境としての評価の高さが読み取れる。一方で、全ての項目で前回調査時より肯定的意見が減少している。

【満足度上位5項目】
 - ⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている
 - ⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている
 - ⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる
 - ⑧日常の安全安心が確保されている
 - ③生涯を通じた学びの文化が醸成されている
- 一方で、「⑫人口減少社会に対応した行財政運営」、「⑬社会変化に対応できる組織」で否定的意見（「やや不満」+「不満」）が4割を超えており、少子高齢化・人口減少等の社会変化への対応力、今後を見据えた持続可能な行政運営への評価がやや低いことが読み取れる。
- 「⑦災害に強いまちづくり」、「⑫人口減少社会に対応した行財政運営」の2項目は満足度が低く、重要度が高い結果となっている。⑦としては、主に防災対策の充実、啓発・広報の充実が、また、⑫としては、主に子育て世帯を含む若年層への支援が求められており、今後、重点的な取組が求められる項目となっている。
- 芦屋市の現状については、10歳代、20歳代、80歳以上で『うまくいっている』（「とてもうまくいっている」+「どちらかといえばうまくいっている」）が6割を超え高いものの、30歳代で『うまくいっていない』（「どちらかといえばうまくいっていない」+「うまくいっていない」）が5割を超えており、年代別で評価に差がみられる結果となっている。
- 力を入れて取り組むべき施策目標については、全体で「①誰もが安心して産み育てられる環境が充実している」が最も高く、特に10歳代から40歳代で3割を超えており、ニーズの高さがうかがえる結果となっている。

(3) 市民マナー条例

- 市民マナー条例の認知度については、全体で6割近くの人が内容まで知っているという一方で、概ね年代が若くなる程「聞いたこともなかった」が高くなる傾向がみられる。
- 芦屋市のまちは清潔で快適だと思うかについては、全体で『思う』（「大いに思う」+「どちらかといえば思う」）が9割近くを占め高い評価となっている。
- マナー向上のために市が特に取り組むべきことについては、全体で「子ども・地域・家庭へのマナー教育の実施」が最も高くなっている。

(4) 文化的なふれあいや学び

- 市内の文化的資源の認知度、利用・見学状況については、年代が高い程、認知度、利用・見学経験が高くなる傾向がみられる。
- 過去1年間での文化的活動の有無については、全体で5割近くの人が「鑑賞・活動を行った」と回答しており、特に女性で高い傾向がみられる。
- 自分の学びのための学習会・セミナーへの参加頻度については、全体で「年1回未満」と回答した人が5割を超えており、特に30歳以下の年代で6割を超えている。
- 「広報あしや」の満足度については、全体で『満足している』（「満足している」+「やや満足している」）と回答した人が5割を超えており、特に女性で6割を超えている。
- 「広報あしや」について『不満』（「やや不満」+「不満」）と回答した人に不満な理由を尋ねたところ、全体で「知りたい情報が掲載されていない」が最も高く、特に40歳代で6割を超え高くなっている。
- 「市のホームページ」の満足度については、全体で「見たことがない」が25.1%と、4人に1人は閲覧したことがない結果となっており、特に20歳以下では3割を超え、年代によって差がみられる結果となっている。また、80歳以上では「インターネットを接続する環境がない」が1割を超えており、年代によって情報の取得方法が異なることが年代による満足度の差の要因の1つであることが推察される。
- 「市のホームページ」について『不満』（「やや不満」+「不満」）と回答した人に不満な理由を尋ねたところ、全体で「情報が探しにくい、読みにくい」が最も高くなっている。

(5) 新型コロナウイルス感染症の影響

- 新型コロナウイルス感染症による困りごと・不安なことについては、20歳代を除く全ての年代で「行動緩和による感染の拡大」が高いものの、40歳代で「子どもの学習機会の確保・学力低下」、70歳以上で「オンラインサービスや電子決済の普及等の急速なデジタル化についていけない」がそれぞれ高くなっており、年代ごとに困りごとの内容に差がみられる結果となっている。
- 感染拡大を判断する際に重視することについては、全体で「新規感染者数の推移」が最も高いものの、70歳以上では「芦屋市の対策内容や呼びかけ」が4割を超え高くなっており、市の情報発信へのニーズもより重視している結果となっている。
- 市に対して重点的に取り組んでほしい施策については、全体で「安定した医療体制の確保」が最も高いものの、10歳代で「スポーツや文化活動の機会の充実」、20歳代で「行政手続のオンライン化の推進」、30歳代と40歳代で「学校教育の学習支援の充実」、10歳代から40歳代で「子育て支援の充実」が高くなっており、主に若い世代でポストコロナに向けた取組や子育て支援でのニーズが高い傾向がみられる。一方で、50歳以上では「感染対策に関する明確な情報発信」、60歳以上で「高齢者・障がいのある人の生活支援の充実」がそれぞれ3割を超えており、高齢の世代になる程、感染対策を意識した生活支援のニーズの高まりがうかがえる。

(6) 自由記述

- 自由意見については、「まちづくり全体について」に関するご意見が最も多く、「⑧日常の安全安心」、「⑥良好な生活環境と魅力的な暮らし」、「④心地よく暮らせるまちづくり」、「①安心して産み育てられる環境」の順に続いている。

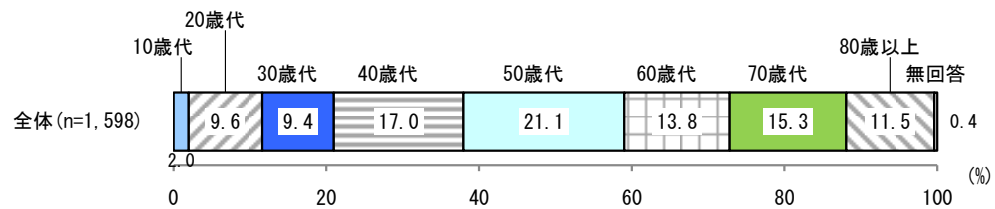
3 アンケート調査結果

I. あなた(回答者)ご自身についておたずねします。

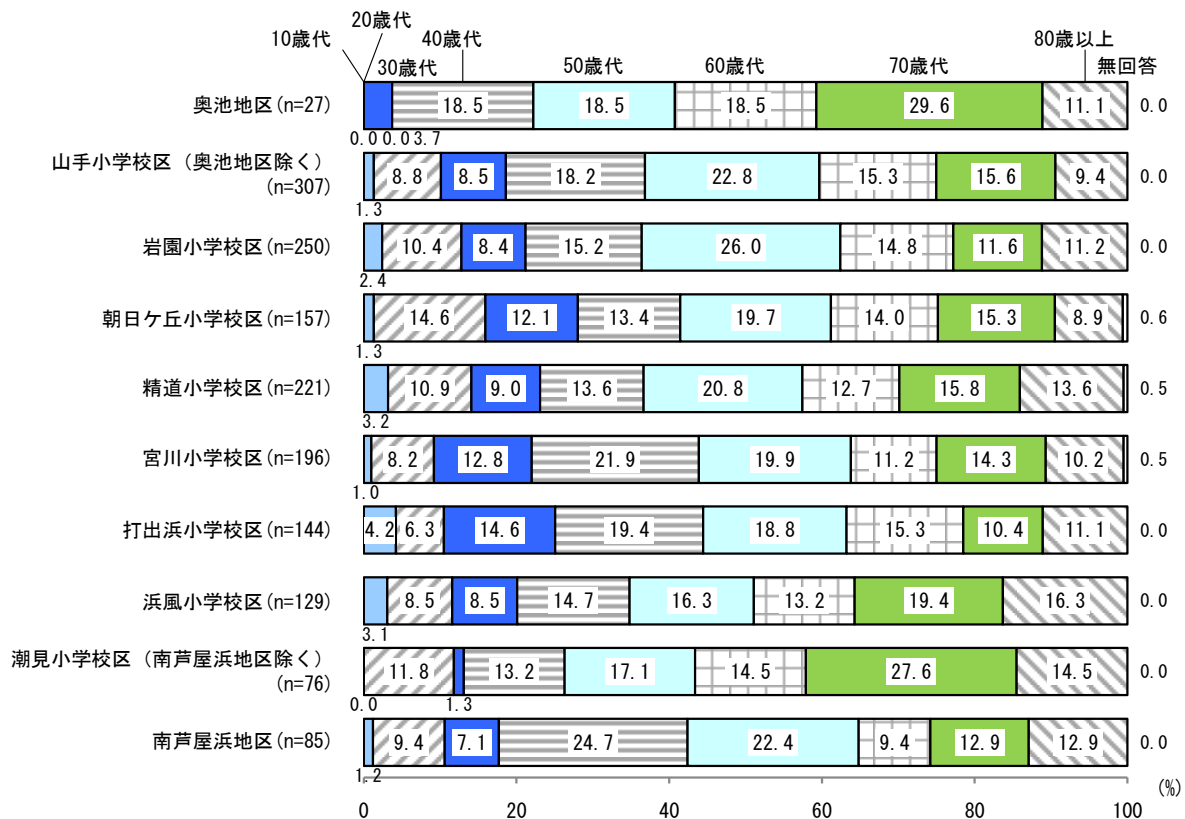
問1 年齢

問1 あなたの年齢（令和5年4月1日現在）は、以下のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「50歳代」が21.1%で最も高く、「40歳代」が17.0%、「70歳代」が15.3%と続いている。



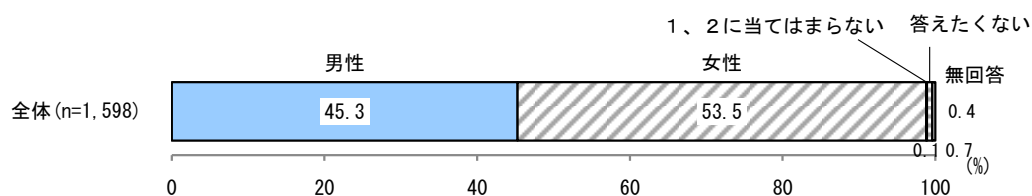
地区別では、朝日ヶ丘小学校区、打出浜小学校区は30歳以下の合計が25.0%以上、奥池地区、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）は、70歳以上が40.0%以上となっている。



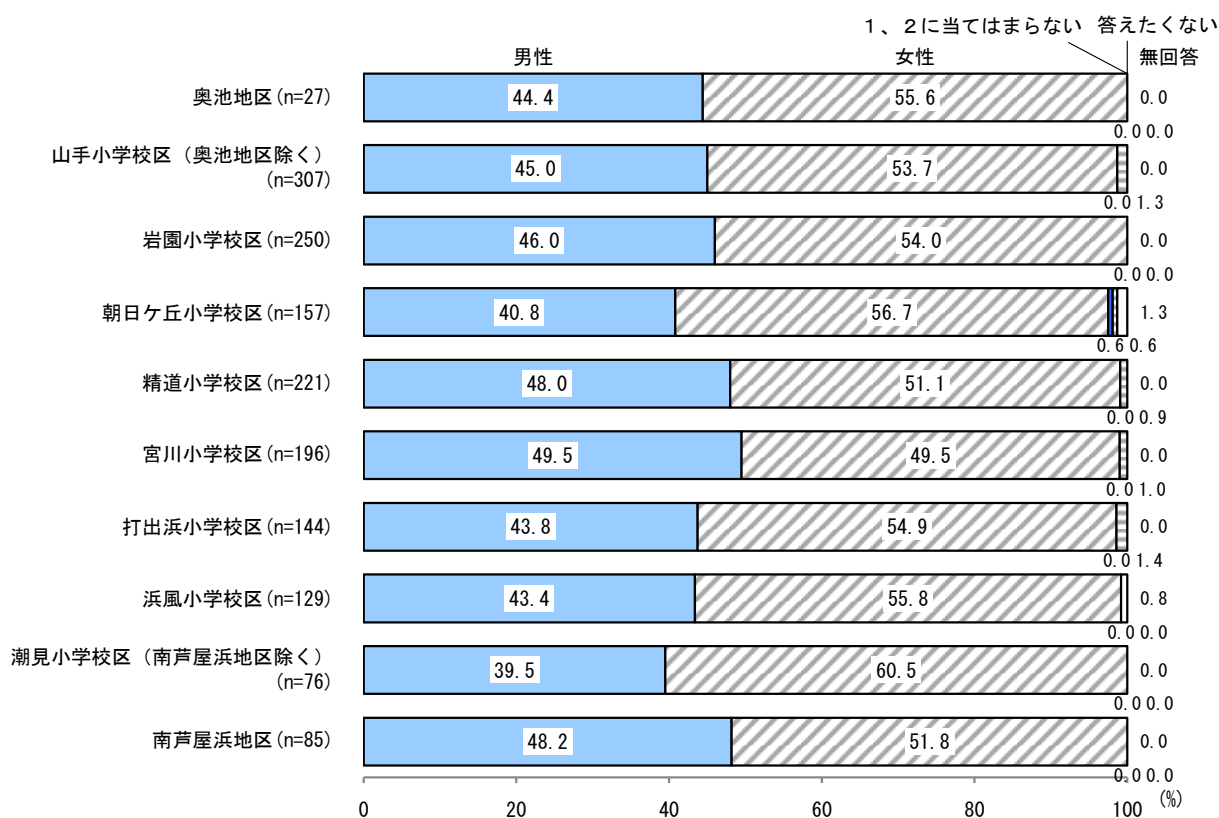
問2 性別

問2 あなたの性別は、以下のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「男性」が45.3%、「女性」が53.5%、「1、2に当てはまらない」が0.1%、「答えたくない」が0.7%となっている。



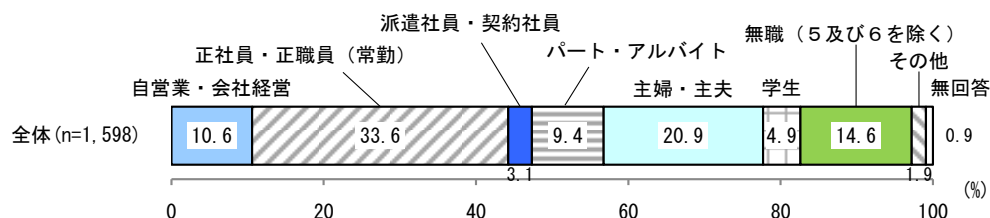
地区別では、「男性」は宮川小学校区で、「女性」は潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で最も高くなっている。



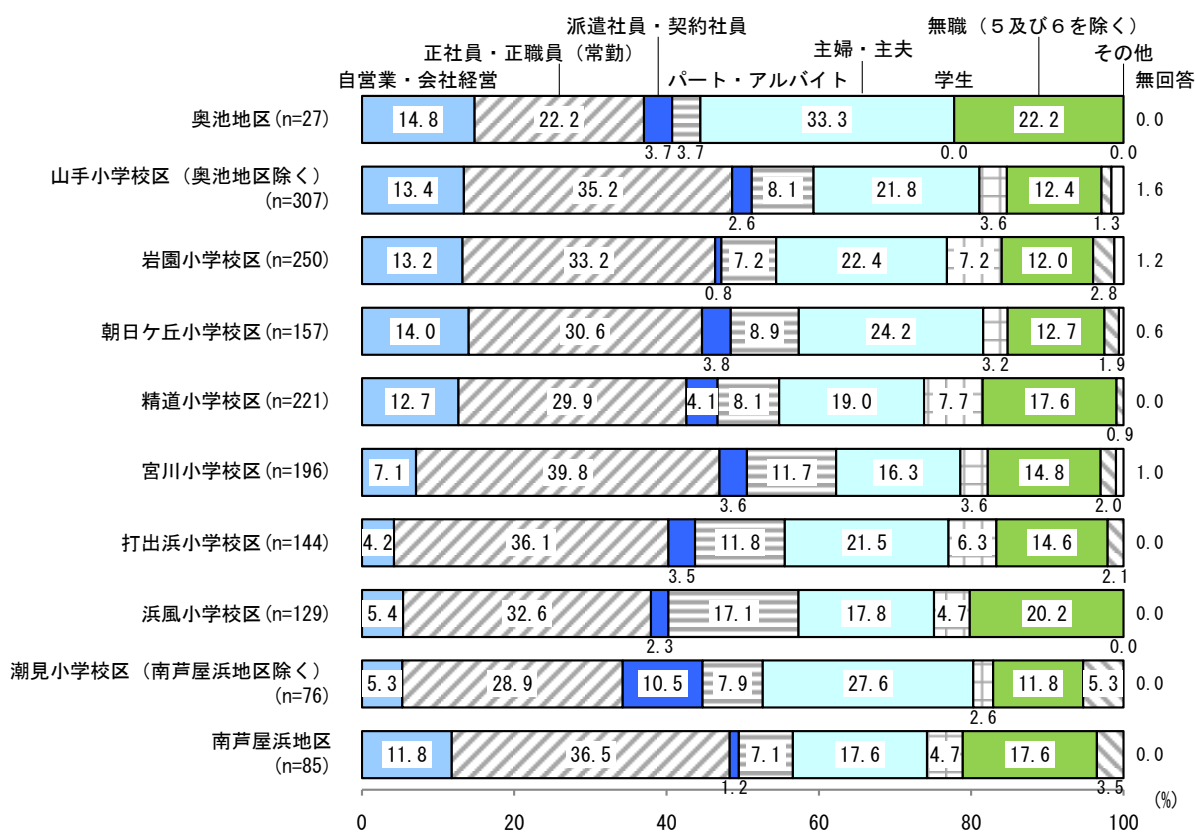
問3 職業

問3 あなたの主な職業等は何ですか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「正社員・正職員（常勤）」が33.6%で最も高く、「主婦・主夫」が20.9%、「無職（5及び6を除く）」が14.6%と続いている。



地区別では、奥池地区を除く全ての地区で「正社員・正職員（常勤）」が最も高くなっている。



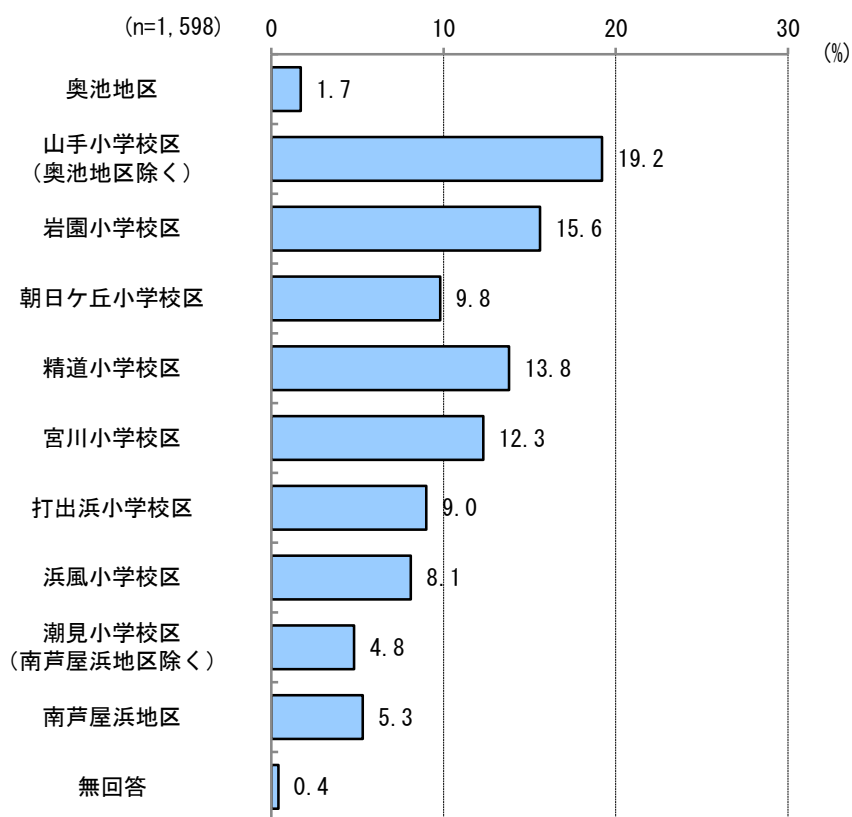
職業について「7.その他」延べ23件には、主に次のような回答がありました。

意見分類		延べ件数
職業について		23
役員		5
講師		4
医師		3
その他意見		11

問4 居住地区

問4 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。校区番号1～10から1つだけ選んで数字に○をつけてください。

全体では、「山手小学校区（奥池地区除く）」が19.2%で最も高く、「岩園小学校区」が15.6%、「精道小学校区」が13.8%と続いている。

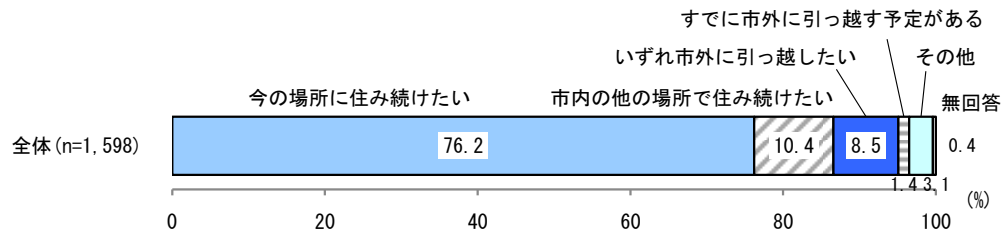


II. お住まいの地域での生活や住みやすさについておたずねします。

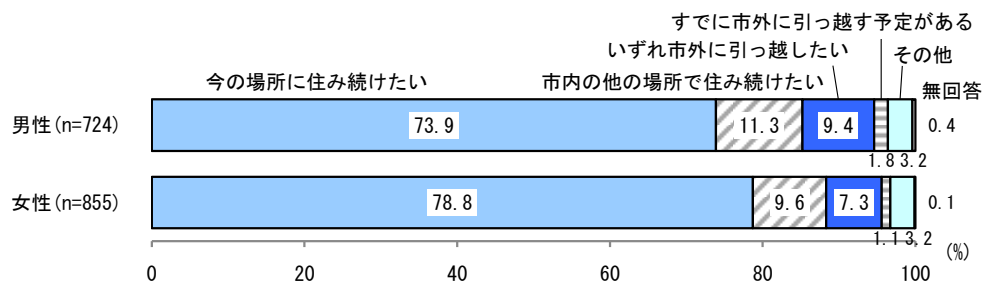
問5 定住意向

問5 あなたは、(転勤等による移転予定の有無に関わらず) 今のお住まいにずっと住んでいたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

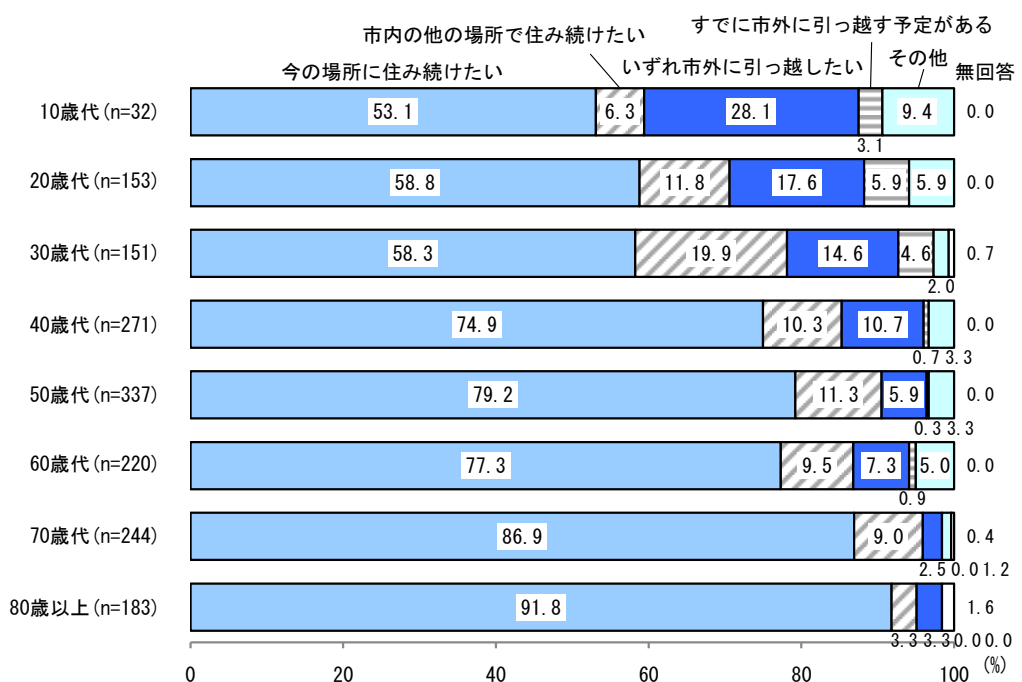
全体では、「今の場所に住み続けたい」が76.2%で最も高く、「市内の他の場所で住み続けたい」が10.4%、「いずれ市外に引っ越したい」が8.5%と続いている。



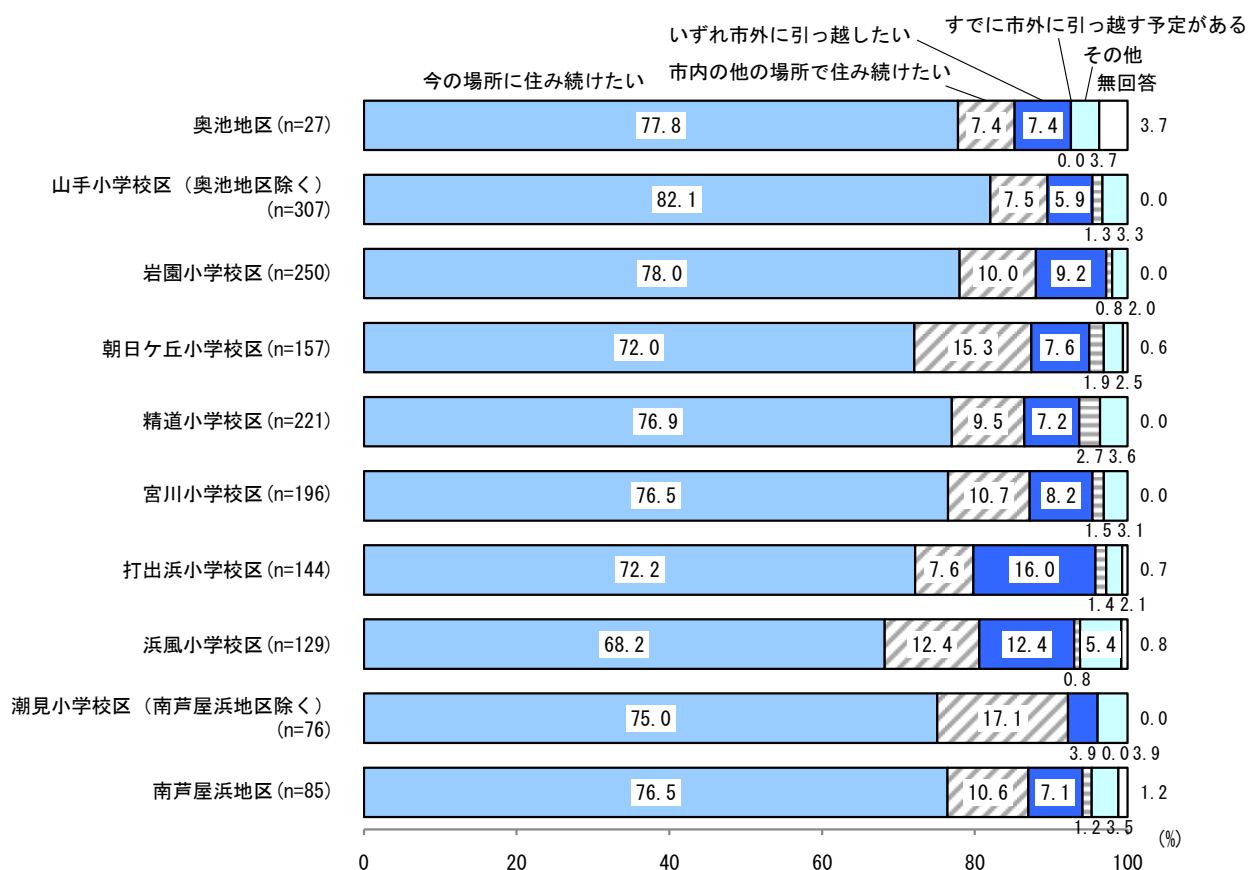
性別で大きな差はみられない。



年代別では、概ね年代が高い程「今の場所に住み続けたい」が高くなる傾向がみられ、70歳以上で8割を超えている。一方で、10歳代から30歳代では6割未満となっている。



地区別では、山手小学校区（奥池地区除く）で「今の場所に住み続けたい」が8割を超え最も高くなっている。また、『転出意向』（「いずれ市外に引っ越したい」+「すでに市外に引っ越す予定がある」）は打出浜小学校区で17.4%と最も高くなっている。



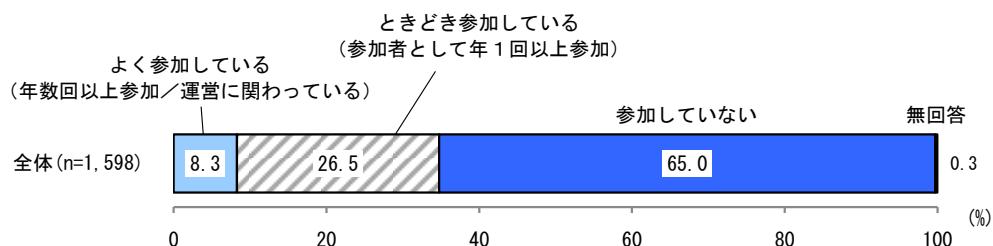
定住意向について「5.その他」延べ45件には、主に次のような回答がありました。

意見分類		延べ件数
定住意向について		45
	自身の事情による	11
	未定・わからない	9
	引越しを検討・迷っている	5
	その他意見	20

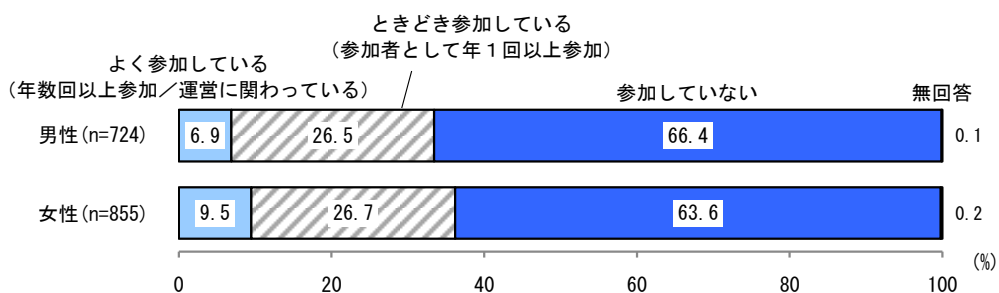
問6 地域の活動や行事への参加状況

問6 あなたは、地域の活動や行事に参加していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

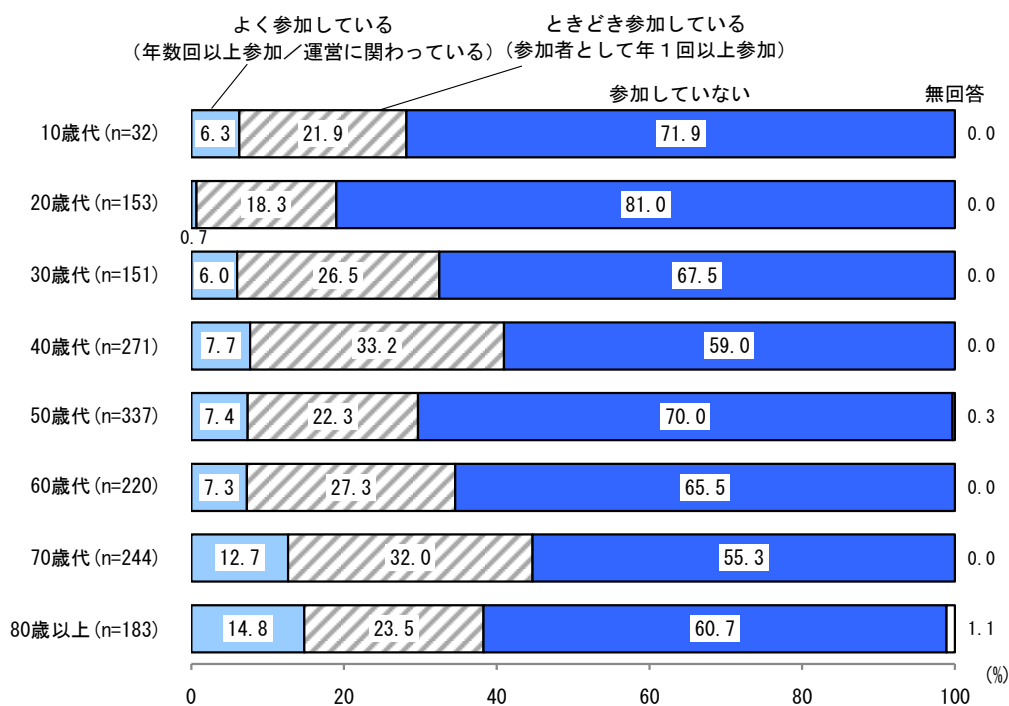
全体では、「参加していない」が65.0%で最も高く、「ときどき参加している（参加者として年1回以上参加）」が26.5%、「よく参加している（年数回以上参加/運営に関わっている）」が8.3%と続いている。『参加している』（「よく参加している（年数回以上参加/運営に関わっている）」+「ときどき参加している（参加者として年1回以上参加）」）は34.8%と3割を超えている。



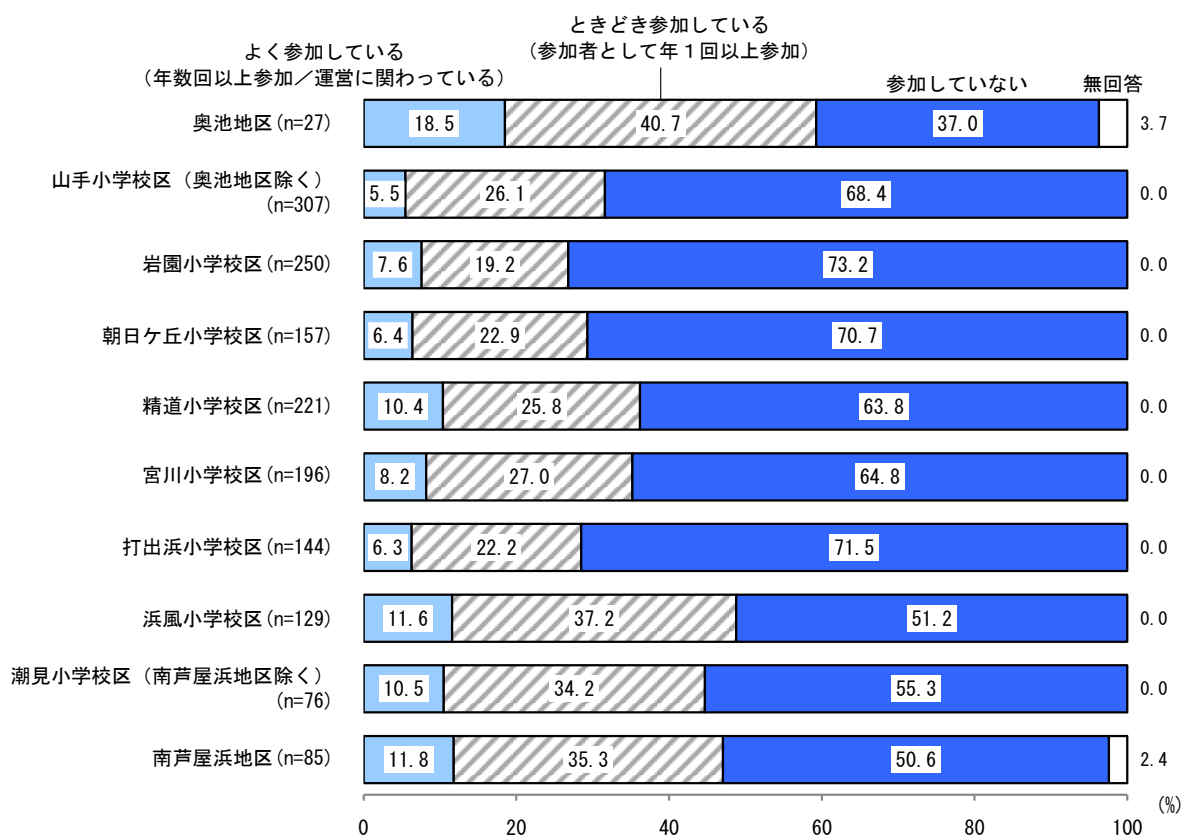
性別で大きな差はみられない。



年代別では、『参加している』（「よく参加している（年数回以上参加/運営に関わっている）」+「ときどき参加している（参加者として年1回以上参加）」）が40歳代と70歳代で4割を超えている。また、「参加していない」は20歳代で全体より16.0ポイント高くなっている。



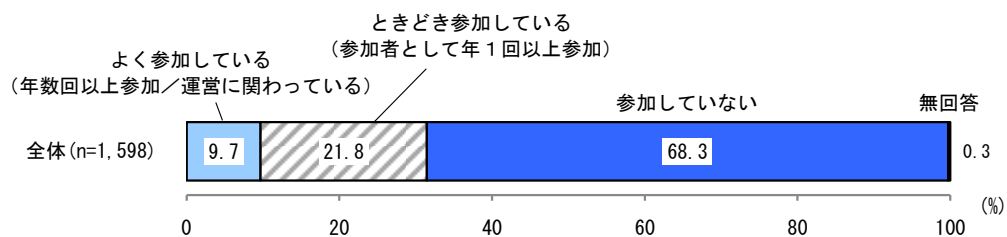
地区別では、『参加している』（「よく参加している（年数回以上参加/運営に関わっている）」+「ときどき参加している（参加者として年1回以上参加）」）割合は奥池地区、浜風小学校区、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）、南芦屋浜地区で4割を超えている。一方で、岩園小学校区、朝日ヶ丘小学校区、打出浜小学校区で「参加していない」が7割を超えている。



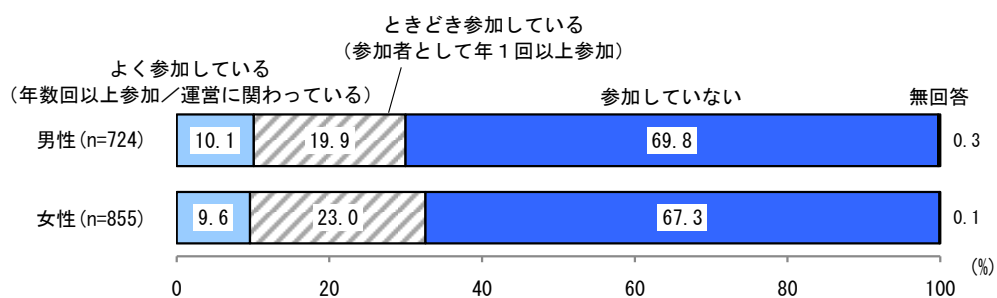
問7 地域外の活動や行事への参加状況

問7 あなたは、居住する地域にとらわれない活動や行事に参加していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

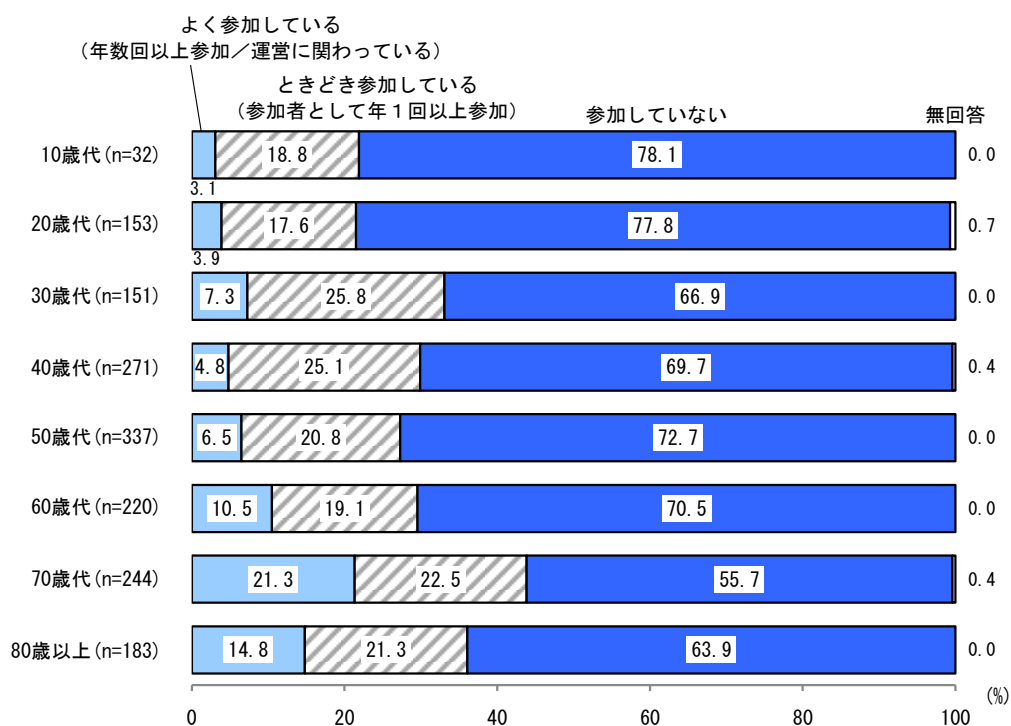
全体では、「参加していない」が68.3%で最も高く、「ときどき参加している（参加者として年1回以上参加）」が21.8%、「よく参加している（年数回以上参加/運営に関わっている）」が9.7%と続いている。



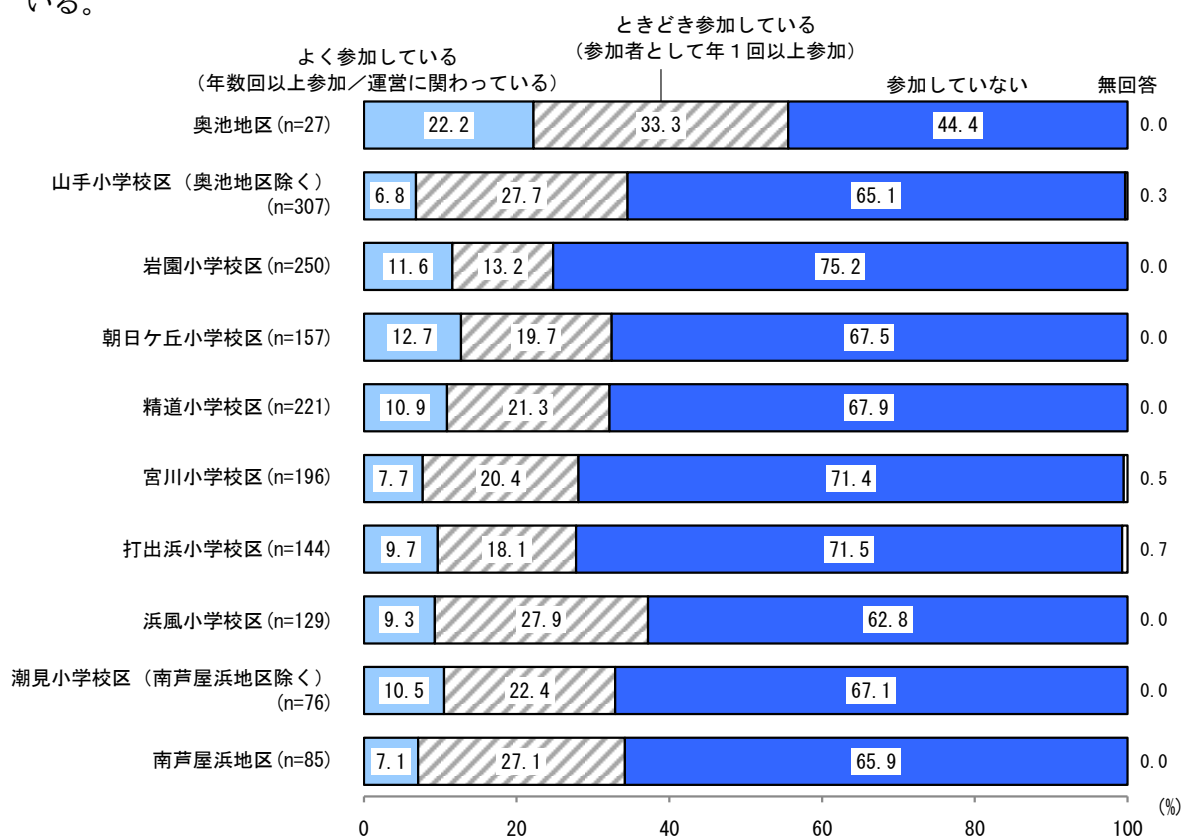
性別で大きな差はみられない。



年代別では、『参加している』（「よく参加している（年数回以上参加/運営に関わっている）」+「ときどき参加している（参加者として年1回以上参加）」）割合は70歳代で43.8%と全体より12.3ポイント高くなっている。



地区別では、『参加している』（「よく参加している（年数回以上参加/運営に関わっている）」+「ときどき参加している（参加者として年1回以上参加）」）割合が奥池地区で55.5%と5割を超えている。一方で、岩園小学校区、宮川小学校区、打出浜小学校区で「参加していない」が7割を超えている。

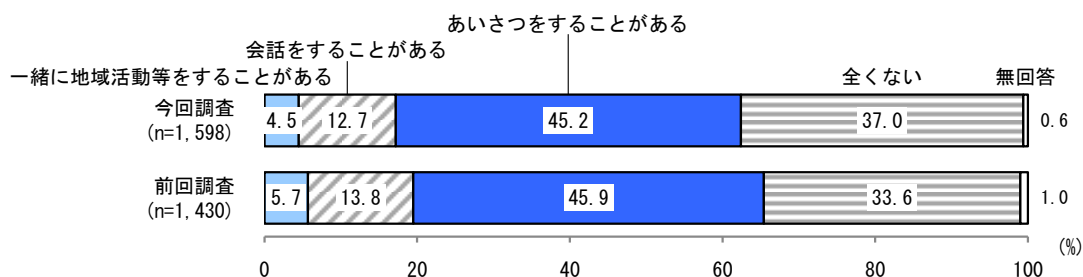


問8 日常的に子どもと接する機会の有無

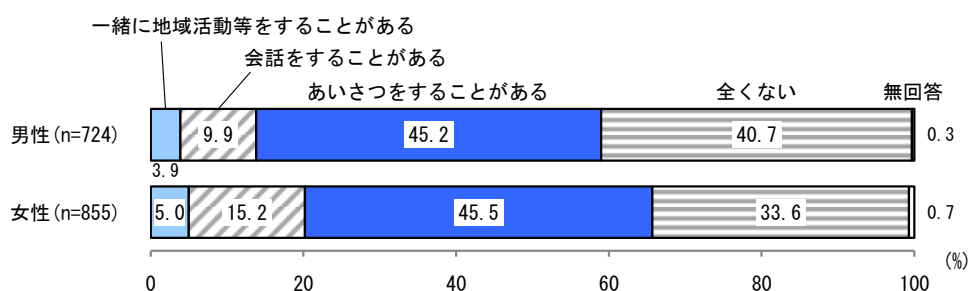
問8 あなたは、日常的に近所の子どもと接する機会がありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「あいさつすることがある」が45.2%で最も高く、「全くない」が37.0%、「会話をすることがある」が12.7%と続いている。

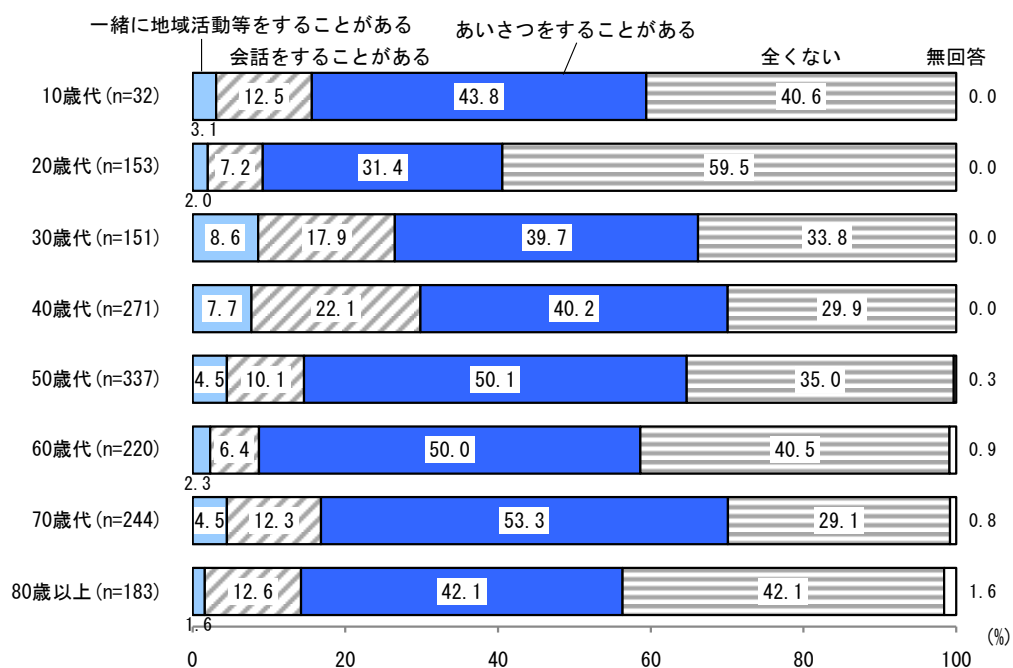
前回調査から大きな差はみられない。



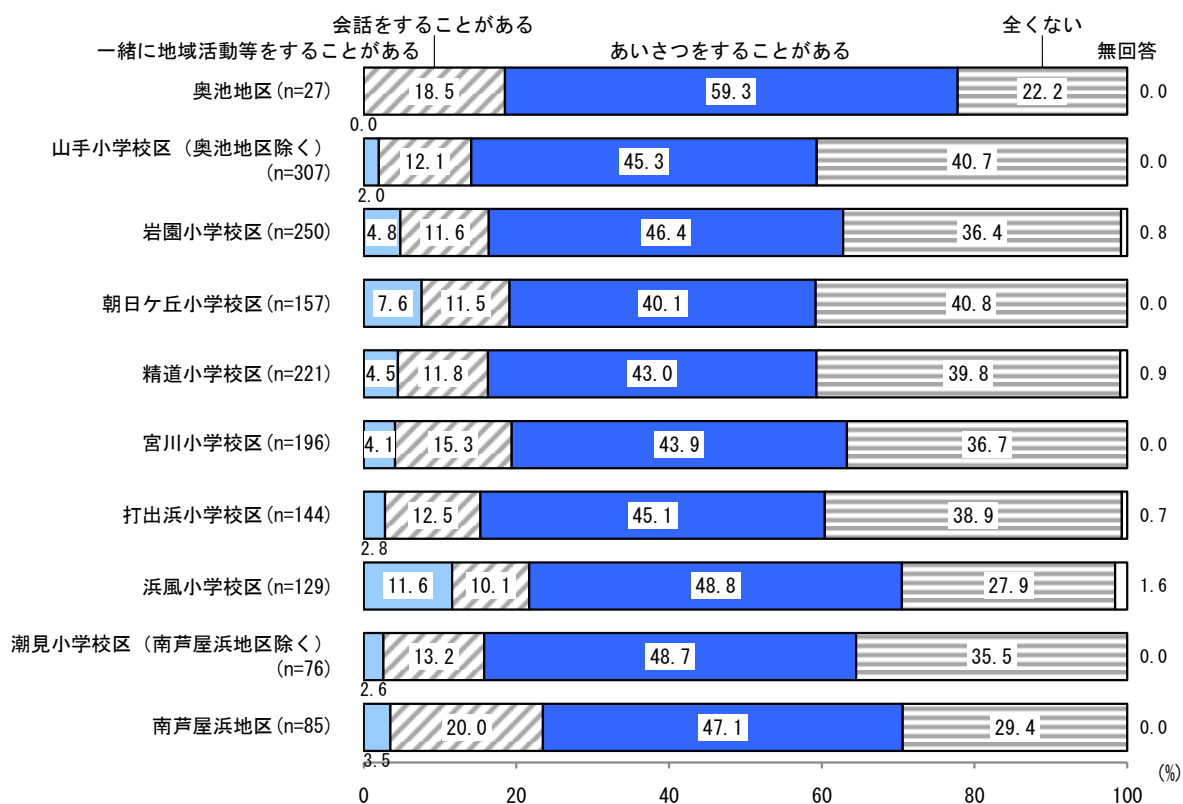
性別では、男性で「全くない」が40.7%と女性より7.1ポイント高くなっている。



年代別では、20歳代で「全くない」が59.5%と6割近くを占め、全体より22.5ポイント高くなっている。



地区別では、子どもと接する機会が『ある』（「一緒に地域活動等をするところがある」+「会話をすることがある」+「あいさつをすることがある」）割合が奥池地区、浜風小学校区、南芦屋浜地区で7割を超えている。

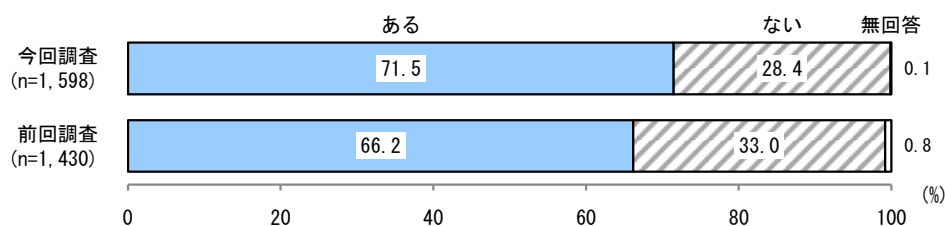


問9 家族以外での困りごとの相談相手・場所の有無

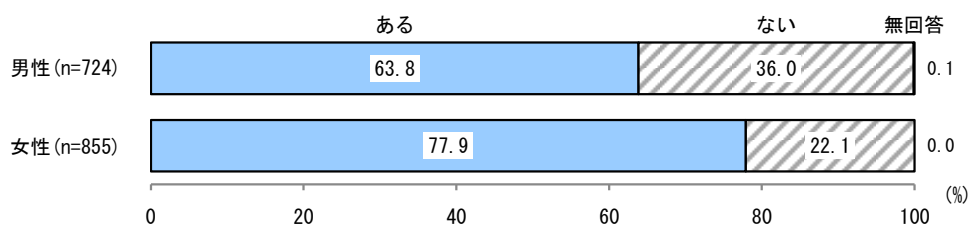
問9 あなたは、家族や親族以外で、日々の生活の中で困りごとが発生したときに相談できる人（友人、知人、民生委員等）や場所がありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「ある」が71.5%、「ない」が28.4%となっている。

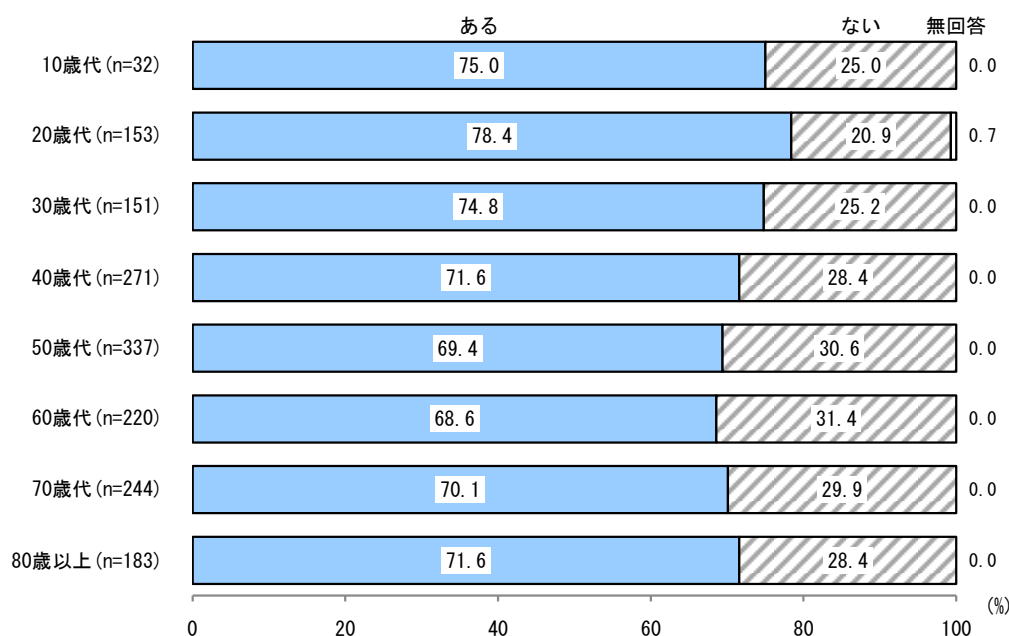
前回調査と比較すると、「ある」が前回調査より5.3ポイント増加している。



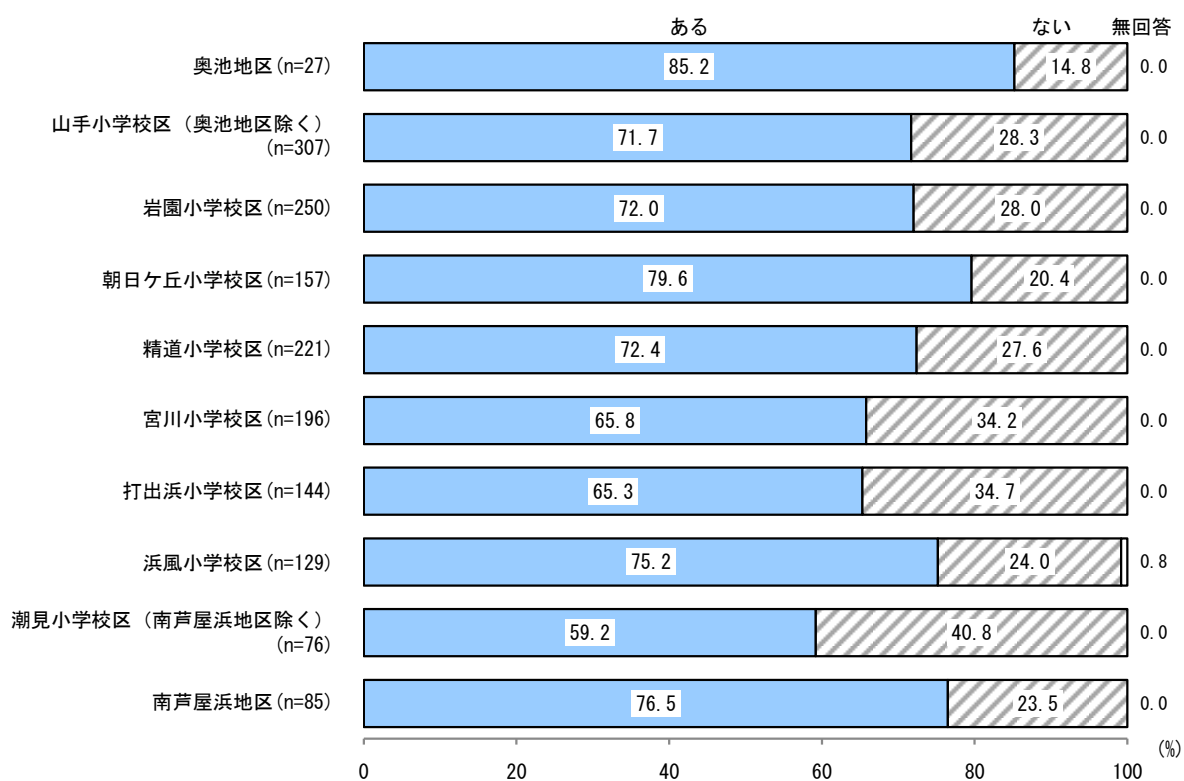
性別では、男性で「ない」が36.0%と女性より13.9ポイント高くなっている。



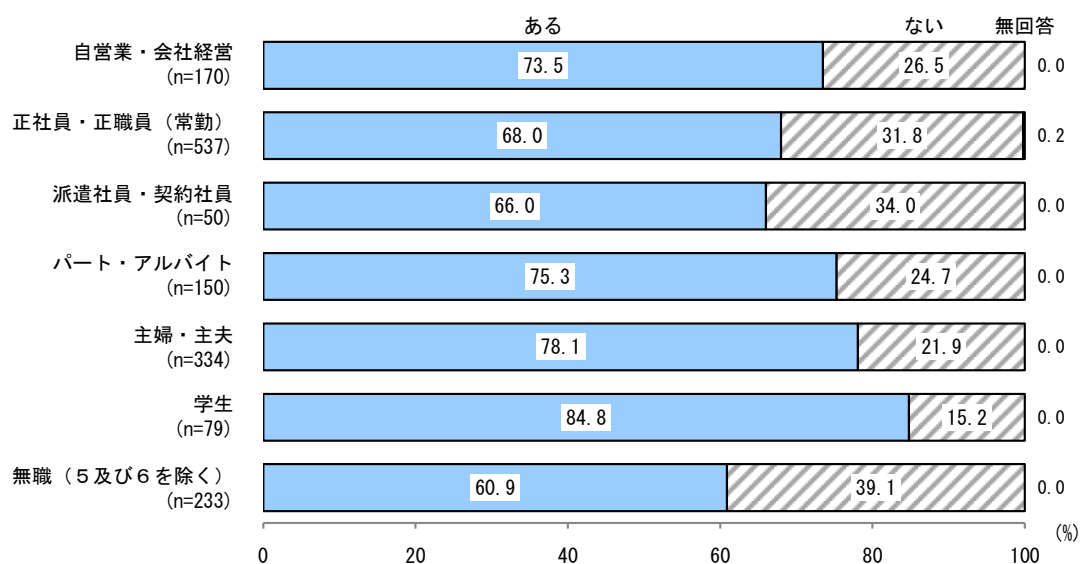
年代別では、20歳代で「ある」が78.4%と最も高くなっている。



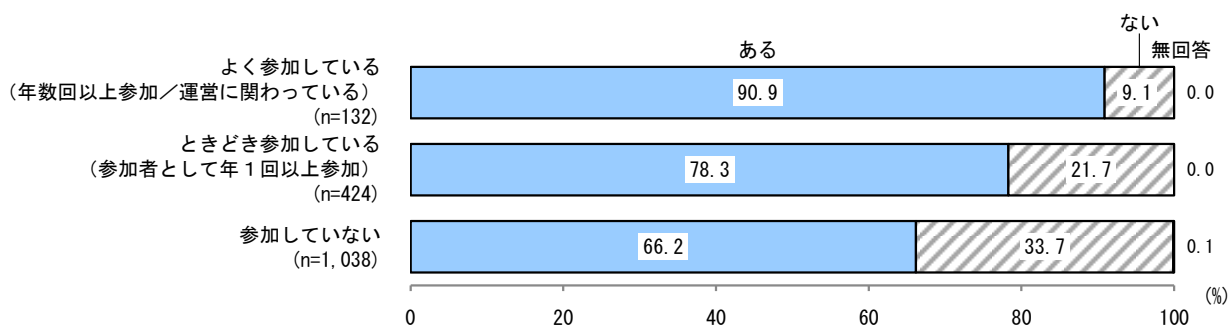
地区別では、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で「ない」が全体より 12.4 ポイント高くなっている。



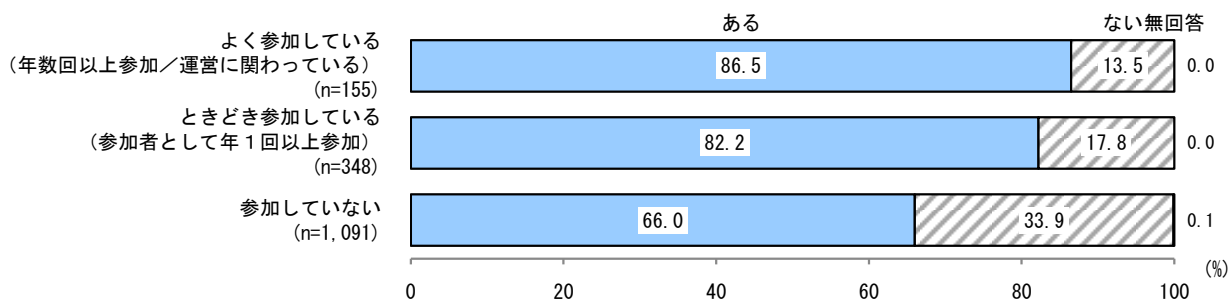
職業別では、主婦・主夫、学生で「ある」が全体より 5 ポイント以上高くなっている一方で、無職（5 及び 6 を除く）で 60.9% と全体より 10.6 ポイント低くなっている。



地域活動・行事への参加頻度別では、参加頻度が高くなる程「ある」が高くなる傾向がみられ、よく参加している（年数回以上参加／運営に関わっている）人では90.9%となっている。



居住地域外の地域活動・行事への参加頻度別では、参加頻度が高くなる程「ある」が高くなる傾向がみられ、よく参加している（年数回以上参加／運営に関わっている）人では86.5%となっている。

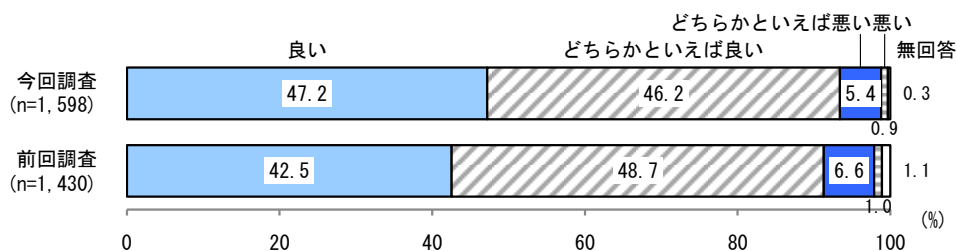


問10 まちの緑の景観評価

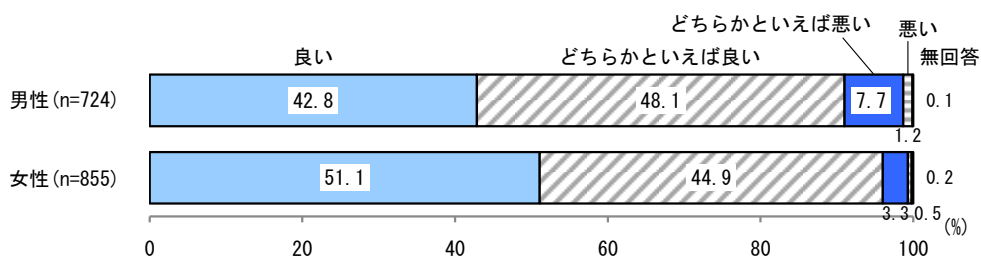
問10 あなたは、お住まいの地域のまちなみやまちなかの緑の景観について、どのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「良い」が47.2%で最も高く、「どちらかといえば良い」が46.2%、「どちらかといえば悪い」が5.4%と続いている。『良い』（「良い」+「どちらかといえば良い」）は93.4%と9割を超えている。

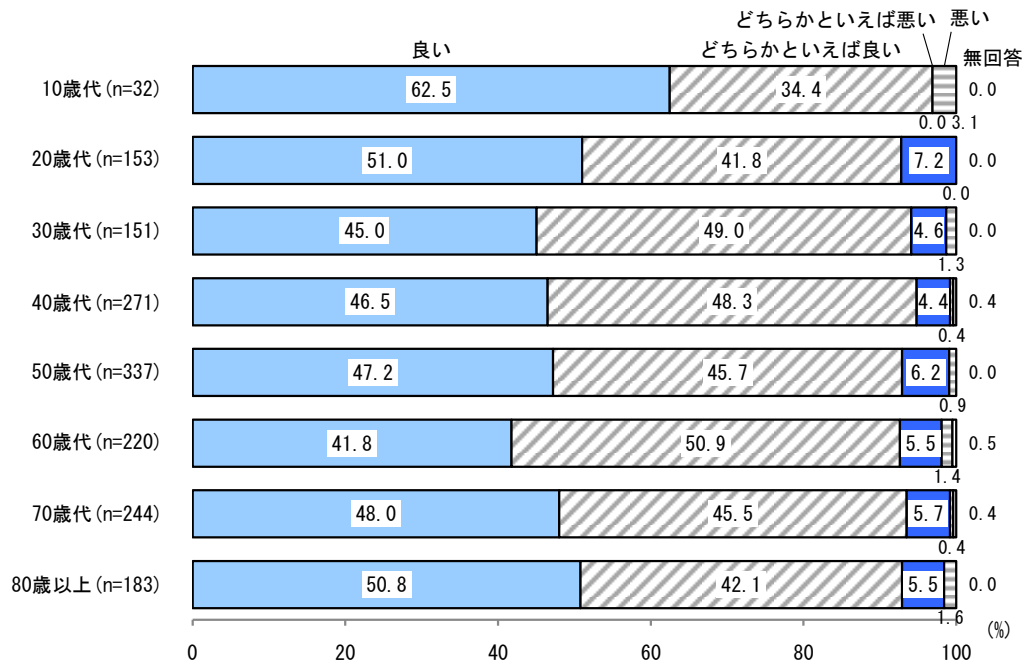
前回調査から大きな差はみられない。



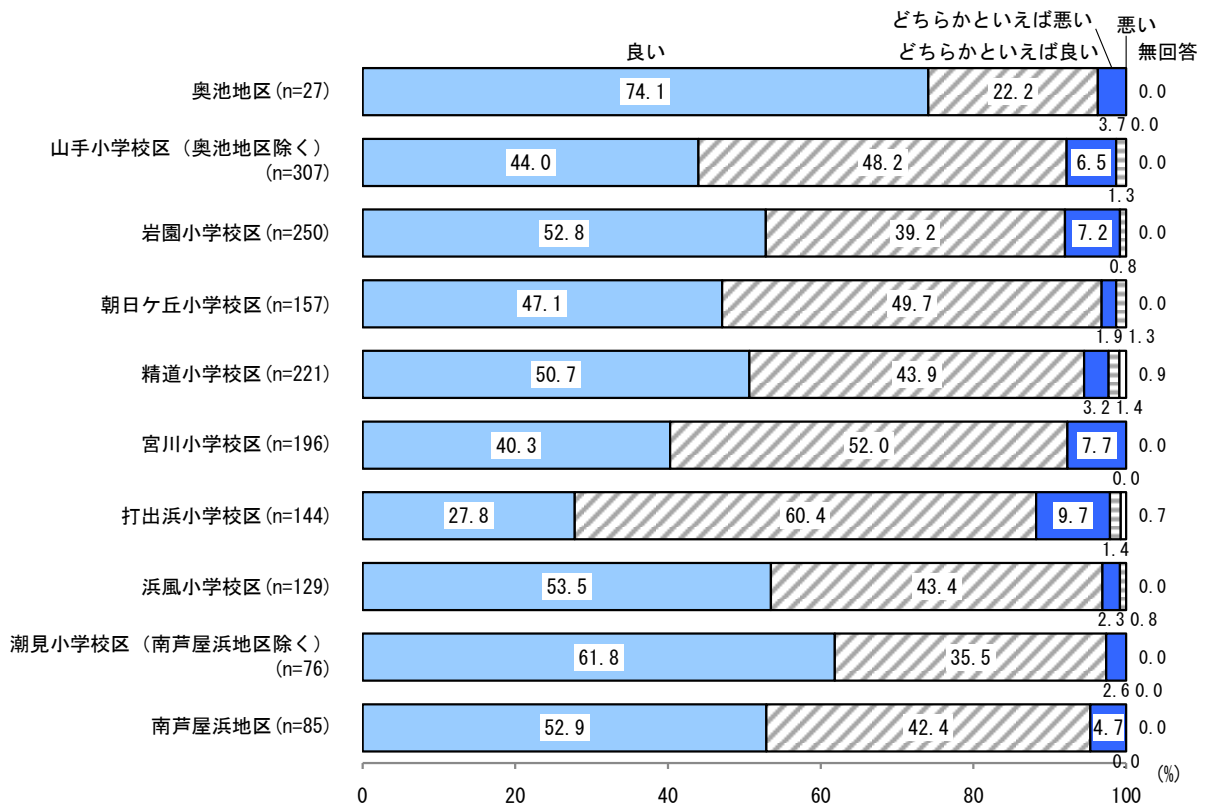
性別では、女性で「良い」が51.1%と男性より8.3ポイント高くなっている。



年代別では、10歳代で「良い」が62.5%と全体より15.3ポイント高くなっている。



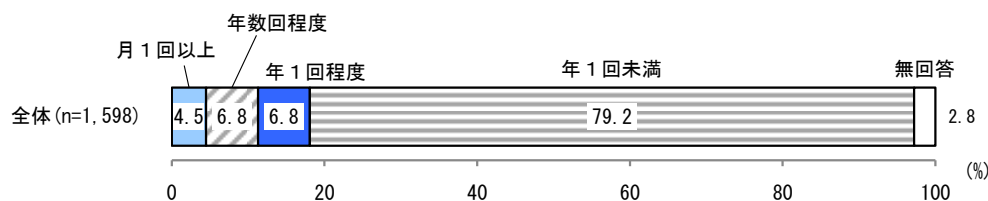
地区別では、打出浜小学校区で『悪い』（「どちらかといえば悪い」+「悪い」）の割合が11.1%と1割を超えている。



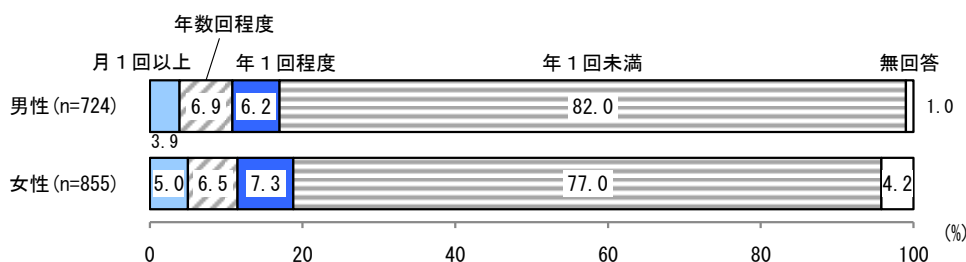
問11 まちの緑の景観を育成・維持する活動への参加頻度

問11 あなたは、まちなかの緑の景観を育てたり維持する活動（植物の育成や管理、清掃など緑化・保全に関する活動）にどれくらいの頻度で参加していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

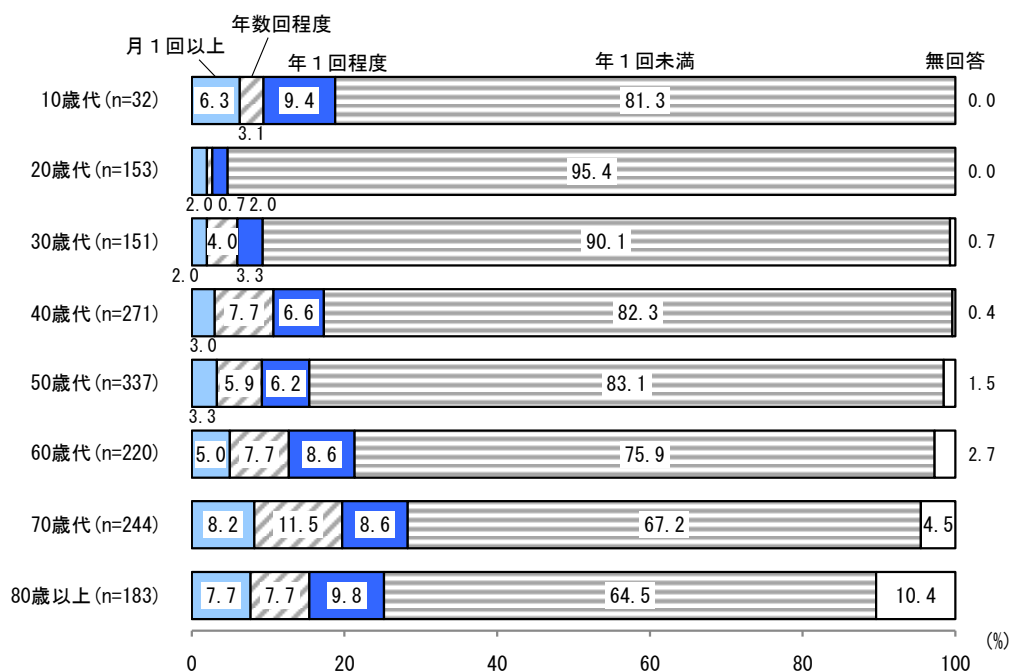
全体では、「年1回未満」が79.2%で最も高く、「年数回程度」と「年1回程度」が6.8%、「月1回以上」が4.5%と続いている。『年1回以上』（「月1回以上」+「年数回程度」+「年1回程度」）の割合は18.1%と2割未満となっている。



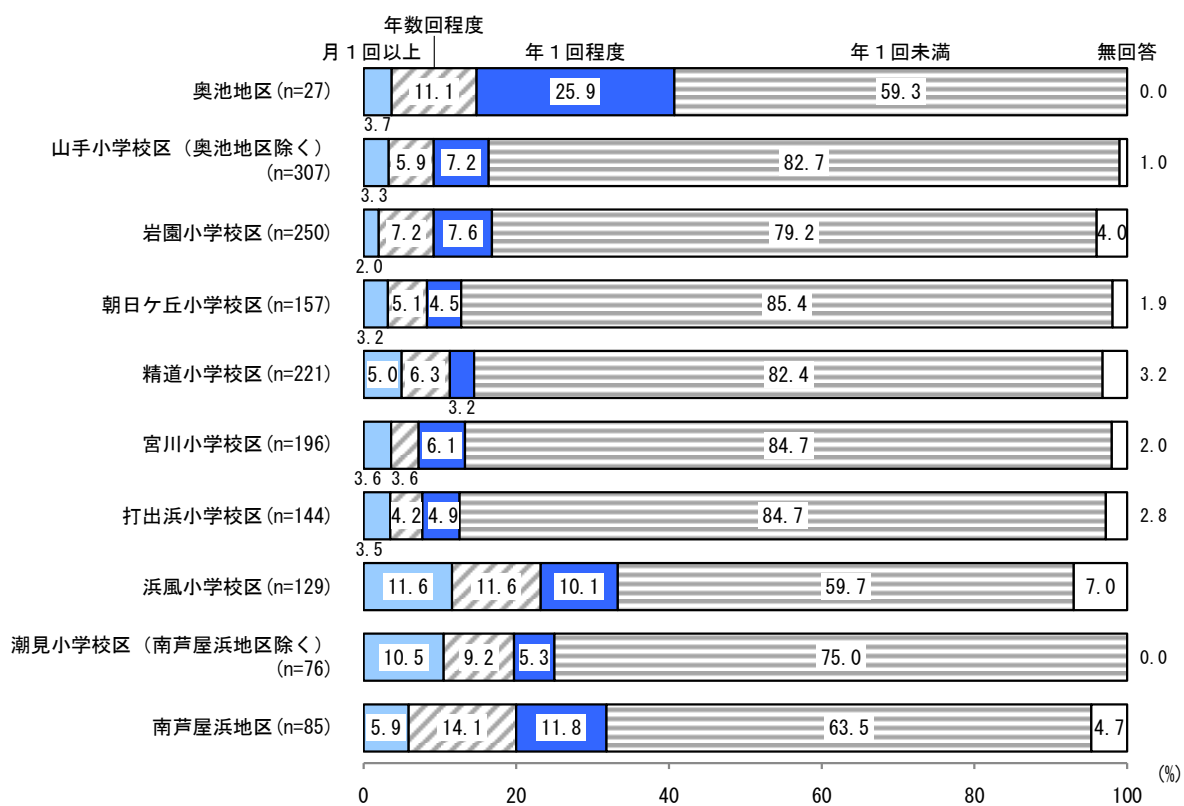
性別で大きな差はみられない。



年代別では、参加頻度が『年1回以上』（「月1回以上」+「年数回程度」+「年1回程度」）の割合が60歳以上で2割を超えている一方で、「年1回未満」が20歳代と30歳代で9割を超えている。



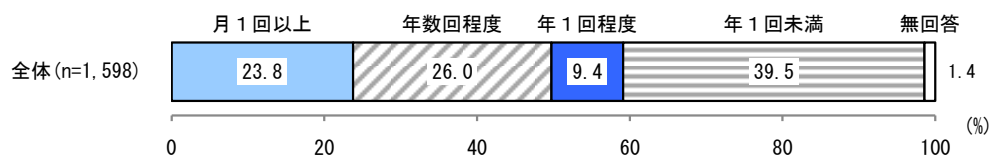
地区別では、参加頻度が『年1回以上』（「月1回以上」+「年数回程度」+「年1回程度」）の割合が奥池地区、浜風小学校区、南芦屋浜地区で全体より10ポイント以上高くなっている。



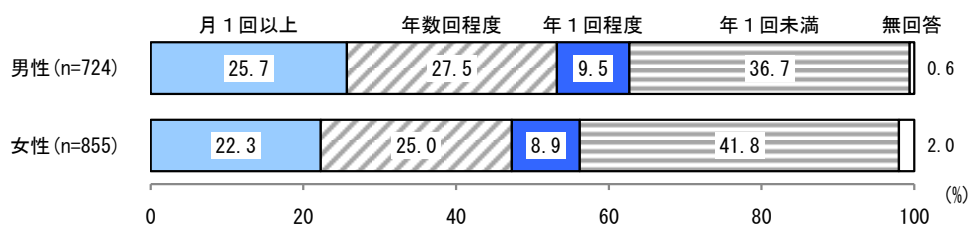
問 1 2 市内公園の利用頻度

問 1 2 あなたは、市内の公園をどれくらいの頻度で利用していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

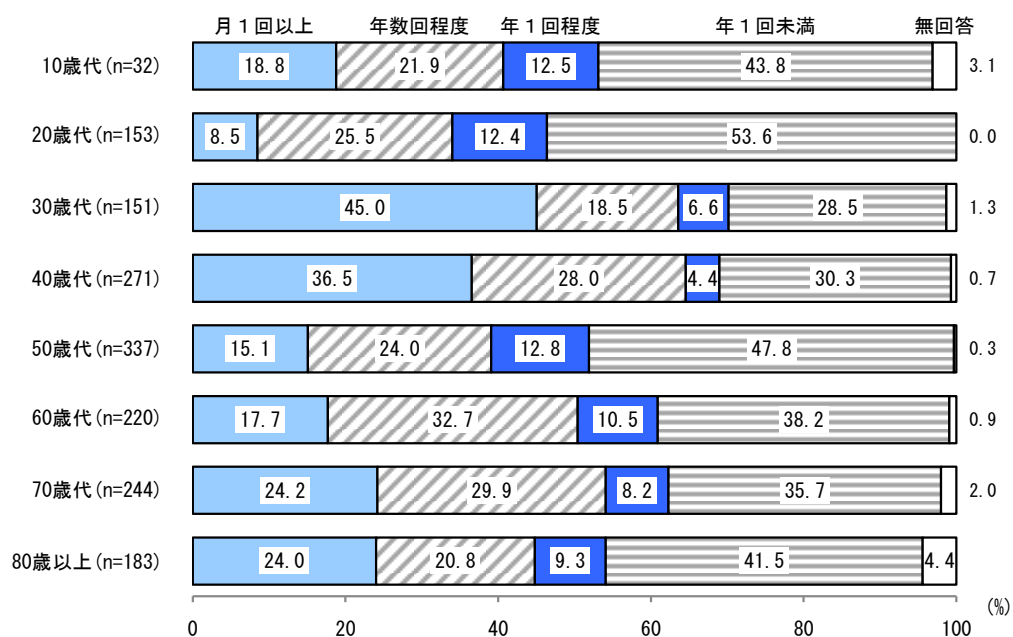
全体では、「年1回未満」が39.5%で最も高く、「年数回程度」が26.0%、「月1回以上」が23.8%と続いている。



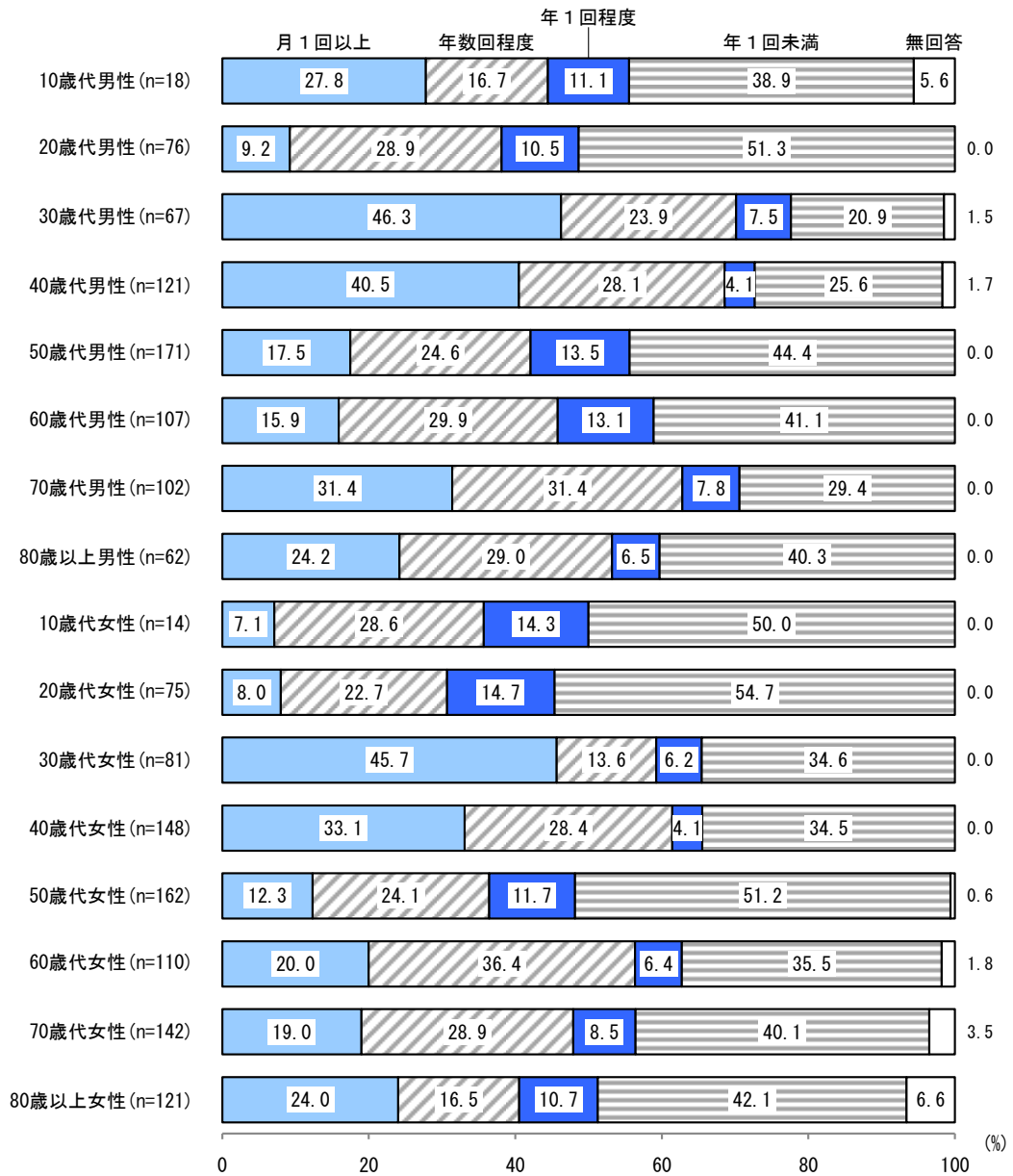
性別では、男性で『年1回以上』（「月1回以上」+「年数回程度」+「年1回程度」）の割合が62.7%と女性より6.5ポイント高くなっている。



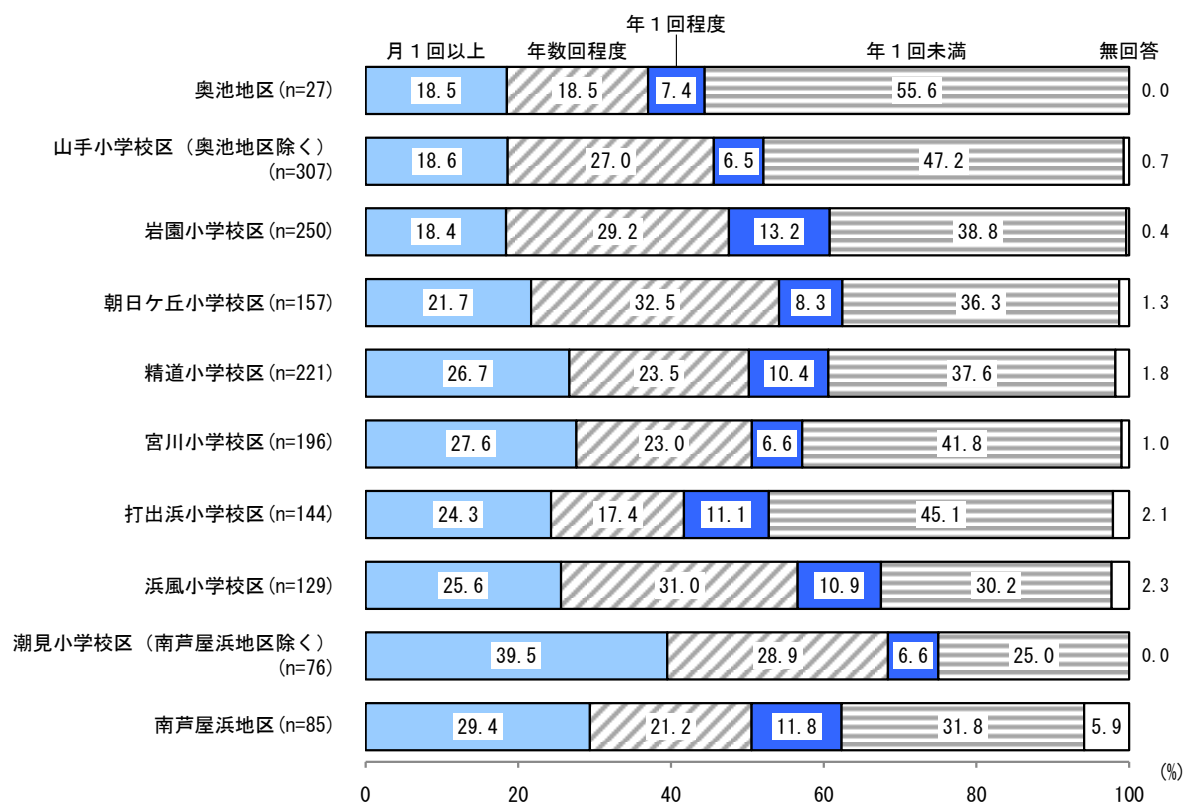
年代別では、利用頻度が「月1回以上」の割合が30歳代と40歳代で3割を超え、全体より10ポイント以上高くなっている。



性年代別では、利用頻度が「月1回以上」の割合が男性の30歳代と40歳代、女性の30歳代で4割を超えている。



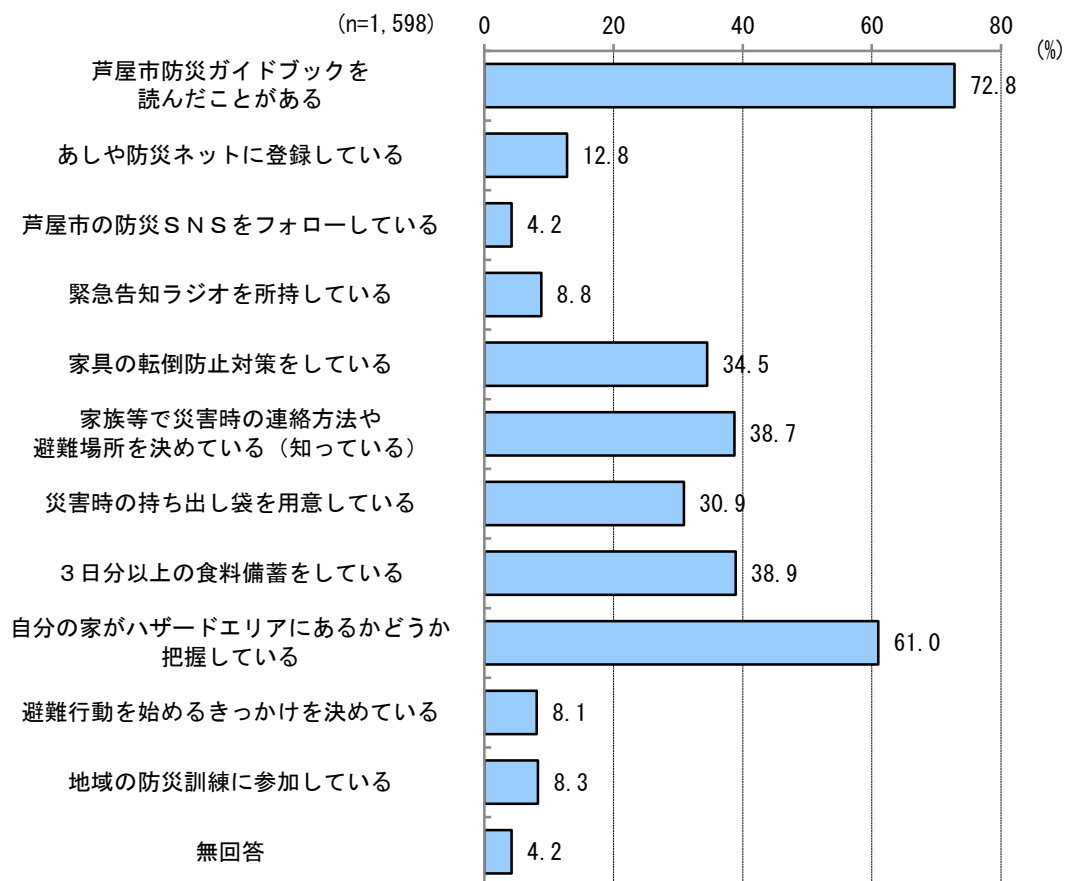
地区別では、利用頻度が『年1回以上』（「月1回以上」+「年数回程度」+「年1回程度」）の割合が潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で全体より15.8ポイント高くなっている。



問13 自然災害に対する日頃の備え

問13 地震や津波、大雨、暴風など、自然災害の発生に対し、日頃からの備えについてお聞きします。次の中からできていることをすべて選んで、数字に○をつけてください。

「芦屋市防災ガイドブックを読んだことがある」が72.8%と最も高く、「自分の家がハザードエリアにあるかどうか把握している」が61.0%、「3日分以上の食料備蓄をしている」が38.9%、「家族等で災害時の連絡方法や避難場所を決めている（知っている）」が38.7%と続いている。



性別では、男女ともに「芦屋市防災ガイドブックを読んだことがある」が最も高くなっているものの、女性で76.8%と高い割合となっている。また、「あしや防災ネットに登録している」の回答は、女性で16.4%と男性より7.6ポイント高くなっている。「3日以上以上の食糧備蓄をしている」は、女性で42.1%と男性より7.0ポイント高くなっている。

年代別では、概ね年代が高い程「芦屋市防災ガイドブックを読んだことがある」が高くなる傾向がみられ、60歳以上で8割を超えている。50歳代では「自分の家がハザードエリアにあるかどうか把握している」が71.2%と全体より10.2ポイント高くなっている。また、80歳以上で「緊急告知ラジオを所持している」が21.3%と全体より12.5ポイント高くなっている。

(%)

		調査数	芦屋市防災ガイドブック を読んだことがある	あしや防災ネットに 登録している	芦屋市の防災SNSを フォローしている	緊急告知ラジオを 所持している	家具の転倒防止対策を している	家族等で災害時の 連絡方法や避難場所を 決めている(知っている)
市全体		1,598	72.8	12.8	4.2	8.8	34.5	38.7
性別	男性	724	①68.1	8.8	3.6	8.1	34.7	③37.2
	女性	855	①76.8	16.4	4.8	9.4	34.2	39.9
年代別	10歳代	32	③40.6	6.3	-	6.3	31.3	①50.0
	20歳代	153	③33.3	5.2	3.3	3.3	28.1	②37.9
	30歳代	151	①56.3	9.3	3.3	3.3	32.5	③38.4
	40歳代	271	①74.5	18.8	5.2	4.1	28.4	③47.6
	50歳代	337	①77.2	19.0	5.0	8.0	36.8	③39.2
	60歳代	220	①80.9	13.2	5.5	7.3	42.7	36.4
	70歳代	244	①89.3	9.4	3.3	14.3	32.8	29.1
	80歳以上	183	①82.0	7.7	3.3	21.3	38.3	38.8
		調査数	災害時の持ち出し袋を 用意している	3日以上以上の 食料備蓄をしている	自分の家がハザード エリアにあるかどうか 把握している	避難行動を始める きっかけを決めている	地域の防災訓練に 参加している	無回答
市全体		1,598	30.9	38.9	61.0	8.1	8.3	4.2
性別	男性	724	28.7	35.1	②61.0	8.6	8.0	5.0
	女性	855	32.5	③42.1	②60.8	7.7	8.7	3.5
年代別	10歳代	32	②46.9	34.4	③40.6	3.1	3.1	6.3
	20歳代	153	26.1	30.1	①38.6	9.2	0.7	12.4
	30歳代	151	31.1	32.5	②51.7	4.6	3.3	9.3
	40歳代	271	37.6	41.0	②66.1	7.7	9.6	2.6
	50歳代	337	32.3	37.1	②71.2	5.3	5.9	2.7
	60歳代	220	28.2	③43.2	②66.4	10.9	12.3	1.4
	70歳代	244	28.7	③43.0	②63.9	10.2	13.5	1.6
	80歳以上	183	25.7	③41.5	②54.6	10.4	10.9	4.9

地区別では、全ての地区で「芦屋市防災ガイドブックを読んだことがある」が6割を超えており、奥池地区を除く全ての地区で最も高くなっている。

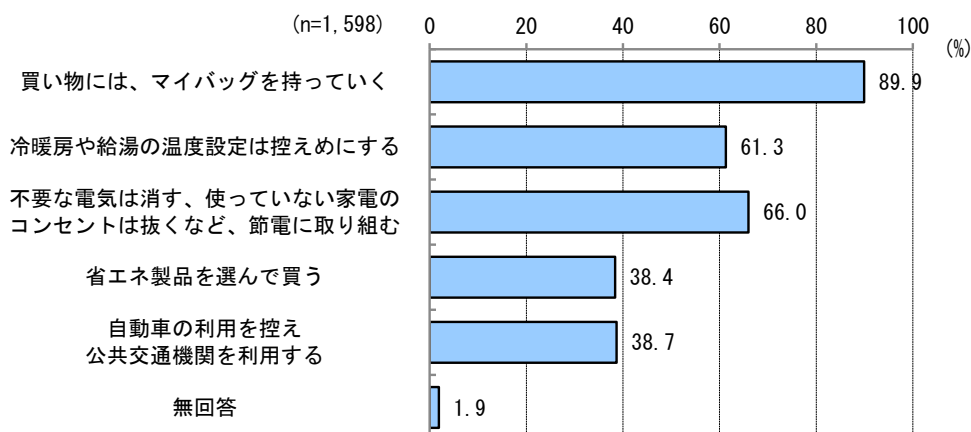
(%)

		調査数	芦屋市防災ガイドブックを読んだことがある	あしや防災ネットに登録している	芦屋市の防災SNSをフォローしている	緊急告知ラジオを所持している	家具の転倒防止対策をしている	家族等で災害時の連絡方法や避難場所を決めている(知っている)
市全体		1598	72.8	12.8	4.2	8.8	34.5	38.7
地区別	奥池地区	27	②77.8	29.6	11.1	7.4	51.9	44.4
	山手小学校区	307	①75.2	11.4	2.9	8.5	34.5	35.5
	岩園小学校区	250	①72.8	14.8	4.0	8.8	40.0	38.8
	朝日ヶ丘小学校区	157	①69.4	10.2	4.5	10.2	33.1	35.0
	精道小学校区	221	①73.8	10.0	5.4	6.8	31.2	③41.6
	宮川小学校区	196	①75.0	11.7	2.6	6.6	29.1	③45.4
	打出浜小学校区	144	①68.8	16.7	4.9	11.8	37.5	38.9
	浜風小学校区	129	①72.1	12.4	2.3	14.7	③35.7	32.6
	潮見小学校区	76	①65.8	10.5	3.9	5.3	38.2	38.2
南芦屋浜地区	85	①74.1	18.8	9.4	7.1	23.5	③40.0	
		調査数	災害時の持ち出し袋を用意している	3日以上以上の食料備蓄をしている	自分の家がハザードエリアにあるかどうか把握している	避難行動を始めるきっかけを決めている	地域の防災訓練に参加している	無回答
市全体		1598	30.9	38.9	61.0	8.1	8.3	4.2
地区別	奥池地区	27	33.3	③55.6	①81.5	14.8	7.4	-
	山手小学校区	307	30.0	③45.0	②69.1	7.8	5.9	3.6
	岩園小学校区	250	32.4	③45.6	②62.0	6.8	8.8	4.8
	朝日ヶ丘小学校区	157	31.8	③42.0	②58.6	5.7	5.1	1.9
	精道小学校区	221	29.4	33.9	②60.2	6.3	7.7	5.0
	宮川小学校区	196	29.1	30.1	②55.1	9.2	9.7	5.6
	打出浜小学校区	144	③39.6	36.1	②56.3	11.1	13.9	4.2
	浜風小学校区	129	25.6	34.9	②53.5	7.0	10.9	6.2
	潮見小学校区	76	22.4	③40.8	②57.9	9.2	11.8	2.6
南芦屋浜地区	85	35.3	25.9	②64.7	12.9	4.7	3.5	

問14 地球温暖化防止に向けた取組

問14 地球温暖化防止に向けた取組についてお聞きします。次の中からできていることをすべて選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「買い物には、マイバッグを持っていく」が89.9%で最も高く、「不要な電気は消す、使っていない家電のコンセントは抜くなど、節電に取り組む」が66.0%、「冷暖房や給湯の温度設定は控えめにする」が61.3%と続いている。



性別では、「買い物には、マイバッグを持っていく」、「冷暖房や給湯の温度設定は控えめにする」、「不要な電気は消す、使っていない家電のコンセントは抜くなど、節電に取り組む」が男性より女性で10ポイント以上高くなっている。

年代別では、概ね年代が高い程「冷暖房や給湯の温度設定は控えめにする」、「不要な電気は消す、使っていない家電のコンセントは抜くなど、節電に取り組む」が高くなる傾向がみられ、80歳以上では全体より10ポイント以上高くなっている。

(%)

	調査数	買い物には、マイバッグを持っていく	冷暖房や給湯の温度設定は控えめにする	不要な電気は消す、使っていない家電のコンセントは抜くなど、節電に取り組む	省エネ製品を選んで買う	自動車の利用を控え公共交通機関を利用する	無回答	
市全体	1598	89.9	61.3	66.0	38.4	38.7	1.9	
性別	男性	724	①84.4	③51.9	②60.4	34.3	36.3	2.8
	女性	855	①94.7	③69.5	②71.0	42.1	40.8	1.1
年代別	10歳代	32	①71.9	37.5	③46.9	15.6	②56.3	3.1
	20歳代	153	①76.5	42.5	②54.2	11.8	③43.1	3.9
	30歳代	151	①89.4	③43.0	②60.3	35.8	37.7	2.6
	40歳代	271	①89.3	③55.7	②62.7	33.9	32.1	2.6
	50歳代	337	①91.1	③62.0	②64.1	44.8	33.5	1.8
	60歳代	220	①95.0	③67.7	②70.0	50.5	36.4	1.4
	70歳代	244	①92.6	②75.4	③74.2	47.5	47.5	0.8
	80歳以上	183	①93.4	③76.0	②76.5	35.0	42.6	0.5

地区別では、全ての地区で「買い物には、マイバッグを持っていく」が最も高くなっている。

(%)

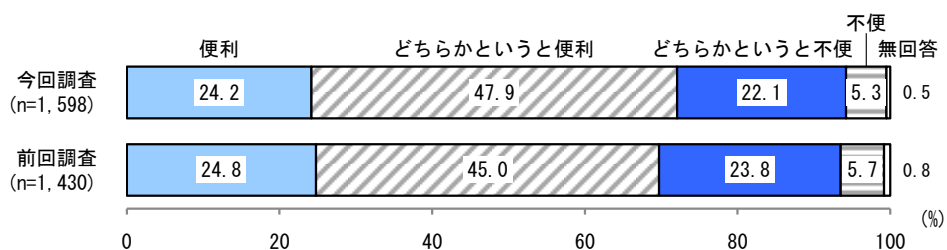
	調査数	買い物には、マイバッグを持っていく	冷暖房や給湯の温度設定は控えめにする	不要な電気は消す、使っていない家電のコンセントは抜くなど、節電に取り組む	省エネ製品を選んで買う	自動車の利用を控え公共交通機関を利用する	無回答	
市全体	1598	89.9	61.3	66.0	38.4	38.7	1.9	
地区別	奥池地区	27	①85.2	③66.7	②74.1	51.9	3.7	3.7
	山手小学校区	307	①90.9	③59.9	②64.8	39.7	39.4	1.0
	岩園小学校区	250	①90.4	③64.8	②71.6	31.2	40.4	2.4
	朝日ヶ丘小学校区	157	①88.5	③56.7	②68.8	33.1	36.9	1.3
	精道小学校区	221	①87.8	③64.7	②66.1	45.7	40.7	1.4
	宮川小学校区	196	①89.3	②57.1	②57.1	35.7	③39.8	2.6
	打出浜小学校区	144	①90.3	③63.2	②64.6	34.0	38.2	1.4
	浜風小学校区	129	①89.9	③65.1	②70.5	38.8	42.6	3.1
	潮見小学校区	76	①93.4	②67.1	②67.1	43.4	③44.7	1.3
南芦屋浜地区	85	①91.8	47.1	②60.0	③48.2	28.2	3.5	

問15 市内での移動の利便性

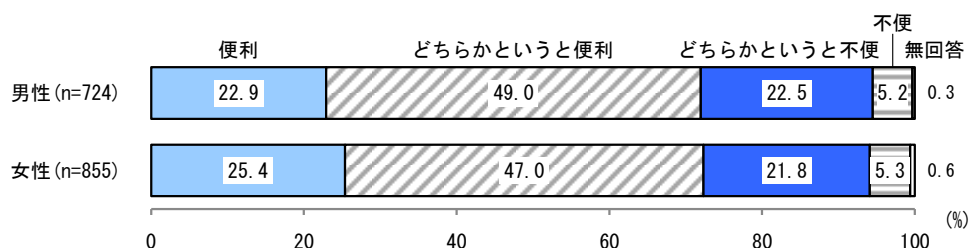
問15 あなたは、徒歩、自転車、自家用車、公共交通などの手段に関わらず、市内の移動の利便性について、どのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「どちらかという便利」が47.9%で最も高く、「便利」が24.2%、「どちらかという不便」が22.1%と続いている。『便利』（「便利」+「どちらかという便利」）だと思える割合は72.1%と7割を超えている。

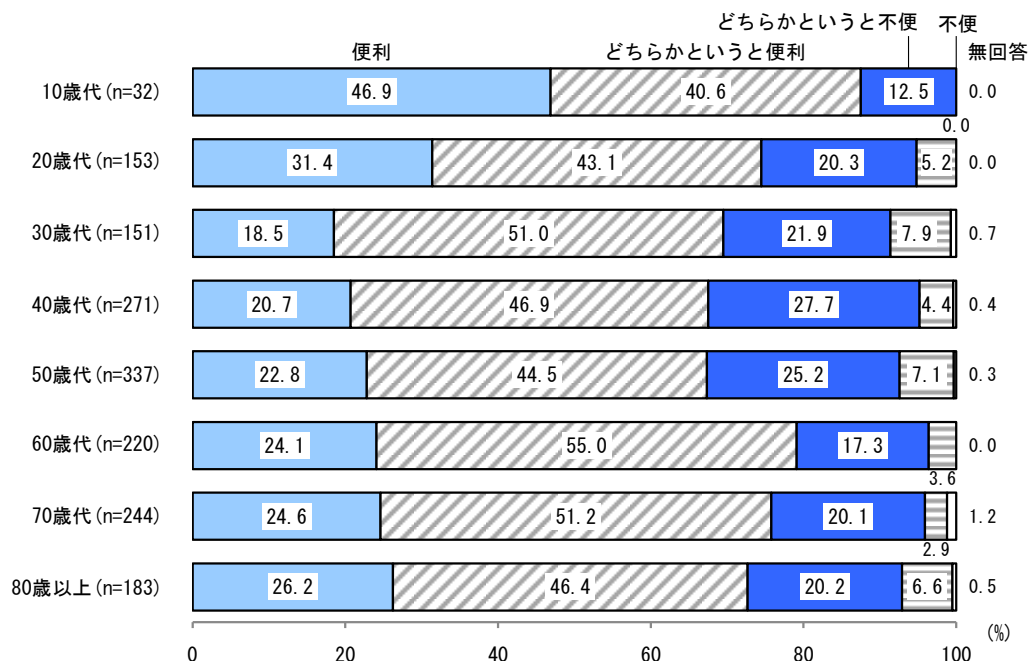
前回調査から大きな差はみられない。



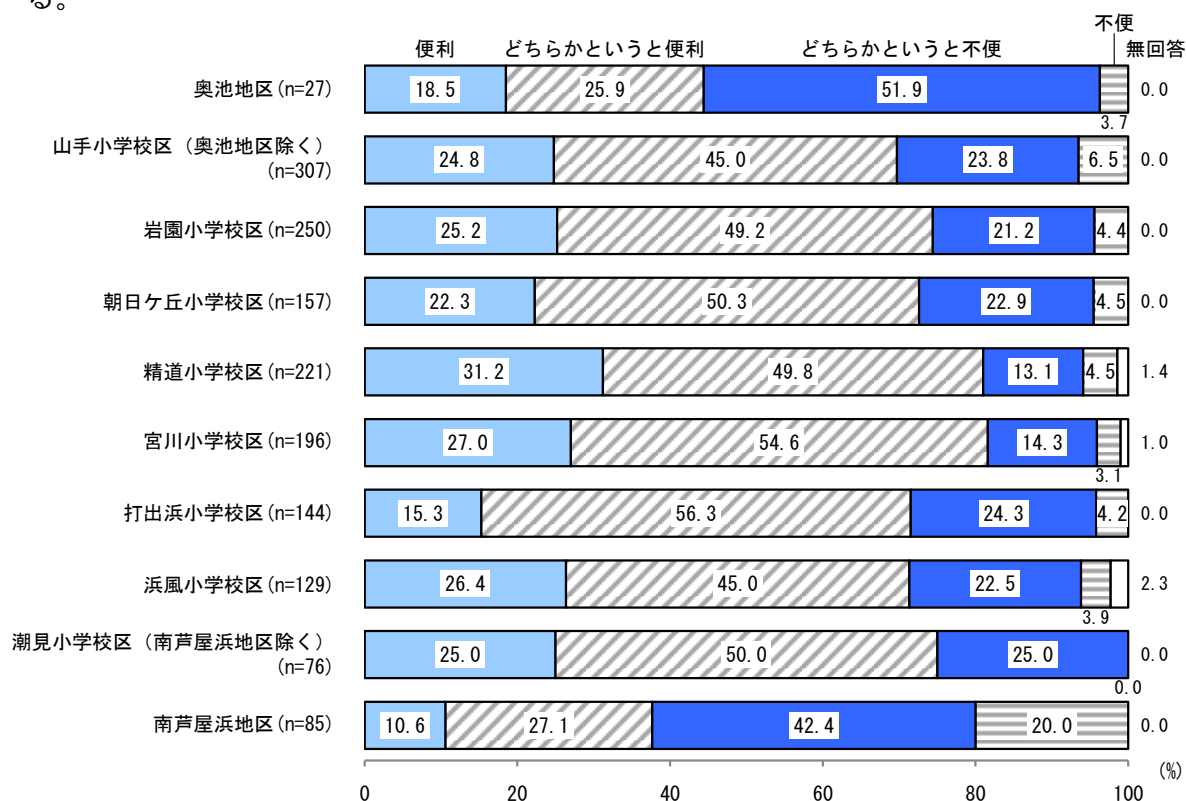
性別で大きな差はみられない。



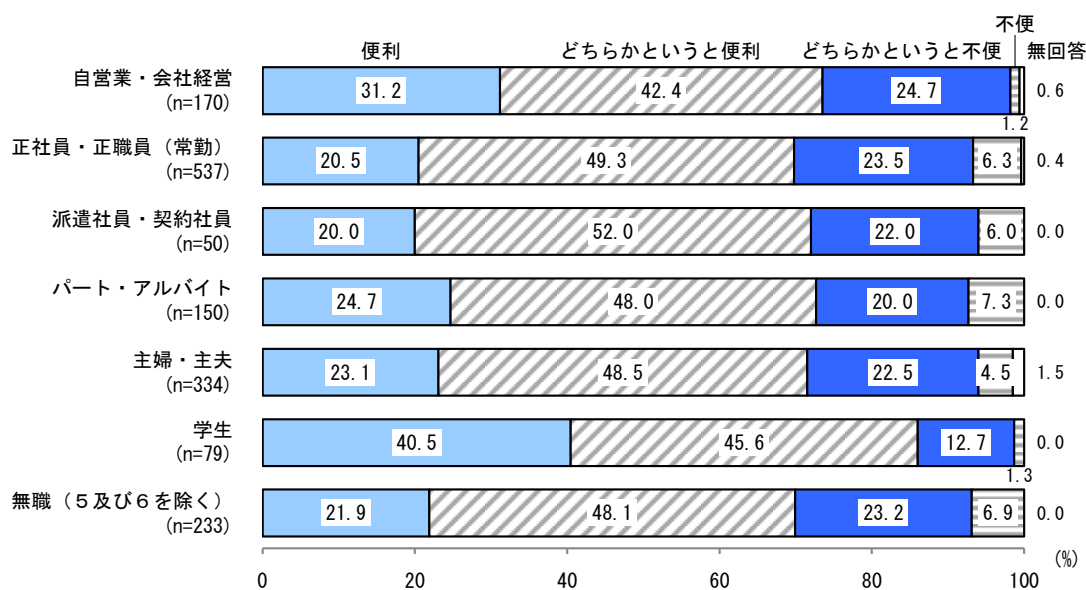
年代別では、市内の移動が『不便』（「どちらかという不便」+「不便」）だと思える割合は、40歳代と50歳代で3割を超えている。



地区別では、市内の移動が『便利』（「便利」＋「どちらかという便利」）だと思ふ割合は、精道小学校区と宮川小学校区で8割を超えている。一方で、『不便』（「どちらかという不便」＋「不便」）だと思ふ割合は、奥池地区と南芦屋浜地区で5割を超え、全体より25ポイント以上高くなっている。



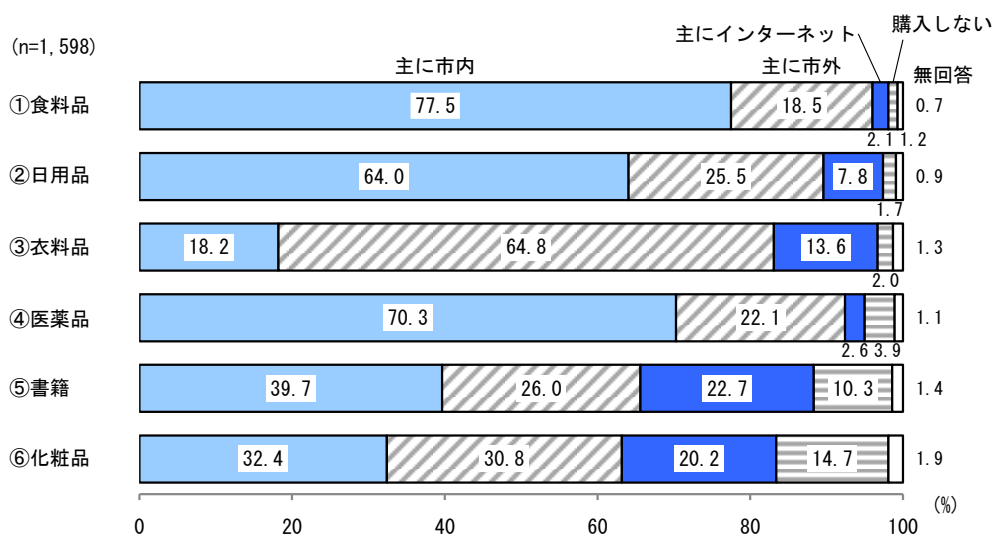
職業別では、自営業・会社経営、学生で「便利」が3割を超えており、特に学生では『便利』（「便利」＋「どちらかという便利」）が86.1%と全体より14.0ポイント高くなっている。



問16 生活用品の購入場所

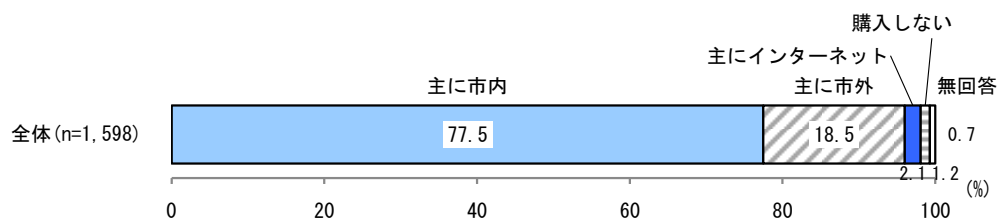
問16 あなたは、下記の用品について普段どこで購入されていますか。①～⑥の項目ごとに、主なものを1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

全体では、①食料品、②日用品、④医薬品は、「主に市内」が6割を超え最も高くなっている。③衣料品は、「主に市外」が64.8%で最も高く、「主に市内」が18.2%、「主にインターネット」が13.6%と続いている。⑤書籍は、「主に市内」が39.7%で最も高く、「主に市外」が26.0%、「主にインターネット」が22.7%と続いている。⑥化粧品は、「主に市内」が32.4%で最も高く、「主に市外」が30.8%、「主にインターネット」が20.2%と続いている。

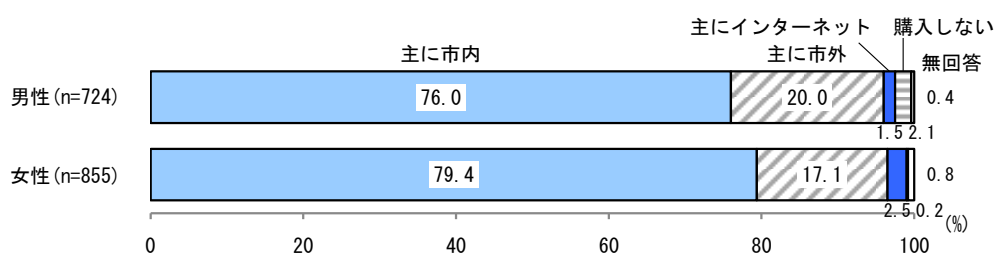


①食料品

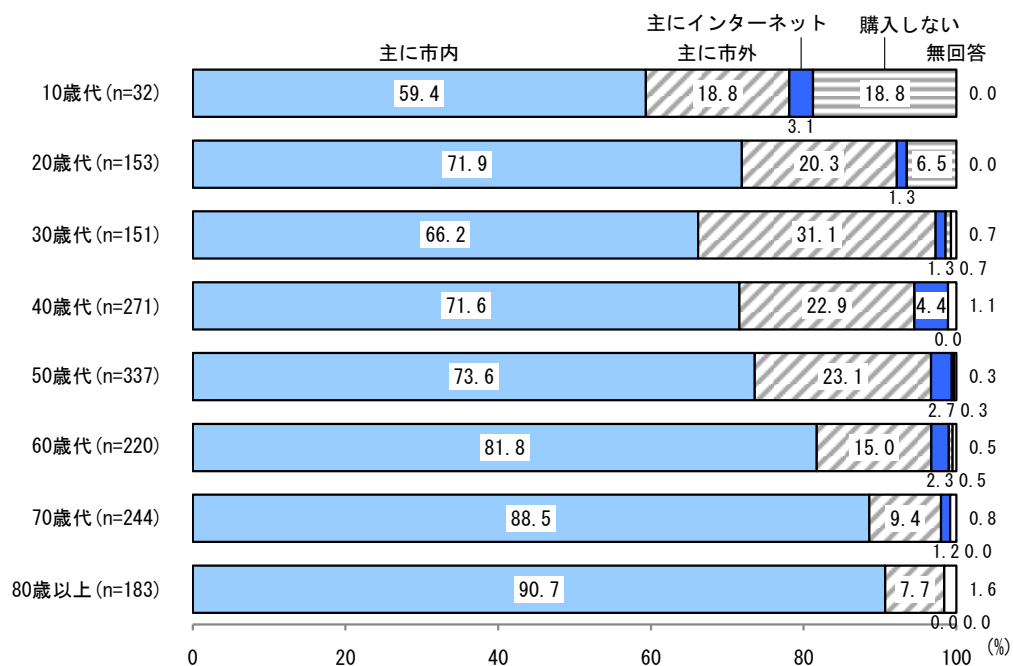
全体では、「主に市内」が77.5%で最も高く、「主に市外」が18.5%、「主にインターネット」が2.1%と続いている。



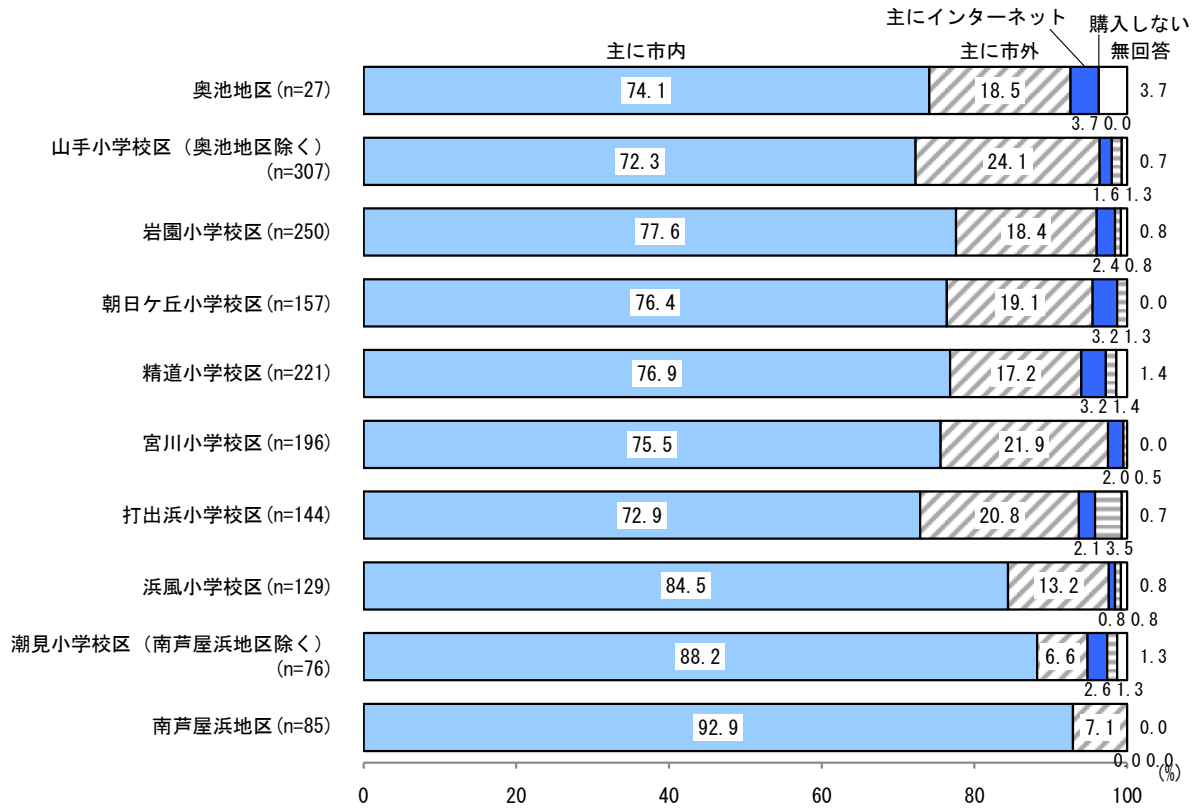
性別で大きな差はみられない。



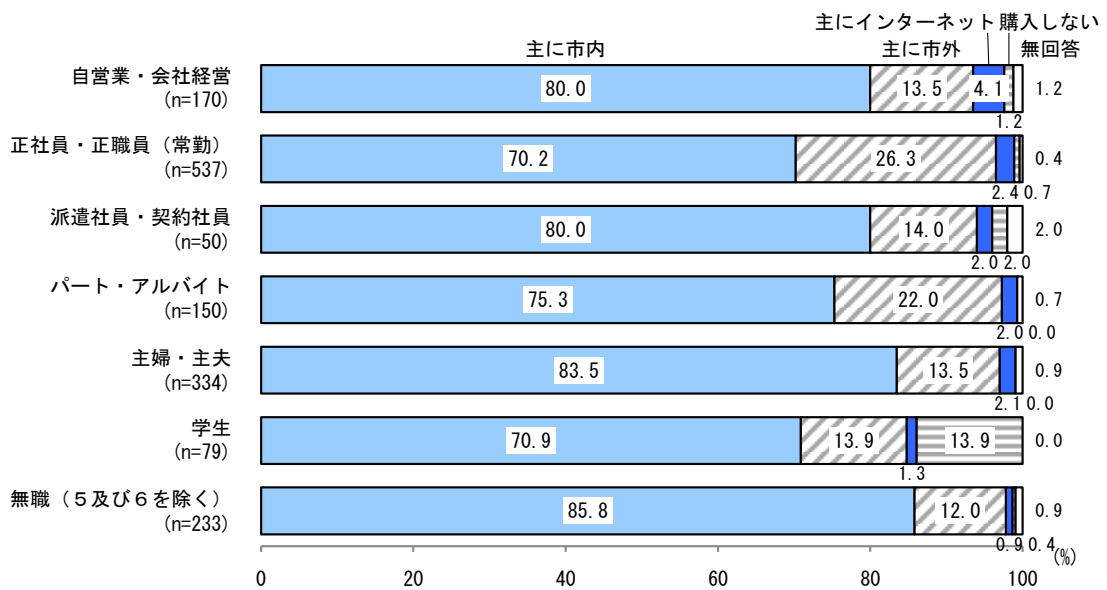
年代別では、概ね年代が高い程「主に市内」が高くなる傾向がみられる。



地区別では、浜風小学校区、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）、南芦屋浜地区で「主に市内」が8割を超え、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）と南芦屋浜地区で全体より10ポイント以上高くなっている。

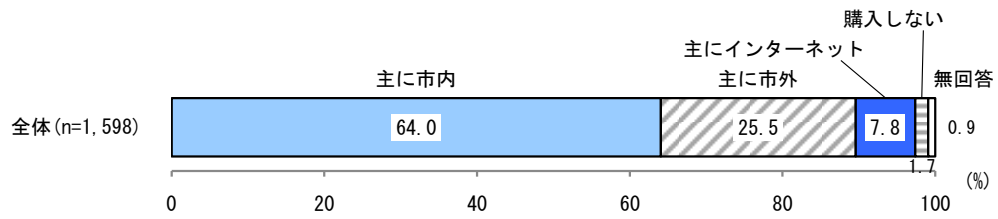


職業別では、主婦・主夫、無職（5及び6を除く）で「主に市内」が全体より5ポイント以上高くなっている一方で、正社員・正職員（常勤）で「主に市外」が26.3%と全体より7.8ポイント高くなっている。

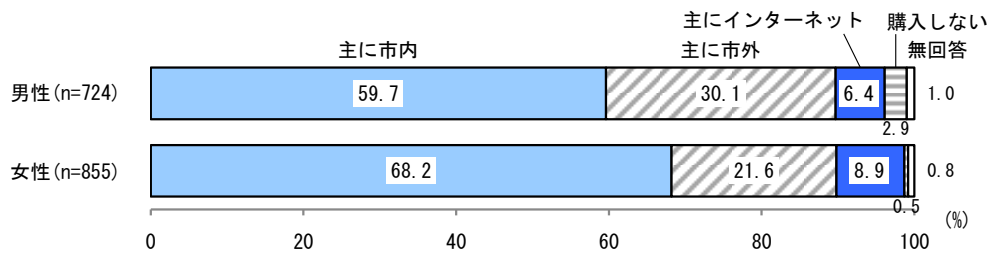


②日用品

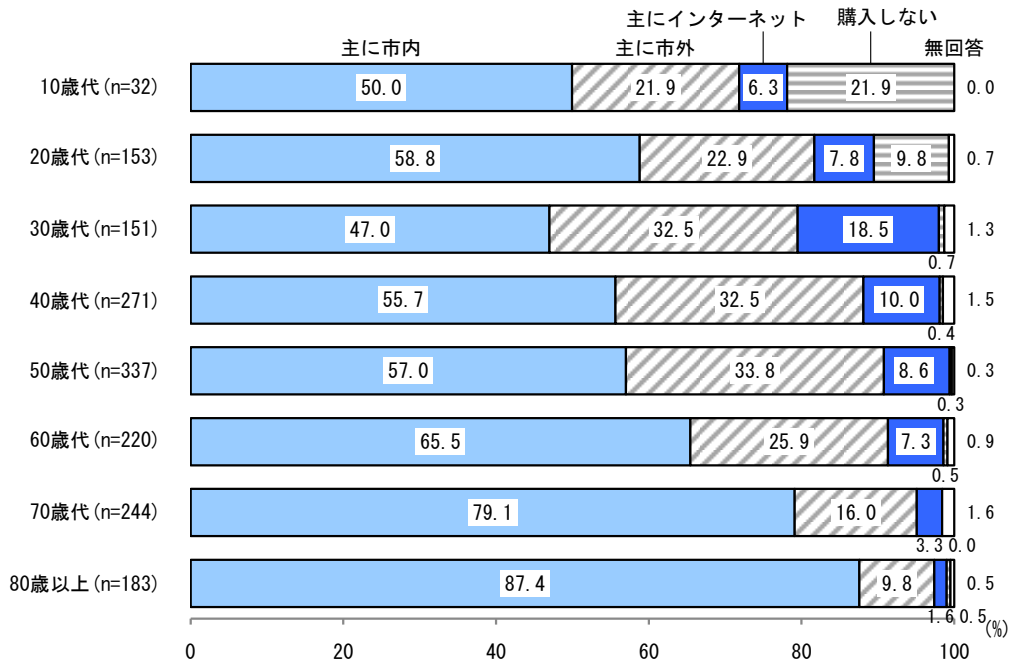
全体では、「主に市内」が64.0%で最も高く、「主に市外」が25.5%、「主にインターネット」が7.8%と続いている。



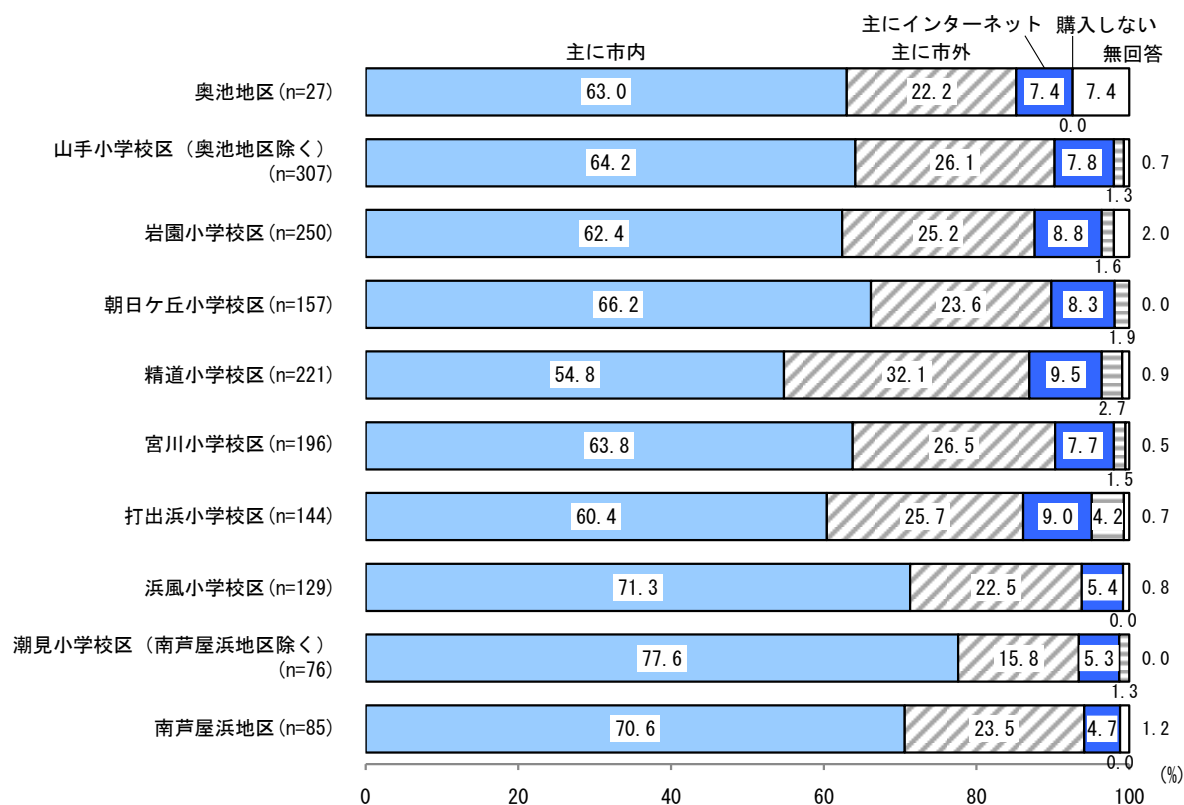
性別では、女性で「主に市内」が68.2%と男性より8.5ポイント高い一方で、男性で「主に市外」が30.1%と女性より8.5ポイント高くなっている。



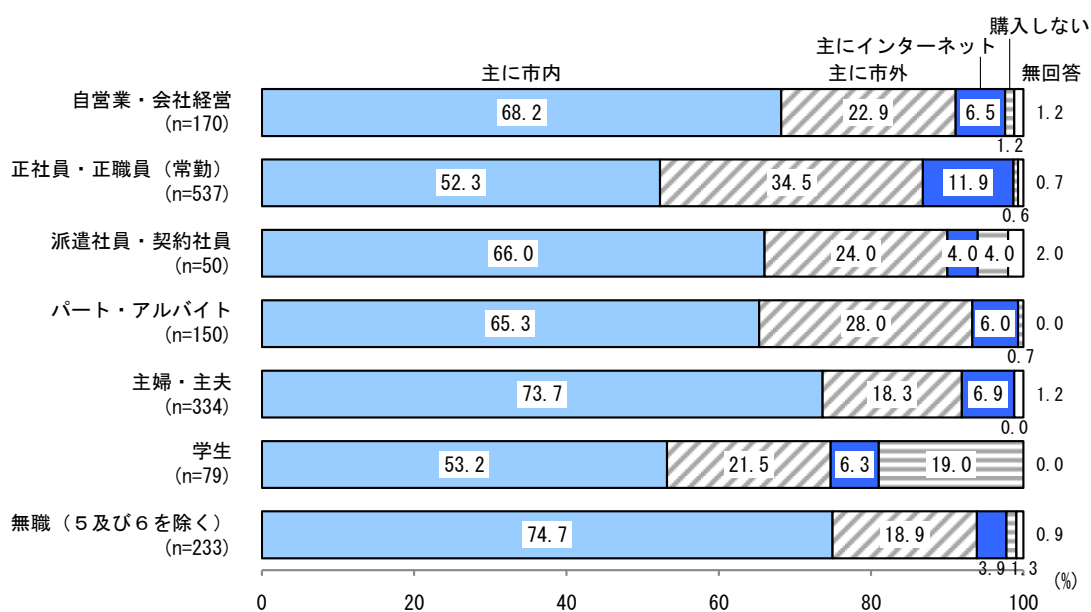
年代別では、30歳代から50歳代で「主に市外」が3割を超えている。



地区別では、浜風小学校区、潮見小学校区（南芦屋浜地区を除く）、南芦屋浜地区で「主に市内」が7割を超え、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で全体より13.6ポイント高くなっている。

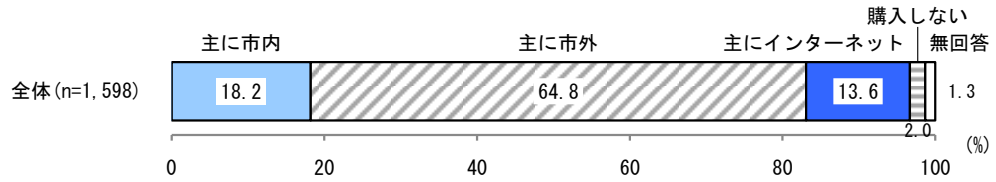


職業別では、主婦・主夫、無職（5及び6を除く）で「主に市内」が7割を超え全体より9ポイント以上高くなっている一方で、正社員・正職員（常勤）で「主に市外」が34.5%と全体より9.0ポイント高くなっている。

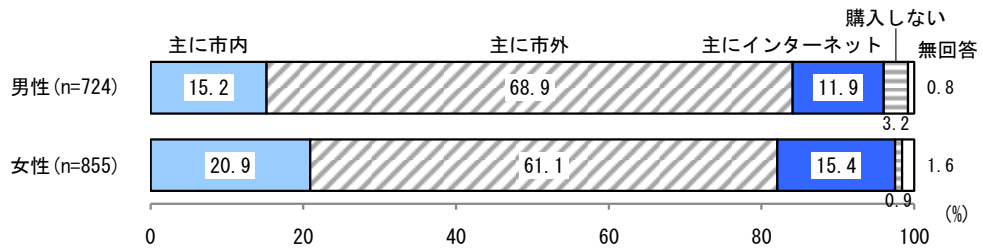


③衣料品

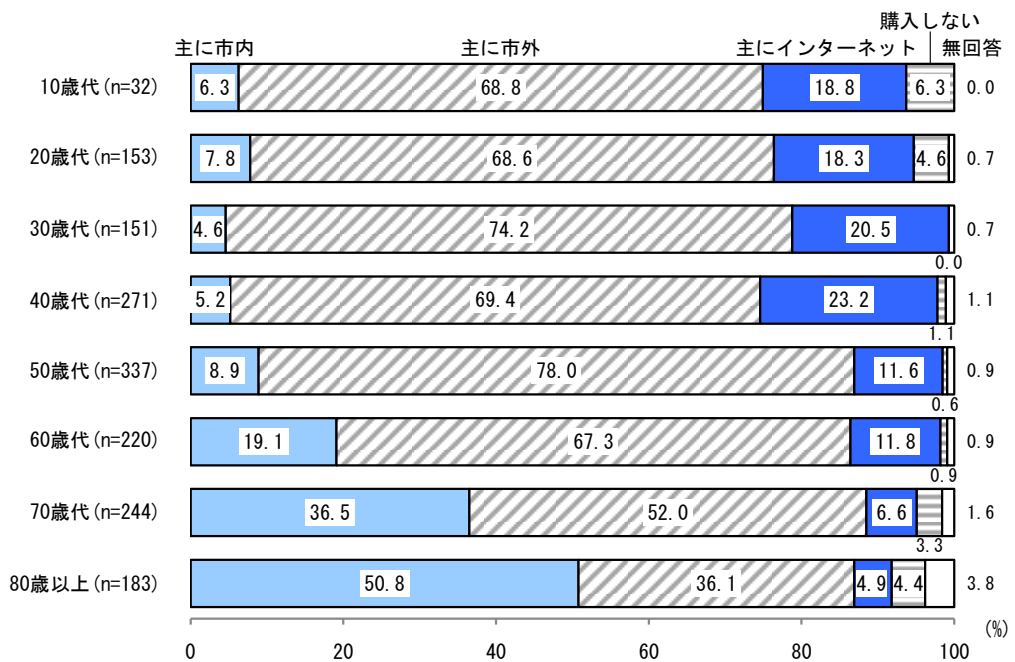
全体では、「主に市外」が64.8%で最も高く、「主に市内」が18.2%、「主にインターネット」が13.6%と続いている。



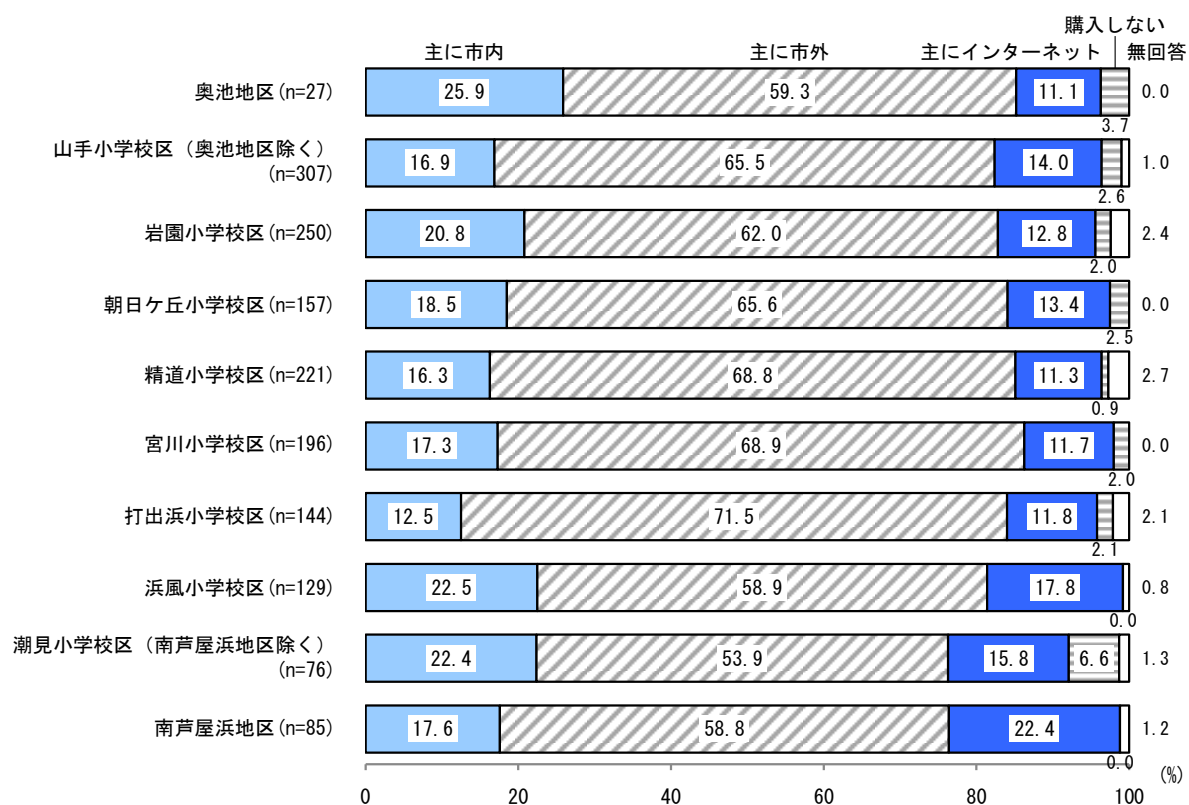
性別では、女性で「主に市内」が20.9%と男性より5.7ポイント高くなっている一方で、男性で「主に市外」が68.9%と女性より7.8ポイント高くなっている。



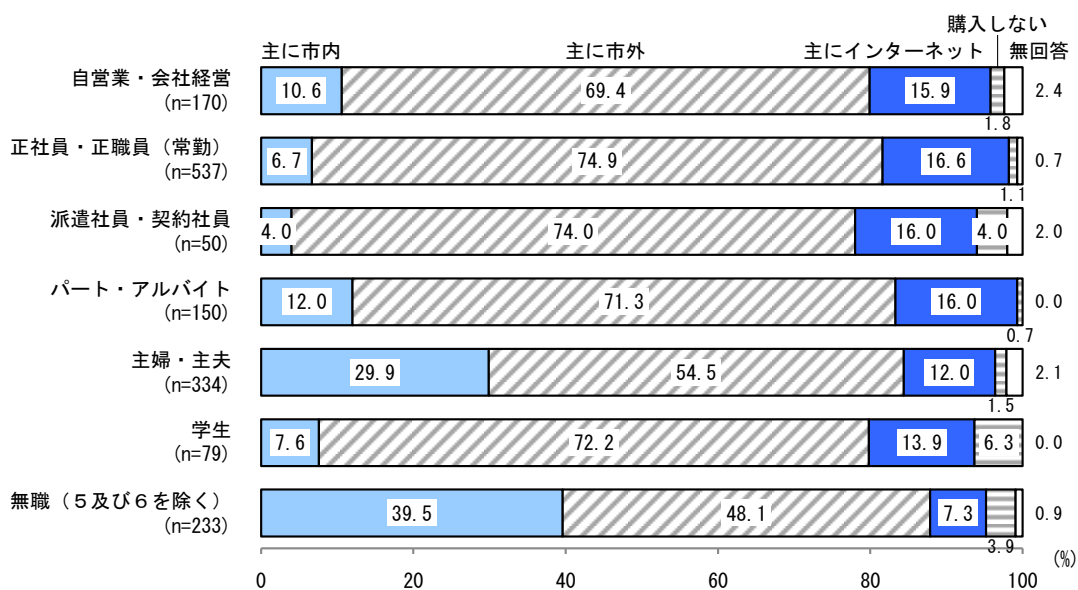
年代別では、30歳代と40歳代で「主にインターネット」が2割を超えている。70歳代では、「主に市内」が全体より18.3ポイント高く、80歳以上では、32.6ポイント高くなっている。



地区別では、南芦屋浜地区で「主にインターネット」が2割を超えている。

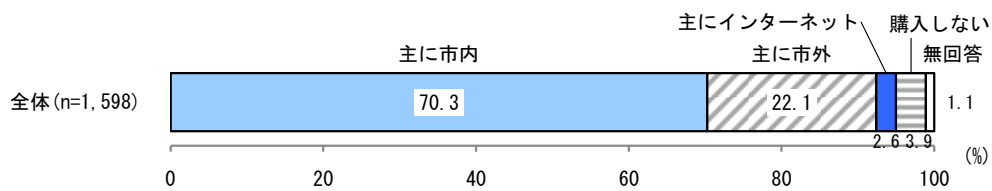


職業別では、主婦・主夫、無職（5及び6を除く）で「主に市内」が全体より10ポイント以上高くなっている一方で、正社員・正職員（常勤）で「主に市外」が74.9%と全体より10.1ポイント高くなっている。

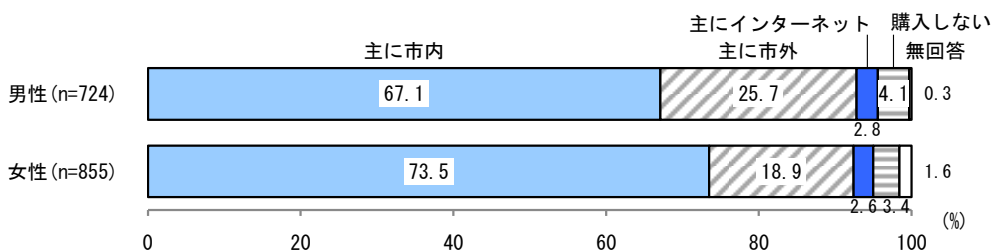


④医薬品

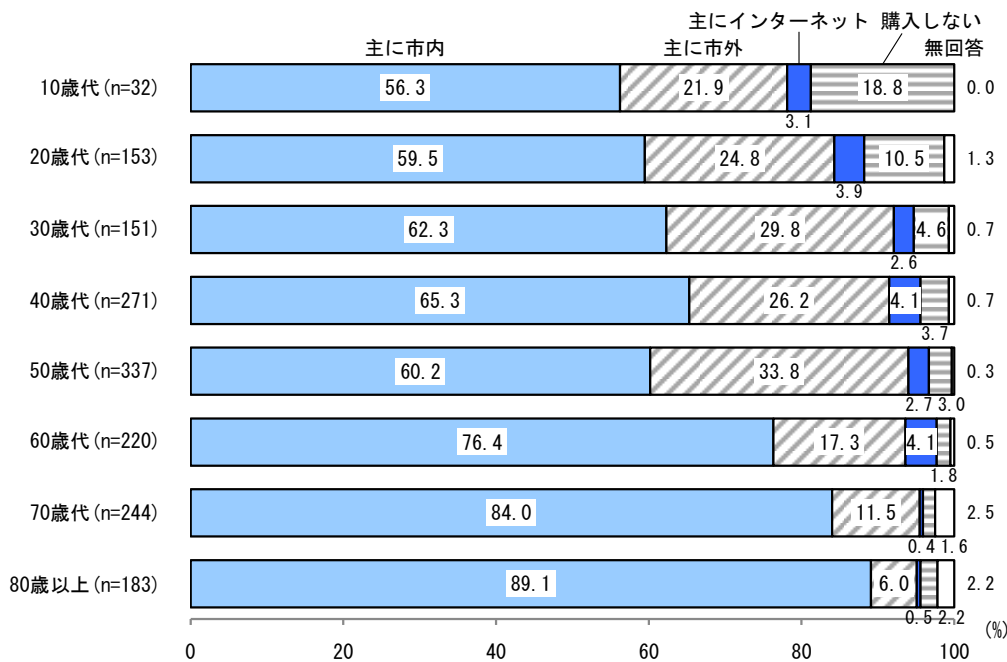
全体では、「主に市内」が70.3%で最も高く、「主に市外」は22.1%、「購入しない」が3.9%と続いている。



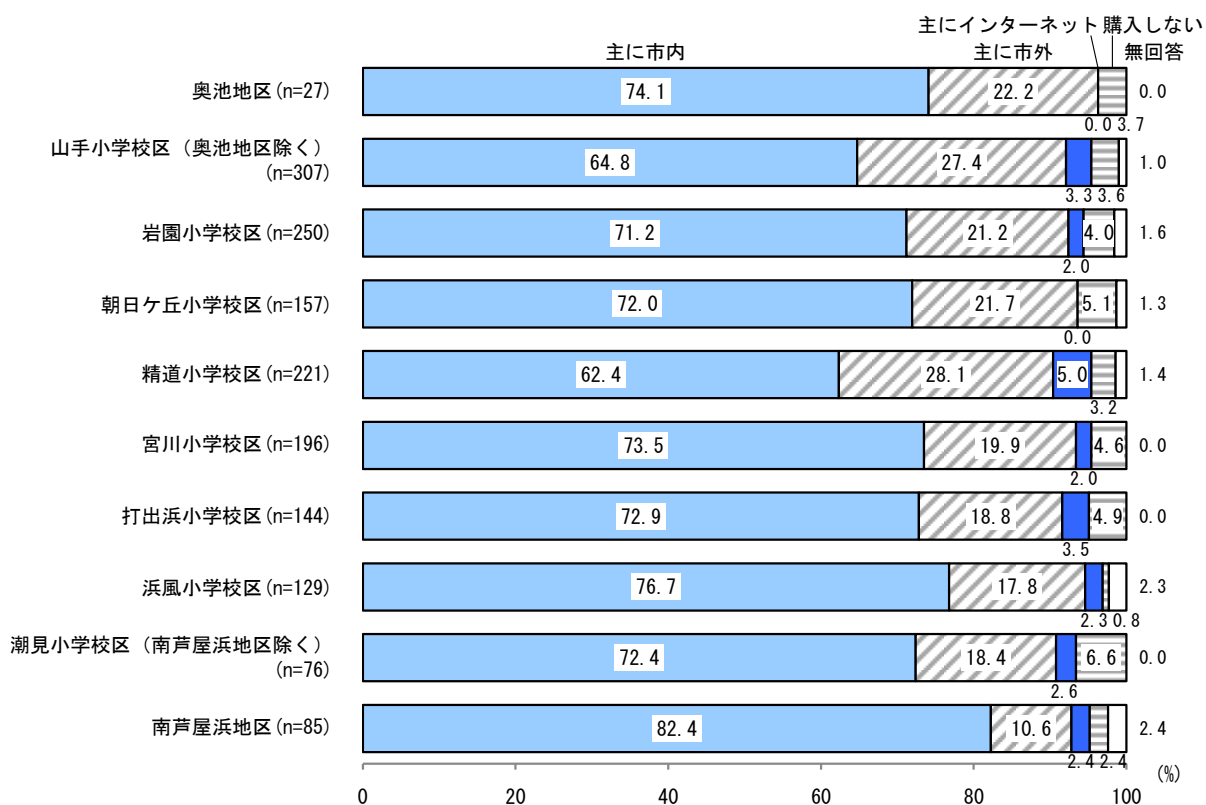
性別では、女性で「主に市内」が73.5%と男性より6.4ポイント高くなっている一方で、男性で「主に市外」が25.7%と女性より6.8ポイント高くなっている。



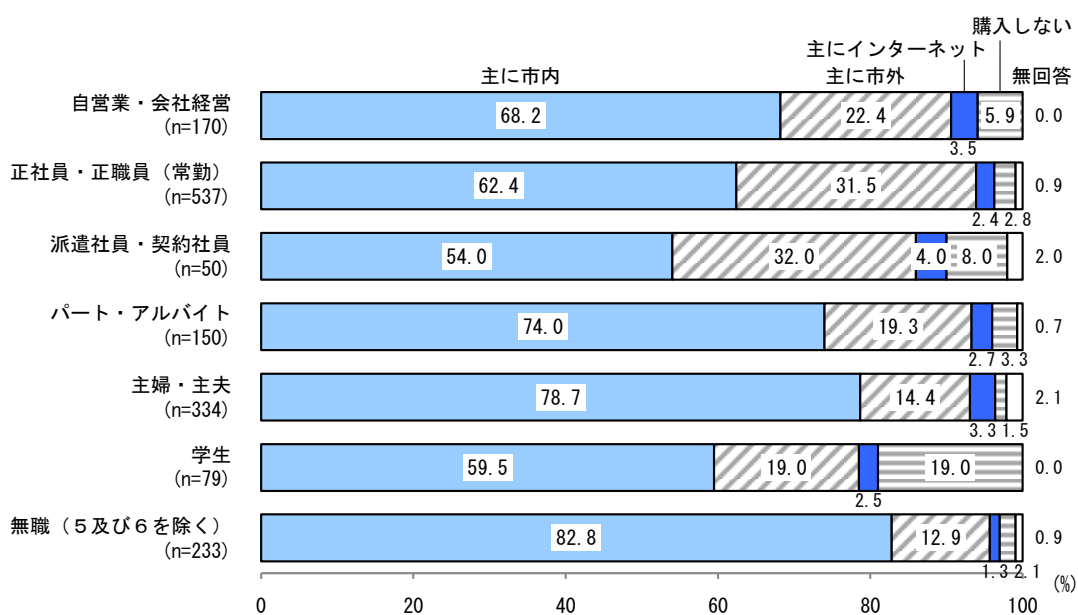
年代別では、概ね年代が高い程「主に市内」が高くなる傾向がみられる。



地区別では、南芦屋浜地区で「主に市内」が8割を超え、全体より12.1ポイント高くなっている。

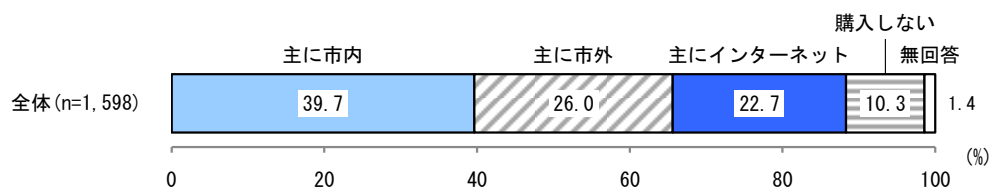


職業別では、主婦・主夫、無職（5及び6を除く）で「主に市内」が全体より8ポイント以上高くなっている一方で、正社員・正職員（常勤）、派遣社員・契約社員で「主に市外」が3割を超え、全体より9ポイント以上高くなっている。

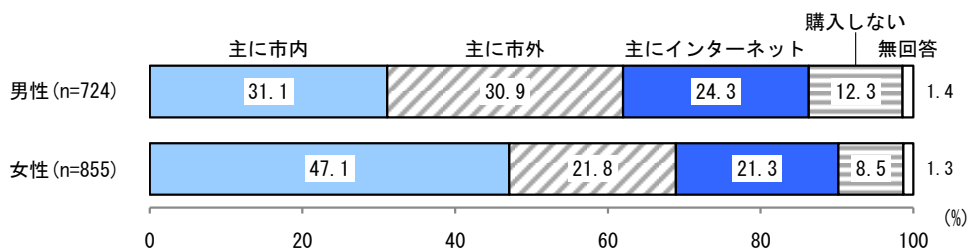


⑤書籍

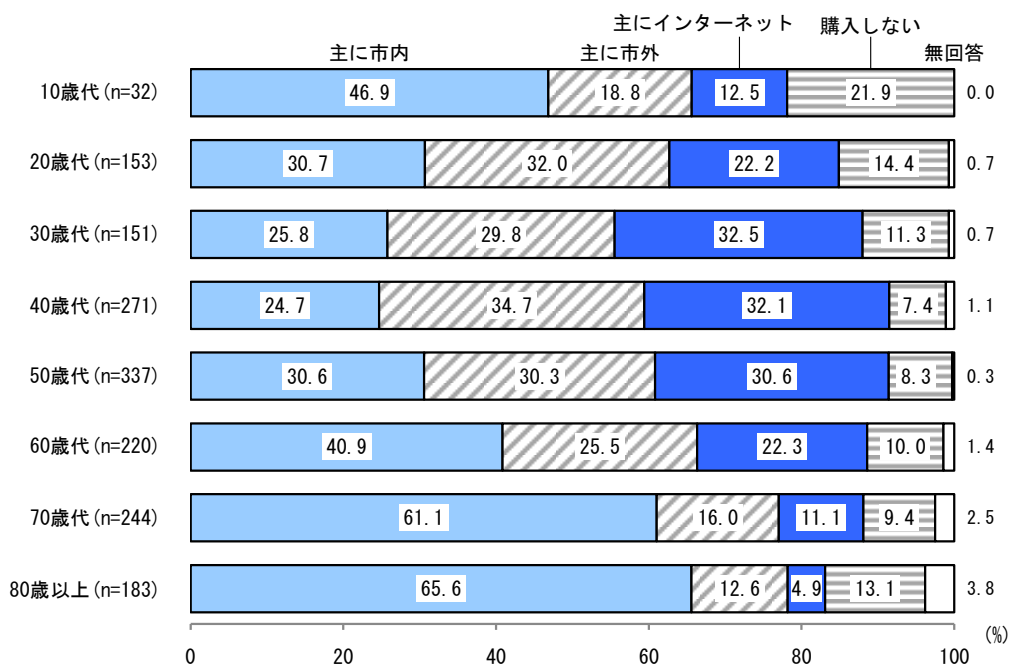
全体では、「主に市内」が39.7%で最も高く、「主に市外」が26.0%、「主にインターネット」が22.7%と続いている。



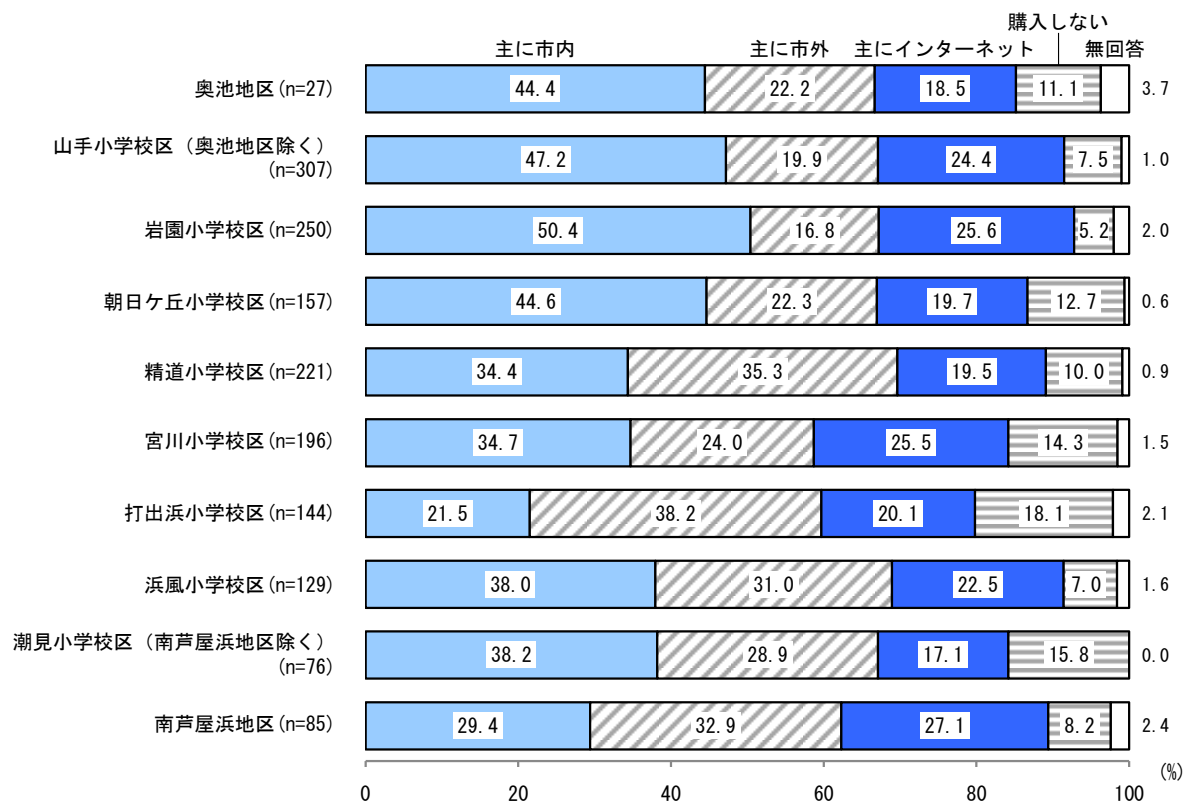
性別では、女性で「主に市内」が47.1%と男性より16.0ポイント高くなっている一方で、男性で「主に市外」が30.9%と女性より9.1ポイント高くなっている。



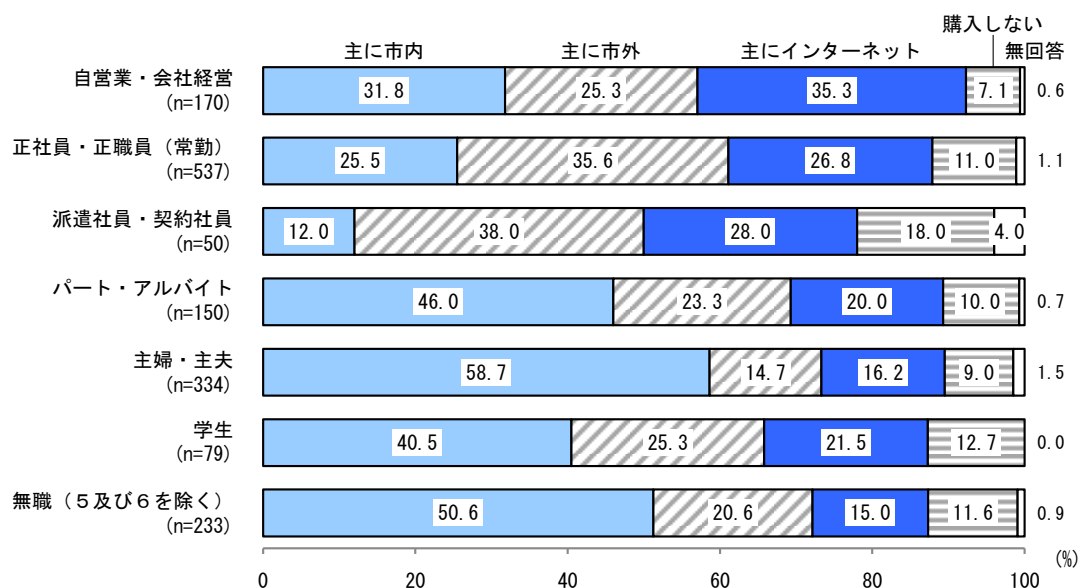
年代別では、30歳代から50歳代で「主にインターネット」が3割を超えている。



地区別では、精道小学校区、打出浜小学校区、浜風小学校区、南芦屋浜地区で「主に市外」が3割を超えており、打出浜小学校区では全体より12.2ポイント高くなっている。

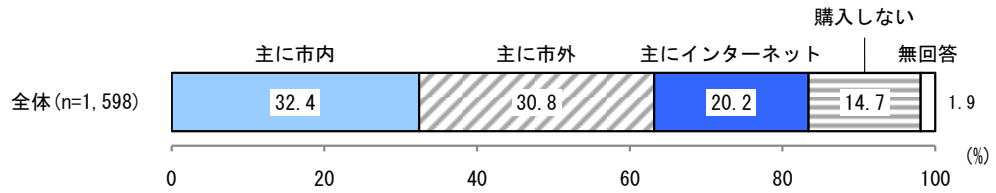


職業別では、主婦・主夫、無職（5及び6を除く）で「主に市内」が5割を超え全体より10ポイント以上高くなっている一方で、正社員・正職員（常勤）、派遣社員・契約社員で「主に市外」が3割を超え、全体より9ポイント以上高くなっている。また、自営業・会社経営で「主にインターネット」が35.3%と全体より12.6ポイント高くなっている。

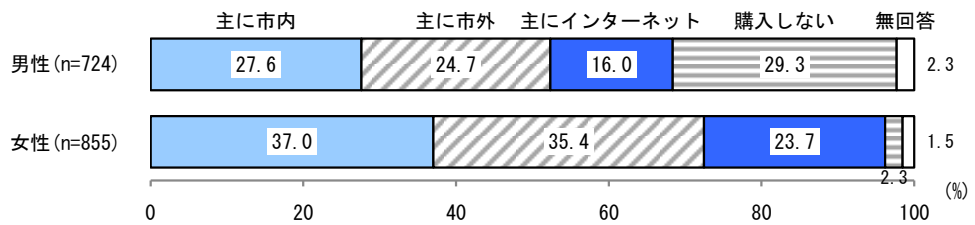


⑥化粧品

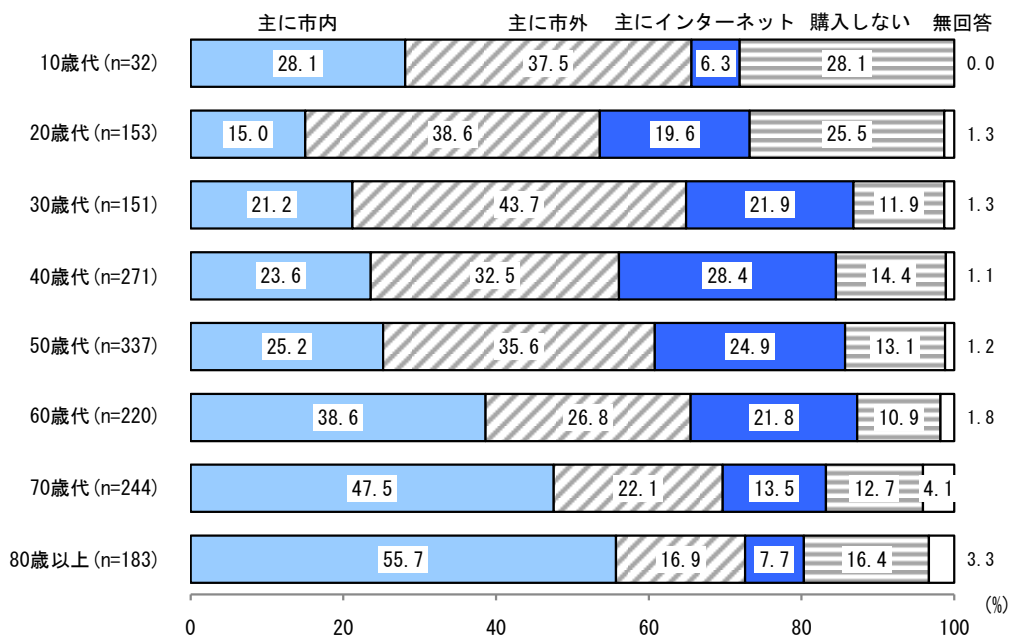
全体では、「主に市内」が32.4%で最も高く、「主に市外」が30.8%、「主にインターネット」が20.2%と続いている。



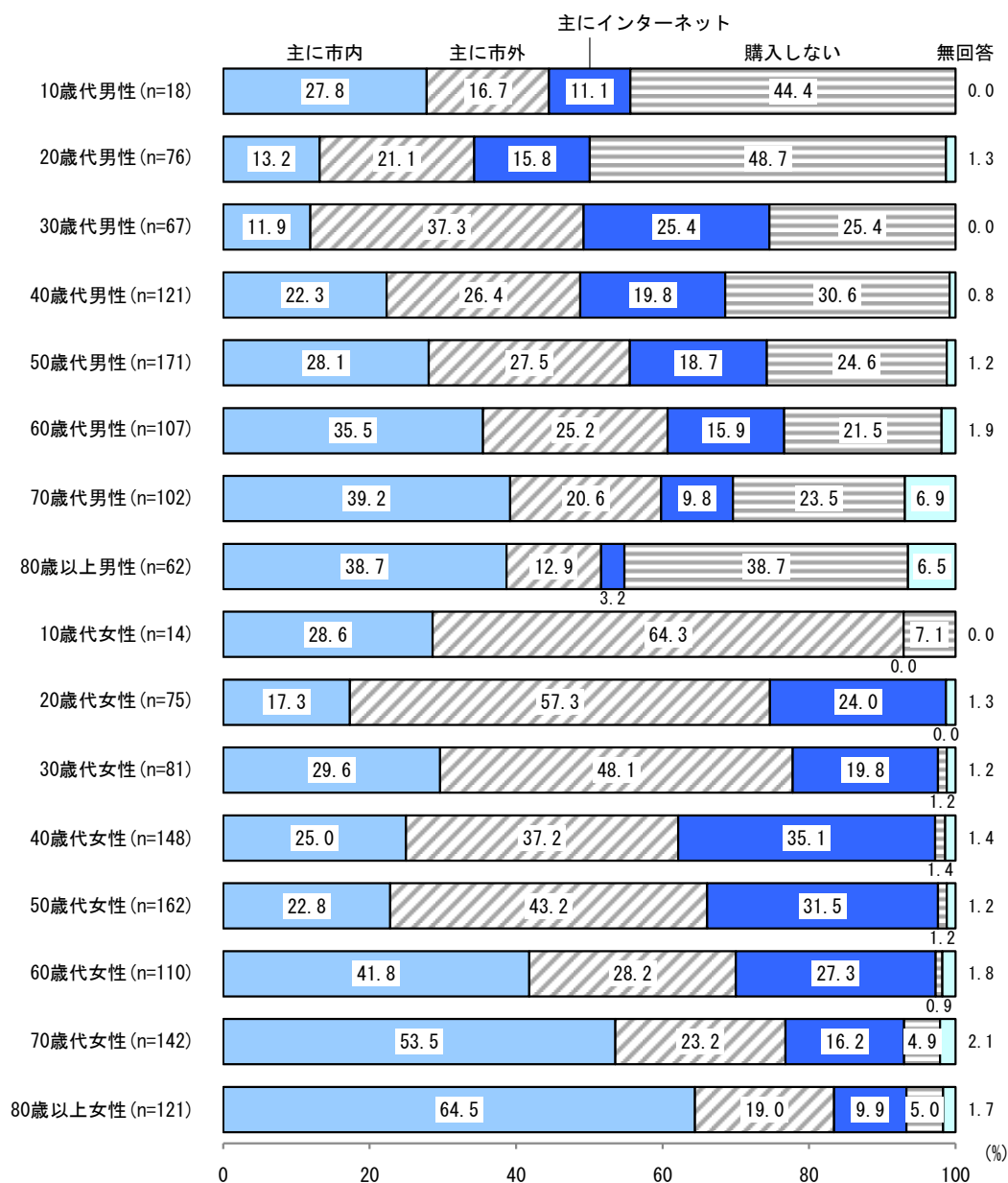
性別では、女性で「主に市内」が9.4ポイント、「主に市外」が10.7ポイント高くなっている一方で、男性で「購入しない」が29.3%と女性より27.0ポイント高くなっている。



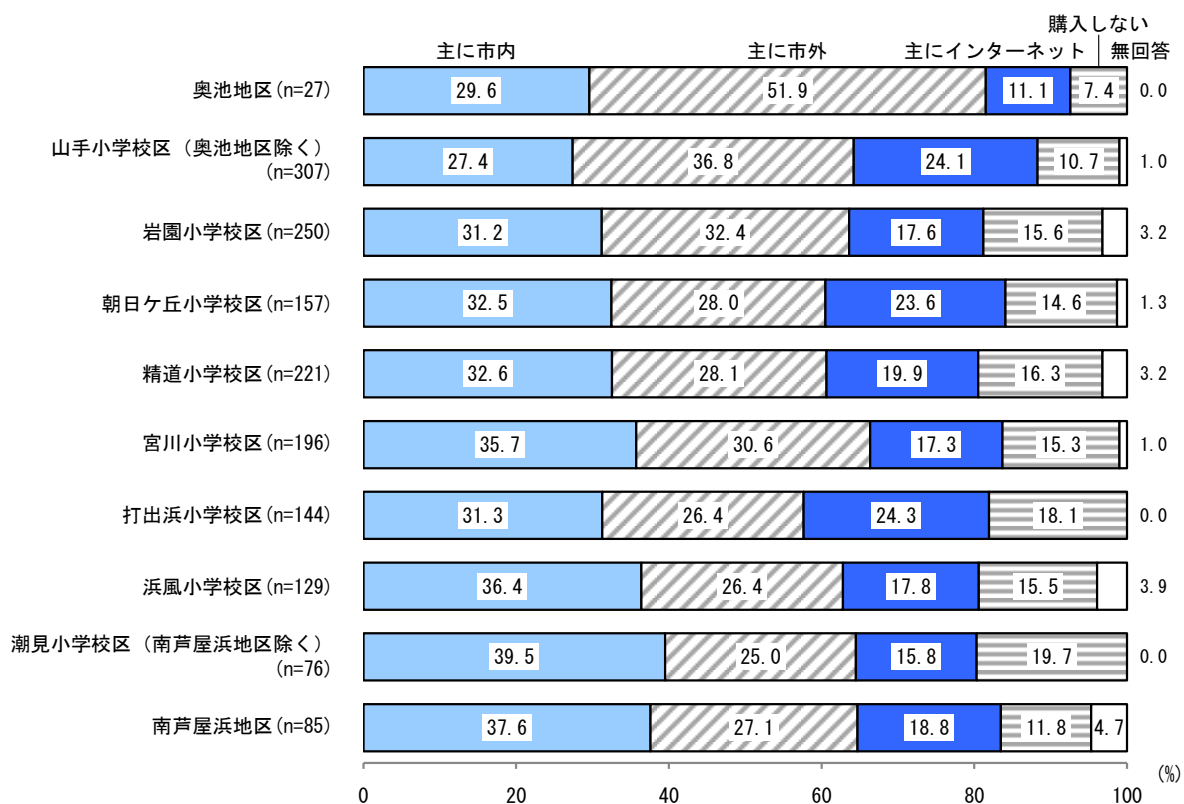
年代別では、概ね年代が高い程「主に市内」が高くなる傾向がみられる。また、「主にインターネット」は30歳代から60歳代で2割を超えている。



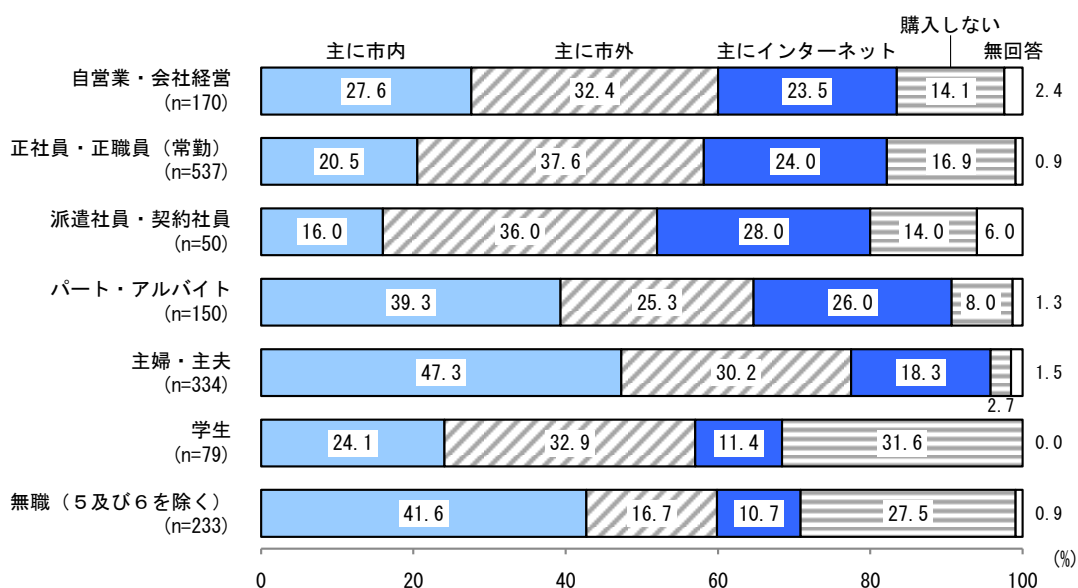
性年代別では、女性の10歳代から50歳代で「主に市外」が最も高く、特に10歳代と20歳代では5割を超えている。また、女性の40歳代と50歳代では「主にインターネット」が3割を超えている。女性の60歳以上では「主に市内」が4割を超え最も高くなっている。



地区別では、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で「主に市内」が39.5%と4割近くを占め最も高くなっている。また、奥池地区で「主に市外」が51.9%と5割を超え、全体より21.1ポイント高くなっている。



職業別では、主婦・主夫、無職（5及び6を除く）で「主に市内」が4割を超え、全体より9ポイント以上高くなっている一方で、派遣社員・契約社員では16.0%と2割未満となっている。



問17 理想と現実の夫婦役割分担

問17 あなたは、家事や育児など夫婦間での分担についてどのようにお考えですか。①～③の項目ごとに、<A 理想>と<B 現実>それぞれにあてはまるものを1つずつ選んで、数字に○をつけてください。

<A 理想><B 現実>の比較

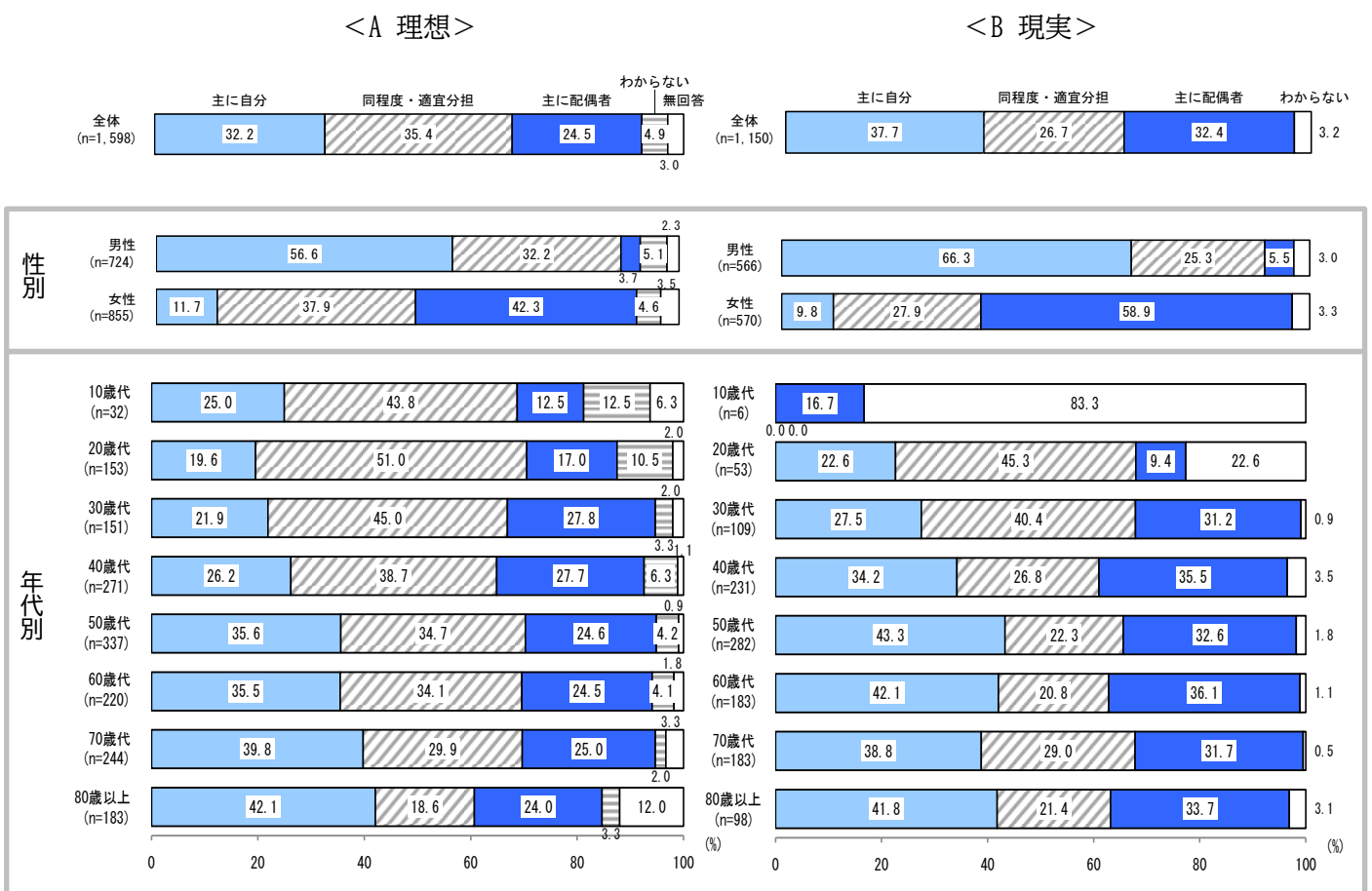
※<B 現実>は、①・②は配偶者のいる方（事実婚及びパートナーシップ含む）、③子どもがいる方のみが答える設問であるため、無回答を除いたサンプルのみ（①生活費の負担：1,150件、②家事：1,147件、③家事・子育て：899件）を集計しています。

①生活費の負担

全体では、理想で「同程度・適宜分担」が35.4%と最も高い一方で、現実では26.7%と8.7ポイント低くなっている。

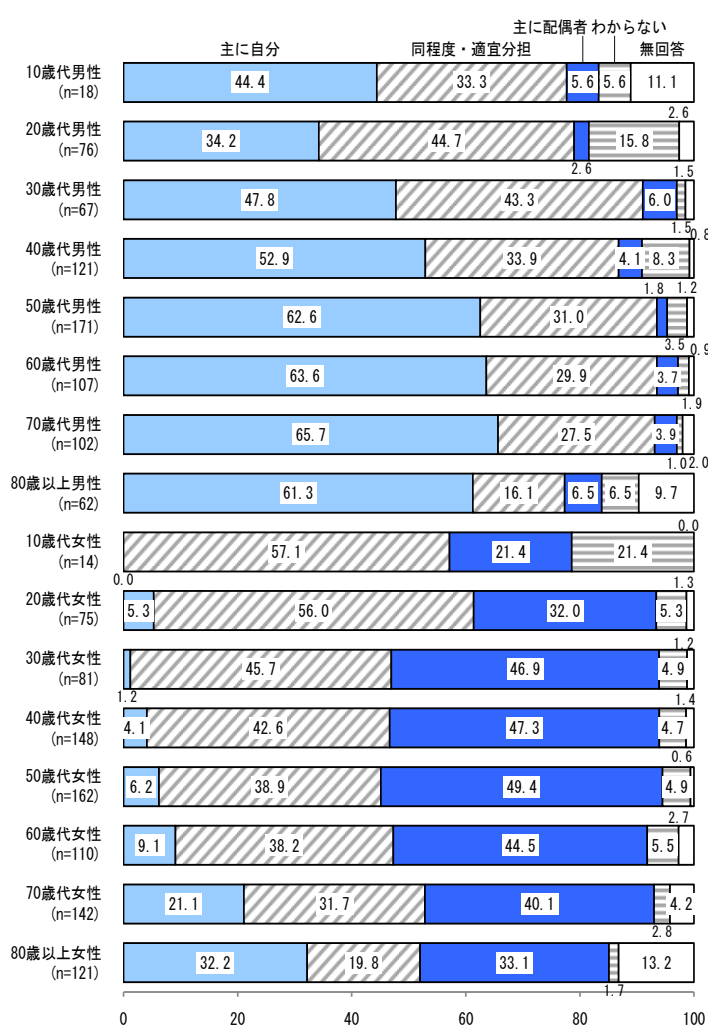
性別では、男性で理想と現実ともに「主に自分」が最も高く、女性で理想と現実ともに「主に配偶者」が最も高くなっている。

年代別では、20歳代と30歳代で理想と現実ともに「同程度・適宜分担」が最も高くなっている。

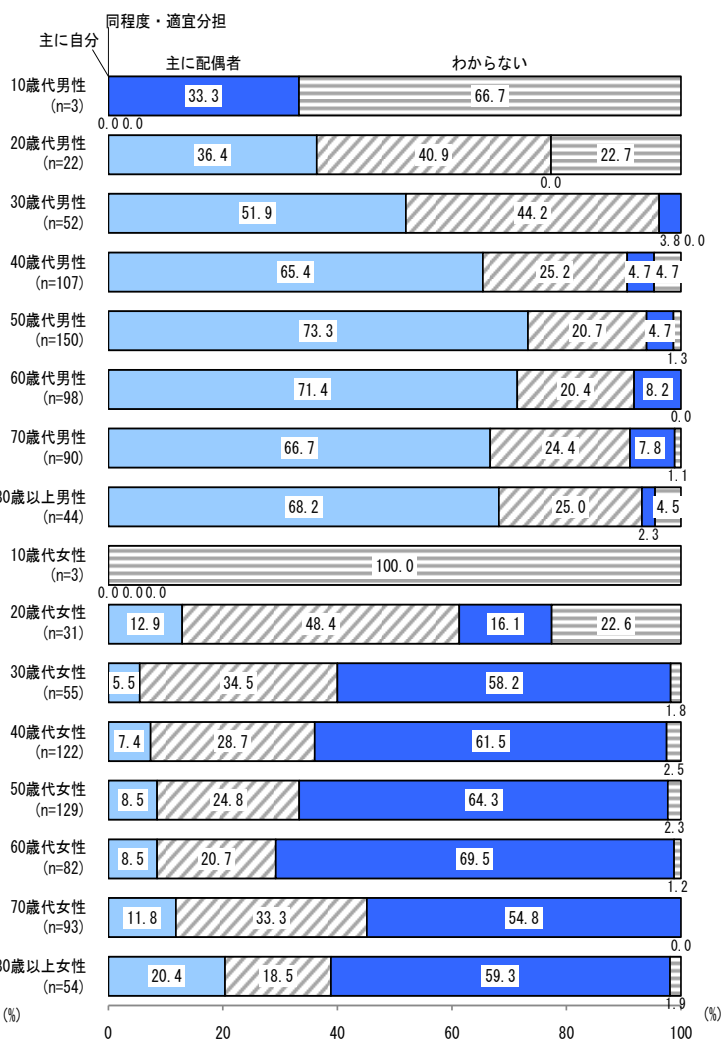


性年代別では、20歳代の男性と女性で理想と現実ともに「同程度・適宜分担」が最も高くなっている。30歳以上の男性では「主に自分」を理想とする割合が4割を超え最も高く、現実でも「主に自分」が5割を超え最も高くなっている。また30歳代から70歳代の女性では「主に配偶者」を理想とする割合が4割を超え最も高く、現実でも「主に配偶者」が5割を超え最も高くなっている。一方で、50歳代の男性、30歳代から60歳代の女性では、「同程度・適宜分担」を理想とする割合から現実の割合で10ポイント以上低くなっている。

<A 理想>



<B 現実>



理想の役割分担別では、男性において「同程度・適宜分担」を理想としている人のうち 59.0%が現実でも「同程度・適宜分担」と答えているものの、34.4%は現実では「主に自分」が負担していると回答している。女性においては「同程度・適宜分担」を理想としている人のうち 51.4%が現実でも「同程度・適宜分担」と答えているものの、38.1%は「主に配偶者」が負担していると回答している。

(%)

		現実				
		調査数	主に自分	同程度・ 適宜分担	主に配偶者	わからない
理想	市全体	566	66.3	25.3	5.5	3.0
	主に自分	340	①87.9	②7.4	③3.2	1.5
	同程度・適宜分担	183	②34.4	①59.0	③4.9	1.6
	主に配偶者	20	③20.0	②30.0	①50.0	-
	わからない	16	②31.3	③6.3	③6.3	①56.3

		現実				
		調査数	主に自分	同程度・ 適宜分担	主に配偶者	わからない
理想	市全体	570	9.8	27.9	58.9	3.3
	主に自分	32	①71.9	②18.8	③6.3	3.1
	同程度・適宜分担	218	③8.3	①51.4	②38.1	2.3
	主に配偶者	294	③3.7	②13.3	①81.6	1.4
	わからない	15	③13.3	-	②26.7	①60.0

②家事

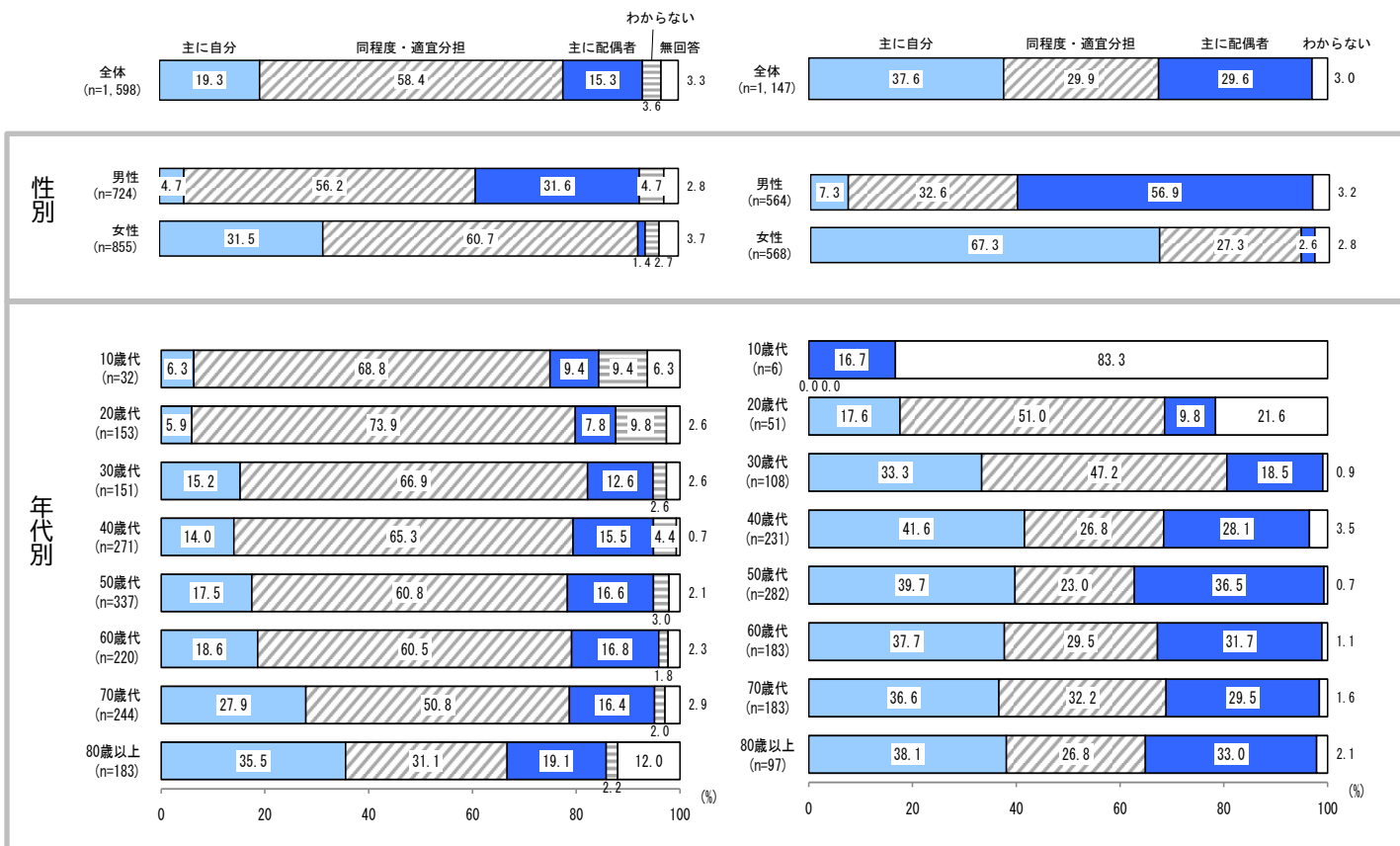
全体では、理想で「同程度・適宜分担」が58.4%と最も高い一方で、現実では29.9%と28.5ポイント低くなっている。

性別では、男女ともに「同程度・適宜分担」を理想とする割合が最も高い一方で、現実では男性で「主に配偶者」、女性で「主に自分」が最も高くなっている。

年代別では、10歳代から70歳代で「同程度・適宜分担」を理想とする割合が最も高くなっているものの、年代が高い程、割合が低くなる傾向がみられる。現実では、20歳代と30歳代で「同程度・適宜分担」が最も高いものの、その他の年代では4割未満となっている。

<A 理想>

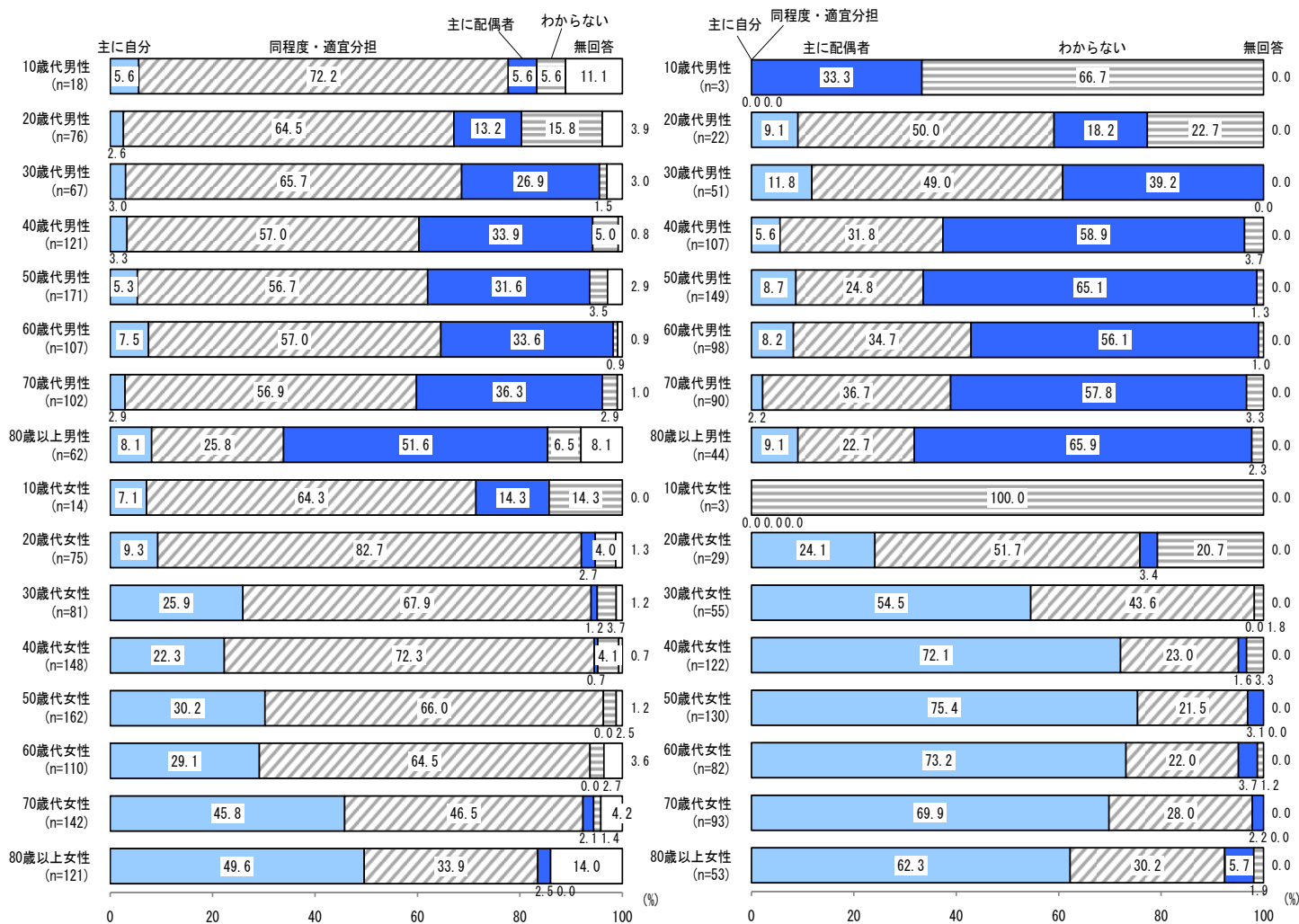
<B 現実>



性年代別では、男性で概ね年代が高い程「主に配偶者」を理想とする割合が高くなる傾向がみられ、女性では概ね年代が高い程「主に自分」を理想とする割合が高くなる傾向がみられる。一方で、男女ともに10歳代から70歳代で「同程度・適宜分担」を理想とする割合が最も高くなっている。現実では男性の40歳以上で「主に配偶者」が5割を超え最も高く、女性では30歳以上で「主に自分」が5割を超え最も高くなっている。特に女性の40歳代から60歳代では、「同程度・適宜分担」を理想とする割合から現実の割合で40ポイント以上低くなっている。

<A 理想>

<B 現実>



理想の役割分担別では、男性において「同程度・適宜分担」を理想としている人のうち 50.8%が現実でも「同程度・適宜分担」と答えているものの、42.0%は現実では「主に配偶者」が負担していると回答している。一方、女性において「同程度・適宜分担」を理想としている人のうち 62.1%が「主に自分」が負担していると回答している。

(%)

		現実				
		調査数	主に自分	同程度・ 適宜分担	主に配偶者	わからない
理想	市全体	564	7.3	32.6	56.9	3.2
	主に自分	17	①94.1	-	-	②5.9
	同程度・適宜分担	319	③5.3	①50.8	②42.0	1.9
	主に配偶者	204	③2.5	②8.3	①87.7	1.5
	わからない	17	③5.9	③5.9	②41.2	①47.1

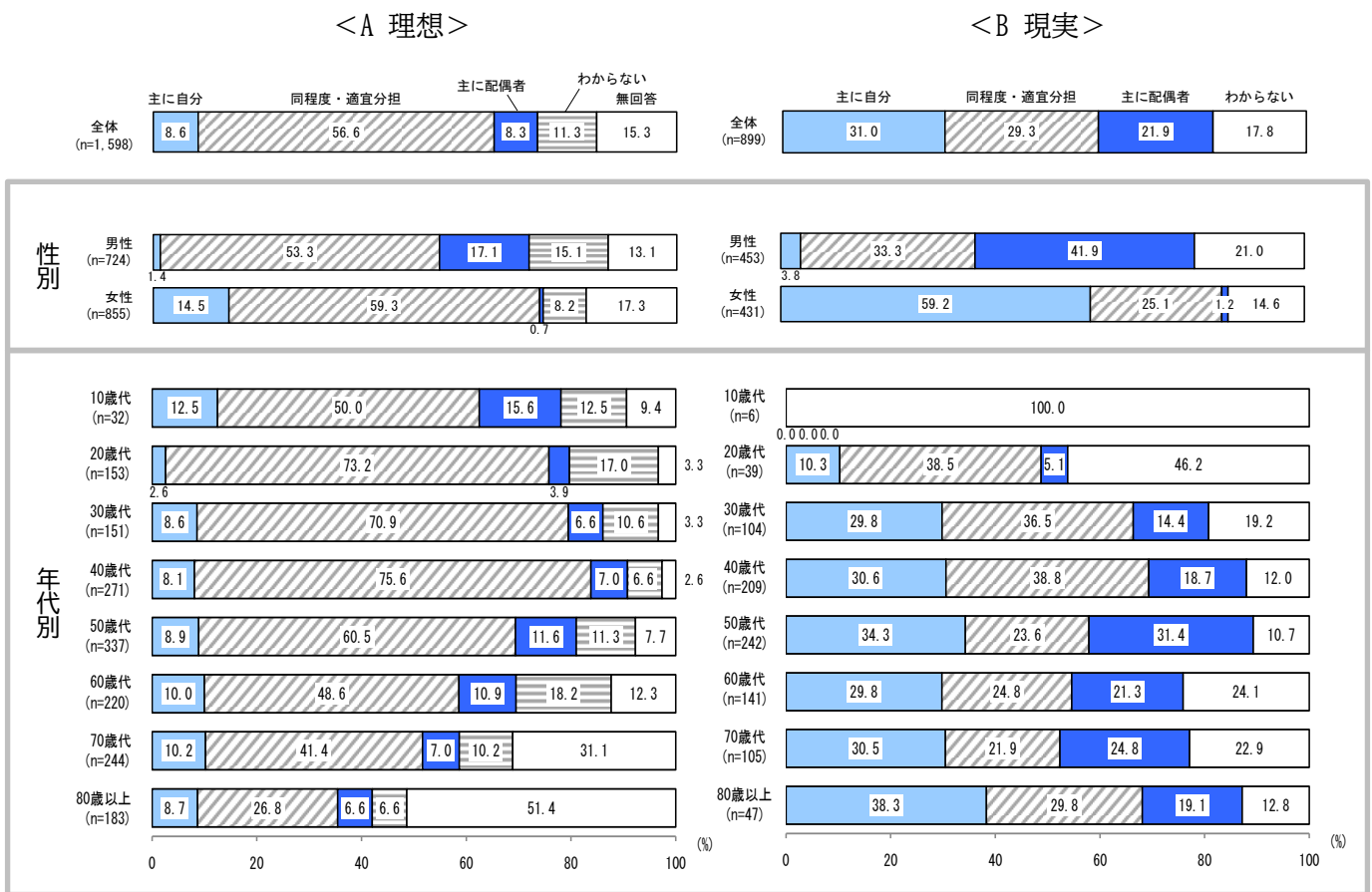
		現実				
		調査数	主に自分	同程度・ 適宜分担	主に配偶者	わからない
理想	市全体	568	67.3	27.3	2.6	2.8
	主に自分	158	①84.8	②12.0	③3.2	-
	同程度・適宜分担	380	①62.1	②34.7	1.3	③1.8
	主に配偶者	7	②14.3	②14.3	①57.1	②14.3
	わからない	14	②42.9	-	-	①57.1

③育児・子育て

全体では、理想で「同程度・適宜分担」が56.6%と最も高い一方で、現実では29.3%と27.3ポイント低くなっている。

性別では、男女ともに「同程度・適宜分担」を理想とする割合が最も高くなっている一方で、現実では男性で「主に配偶者」、女性で「主に自分」が最も高くなっている。

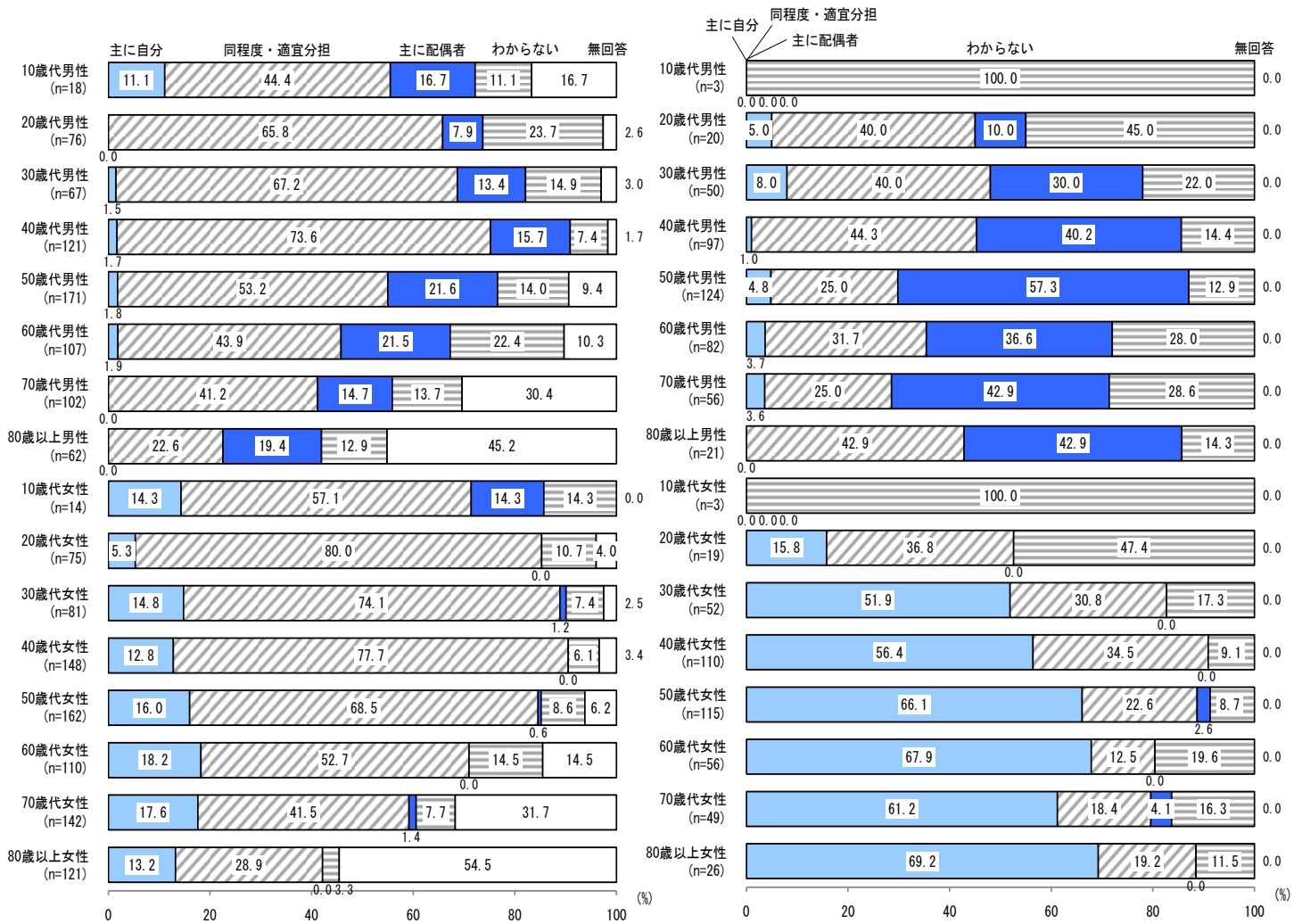
年代別では、全ての年代で「同程度・適宜分担」を理想とする割合が最も高くなっている（無回答を除く）。現実では20歳代から40歳代で「同程度・適宜分担」、50歳以上で「主に自分」が最も高くなっている。



性年代別では、男女ともに全ての年代で「同程度・適宜分担」が最も高くなっているものの、40歳代を境に減少する傾向がみられる。現実では男性の50歳以上で「主に配偶者」、女性の30歳以上で「主に自分」が最も高くなっている。特に女性の20歳代から60歳代では、「同程度・適宜分担」を理想とする割合から現実の割合で40ポイント以上低くなっている。

<A 理想>

<B 現実>



理想の役割分担別では、男性において「同程度・適宜分担」を理想としている人のうち51.1%が現実でも「同程度・適宜分担」と答えているものの、37.7%は現実では「主に配偶者」が負担していると回答している。一方、女性において「同程度・適宜分担」を理想としている人のうち59.6%が「主に自分」が負担していると回答している。

(%)

		現実				
		調査数	主に自分	同程度・ 適宜分担	主に配偶者	わからない
理想	男性					
	市全体	453	3.8	33.3	41.9	21.0
	主に自分	6	①83.3	②16.7	-	-
	同程度・適宜分担	268	3.0	①51.1	②37.7	③8.2
	主に配偶者	98	2.0	②9.2	①85.7	③3.1
わからない	73	-	③2.7	②4.1	①93.2	

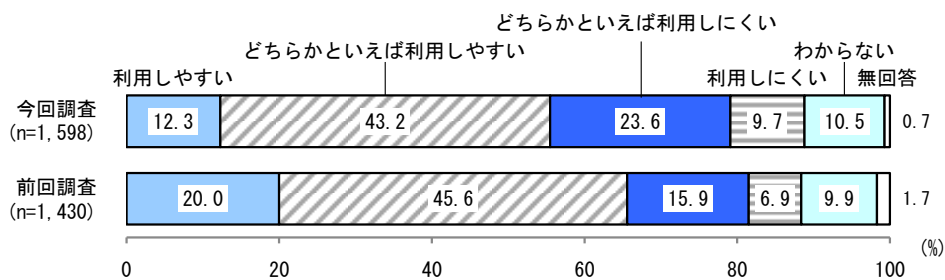
		現実				
		調査数	主に自分	同程度・ 適宜分担	主に配偶者	わからない
理想	女性					
	市全体	431	59.2	25.1	1.2	14.6
	主に自分	77	①92.2	②5.2	③2.6	-
	同程度・適宜分担	302	①59.6	②32.8	0.3	③7.3
	主に配偶者	4	-	-	①50.0	①50.0
わからない	44	②6.8	③4.5	-	①88.6	

問18 市役所の手続の利便性

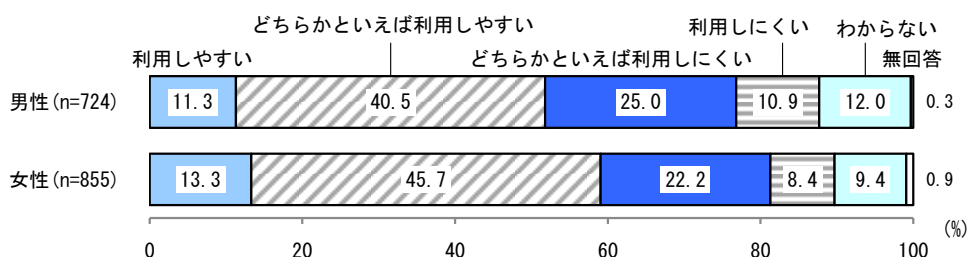
問18 あなたは、市役所への届け出や書類申請などの手続についてどのように感じていますか。
次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「どちらかといえば利用しやすい」が43.2%で最も高く、「どちらかといえば利用しにくい」が23.6%、「利用しやすい」が12.3%と続いている。

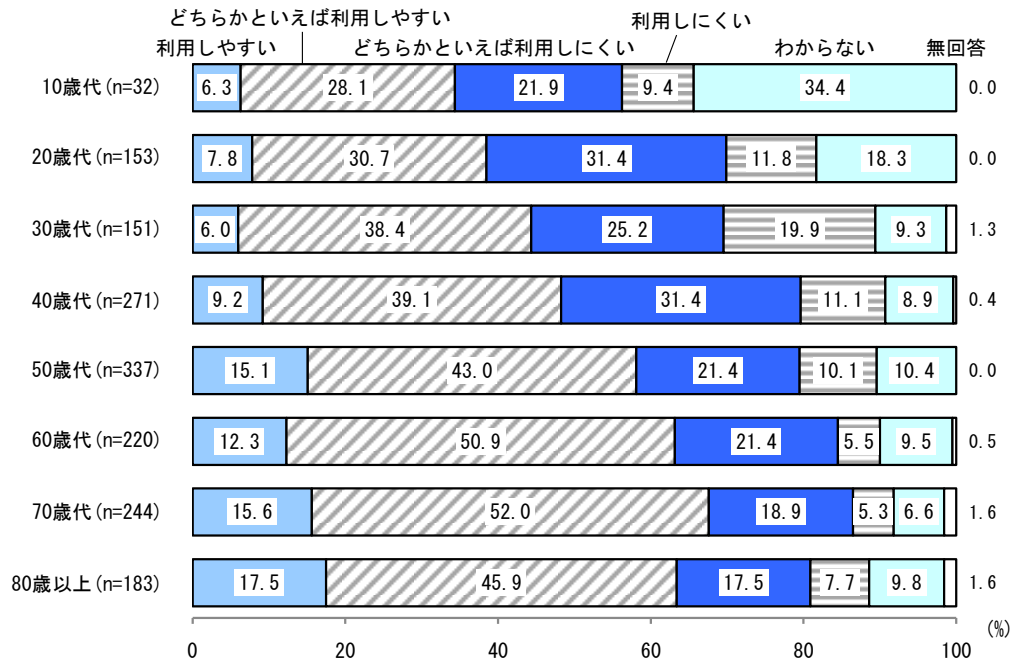
前回調査と比較すると、『利用しにくい』（「どちらかといえば利用しにくい」+「利用しにくい」）と思う割合が10.5ポイント増加している。



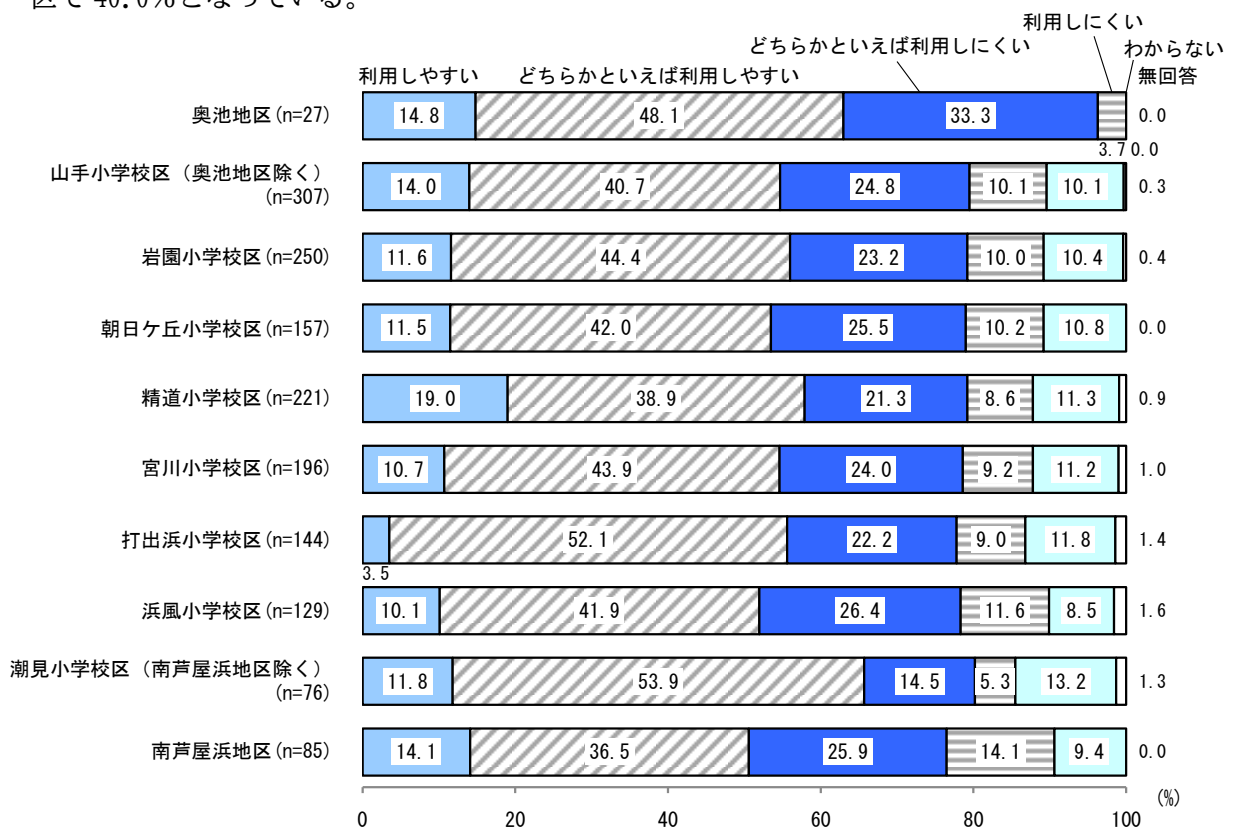
性別では、女性で『利用しやすい』（「利用しやすい」+「どちらかといえば利用しやすい」）と思う割合が59.0%と男性より7.2ポイント高くなっている。



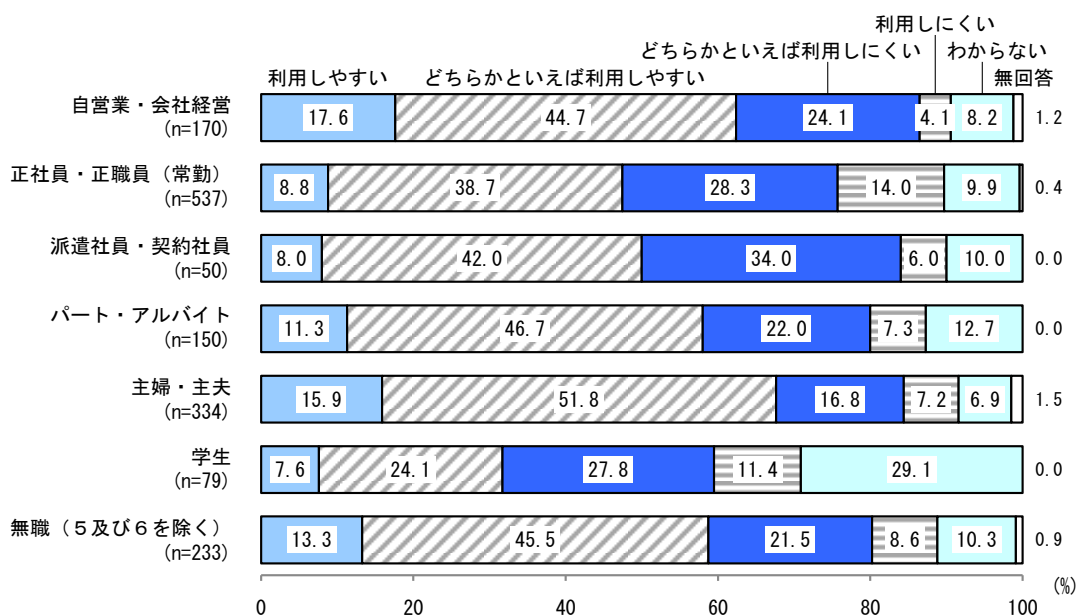
年代別では、概ね年代が高い程、市役所手続が『利用しやすい』（「利用しやすい」+「どちらかという利用しやすい」という割合が高くなっている。一方で、20歳代と30歳代で『利用しにくい』（「どちらかといえば利用しにくい」+「利用しにくい」）が『利用しやすい』を上回っている。



地区別では、市役所手続が『利用しやすい』（「利用しやすい」+「どちらかといえば利用しやすい」という割合は潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で65.7%と最も高くなっている。一方で、『利用しにくい』（「どちらかといえば利用しにくい」+「利用しにくい」という割合は南芦屋浜地区で40.0%となっている。



職業別では、自営業・会社経営、主婦・主夫で『利用しやすい』（「利用しやすい」＋「どちらかといえば利用しやすい」）と思う割合が6割を超えている一方で、正社員・正職員（常勤）、派遣社員・契約社員では『利用しにくい』（「どちらかといえば利用しにくい」＋「利用しにくい」）と思う割合が4割を超え、全体より5ポイント以上高くなっている。



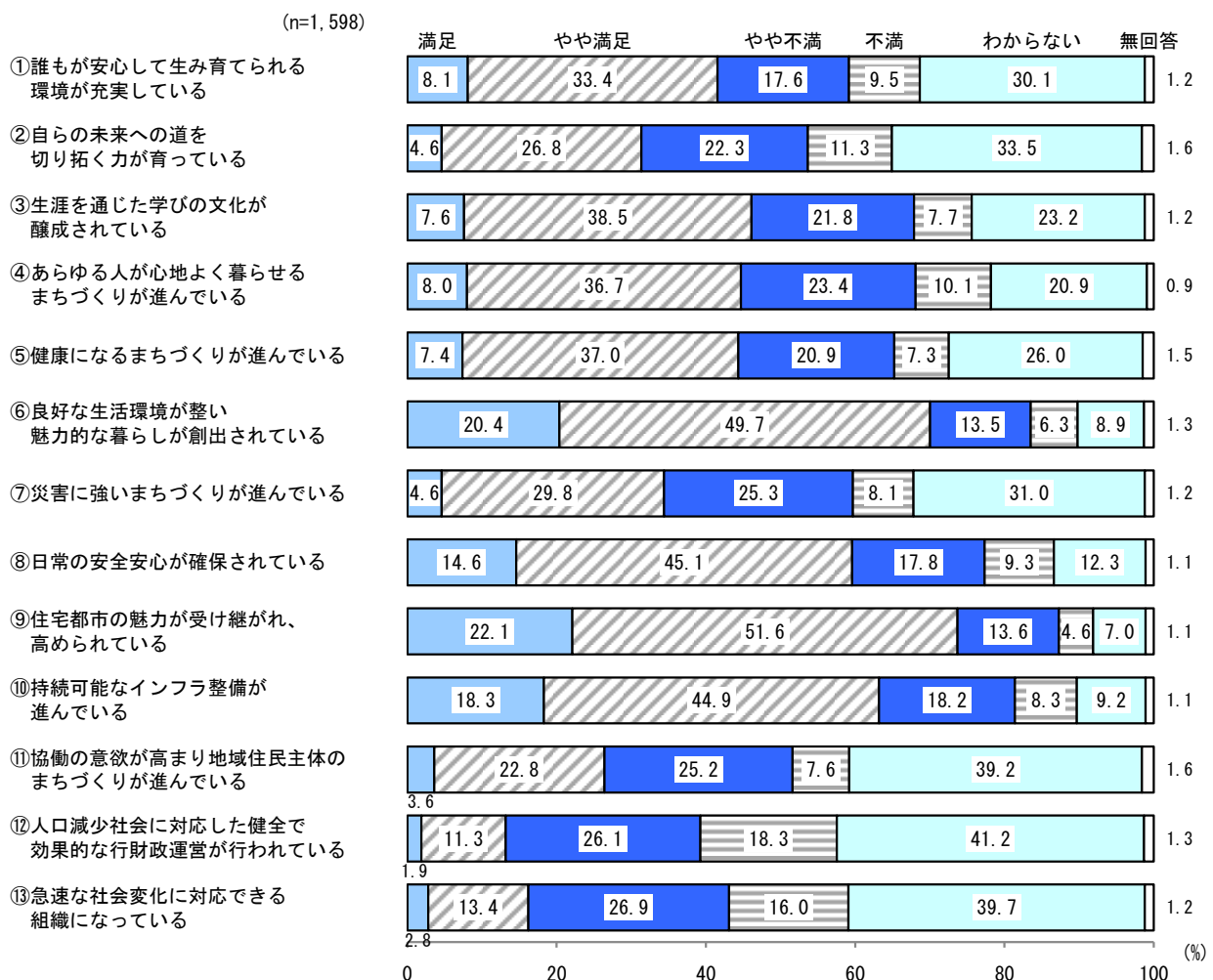
Ⅲ. 芦屋市のまちづくりの目標の達成状況などについておたずねします。

問19 第5次芦屋市総合計画の各施策の満足度

問19 下表に示す13の項目は、第5次芦屋市総合計画（令和3年度～令和12年度）の基本構想に掲げる施策の目標です。13項目それぞれについて、芦屋市の現状をどのように感じていますか。各項目についてあなたの考えに最も近いものを1～5から1つずつ選び、数字に○をつけてください。

全体では、「満足」と「やや満足」を合わせた肯定的意見は「⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている」が73.7%で最も高く、「⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている」が70.1%、「⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる」が63.2%、「⑧日常の安全安心が確保されている」が59.7%と続いている。

「やや不満」と「不満」を合わせた否定的意見は「⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている」が44.4%で最も高く、「⑬急速な社会変化に対応できる組織になっている」が42.9%、「②自らの未来への道を切り拓く力が育っている」が33.6%、「④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる」が33.5%と続いている。



■ 評点と重要度による散布図の提示

13項目の施策目標について、

- ・ 縦軸を満足度とし、「満足」に4点、「やや満足」に3点、「やや不満」に2点、「不満」に1点の係数をかけ、母数（選択した回答者の数）で割って平均した評点を示す。
- ・ 横軸を重要度とし、問21において13項目の中から選ばれた、今後重要と考える分野（3つ選択）の出現率を示す。

■ 評点と重要度からみた施策への評価

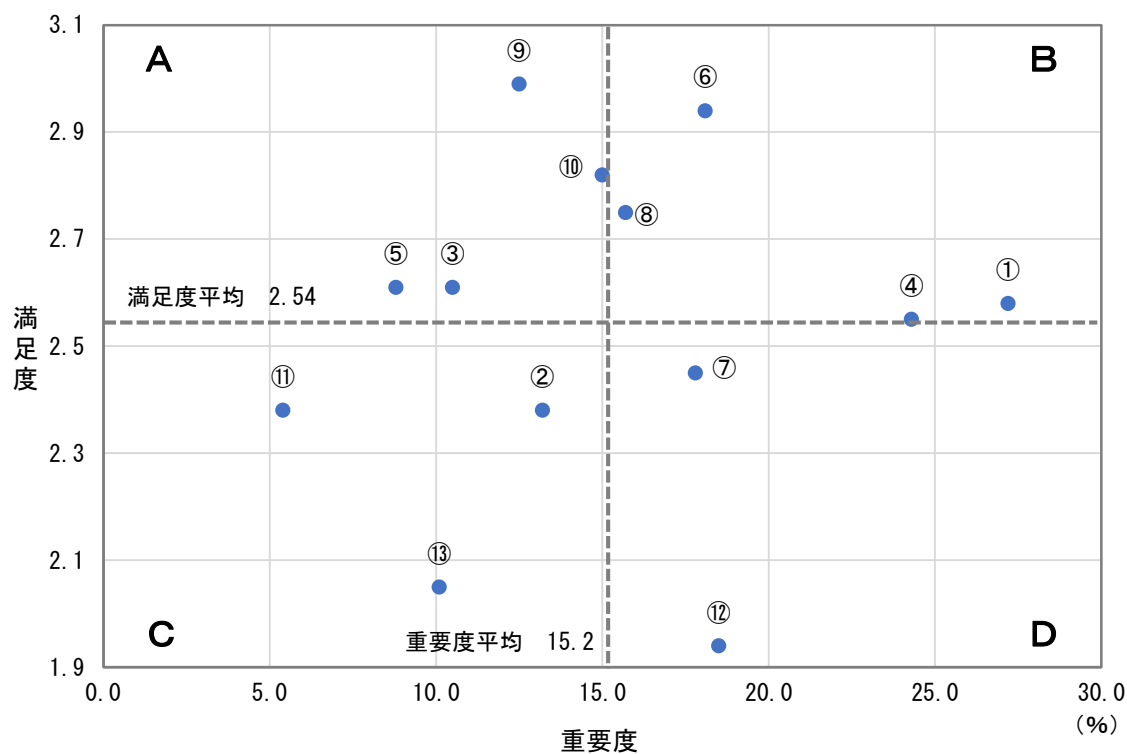
上記の散布図を平均値で4象限に区分し、相対的な位置づけを明らかにする。

象限A…満足度が高く、重要度が低い⇒施策が評価され、緊急性は低いと意識される分野

象限B…満足度・重要度ともに高い⇒施策が評価されているが、さらに発展が求められる分野

象限C…満足度・重要度ともに低い⇒施策への評価は低く、関心も低い分野

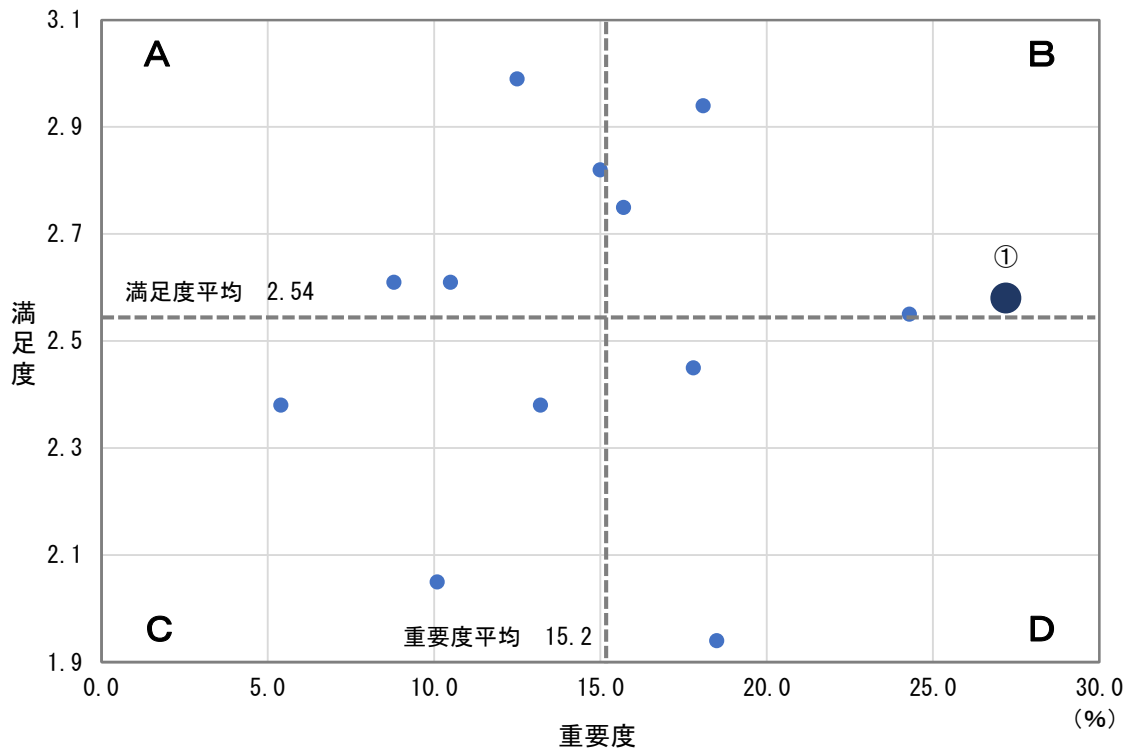
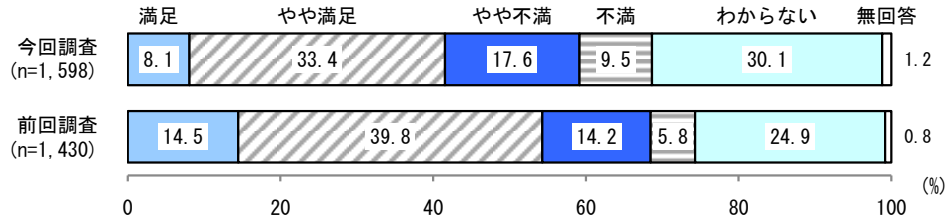
象限D…満足度が低く、重要度が高い⇒施策への評価が低く、重点的な取組が求められる分野



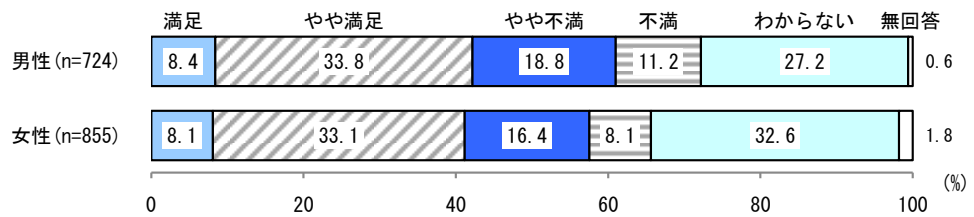
①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している

全体では、「やや満足」が33.4%で最も高く、「満足」8.1%と合わせた肯定的意見は41.5%となっている。一方で、「やや不満」17.6%、「不満」9.5%を合わせた否定的意見は27.1%となっている。

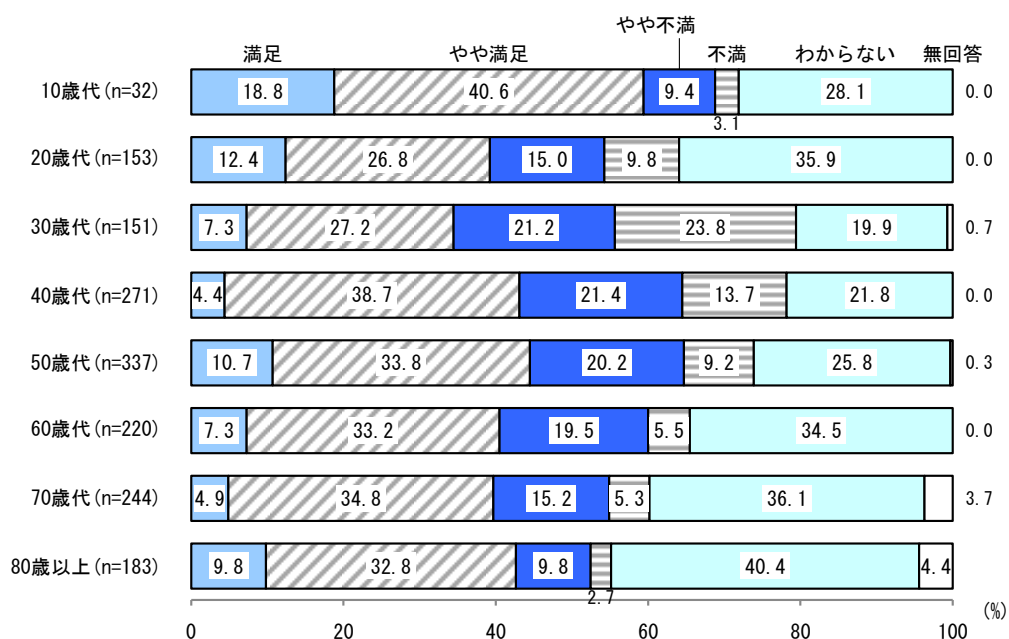
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より12.8ポイント低くなっている。



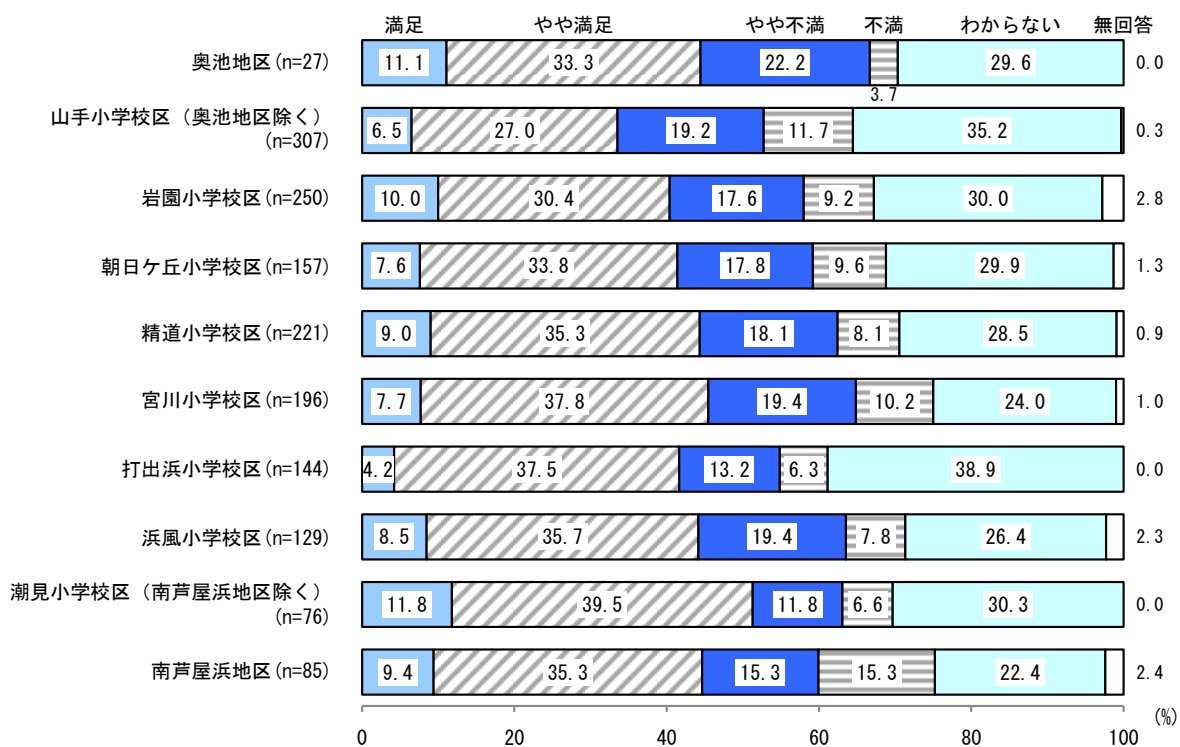
性別で大きな差はみられない。



年代別では、「不満」が30歳代で2割を超え最も高くなっており、「やや不満」を合わせた否定的意見は45.0%と全体より17.9ポイント高くなっている。また、「わからない」が30歳代で19.9%と全体より10.2ポイント低くなっている。



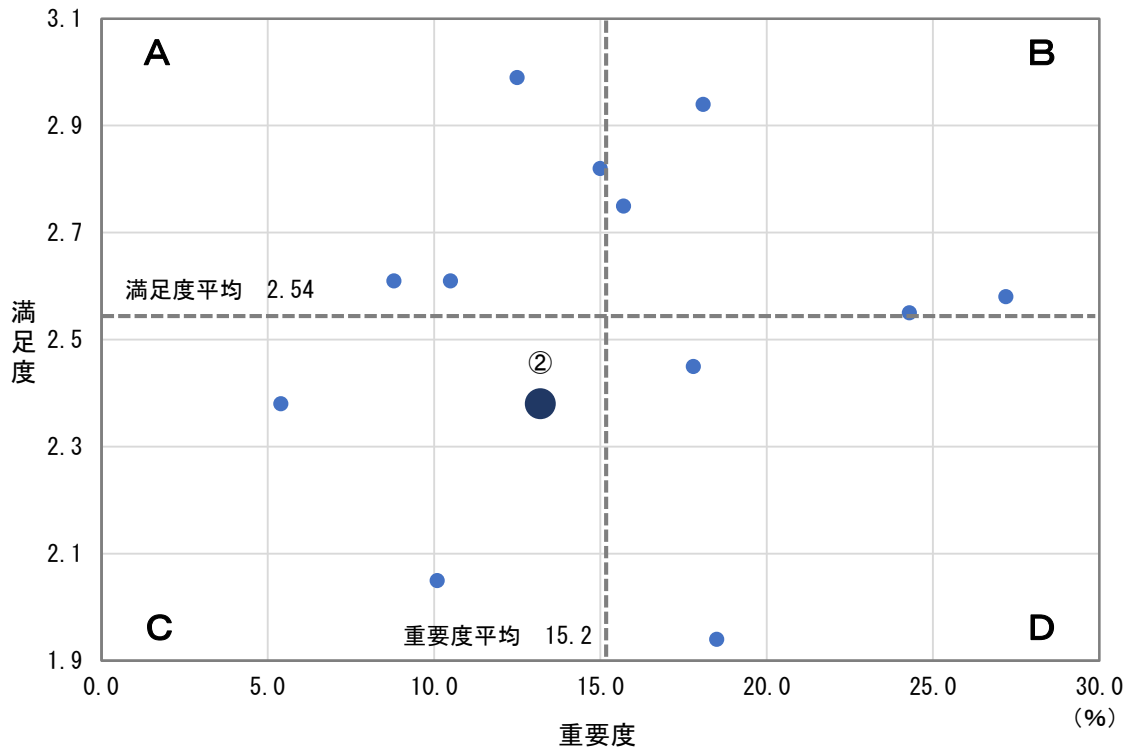
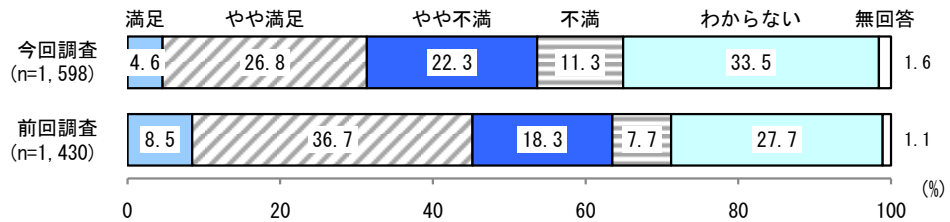
地区別では、「やや満足」が山手小学校区（奥池地区除く）で低くなっており、「満足」と合わせた肯定的意見は33.5%と最も低くなっている。



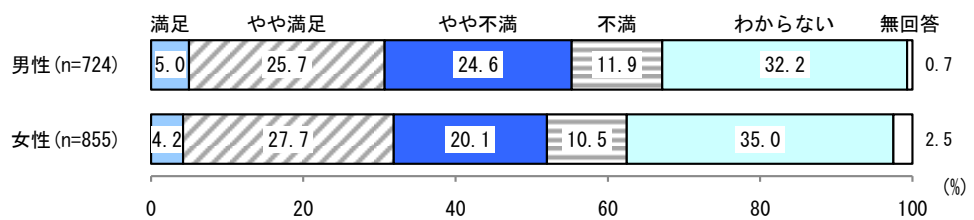
②自らの未来への道を切り拓く力が育っている

全体では、「わからない」が33.5%で最も高くなっている。「満足」4.6%、「やや満足」26.8%を合わせた肯定的意見は31.4%となっている一方で、「やや不満」22.3%、「不満」11.3%を合わせた否定的意見は33.6%となっている。

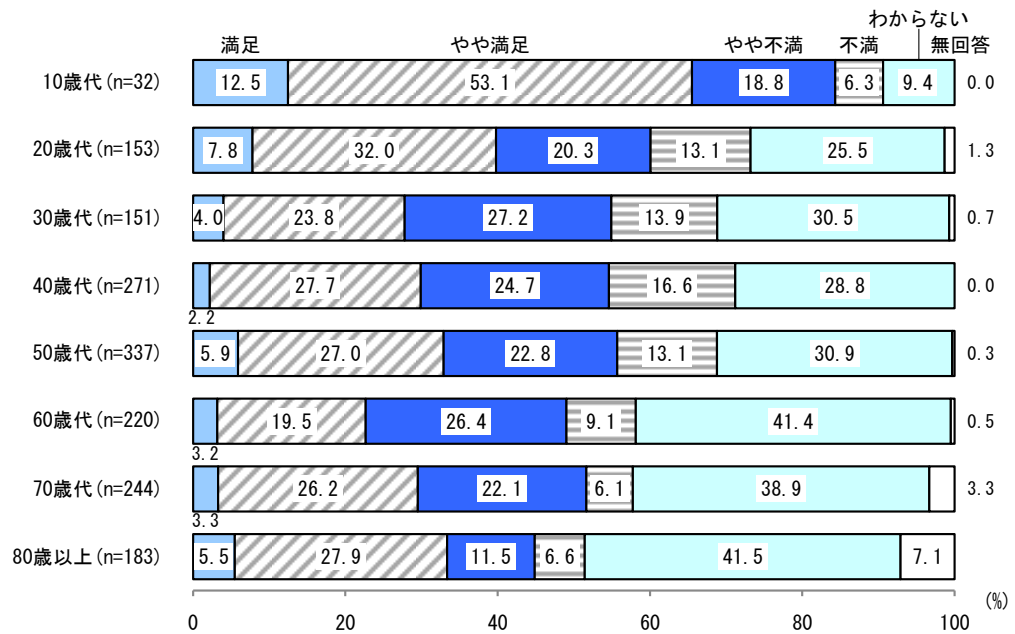
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より13.8ポイント低くなっている。



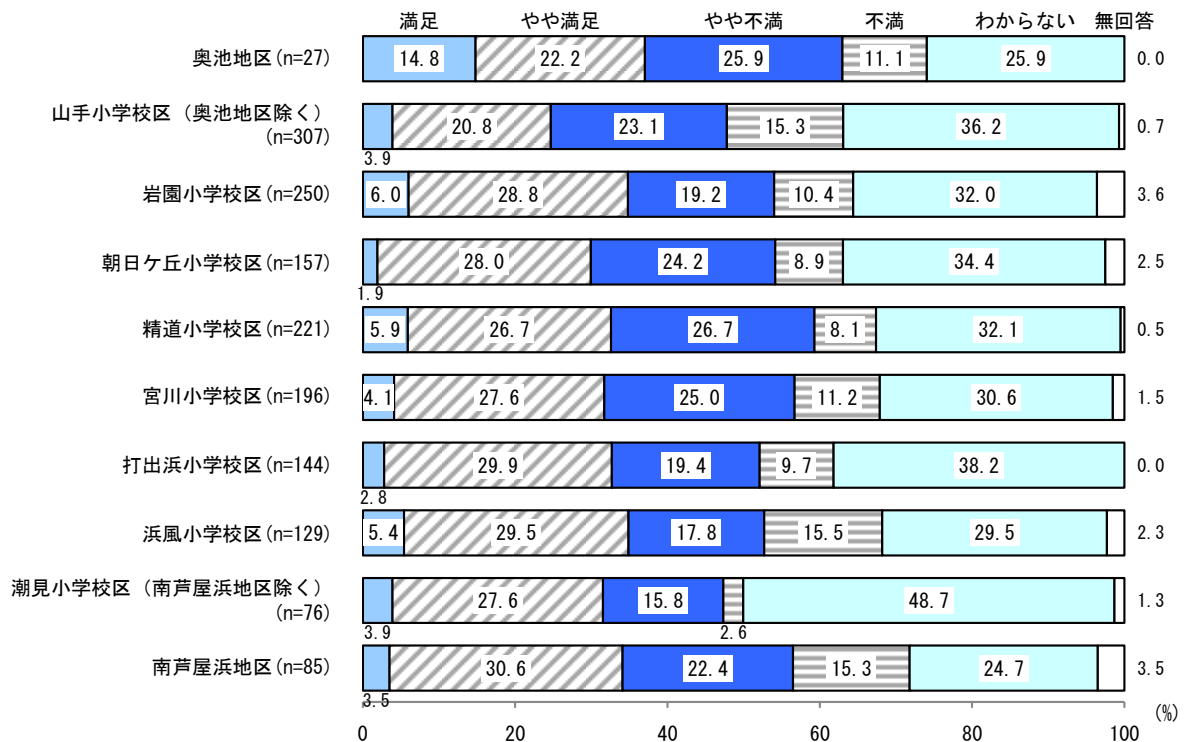
性別では、男性で否定的意見が36.5%と女性より5.9ポイント高くなっている。



年代別では、30歳代と40歳代で否定的意見が4割を超えている。



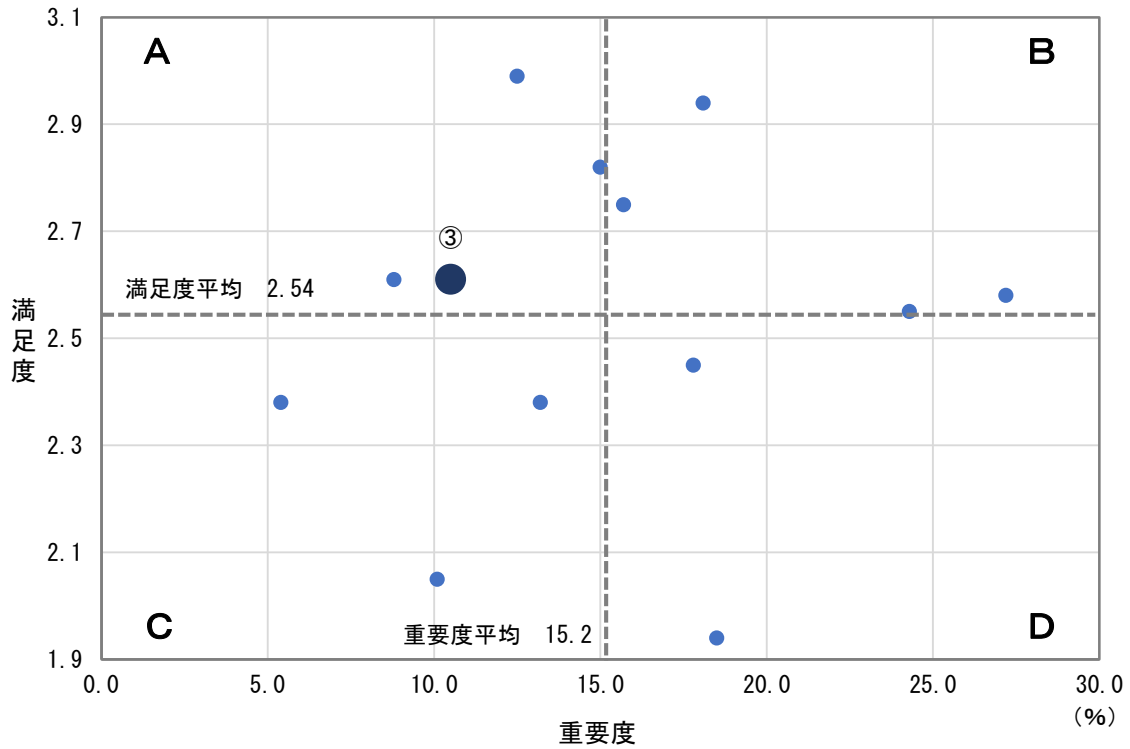
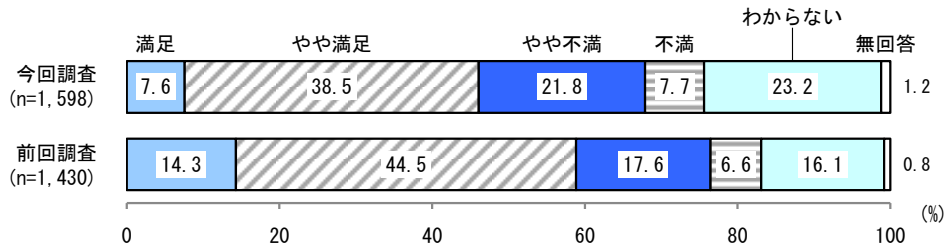
地区別では、「満足」が奥池地区で1割を超えているものの、「やや満足」と合わせた肯定的意見に大きな差はみられない。また、「わからない」が潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で5割近くを占め高くなっている。



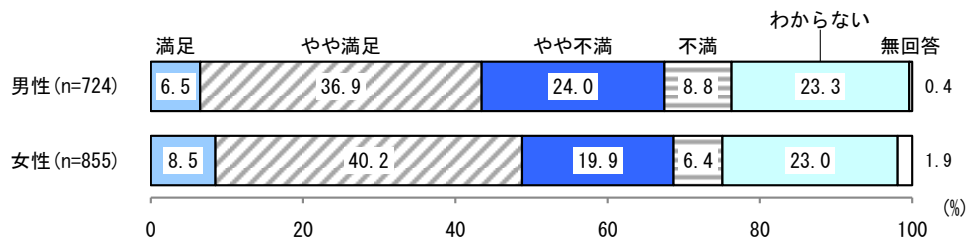
③生涯を通じた学びの文化が醸成されている

全体では、「やや満足」が38.5%で最も高く、「満足」7.6%と合わせた肯定的意見は46.1%となっている。一方で、「やや不満」21.8%、「不満」7.7%を合わせた否定的意見は29.5%となっている。

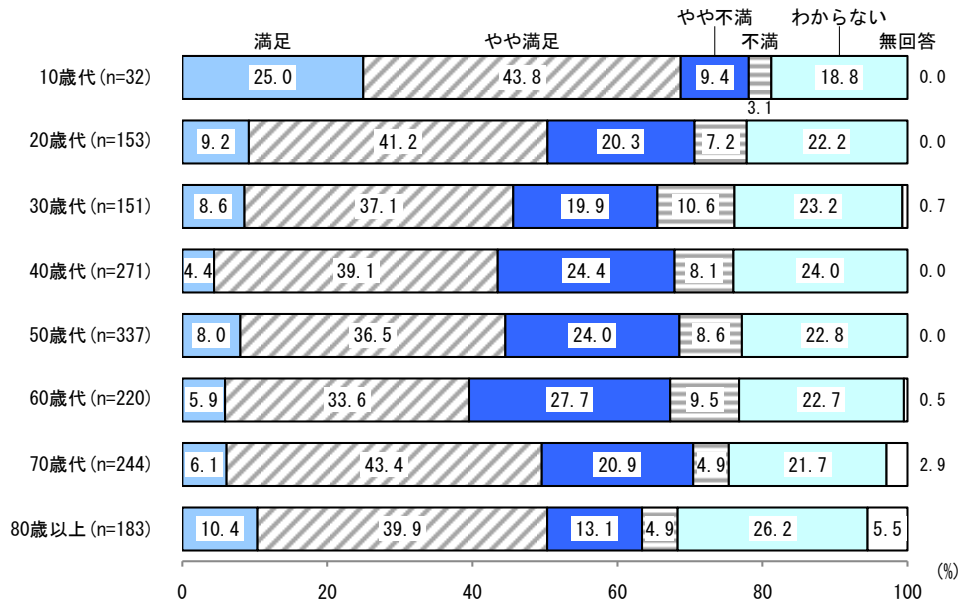
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より12.7ポイント低くなっている。



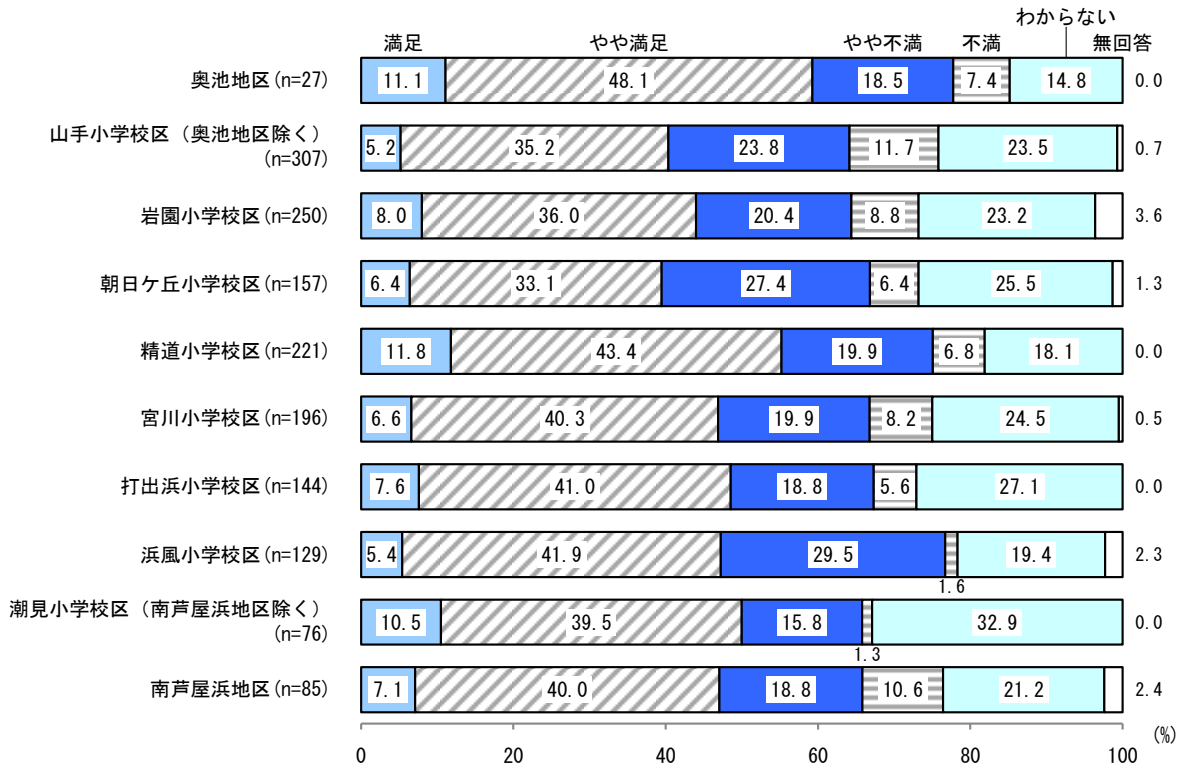
性別では、男性で否定的意見が32.8%と女性より6.5ポイント高くなっている。



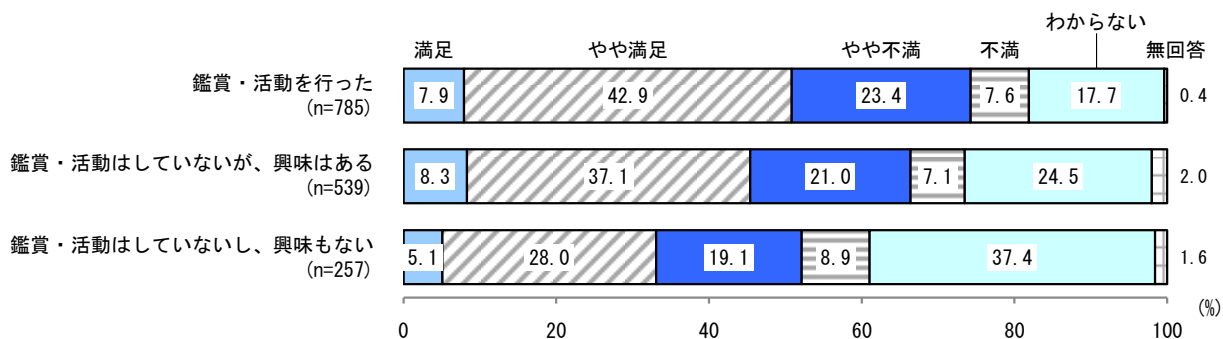
年代別では、否定的意見が30歳代から60歳代で3割を超えている。



地区別では、肯定的意見について奥池地区で59.2%と6割近くを占め、全体より13.1ポイント高くなっている。



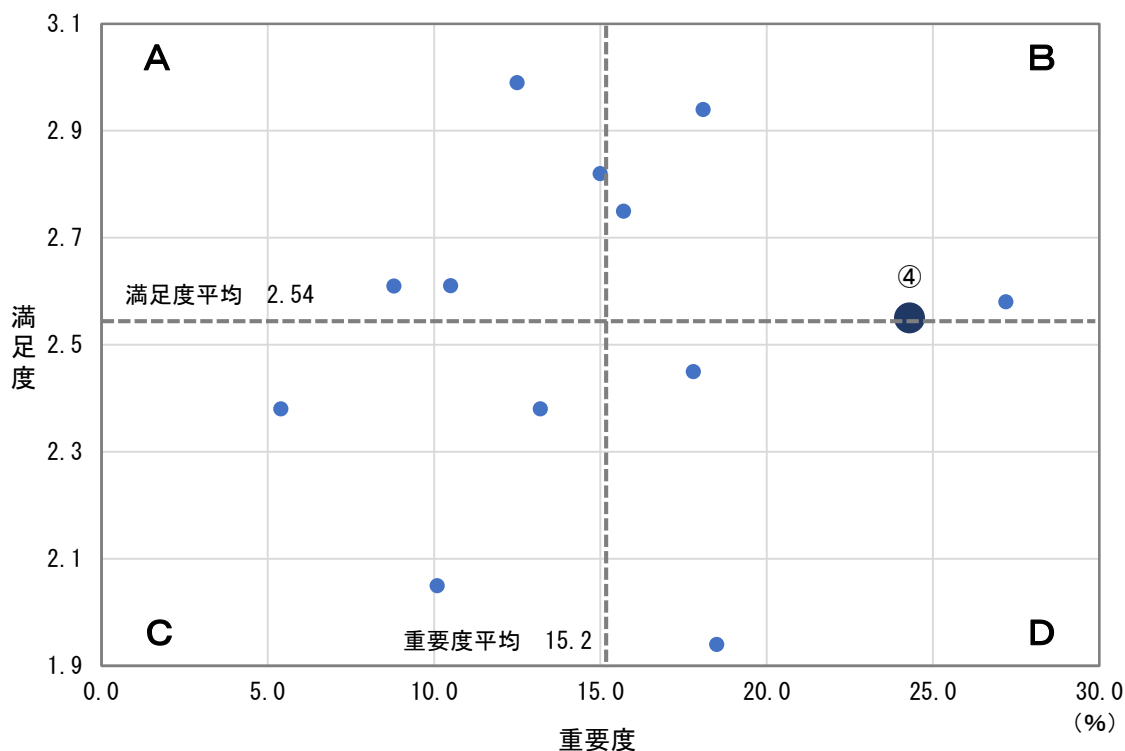
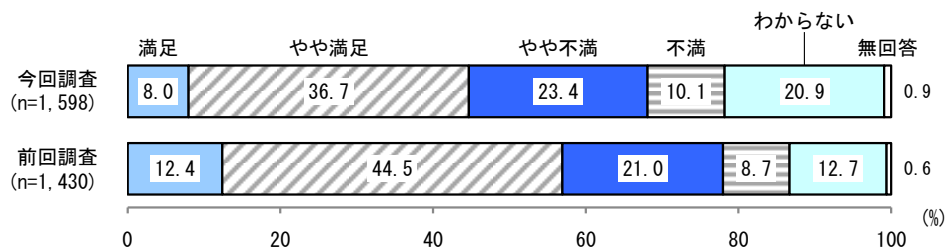
過去1年間で文化的活動の有無別では、鑑賞・活動を行った人で肯定的意見が50.8%と5割を占めている一方で、鑑賞・活動はしていないし、興味もない人では33.1%と4割未満となっている。



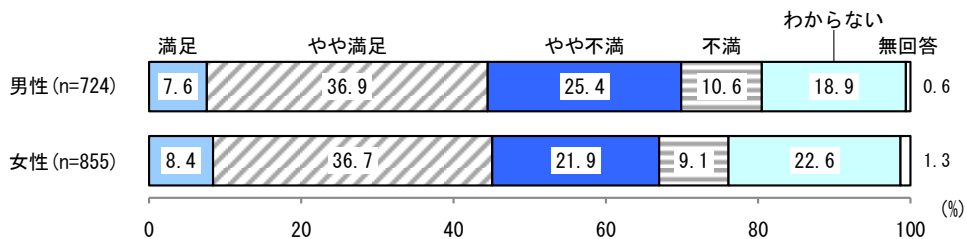
④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる

全体では、「やや満足」が36.7%で最も高く、「満足」8.0%と合わせた肯定的意見は44.7%となっている。一方で、「やや不満」23.4%、「不満」10.1%を合わせた否定的意見は33.5%となっている。

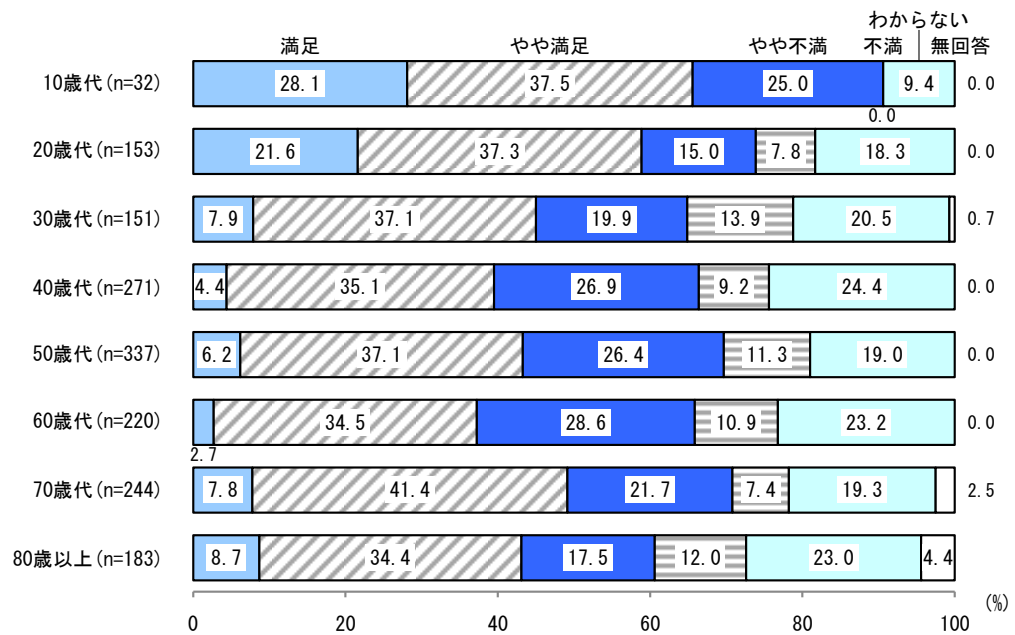
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より12.2ポイント低くなっている。



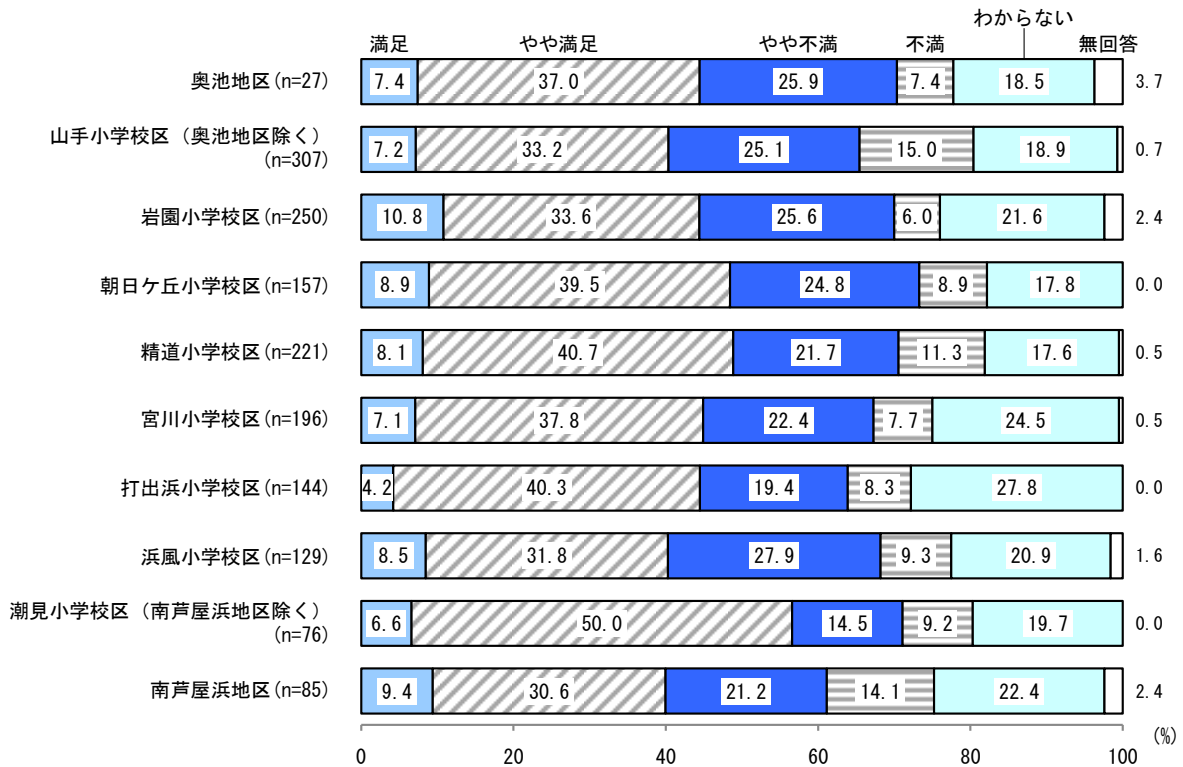
性別では、男性で否定的意見が36.0%と女性より5.0ポイント高くなっている。



年代別では、10歳代と20歳代で「満足」が2割を超え、全体より10ポイント以上高くなっている。



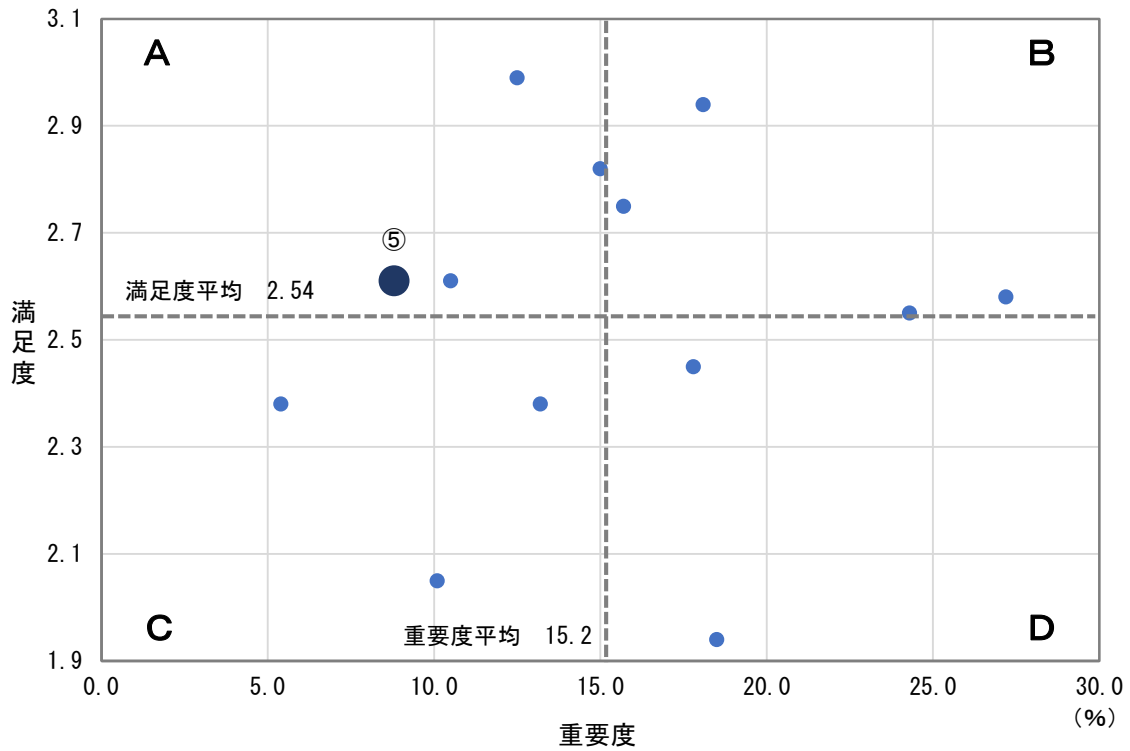
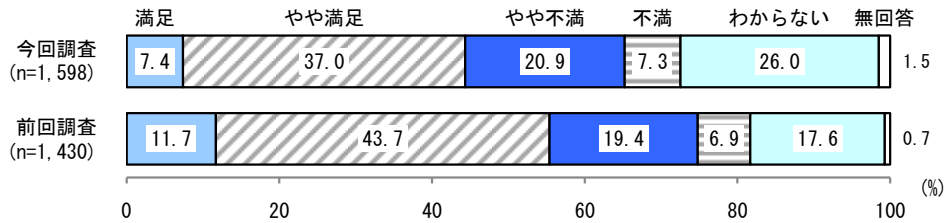
地区別では、肯定的意見について、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）が最も高く5割を超えている。



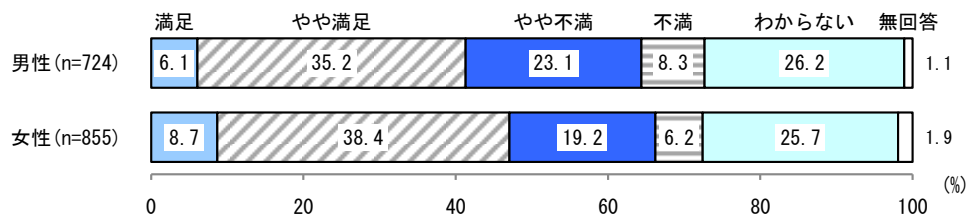
⑤健康になるまちづくりが進んでいる

全体では、「やや満足」が37.0%で最も高く、「満足」7.4%と合わせた肯定的意見は44.4%となっている。一方で、「やや不満」20.9%、「不満」7.3%を合わせた否定的意見は28.2%となっている。

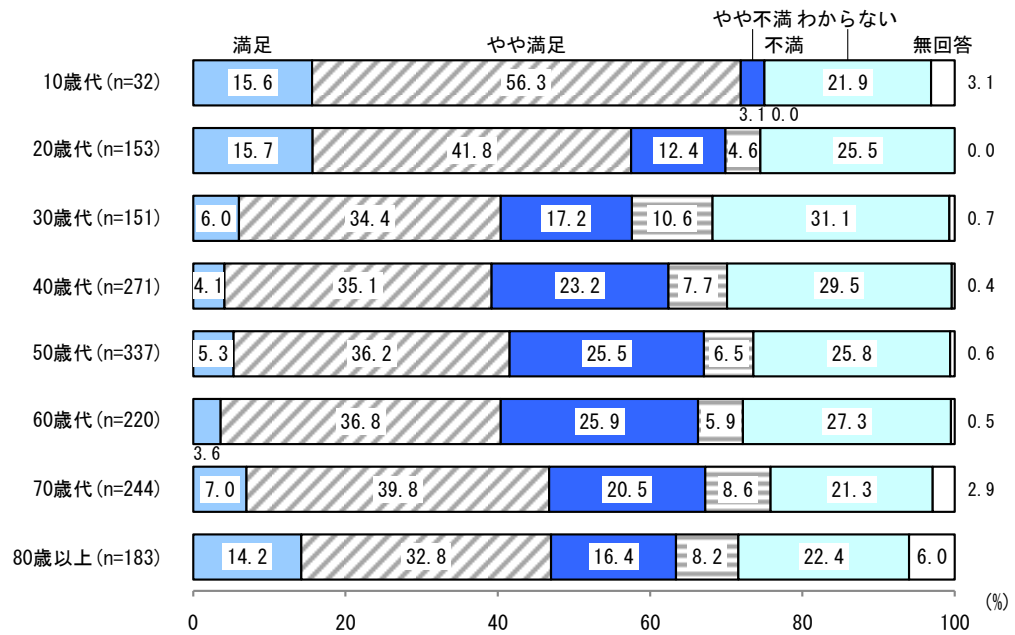
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より11.0ポイント低くなっている。



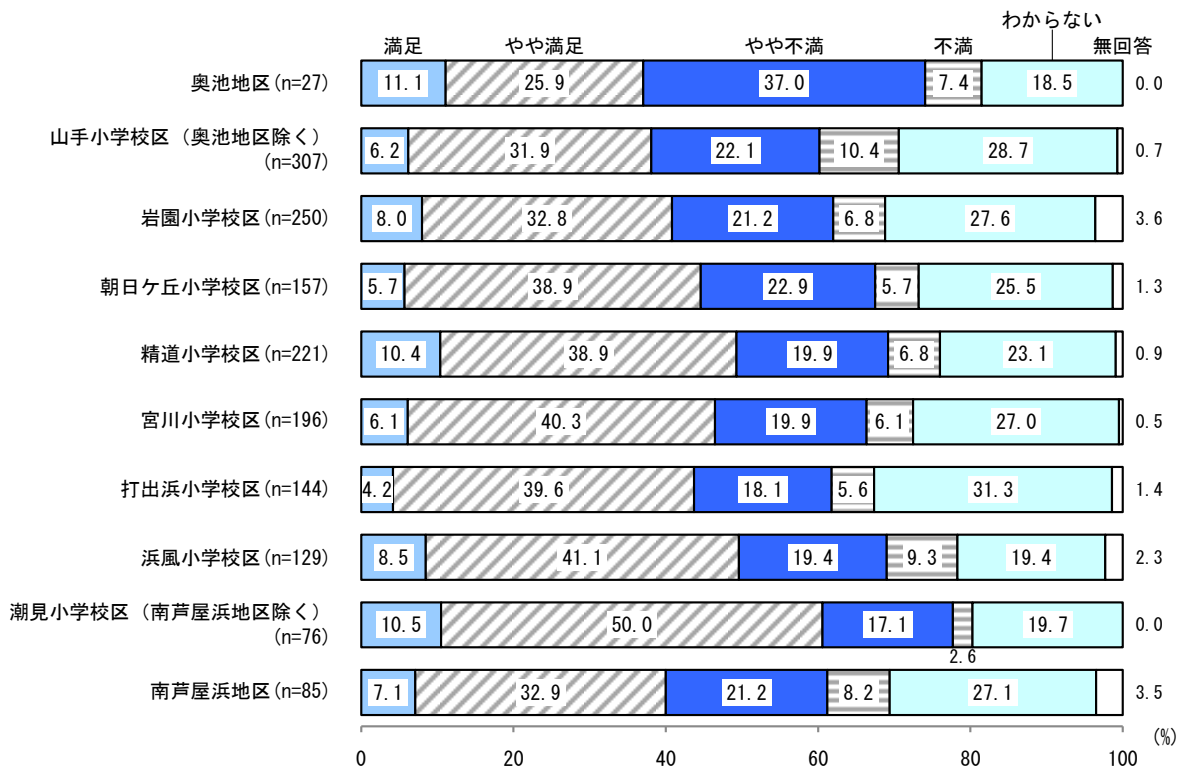
性別では、女性で肯定的意見が47.1%と男性より5.8ポイント高くなっている一方で、男性で否定的意見は31.4%と女性より6.0ポイント高くなっている。



年代別では、肯定的意見について、10歳代と20歳代で5割を超え、全体より10ポイント以上高くなっている。



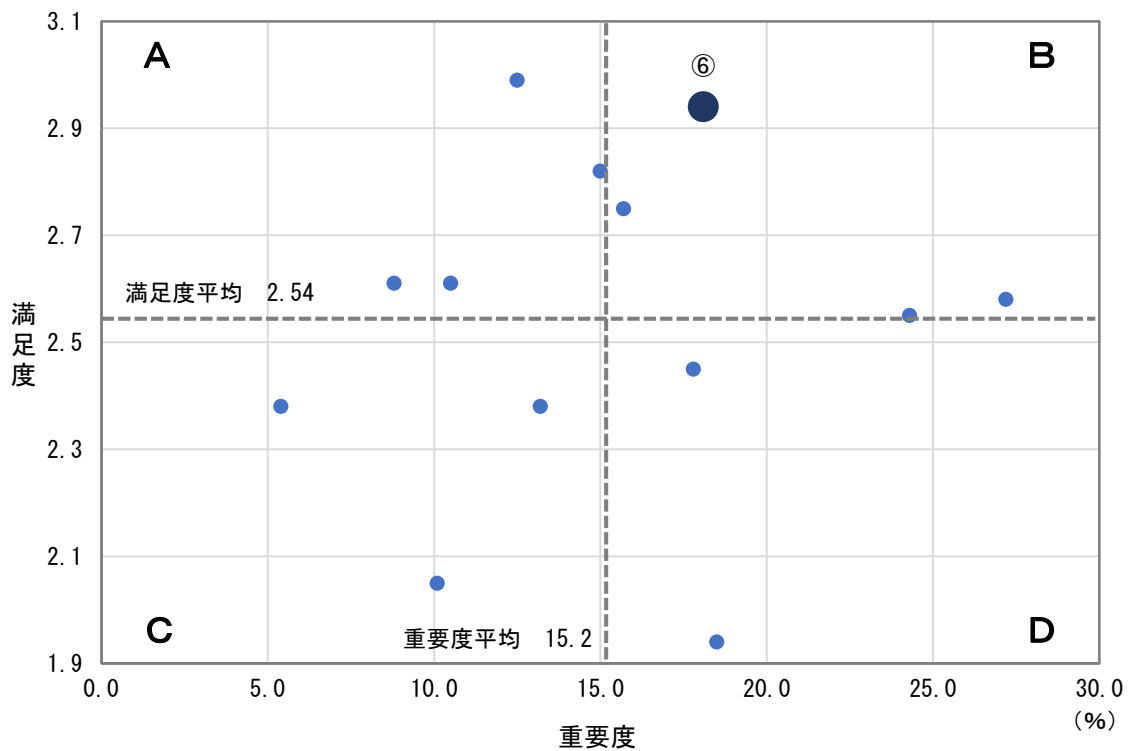
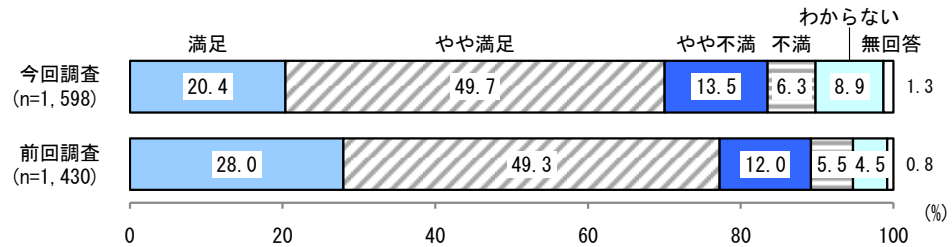
地区別では、肯定的意見について、潮見小学校区（南芦屋浜地区）が最も高く6割を超えている。



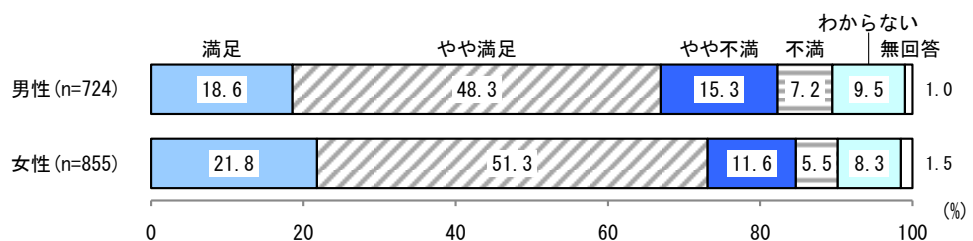
⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている

全体では、「やや満足」が49.7%で最も高く、「満足」20.4%と合わせた肯定的意見は70.1%となっている。一方で、「やや不満」13.5%、「不満」6.3%を合わせた否定的意見は19.8%となっている。

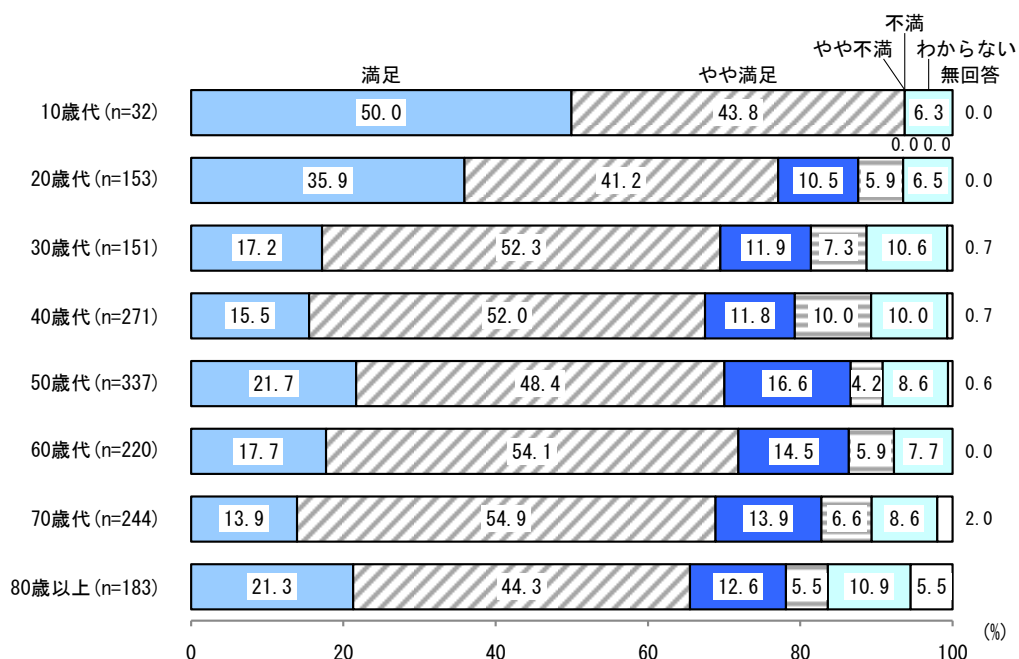
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より7.2ポイント低くなっている。



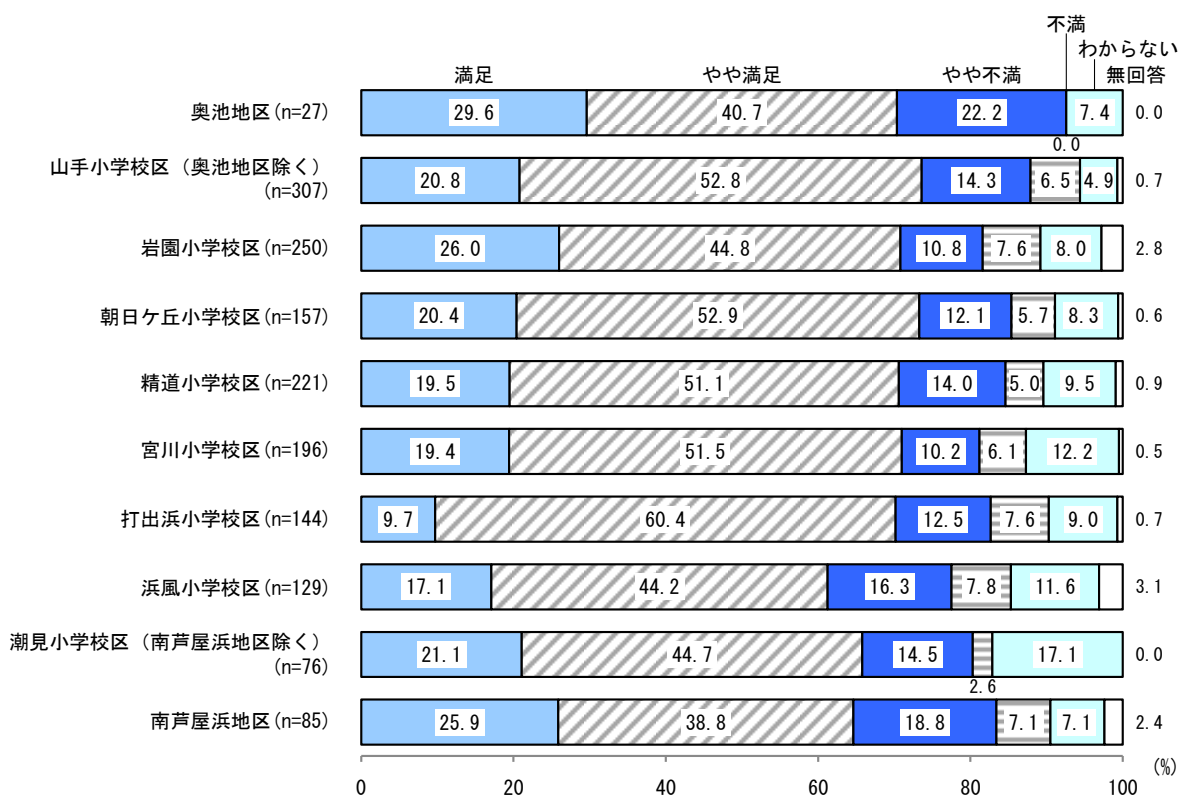
性別では、女性で肯定的意見が73.1%と男性より6.2ポイント高くなっている一方で、男性で否定的意見が22.5%と女性より5.4ポイント高くなっている。



年代別では、「満足」が10歳代と20歳代で3割を超え、全体より15ポイント以上高くなっている。



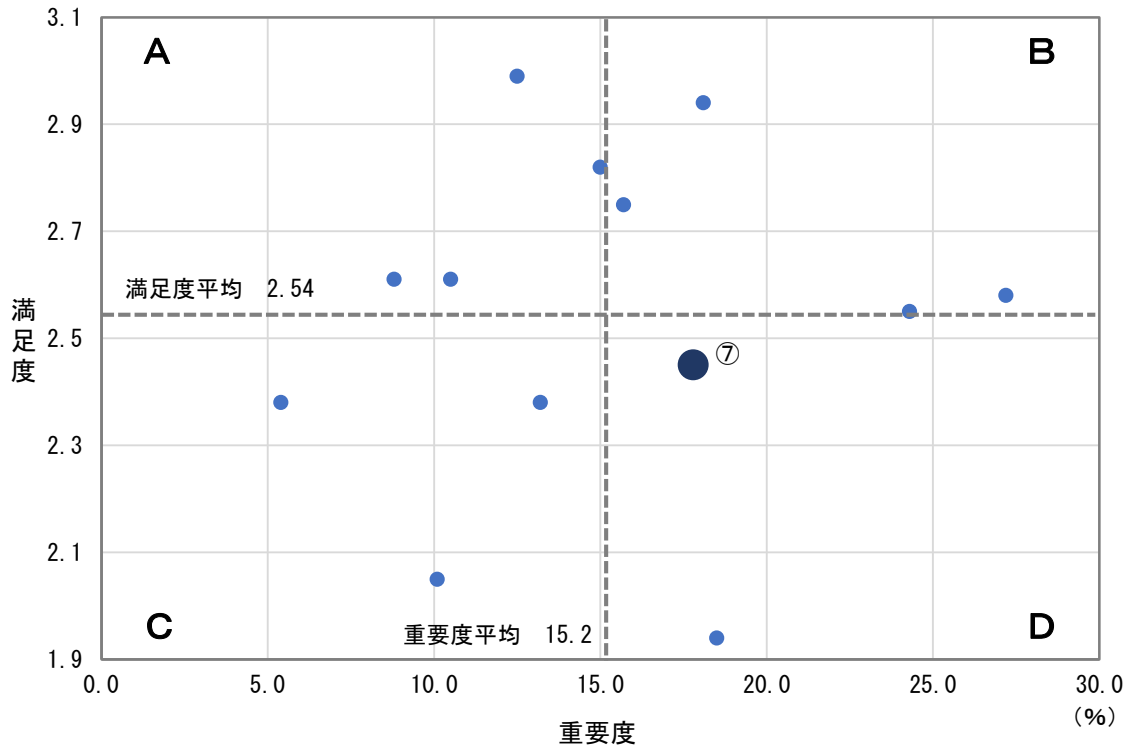
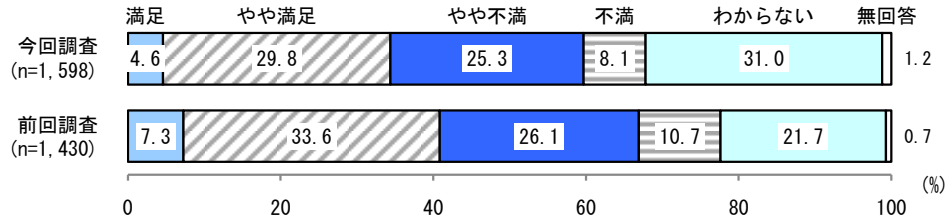
地区別では、「満足」が打出浜小学校区で1割未満となっているものの、「やや満足」と合わせた肯定的意見に大きな差はみられない。



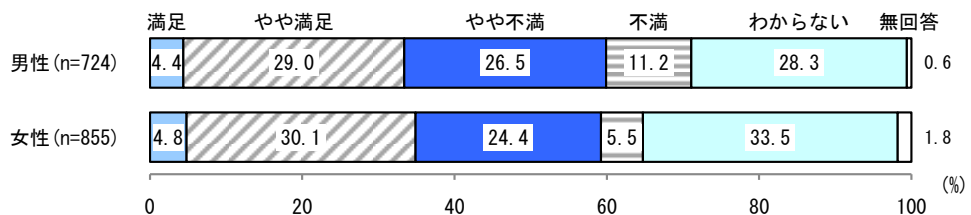
⑦災害に強いまちづくりが進んでいる

全体では、「わからない」が31.0%で最も高くなっている。「満足」4.6%、「やや満足」29.8%を合わせた肯定的意見は34.4%となっている一方で、「やや不満」25.3%、「不満」8.1%を合わせた否定的意見は33.4%となっている。

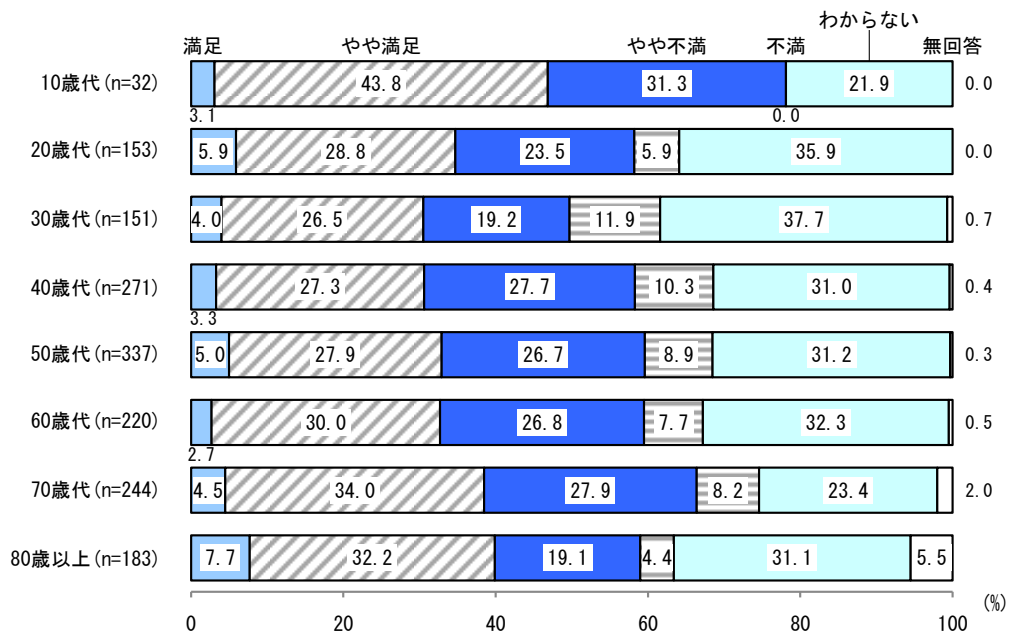
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より6.5ポイント低くなっている。



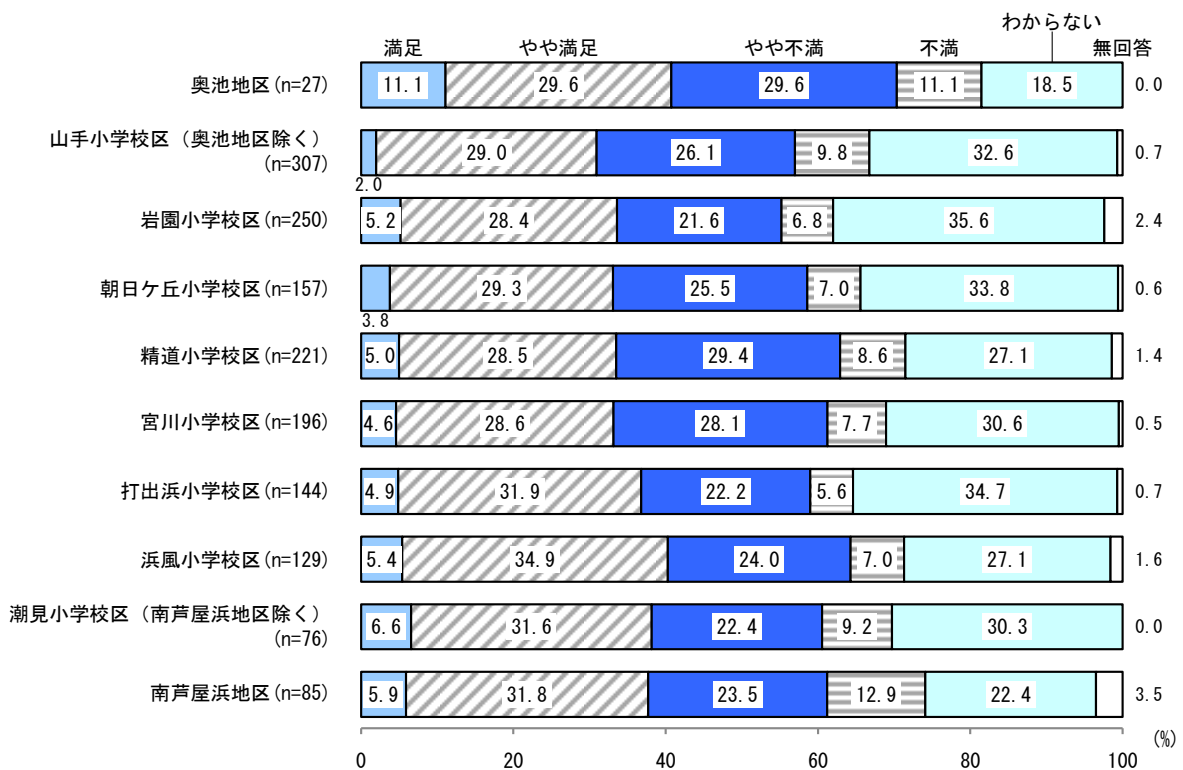
性別では、男性で「不満」が11.2%と女性より5.7ポイント高くなっている。



年代別では、10歳代で肯定的意見が46.9%と全体より12.5ポイント高くなっている。



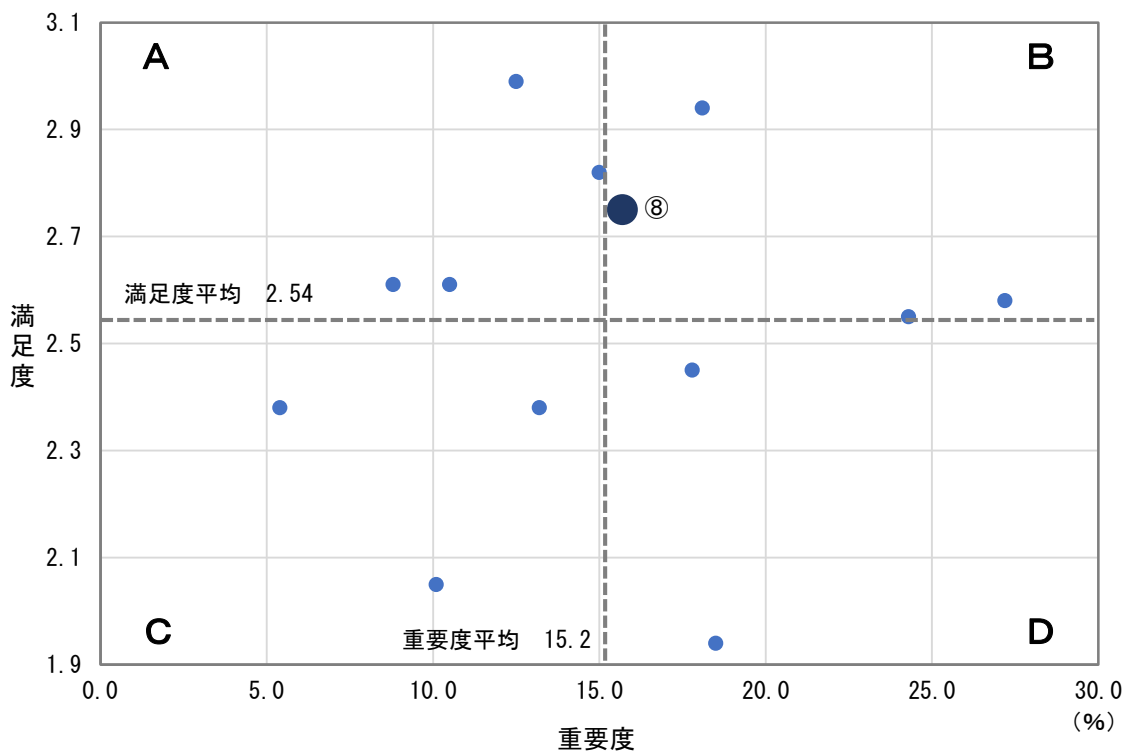
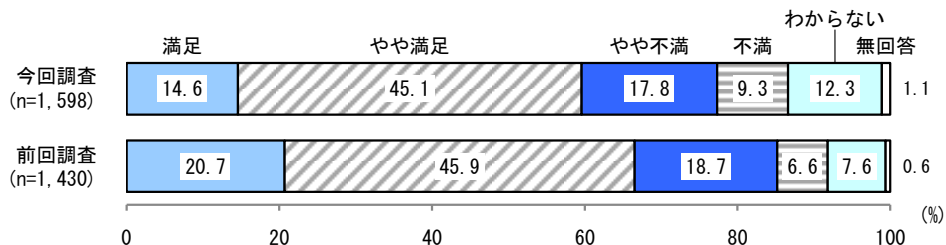
地区別では、「満足」が奥池地区で1割を超えているものの、「やや満足」と合わせた肯定的意見に大きな差はみられない。



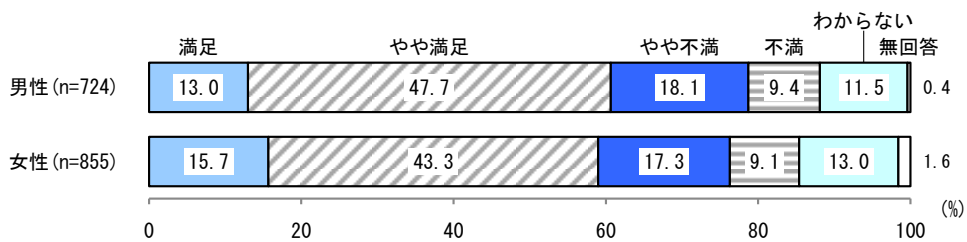
⑧日常の安全安心が確保されている

全体では、「やや満足」が45.1%で最も高く、「満足」14.6%と合わせた肯定的意見は59.7%となっている。一方で、「やや不満」17.8%、「不満」9.3%を合わせた否定的意見は27.1%となっている。

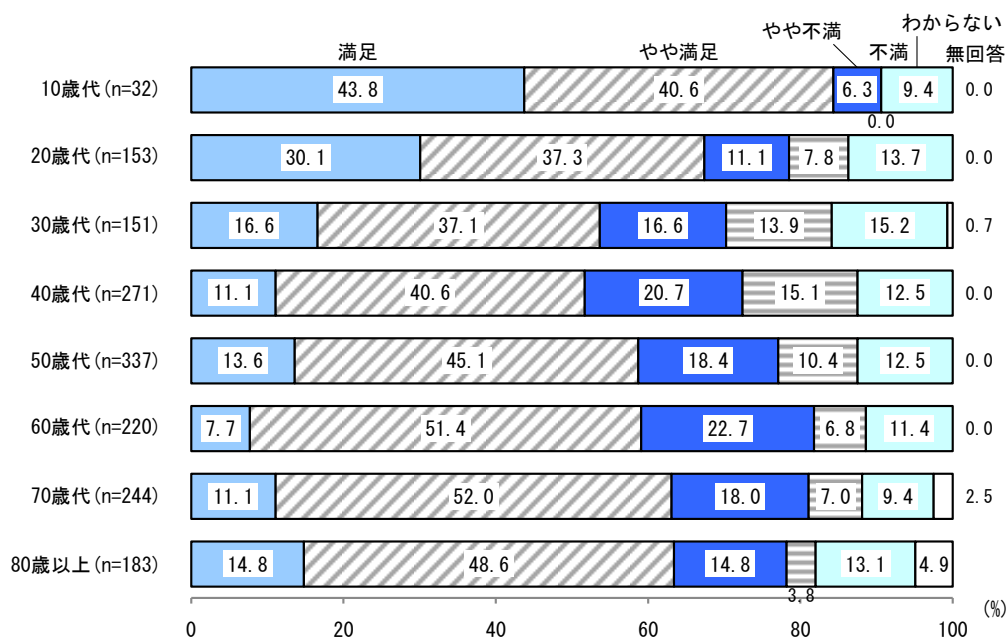
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より6.9ポイント低くなっている。



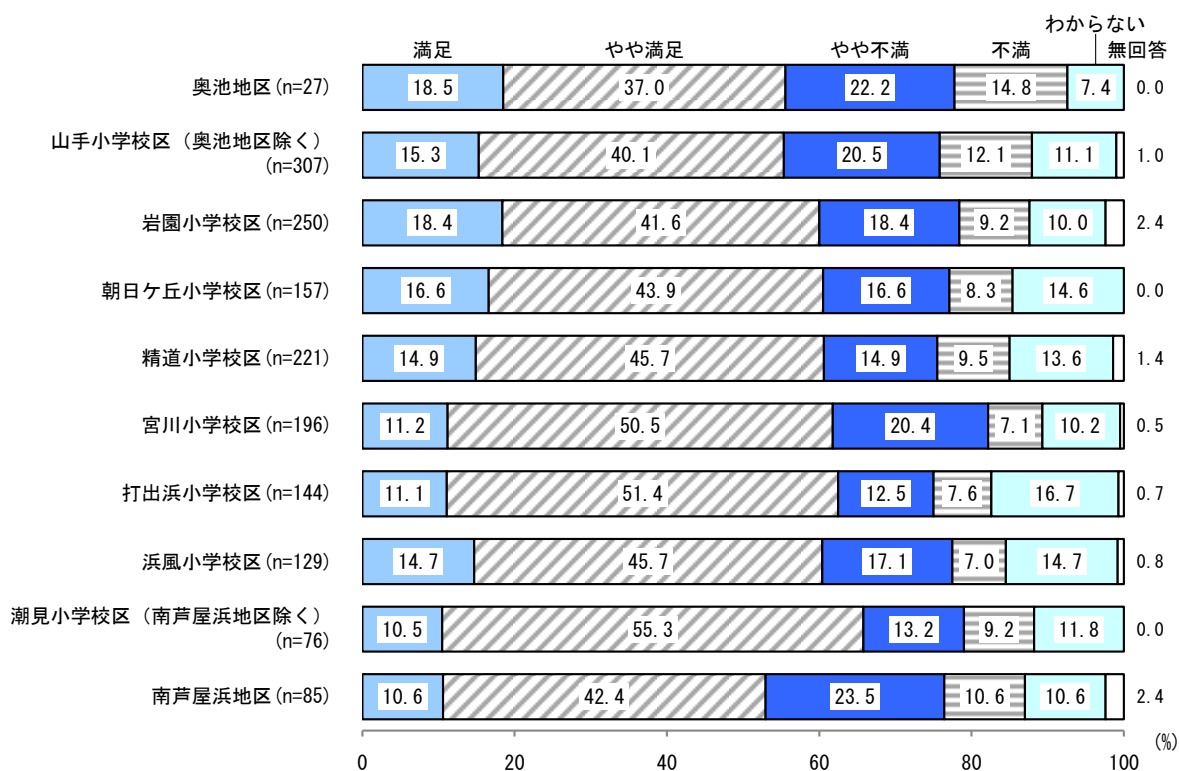
性別で大きな差はみられない。



年代別では、10歳代で肯定的意見が84.4%と全体より24.7ポイント高くなっている一方で、否定的意見については30歳代と40歳代で3割を超えている。



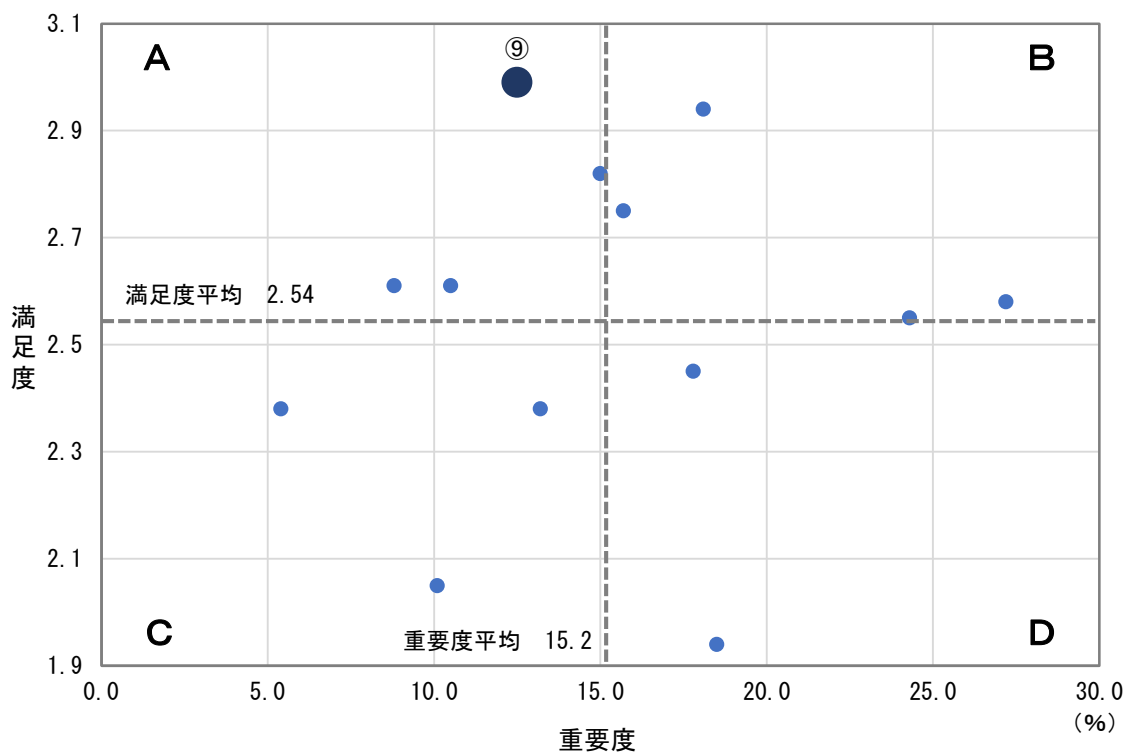
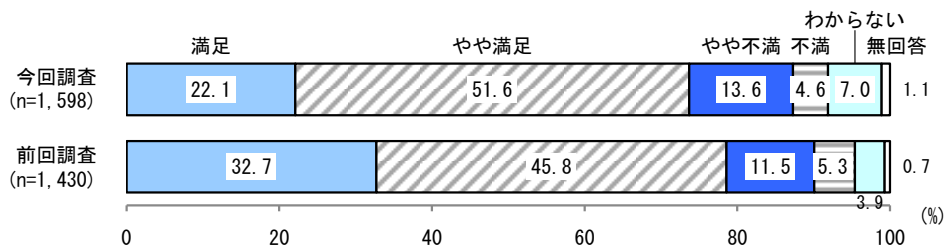
地区別では、肯定的意見について潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）が最も高く、南芦屋浜地区が最も低くなっている。



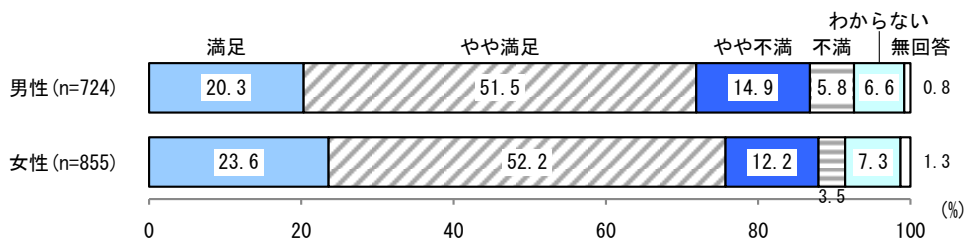
⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている

全体では、「やや満足」が51.6%で最も高く、「満足」22.1%と合わせた肯定的意見は73.7%となっている。一方で、「やや不満」13.6%、「不満」4.6%を合わせた否定的意見は18.2%となっている。

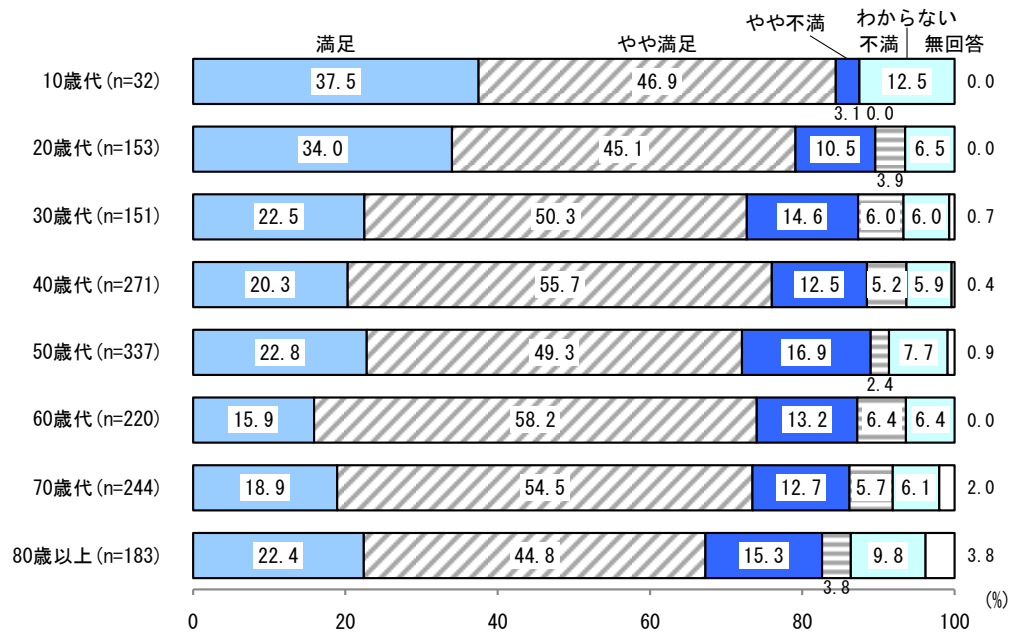
前回調査と比較すると、肯定的意見全体では大きな差はみられないものの、「満足」が前回調査より10.6ポイント低くなっている。



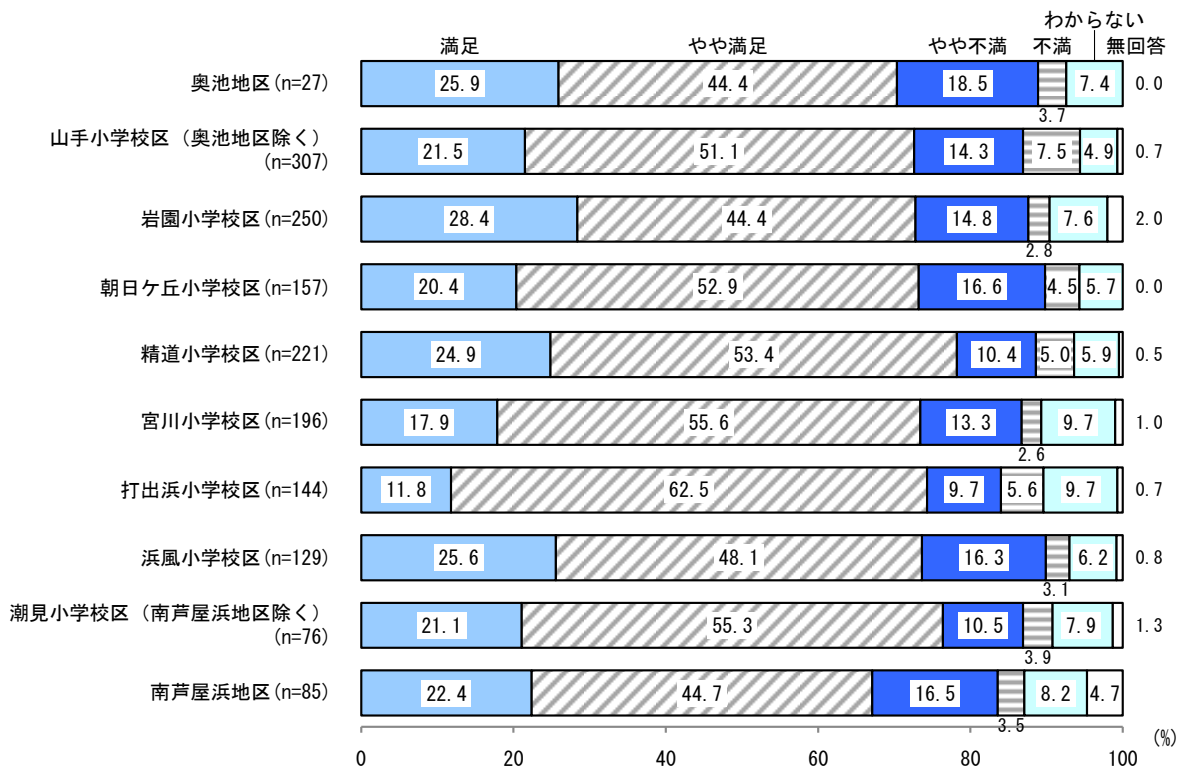
性別では、男性で否定的意見が20.7%と女性より5.0ポイント高くなっている。



年代別では、10歳代で肯定的意見が84.4%と全体より10.7ポイント高くなっている。



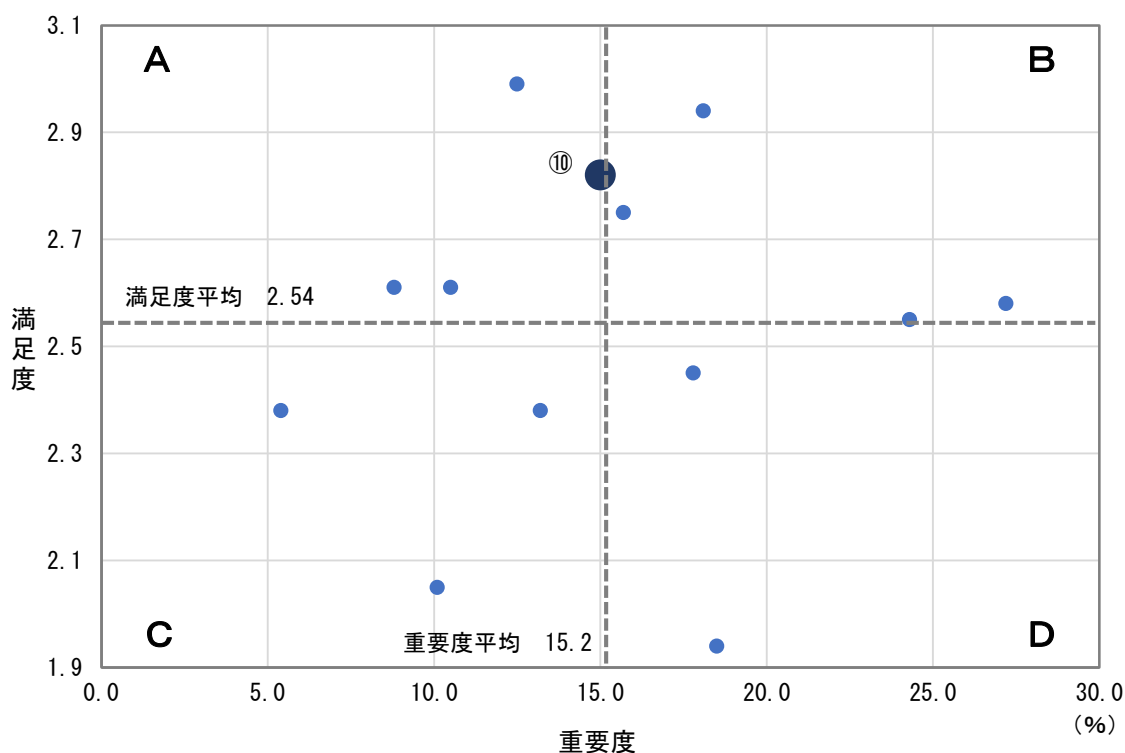
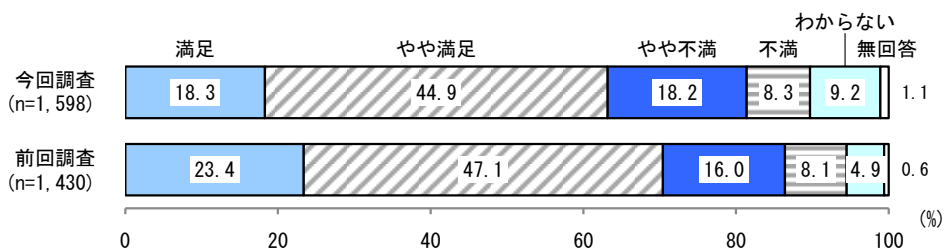
地区別では、肯定的意見が南芦屋浜地区で67.1%と最も低くなっている。



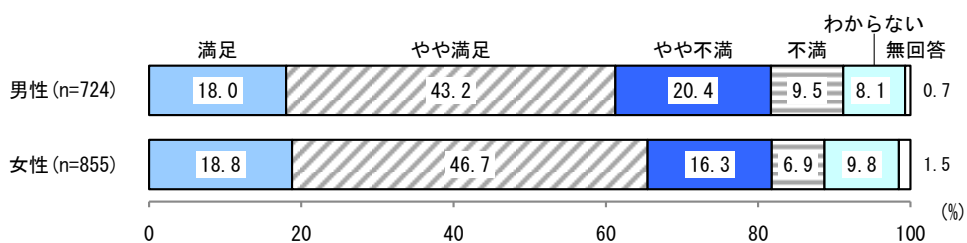
⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる

全体では、「やや満足」が44.9%で最も高く、「満足」18.3%と合わせた肯定的意見は63.2%となっている。一方で、「やや不満」18.2%、「不満」8.3%を合わせた否定的意見は26.5%となっている。

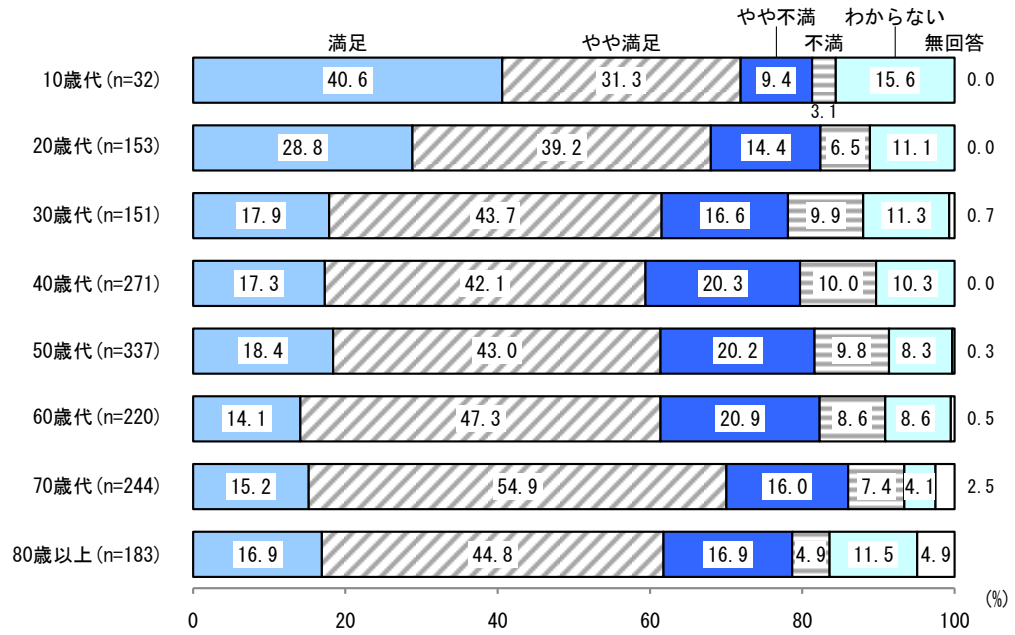
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より7.3ポイント低くなっている。



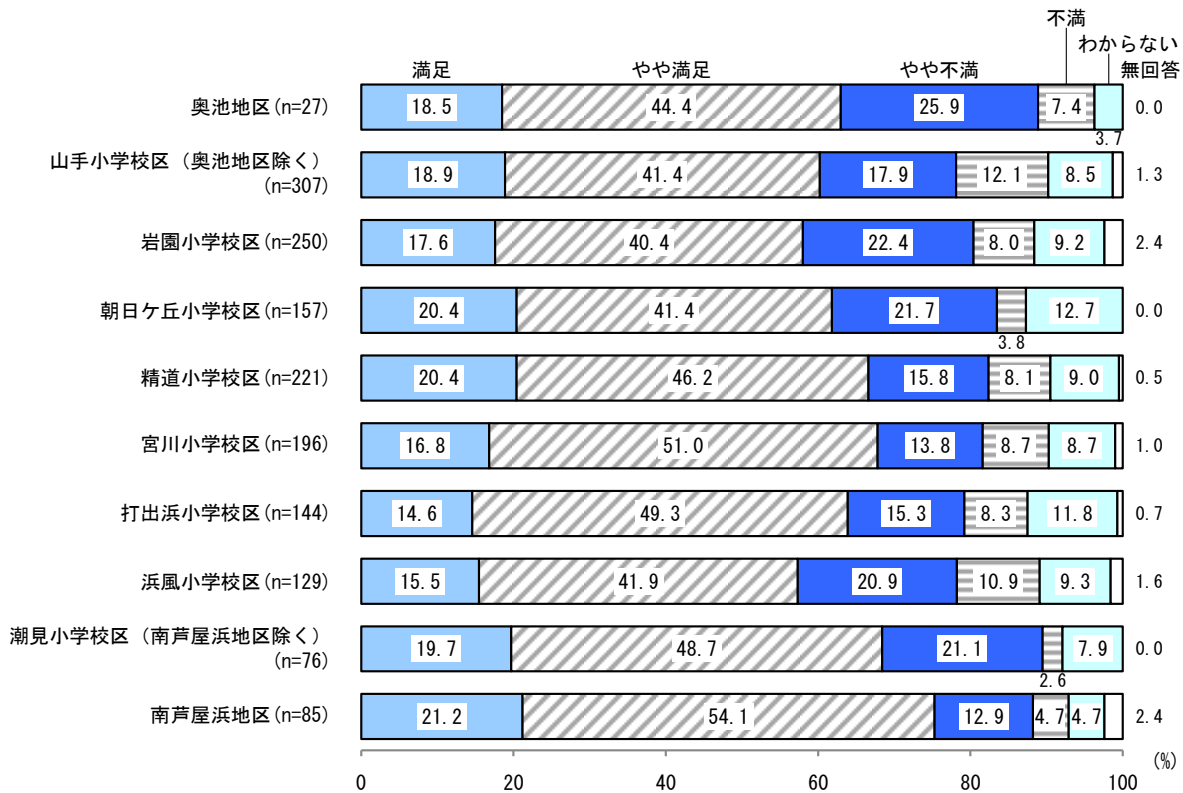
性別では、男性で否定的意見が29.9%と女性より6.7ポイント高くなっている。



年代別では、肯定的意見が10歳代と70歳代で7割を超えている。



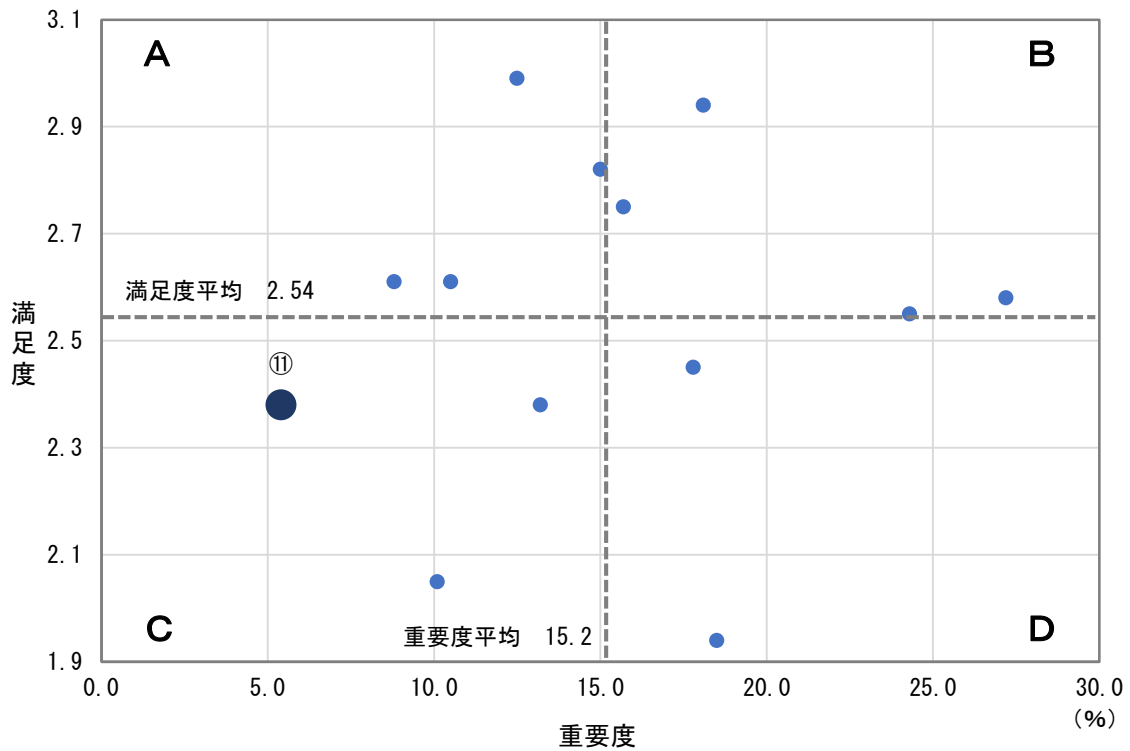
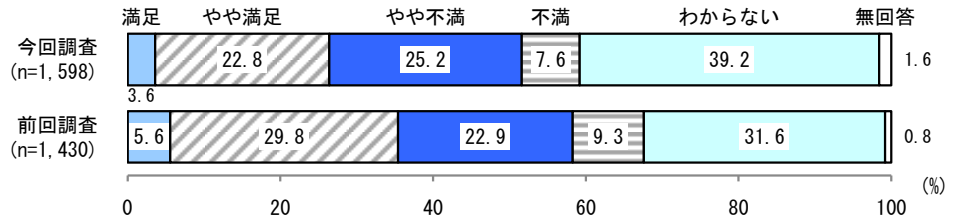
地区別では、肯定的意見について南芦屋浜地区が75.3%と最も高く、浜風小学校区で57.4%と最も低くなっている。



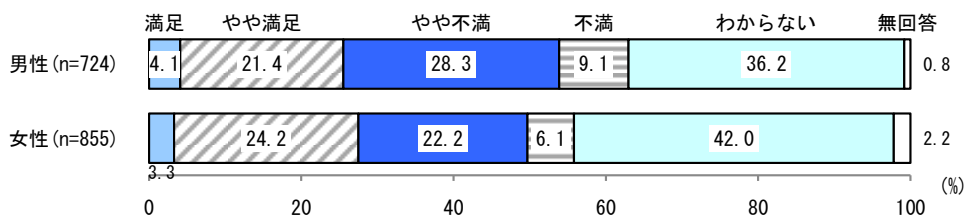
⑪協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる

全体では、「わからない」が39.2%で最も高くなっている。「満足」3.6%、「やや満足」22.8%を合わせた肯定的意見は26.4%となっている一方で、「やや不満」25.2%、「不満」7.6%を合わせた否定的意見は32.8%となっている。

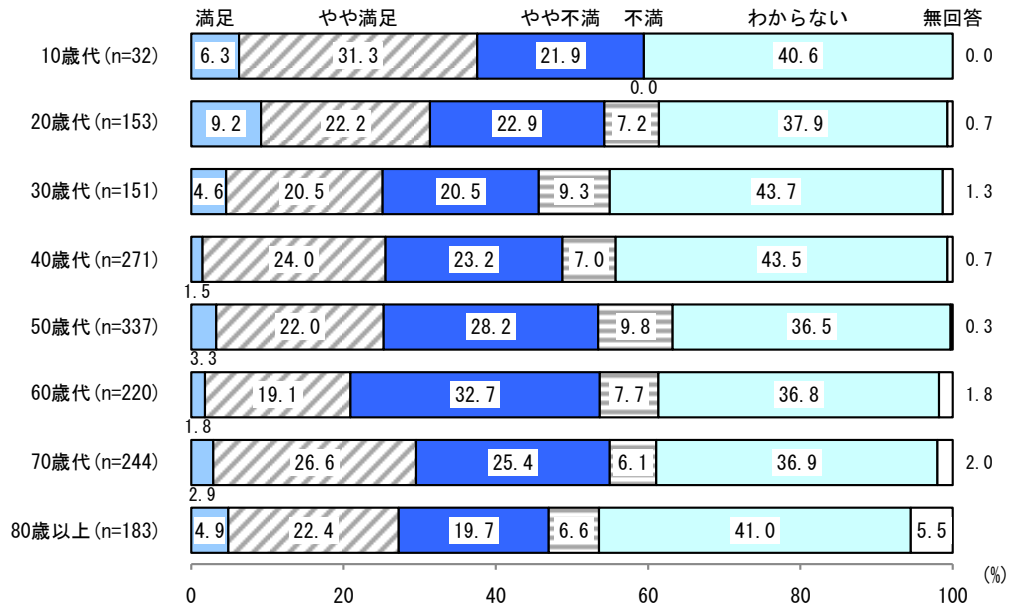
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より9.0ポイント低くなっている。



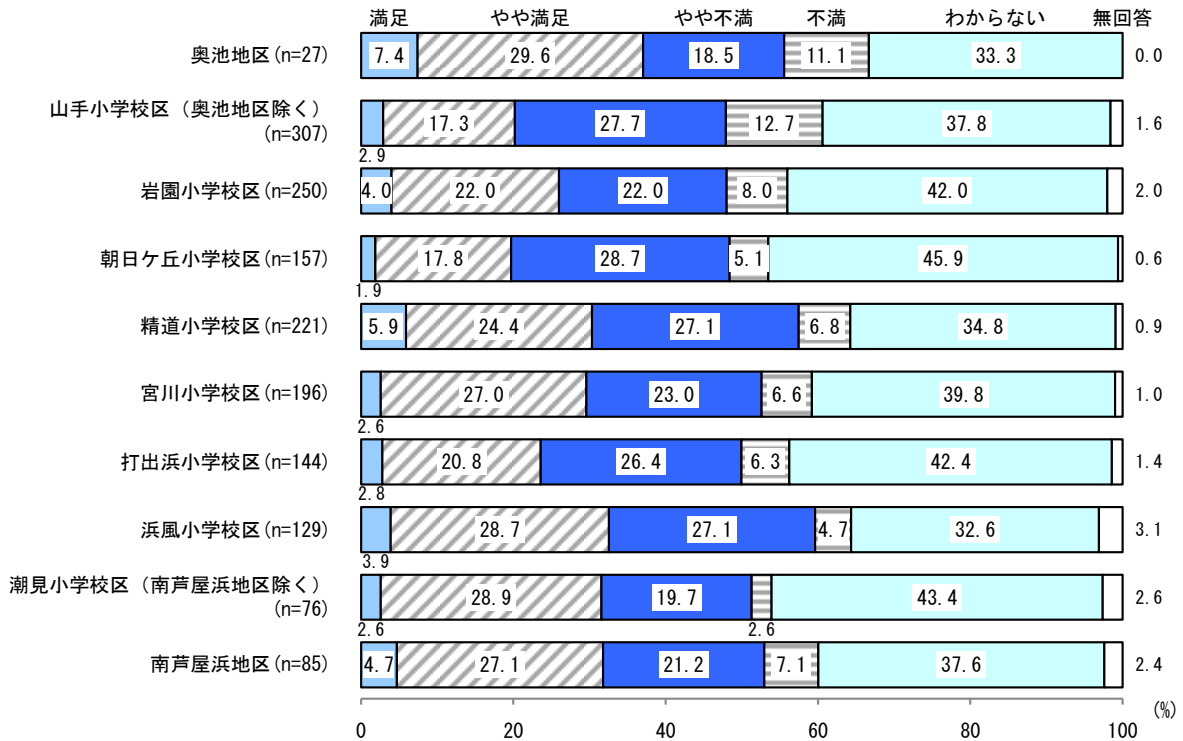
性別では、男性で否定的意見が37.4%と女性より9.1ポイント高くなっている。



年代別では、否定的意見が60歳代で40.4%と4割を超え最も高くなっている。



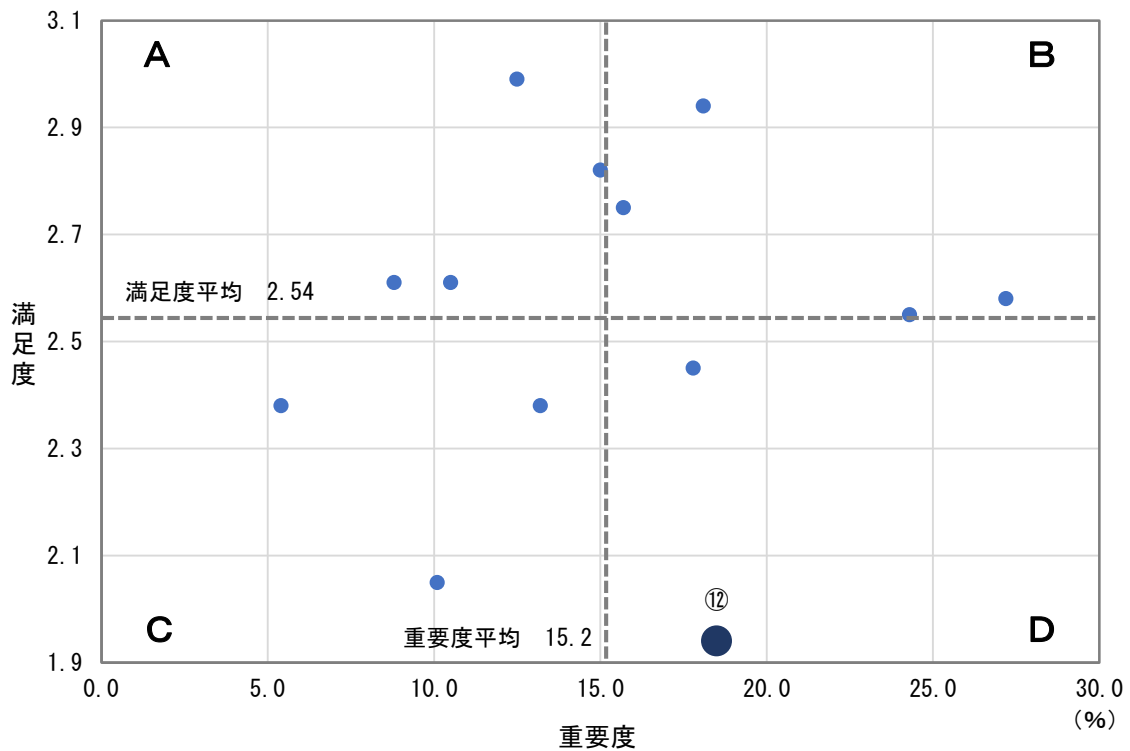
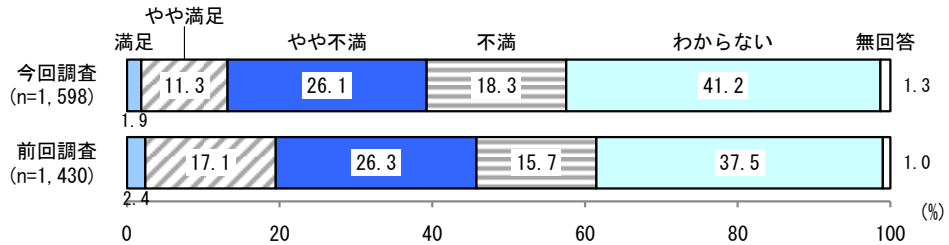
地区別では、否定的意見が山手小学校区（奥池地区除く）で40.4%と4割を超え最も高くなっている。



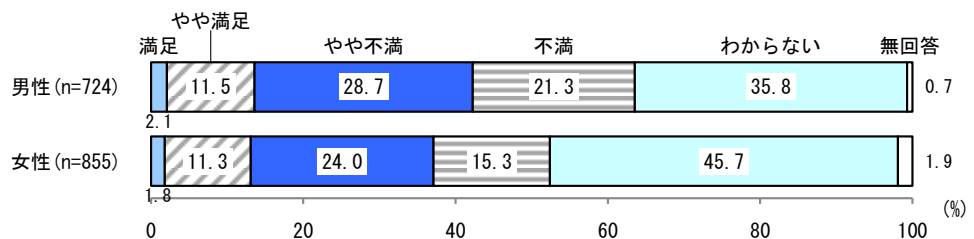
⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている

全体では、「わからない」が41.2%で最も高くなっている。「満足」1.9%、「やや満足」11.3%を合わせた肯定的意見は13.2%となっている一方で、「やや不満」26.1%、「不満」18.3%を合わせた否定的意見は44.4%となっている。

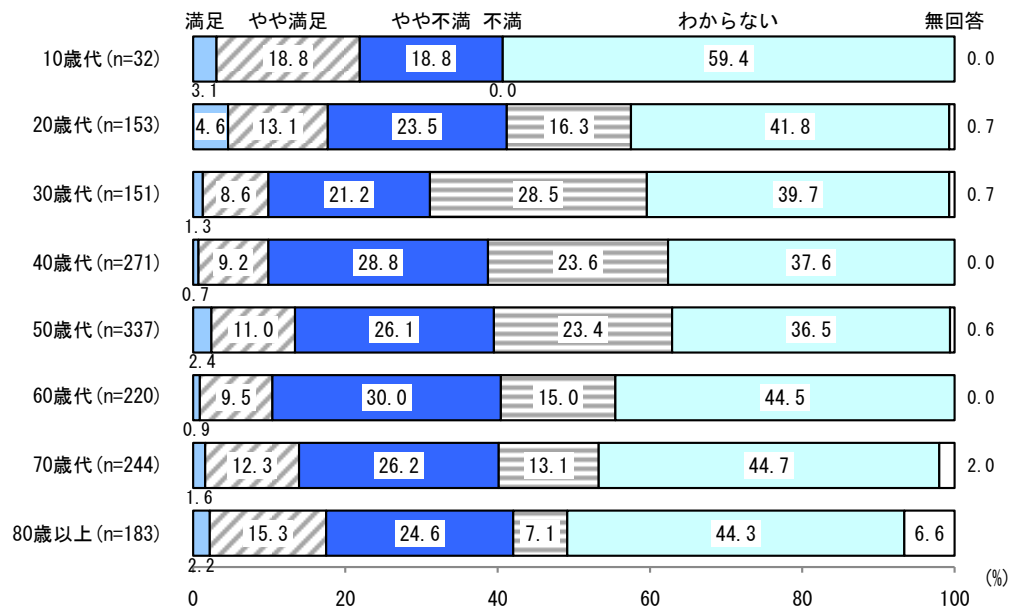
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より6.3ポイント低くなっている。



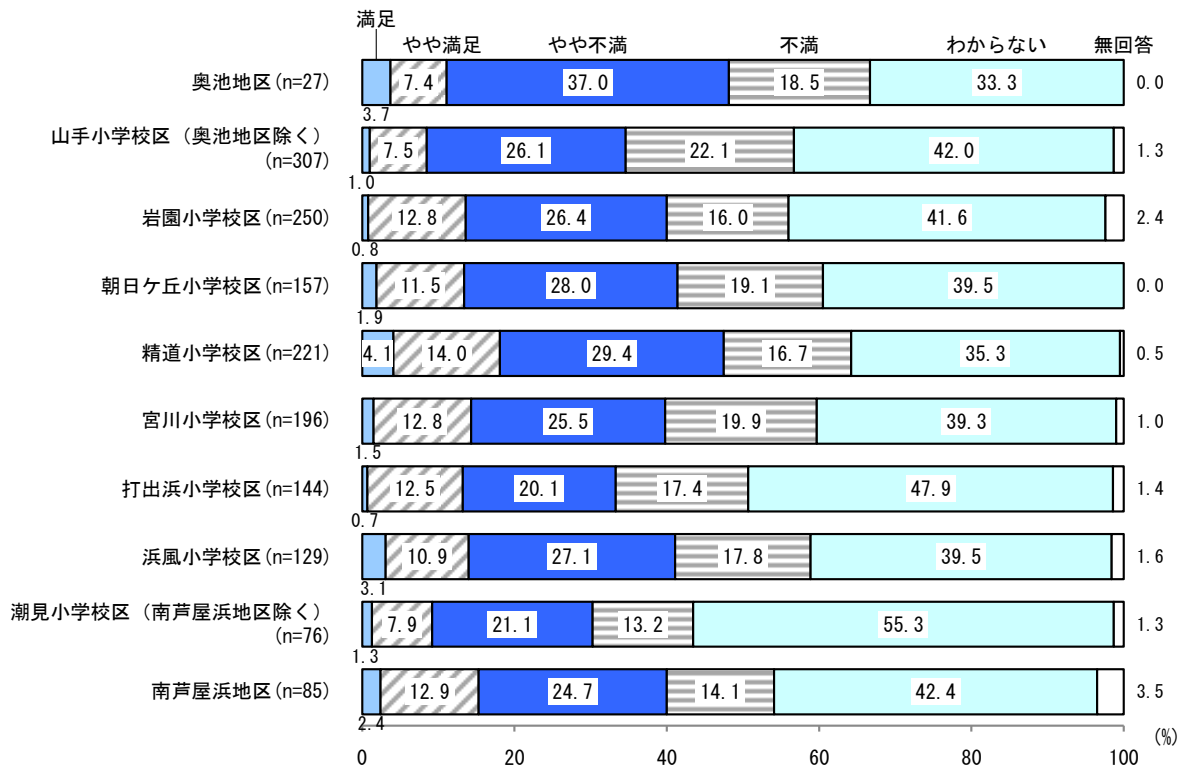
性別では、男性で否定的意見が50.0%と女性より10.7ポイント高くなっている。また、女性で「わからない」が45.7%と男性より9.9ポイント高くなっている。



年代別では、否定的意見が40歳代で52.4%と5割を超え最も高くなっている。



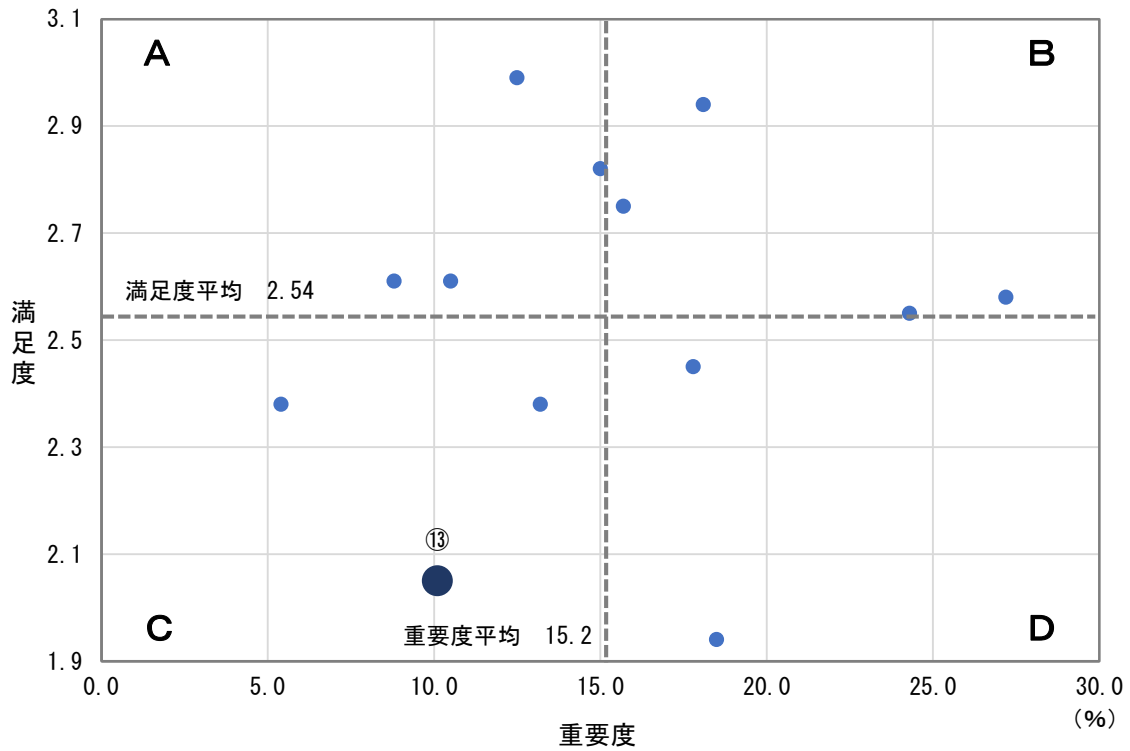
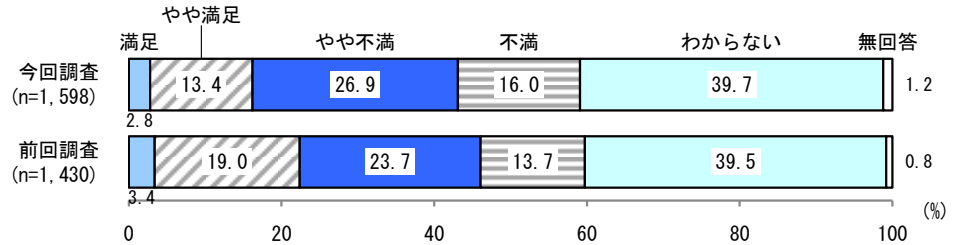
地区別では、否定的意見が奥池地区で55.5%と5割を超え、全体より11.1ポイント高くなっている。また、「わからない」が潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で55.3%と5割を超えている。



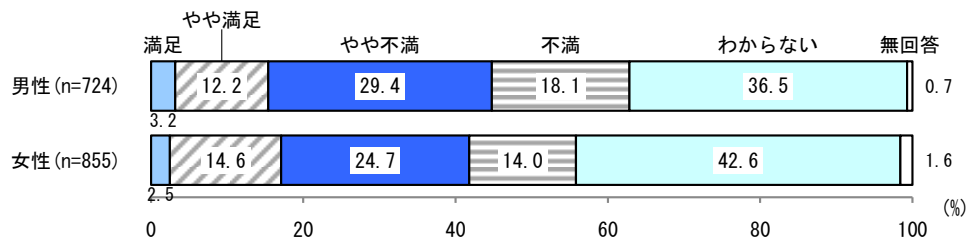
⑬急速な社会変化に対応できる組織になっている

全体では、「わからない」が39.7%で最も高くなっている。「満足」2.8%、「やや満足」13.4%を合わせた肯定的意見は16.2%となっている一方で、「やや不満」26.9%、「不満」16.0%を合わせた否定的意見は42.9%となっている。

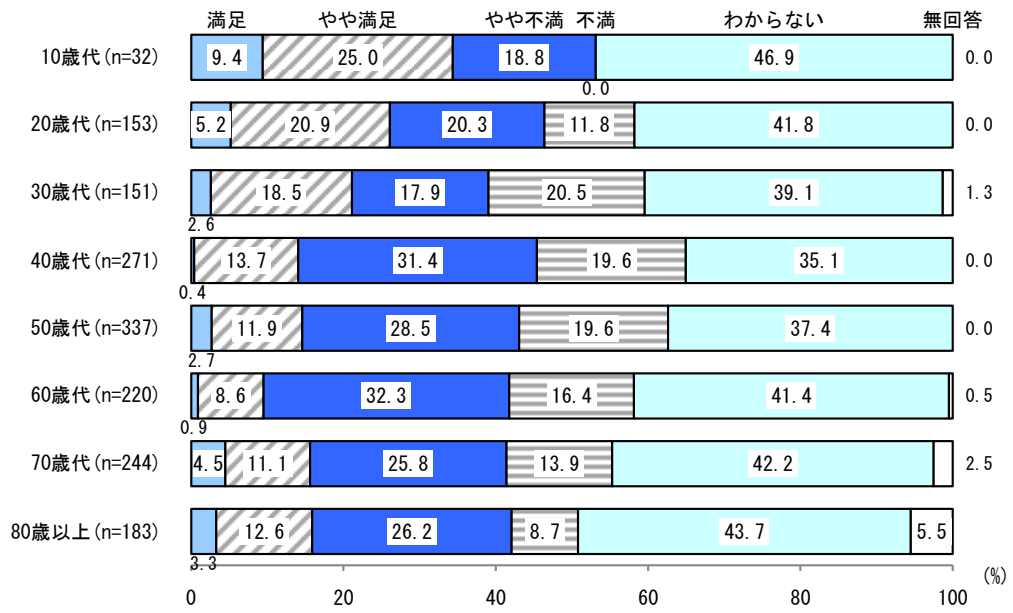
前回調査と比較すると、肯定的意見が前回調査より6.2ポイント低くなっている。



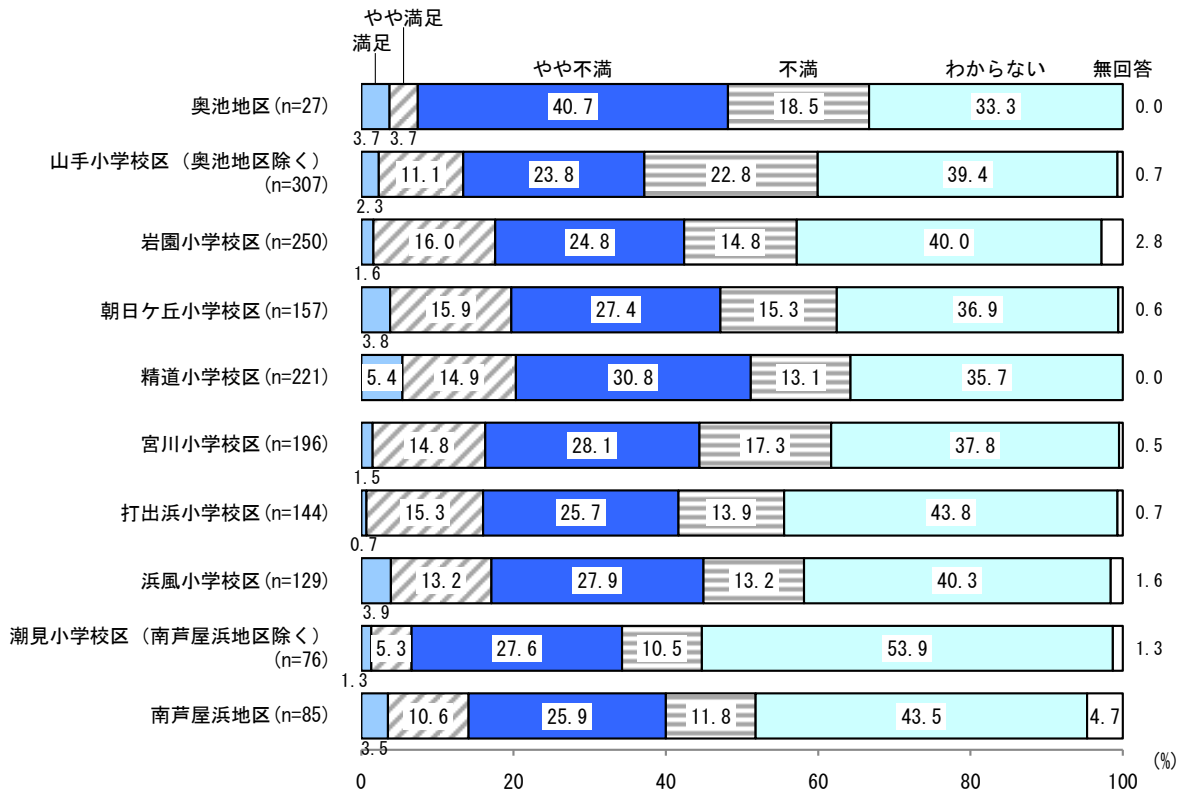
性別では、男性で否定的意見が47.5%と女性より8.8ポイント高くなっている。



年代別では、否定的意見が40歳代で51.0%と5割を超えている。



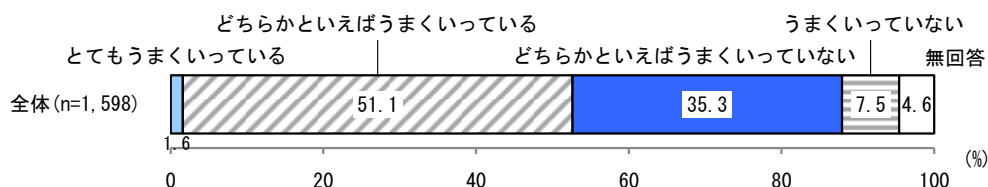
地区別では、肯定的意見について精道小学校区が20.3%と最も高く、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で6.6%と最も低くなっている。



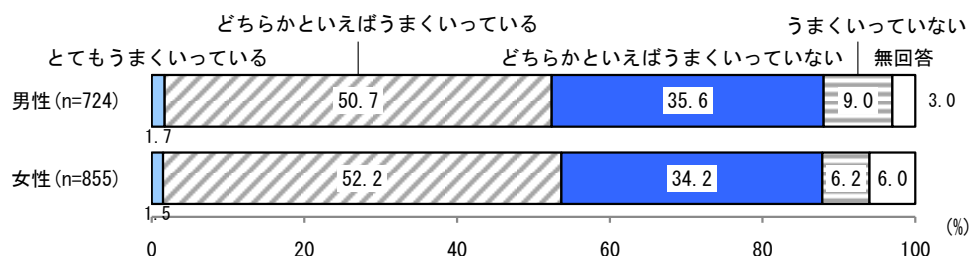
問20 芦屋市の現状の評価

問20 問19にある13項目の施策の目標全体を通して見たときに、芦屋市の現状をどのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。
※直感的に選択してください。

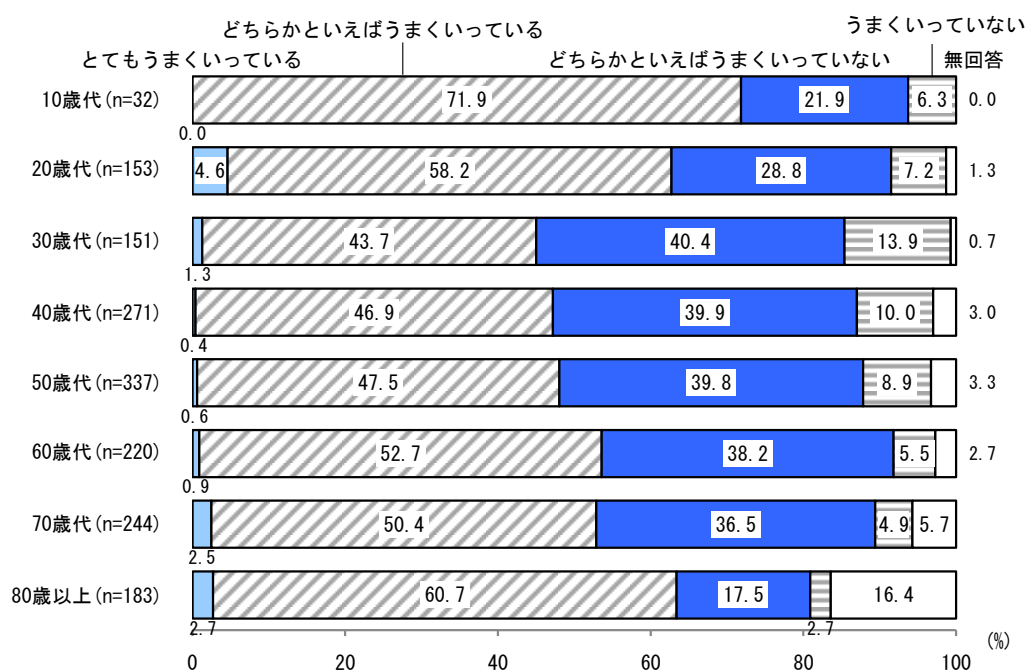
全体では、「どちらかといえばうまくいっている」が51.1%で最も高く、「どちらかといえばうまくいっていない」が35.3%、「うまくいっていない」が7.5%と続いている。



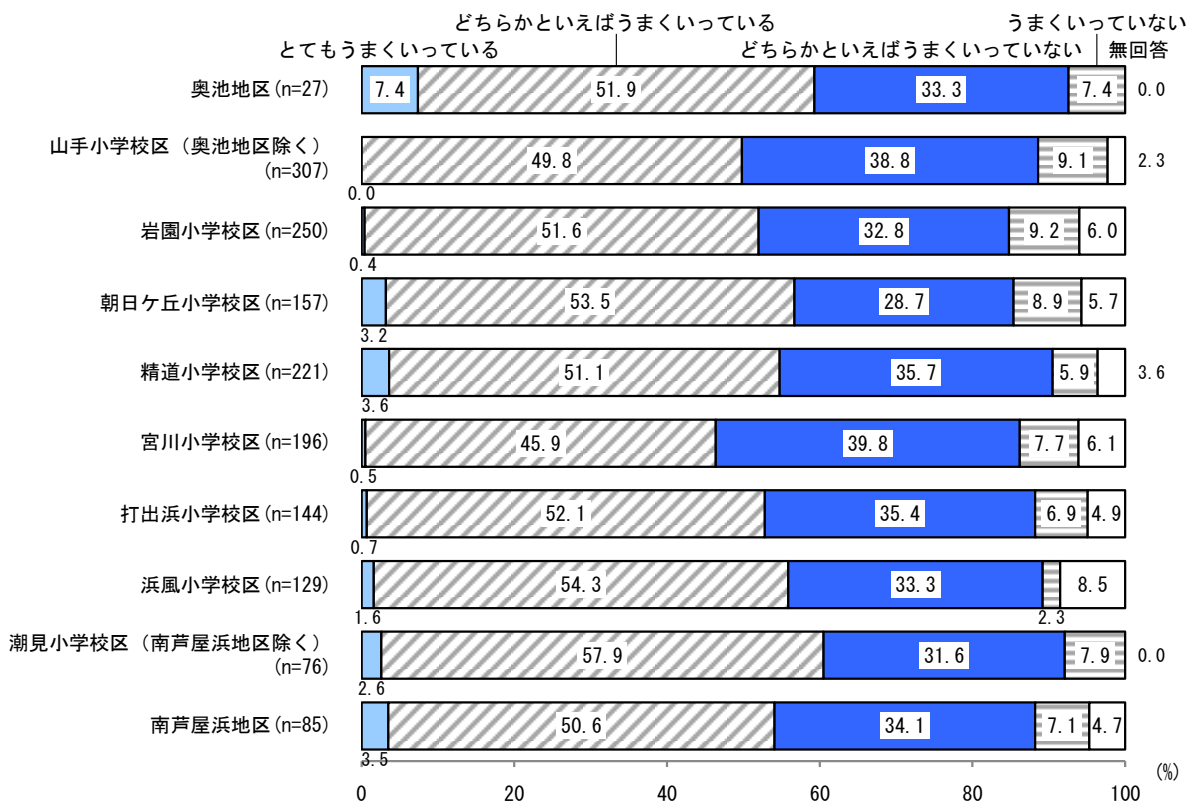
性別で大きな差はみられない。



年代別では、芦屋市の現状が『うまくいっている』（「とてもうまくいっている」+「どちらかといえばうまくいっている」）と思う割合は10歳代、20歳代、80歳以上で6割を超えている。一方で、『うまくいっていない』（「どちらかといえばうまくいっていない」+「うまくいっていない」）と思う割合は30歳代で54.3%と5割を超えている。



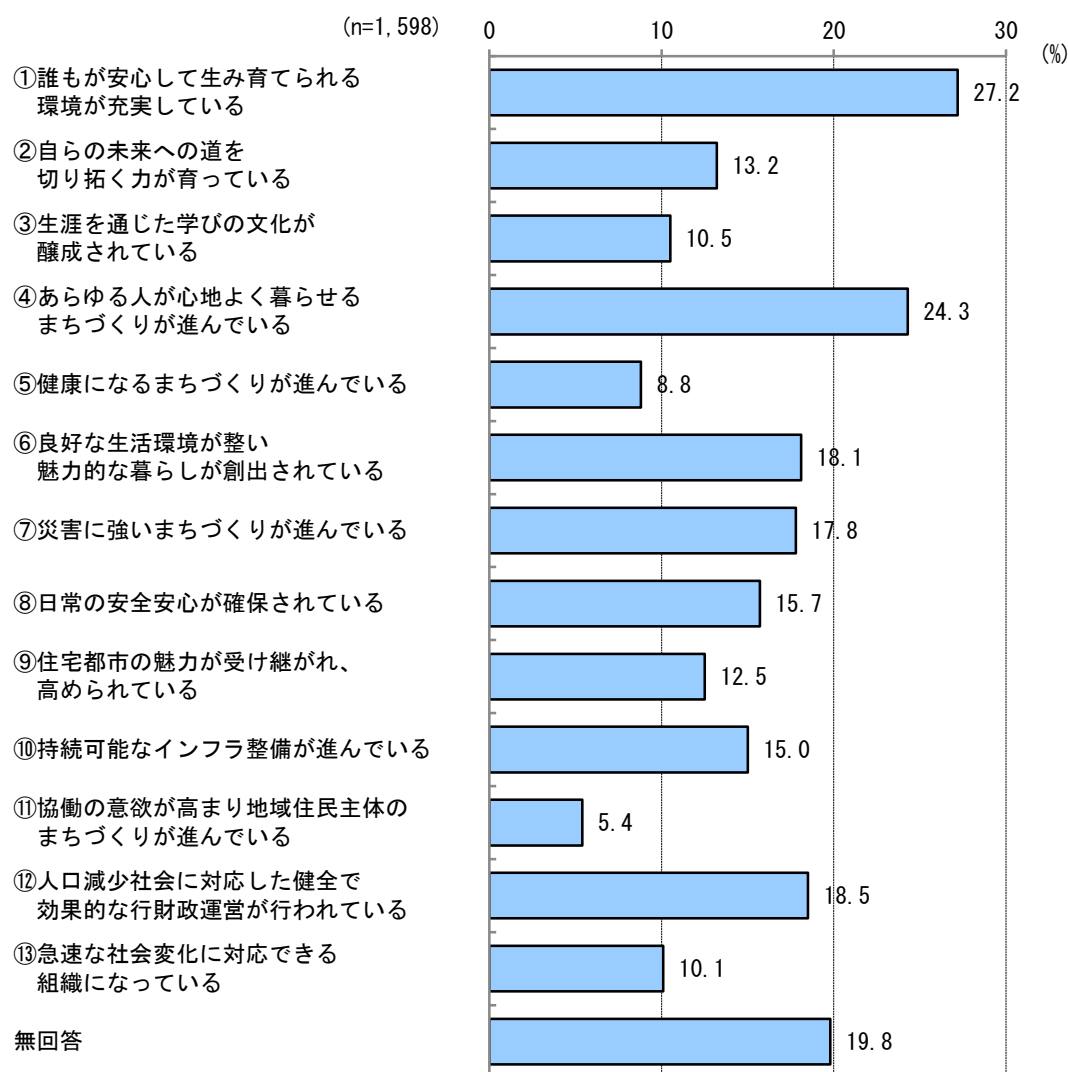
地区別では、芦屋市の現状が『うまくいっている』（「とてもうまくいっている」+「どちらかといえbaumよくいっている」）と思う割合は潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で60.5%と最も高くなっている。



問2 1 力を入れて取り組むべき施策目標

問2 1 問1 9にある13項目の施策の目標のうち、芦屋市の魅力創出の視点から今後特に力を入れて取り組むべきと思われる番号を問1 9の表の中から3つ以内で選んで、下記に数字をご記入ください。また、理由やご意見をお聞かせください。

全体では、「①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している」が27.2%で最も高く、「④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる」が24.3%、「⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている」が18.5%と続いている。



性別で大きな差はみられない。

年代別では、10歳代から40歳代では「①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している」が最も高く、50歳代と70歳以上では「④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる」が最も高くなっている。また、60歳代では「⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている」が最も高くなっている。

(%)

		調査数	①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している	②自らの未来への道を切り拓く力が育っている	③生涯を通じた学びの文化が醸成されている	④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる	⑤健康になるまちづくりが進んでいる	⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている	⑦災害に強いまちづくりが進んでいる
市全体		1598	27.2	13.2	10.5	24.3	8.8	18.1	17.8
性別	男性	724	①28.5	12.3	12.7	②26.2	9.7	③19.9	17.3
	女性	855	①26.4	13.9	8.7	②22.8	8.3	16.4	③18.6
年代別	10歳代	32	①43.8	③18.8	12.5	15.6	3.1	12.5	②25.0
	20歳代	153	①37.9	15.7	11.1	③22.9	9.8	17.6	19.6
	30歳代	151	①56.3	17.2	10.6	②23.8	6.6	18.5	11.9
	40歳代	271	①37.3	③21.4	11.4	②26.6	9.2	③21.4	18.5
	50歳代	337	②23.7	13.9	11.6	①27.6	8.6	③22.8	20.5
	60歳代	220	17.7	7.3	8.6	③18.2	11.4	17.7	②20.0
	70歳代	244	13.1	9.8	8.6	①25.8	10.2	14.8	②17.2
	80歳以上	183	③14.2	5.5	10.4	①24.0	6.0	10.9	13.1
		調査数	⑧日常の安全安心が確保されている	⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている	⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる	⑪協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる	⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている	⑬急速な社会変化に対応できる組織になっている	無回答
市全体		1598	15.7	12.5	15.0	5.4	18.5	10.1	19.8
性別	男性	724	14.0	14.2	15.7	6.1	18.9	9.1	16.6
	女性	855	17.2	10.6	14.4	5.0	17.8	10.8	22.6
年代別	10歳代	32	3.1	12.5	③18.8	③18.8	③18.8	9.4	9.4
	20歳代	153	15.7	9.8	7.8	7.2	②23.5	9.8	13.7
	30歳代	151	11.3	9.3	17.9	3.3	③21.2	5.3	13.9
	40歳代	271	18.8	12.9	18.5	3.0	16.2	10.0	10.0
	50歳代	337	21.7	11.3	15.4	6.8	19.9	9.8	13.9
	60歳代	220	15.0	16.4	15.9	4.1	①20.5	10.9	23.2
	70歳代	244	11.5	14.3	11.1	5.3	③16.0	13.1	30.3
	80歳以上	183	12.6	10.9	②16.9	6.6	13.7	9.3	37.7

地区別では、精道小学校区、浜風小学校区では「④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる」が最も高く、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）では「⑦災害に強いまちづくりが進んでいる」が最も高くなっている。それ以外の地区では「①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している」が最も高くなっている。

(%)

		調査数	①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している	②自らの未来への道を切り拓く力が育っている	③生涯を通じた学びの文化が醸成されている	④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる	⑤健康になるまちづくりが進んでいる	⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている	⑦災害に強いまちづくりが進んでいる
市全体		1598	27.2	13.2	10.5	24.3	8.8	18.1	17.8
地区別	奥池地区	27	①37.0	③22.2	3.7	③22.2	7.4	②25.9	14.8
	山手小学校区	307	①27.7	14.0	9.8	②25.4	7.2	19.9	16.6
	岩園小学校区	250	①24.8	10.8	13.2	②24.4	11.2	20.8	16.0
	朝日ヶ丘小学校区	157	①29.9	15.3	9.6	②23.6	10.2	19.1	17.2
	精道小学校区	221	②26.2	14.5	11.8	①26.7	10.0	16.7	③19.9
	宮川小学校区	196	①29.6	14.3	12.2	③21.9	7.1	16.3	②23.5
	打出浜小学校区	144	①31.3	15.3	9.0	②22.9	11.8	③21.5	16.0
	浜風小学校区	129	②21.7	12.4	7.8	①23.3	6.2	13.2	13.2
	潮見小学校区	76	13.2	6.6	7.9	③18.4	9.2	9.2	①25.0
	南芦屋浜地区	85	①36.5	9.4	9.4	②32.9	5.9	16.5	16.5
		調査数	⑧日常の安全安心が確保されている	⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている	⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる	⑪協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる	⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている	⑬急速な社会変化に対応できる組織になっている	無回答
市全体		1598	15.7	12.5	15.0	5.4	18.5	10.1	19.8
地区別	奥池地区	27	②25.9	②25.9	18.5	-	11.1	7.4	18.5
	山手小学校区	307	③21.5	15.6	13.4	6.8	20.8	8.5	17.3
	岩園小学校区	250	14.8	11.2	14.8	4.8	③23.2	10.0	18.0
	朝日ヶ丘小学校区	157	14.6	15.3	14.0	1.9	③19.7	12.7	15.9
	精道小学校区	221	14.0	12.2	14.5	7.2	18.1	13.1	19.5
	宮川小学校区	196	13.8	9.7	16.3	7.1	15.3	8.7	18.9
	打出浜小学校区	144	10.4	9.0	13.2	6.3	18.8	8.3	22.9
	浜風小学校区	129	14.0	10.1	③18.6	3.1	16.3	10.9	30.2
	潮見小学校区	76	13.2	10.5	②22.4	7.9	17.1	10.5	22.4
	南芦屋浜地区	85	③17.6	12.9	12.9	2.4	8.2	8.2	20.0

施策の目標を選んだ意見や理由

今後特に力を入れて取り組むべきと考える施策の目標を選んだ理由や主なご意見では、次のようなものがあった。

【総括】

全 13 施策目標に対して、延べ件数で 2,591 件の意見が得られた。(前回調査より 882 件増)
全体的に「子育て環境の整備や若者の流入」、「道路環境の整備」、「少子高齢化への対策」、「情報の啓発・広報」に関する意見が多くなっている。

以下 4 つの施策目標について、200 件以上の意見が得られた。

- <第 1 位>①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している (401 件)
- <第 2 位>④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる (258 件)
- <第 3 位>⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている (235 件)
- <第 4 位>⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている (229 件)

【施策目標ごとの記述項目と具体的意見の例】

①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している (意見数 401 件) (前回調査より 229 件増)

【主な記述項目】

- ・安心して子育てができる支援施策・環境を充実させてほしい (63 件)
- ・経済的支援(補助・所得制限撤廃)をしてほしい・高すぎる (43 件)
- ・若い世代(子育て世帯)を増やすまちづくりが必要 (41 件)
- ・他市に比べ劣っている・他市のような施策を希望 (38 件)
- ・少子高齢化・人口減少対策が必要 (36 件)
- ・就学前施設等(主に保育所・幼稚園)に関する要望・意見 (26 件)
- ・子どもが過ごせる場所・施設を充実させてほしい (22 件)
- ・医療費無償化してほしい (15 件)
- ・妊娠・出産時における環境を整備してほしい (12 件)
- ・【選んだ理由】子どもや子育て施策は大事である (9 件)
- ・教育に投資してほしい (9 件)
- ・給食費に関する支援が必要 (9 件)
- ・イベント開催・多世代交流をしてほしい (7 件)
- ・市内にもっと医療資源が欲しい (7 件)
- ・児童手当の増額・所得制限撤廃してほしい (6 件)
- ・保育料無償化してほしい (6 件)
- ・学校区の見直し(遠い) (6 件)
- ・教育無償化してほしい (4 件)
- ・学力向上・学ぶ機会の拡充をしてほしい (4 件)
- ・格差の解消が必要 (4 件)
- ・啓発・広報を充実させてほしい (3 件)
- ・その他 (31 件)

②自らの未来への道を切り拓く力が育っている（意見数 175 件）（前回調査より 81 件増）

【主な記述項目】

- ・（学校）教育の質を向上させてほしい（45 件）
- ・（家庭環境・経済状況に関係ない）平等な教育機会の確保・格差をなくす（22 件）
- ・教師の量確保・質の向上が必要（14 件）
- ・教育に関するイベントや活動、施設を充実させてほしい（13 件）
- ・子どもの内面や人間性を育てる教育が必要（11 件）
- ・今後を担う子どもの教育に力を入れるべき（10 件）
- ・若者が未来に希望を持てるように（少子化対策について）（9 件）
- ・一人ひとり個人（能力など）にあった教育をしてほしい（7 件）
- ・芦屋独自の教育を希望（6 件）
- ・不登校対策を希望（6 件）
- ・若者以外に対する学びの機会を創出してほしい（4 件）
- ・その他（28 件）

③生涯を通じた学びの文化が醸成されている（意見数 146 件）（前回調査より 65 件増）

【主な記述項目】

- ・イベントの開催・（文化など）学ぶ機会を充実させてほしい（38 件）
- ・（学びの場などの）施設を充実させてほしい（20 件）
- ・図書館機能を充実させてほしい（13 件）
- ・スポーツ振興／スポーツ施設（体育館など）を充実させてほしい（12 件）
- ・啓発・広報を充実させてほしい（9 件）
- ・美術博物館を充実させてほしい（8 件）
- ・【選んだ理由】学ぶことは大事である／地域の発展につながるから（7 件）
- ・文化や歴史の伝承が必要（5 件）
- ・集会所などの交流施設を整備させてほしい（5 件）
- ・利用しやすい（お礼など）（5 件）
- ・世代間・他市などとの交流を促進させてほしい（3 件）
- ・総合公園を充実させてほしい（2 件）
- ・ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホールを充実させてほしい（2 件）
- ・その他（17 件）

④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる(意見数 258 件)(前回調査より 109 件増)

【主な記述項目】

- ・高齢者が暮らしやすいまちづくりが必要(32件)
- ・道路・施設などを整備してほしい(30件)
- ・あらゆる人が暮らしやすいまちづくりが必要(24件)
- ・子育て世代や若者が暮らしやすいまちづくりが必要(20件)
- ・障がい者が暮らしやすいまちづくりが必要(16件)
- ・移動手段を増やしてほしい(不便)(15件)
- ・【選んだ理由】住みよいまちになることは大事である(14件)
- ・交流の場を充実させてほしい(13件)
- ・まちなみ・住環境を充実させてほしい(11件)
- ・ベンチの増設をしてほしい(8件)
- ・阪急芦屋川駅の周辺交通を解消してほしい(8件)
- ・銀行・病院・スーパーなどが無い(6件)
- ・マナー・モラルが欠如している(6件)
- ・(南北)格差がある(6件)
- ・JR芦屋駅・駅周辺を整備してほしい(5件)
- ・啓発・広報を充実させてほしい(5件)
- ・たばこに関する要望(4件)
- ・ゴミに関する要望(3件)
- ・その他(32件)

⑤健康になるまちづくりが進んでいる(意見数 106 件)(前回調査より 17 件増)

【主な記述項目】

- ・健康維持施策を充実させてほしい(15件)
- ・健康づくりのためのスポーツ施設(体育館など)を整備・充実させてほしい(14件)
- ・【選んだ理由】健康は大事である(14件)
- ・病院・医療関係機関を充実させてほしい(10件)
- ・健康づくりのための公園を整備・充実させてほしい(6件)
- ・健康診断・検診を充実させてほしい(6件)
- ・移動が不便である(5件)
- ・施策に対するお礼(5件)
- ・啓発・広報を充実させてほしい(4件)
- ・ワクチン・予防接種に関する要望(4件)
- ・たばこの対策をしてほしい(3件)
- ・その他(20件)

⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている(意見数 229 件) (前回調査より 109 件増)

【主な記述項目】

- ・スーパー・商業施設などを充実させてほしい (38 件)
- ・芦屋市は良い住環境である (18 件)
- ・市内の移動手段が不足している (14 件)
- ・道路・歩道の整備が必要 (13 件)
- ・「芦屋」ブランドを高めてほしい (12 件)
- ・自然(緑)が豊かで過ごしやすい(これからも維持してほしい) (12 件)
- ・ごみ問題対策が必要 (12 件)
- ・(JR芦屋駅・阪急芦屋川駅・阪神芦屋駅など)駅周辺を整備してほしい (11 件)
- ・住みやすい町にしてほしい (10 件)
- ・若者の流入(人口減少対策の必要性)が大切である (9 件)
- ・交通マナー違反が多い(取り締まりが必要) (8 件)
- ・まちを活気づける施策を講じるべき (6 件)
- ・啓発・広報を充実させてほしい (6 件)
- ・環境問題に関するご意見 (6 件)
- ・JR芦屋駅南地区再開発への期待 (5 件)
- ・公園の整備をしてほしい (5 件)
- ・地域格差がある (4 件)
- ・芦屋で暮らす価値がわからない(魅力が少ない) (4 件)
- ・たばこの対策をしてほしい (4 件)
- ・イベント開催・多世代交流をしてほしい (4 件)
- ・住宅に関して補助してほしい (3 件)
- ・防犯に関する要望 (2 件)
- ・その他 (23 件)

⑦災害に強いまちづくりが進んでいる（意見数 218 件）（前回調査より 25 件減）

【主な記述項目】

- ・防災対策を充実させてほしい（33 件）
- ・啓発・広報を充実させてほしい（23 件）
- ・地震対策が必要（23 件）
- ・起こりうる災害および被災時の心配や不安（22 件）
- ・高潮・津波対策が必要（18 件）
- ・氾濫・洪水など大雨・水害対策が必要（17 件）
- ・避難訓練を充実させてほしい（13 件）
- ・【選んだ理由】防災対策は大事である（12 件）
- ・避難場所を充実させてほしい（11 件）
- ・被災時の助け合いが必要（10 件）
- ・阪神・淡路大震災の教訓を伝えることが必要（8 件）
- ・土砂災害対策が必要（7 件）
- ・防災無線が聞こえづらい（4 件）
- ・橋梁・建物などを強化してほしい（4 件）
- ・電線を地中化してほしい（2 件）
- ・その他（11 件）

⑧日常の安全安心が確保されている（意見数 223 件）（前回調査より 81 件増）

【主な記述項目】

- ・道路環境を整備してほしい（34 件）
- ・バイク・車のスピード違反・路上駐車など違反が多い（31 件）
- ・交通事故多発エリアへの対策してほしい（22 件）
- ・【選んだ理由】安全安心の確保は大事である（20 件）
- ・医療体制を充実させてほしい（18 件）
- ・犯罪が起きにくいまちづくりをしてほしい（16 件）
- ・街灯が少ない、まちが暗い（12 件）
- ・防犯カメラの設置を希望（12 件）
- ・自転車のルール違反が多い（11 件）
- ・学校・通学路の防犯対策が必要（7 件）
- ・道路が狭い（6 件）
- ・啓発・広報を充実させてほしい（6 件）
- ・詐欺対策が必要（4 件）
- ・不審者がいる地域がある（4 件）
- ・喫煙者のマナー違反が多い（3 件）
- ・その他（17 件）

⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている（意見数 176 件）（前回調査より 35 件増）

【主な記述項目】

- ・緑が多すぎる・管理ができていない（19 件）
- ・【選んだ理由】住宅都市として魅力がある（15 件）
- ・公園を整備してほしい（15 件）
- ・道路環境を整備してほしい（14 件）
- ・景観のさらなる向上施策を希望（13 件）
- ・緑の多い町並みが良い、緑をもっと増やしてほしい（11 件）
- ・J R 芦屋駅南地区再開発への期待（11 件）
- ・景観・まちなみが良い（10 件）
- ・（若者・子育て世帯の）流入施策をとってほしい（10 件）
- ・芦屋ブランドをもっとアピールしてほしい（6 件）
- ・景観が悪いところがある（5 件）
- ・公共施設（トイレ・ゴミ収集場を含む）を整備してほしい（5 件）
- ・空き家の活用をしてほしい（5 件）
- ・ペットのフン始末がされていない（5 件）
- ・商業施設を充実させてほしい（5 件）
- ・カラス対策が必要（5 件）
- ・電線を地中化してほしい（4 件）
- ・その他（18 件）

⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる（意見数 212 件）（前回調査より 40 件増）

【主な記述項目】

- ・道路の整備・修繕してほしい（37 件）
- ・ごみ収集・ごみ分類に関する要望（25 件）
- ・歩道や歩道橋の整備・修繕してほしい（23 件）
- ・パイプラインの継続（16 件）
- ・駅周辺の交通対策が必要（16 件）
- ・電線を地中化してほしい（10 件）
- ・上下水道・ガス管などの整備をしてほしい（9 件）
- ・交通機関を充実させてほしい（9 件）
- ・橋梁の整備・修繕してほしい（7 件）
- ・【選んだ理由】インフラ整備は大事である（8 件）
- ・（指定）ごみ袋に関する要望（7 件）
- ・自転車道を整備してほしい（6 件）
- ・踏切対策をしてほしい（6 件）
- ・カラスが迷惑である（6 件）
- ・ごみ処理場に関する要望（4 件）
- ・マナー・モラルが欠如している（4 件）
- ・路上駐車が多い（3 件）
- ・その他（16 件）

⑪協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる（意見数 79 件）（前回調査より 25 件増）

【主な記述項目】

- ・地域差や年代差などがある（高齢者が多い）（9 件）
- ・地域イベントを充実させてほしい（8 件）
- ・市が関わり合いを持つべきである（地域住民の意見を聞くなど）（8 件）
- ・市の今後の施策に期待（施策をしてほしい）（8 件）
- ・住民が主体的に行動するべきである（6 件）
- ・（住民が）自治活動に消極的な人が増えている（5 件）
- ・市などの活動における周知不足（5 件）
- ・地域のつながり・連帯感が弱い（5 件）
- ・地域活動に参加したい（3 件）
- ・地域住民主体のまちづくりのイメージがない（3 件）
- ・自治会を活用すべきである（2 件）
- ・地域住民主体のまちづくり推進は大事である／町の活性化につながる（2 件）
- ・その他（15 件）

⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている（意見数 235 件）
（前回調査より 79 件増）

【主な記述項目】

- ・子育て世帯が住みやすい施策を充実させてほしい（34 件）
- ・若い世代が住みやすい施策を充実させてほしい（26 件）
- ・高齢化社会への対策をすべきである（19 件）
- ・人口減少社会への対策をすべきである（16 件）
- ・効率的な行財政運営を行ってほしい（16 件）
- ・広報・情報開示を充実させてほしい（15 件）
- ・高齢者が住みやすい施策を充実させてほしい（13 件）
- ・長期的な・将来を考えた施策が必要（9 件）
- ・商業施設などを充実させてほしい（8 件）
- ・他市の施策を参考にしてほしい（8 件）
- ・転入者を増やす施策をすべきである（7 件）
- ・より魅力のあるまちづくりをしてほしい（7 件）
- ・財源確保すべきである（7 件）
- ・税金が高い（7 件）
- ・【選んだ理由】健全で効果的な行財政運営は大事である（7 件）
- ・芦屋らしさを活かしたまちづくりをしてほしい（6 件）
- ・ふるさと納税の歳入減対策・魅力ある商品の選定を希望（4 件）
- ・社会全体の問題である（4 件）
- ・地域イベントを充実させてほしい（3 件）
- ・職員の給料が高い(支出を抑えてほしい)（3 件）
- ・その他（16 件）

⑬急速な社会変化に対応できる組織になっている（意見数 133 件）（前回調査より 37 件増）

【主な記述項目】

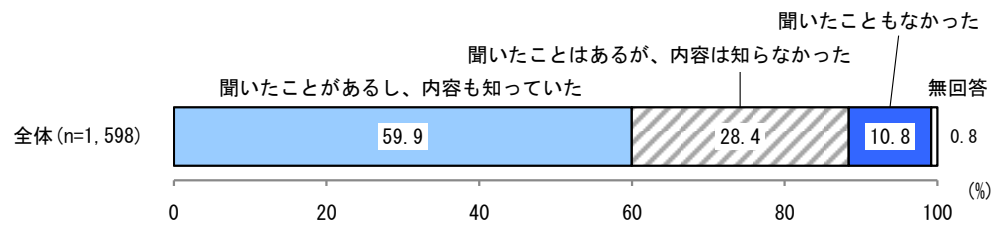
- ・社会変化に対応できる体制づくりを要望（24 件）
- ・高齢化・人口減少に対応する必要がある（17 件）
- ・市の広報・情報発信の重要性(わかりにくい・見えてこない)（15 件）
- ・積極的なまちづくりをしてほしい（11 件）
- ・市(市長)への期待（10 件）
- ・コロナ対応が遅い・不足している（8 件）
- ・デジタル化は重要である（8 件）
- ・他市との比較（7 件）
- ・職員の対応に関する要望（5 件）
- ・インフラ整備の必要性（J R 芦屋駅南地区再開発など）（4 件）
- ・市内在住職員が少ない（4 件）
- ・交通機関を充実させてほしい（2 件）
- ・「芦屋」ブランドにこだわりすぎ（2 件）
- ・その他（16 件）

IV. 市民マナー条例についておたずねします。

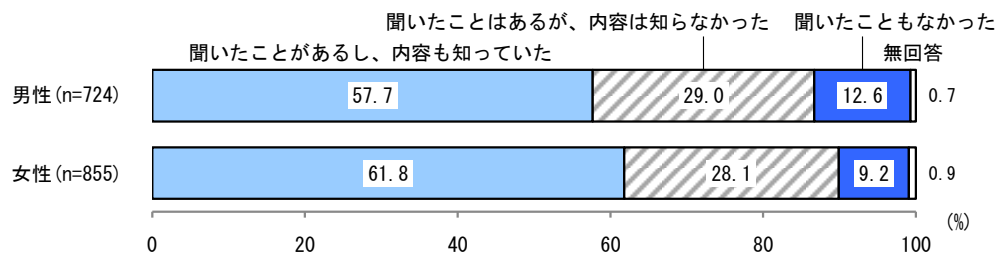
問 2 2 「市民マナー条例」の認知度

問 2 2 あなたは、芦屋市の「(通称) 市民マナー条例」(歩行喫煙の禁止、犬の放し飼いや糞の放置、指定区域内でのバーベキューなどの禁止)をご存知ですか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

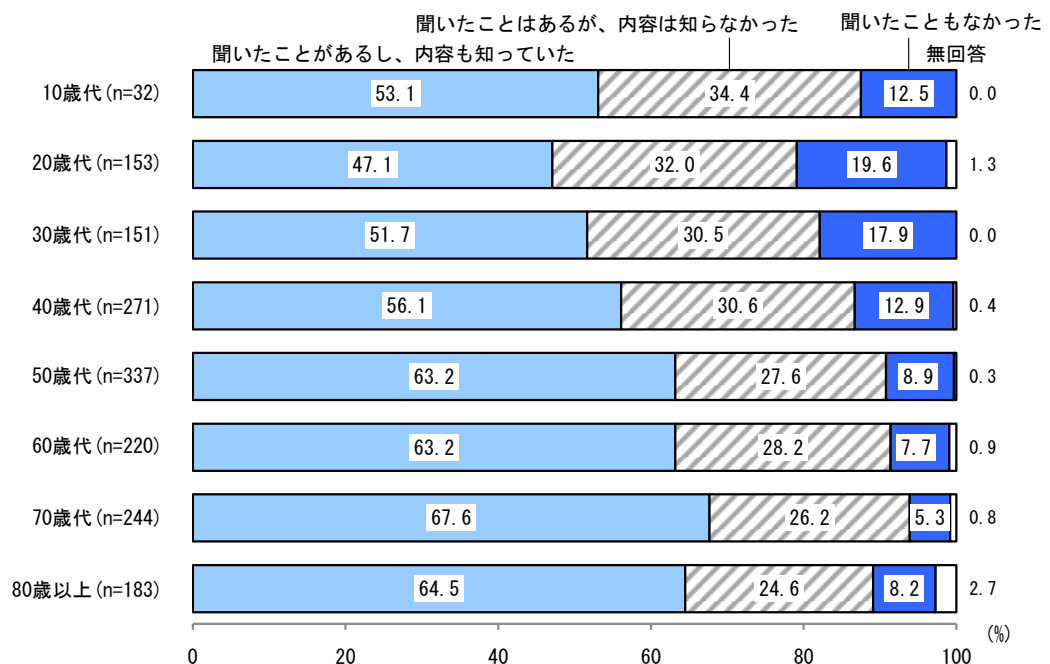
全体では、「聞いたことがあるし、内容も知っていた」が59.9%で最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」が28.4%、「聞いたこともなかった」が10.8%と続いている。



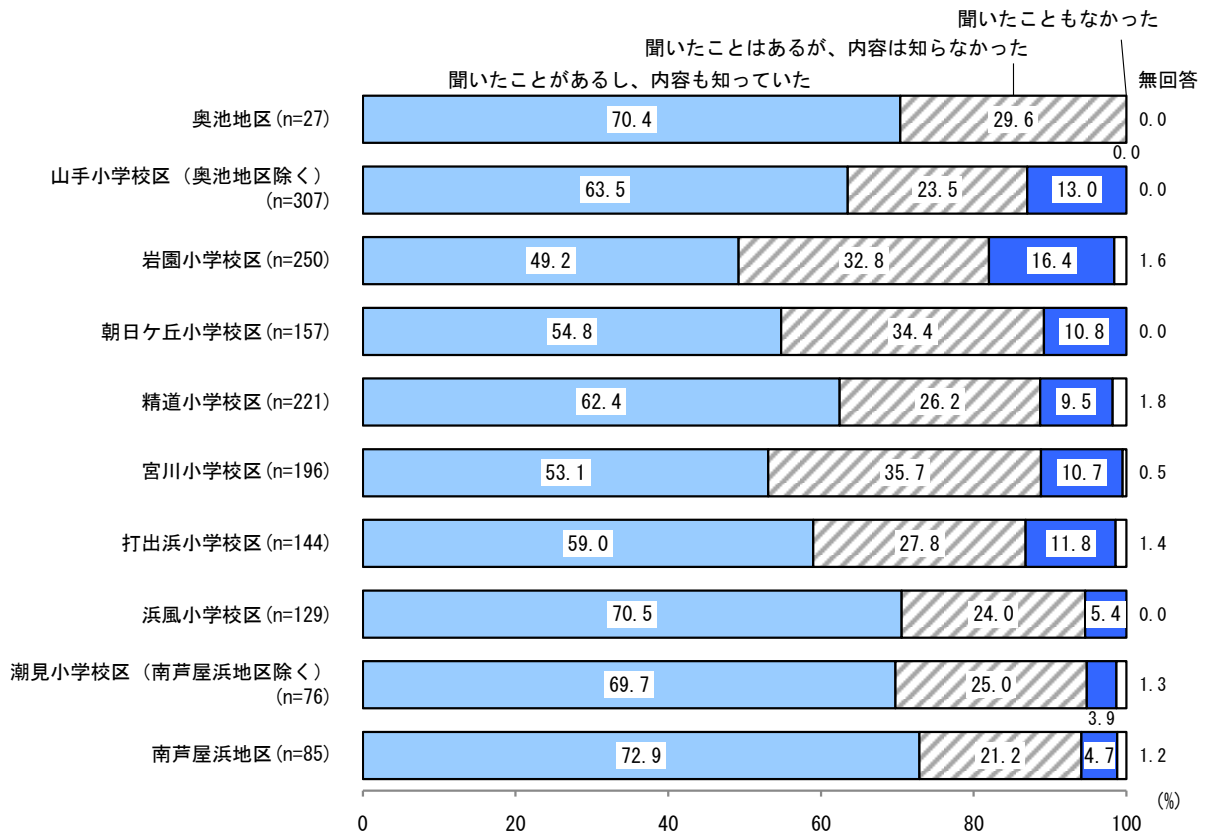
性別で大きな差はみられない。



年代別では、概ね年代が高い程、市民マナー条例について『知っている』(「聞いたことがあるし、内容も知っていた」+「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」)割合が高くなる傾向がみられ、50歳代から70歳代では9割を超えている。一方で、概ね年代が若くなる程「聞いたこともなかった」が高くなる傾向がみられる。



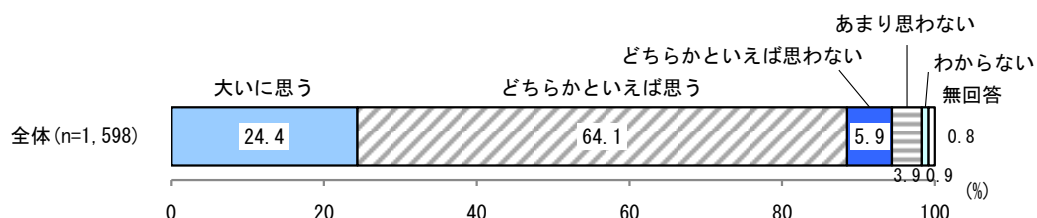
地区別では、市民マナー条例について『知っている』（「聞いたことがあるし、内容も知っていた」+「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」）割合は奥池地区、浜風小学校区、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）、南芦屋浜地区で9割を超えている。



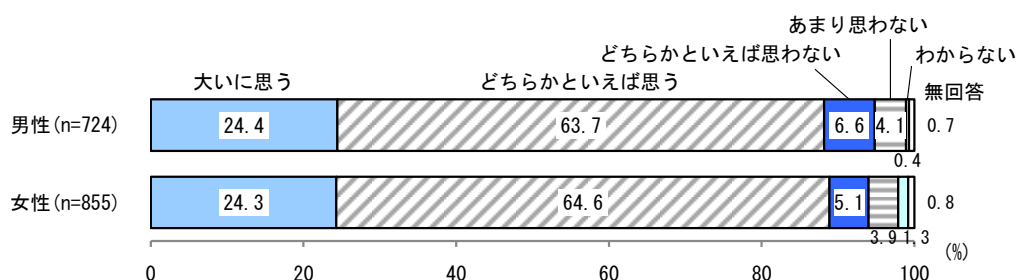
問23 芦屋市のまちは清潔で快適だと思うか

問23 芦屋市は、美しく清潔で快適なまちだと思いますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

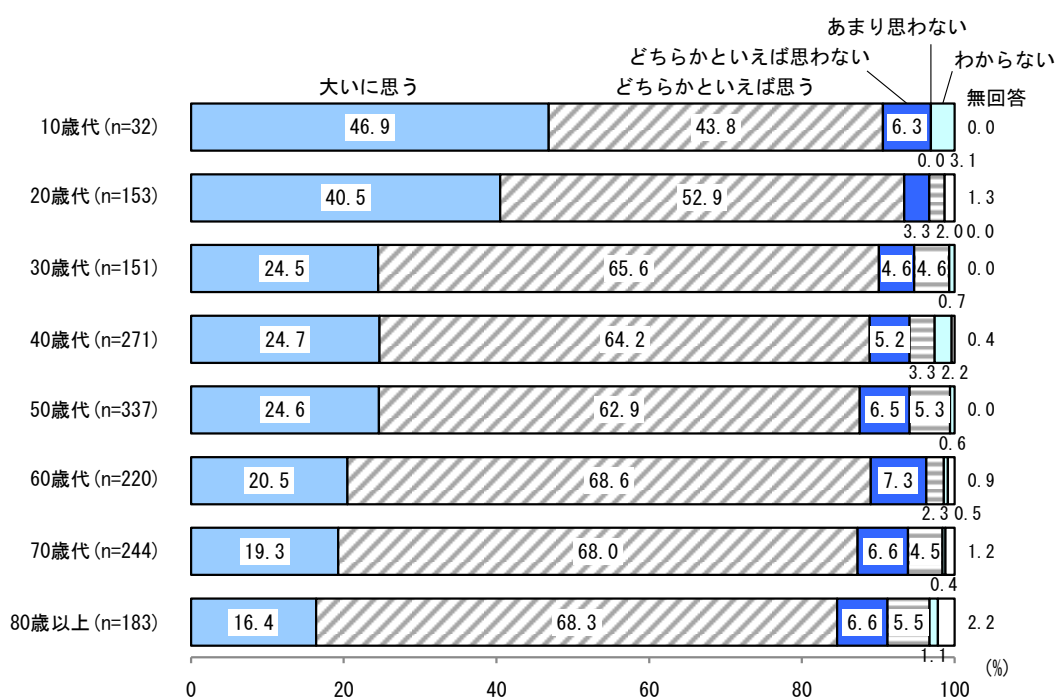
全体では、「どちらかといえば思う」が64.1%で最も高く、「大いに思う」が24.4%、「どちらかといえば思わない」が5.9%と続いている。『思う』（「大いに思う」+「どちらかといえば思う」）は88.5%と9割近くを占めている。



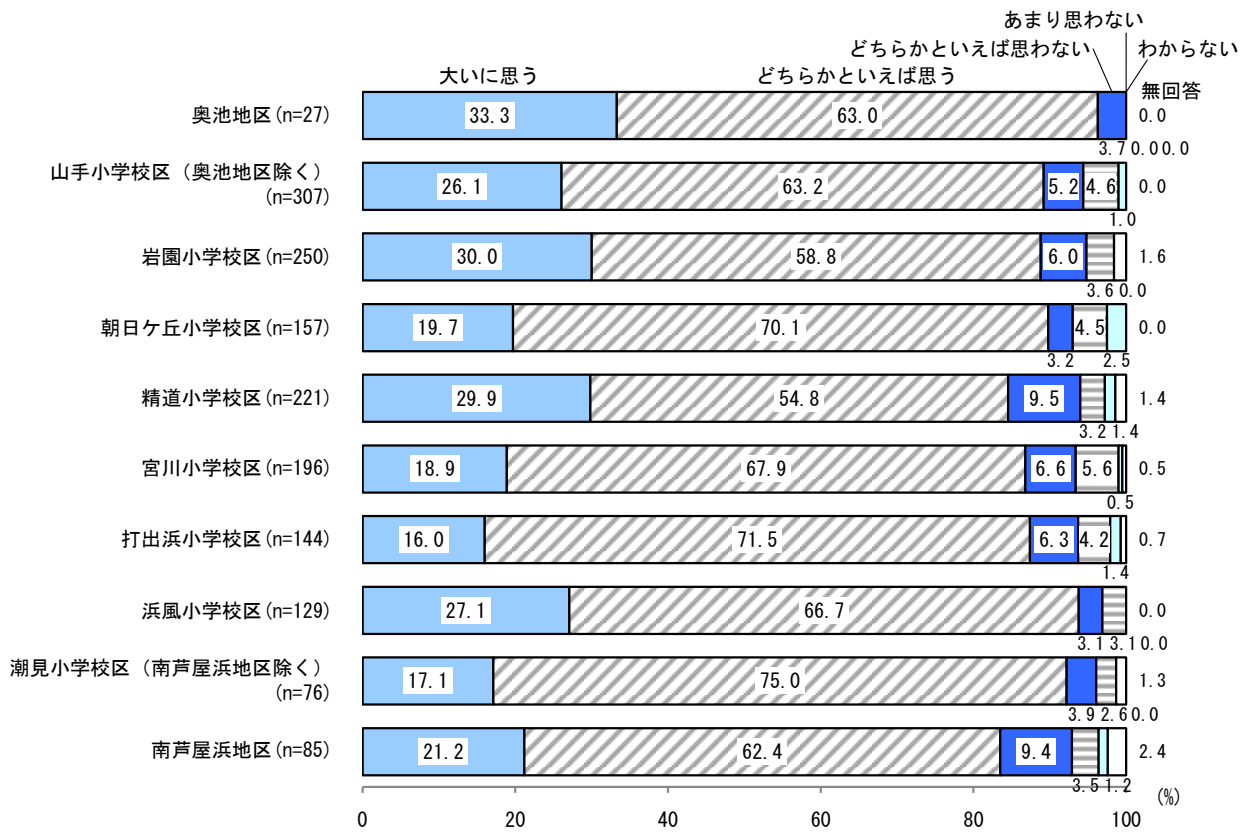
性別で大きな差はみられない。



年代別では、『思う』（「大いに思う」+「どちらかといえば思う」）割合に大きな差はないが、概ね年代が高い程「大いに思う」が低くなる傾向がみられる。



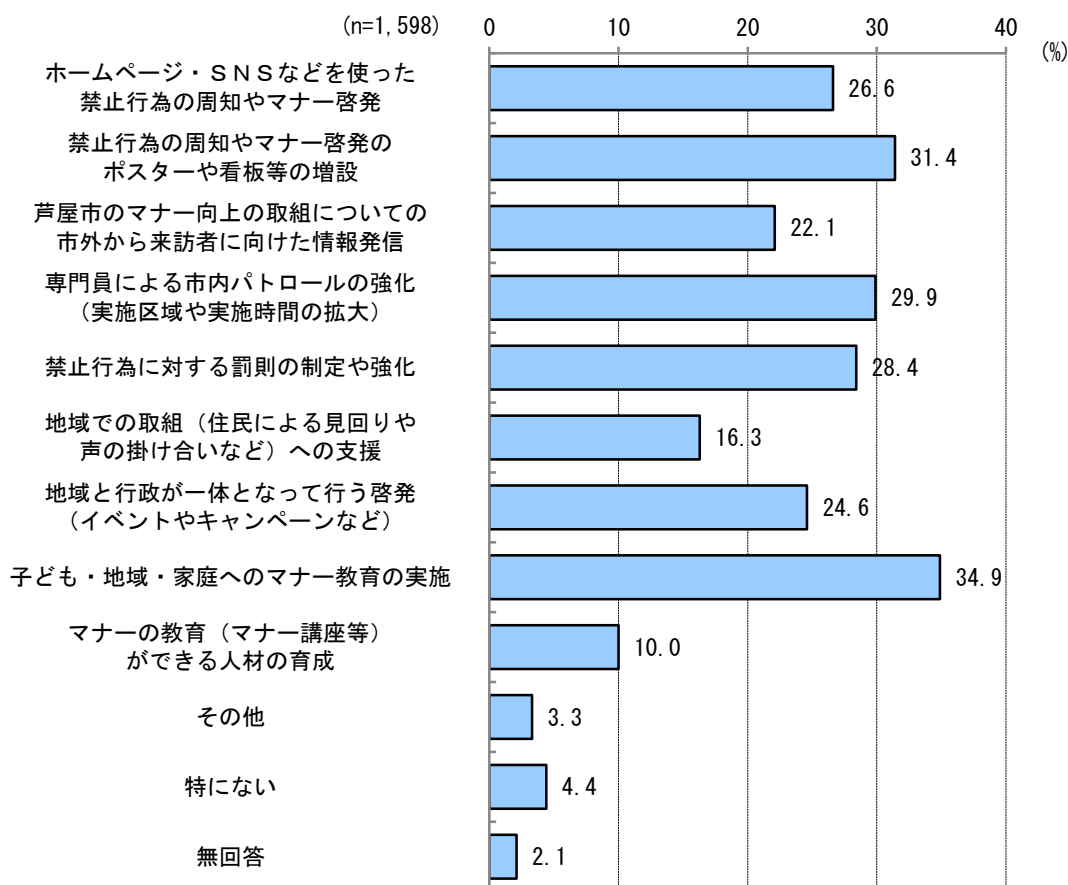
地区別では、『思う』（「大いに思う」+「どちらかといえば思う」）割合が奥池地区、浜風小学校区、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で9割を超えている。



問24 マナー向上のために市が特に取り組むべきこと

問24 今後、生活環境に関するマナーが向上するために、市として特に重点的に取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から3つまで選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「子ども・地域・家庭へのマナー教育の実施」が34.9%で最も高く、「禁止行為の周知やマナー啓発のポスターや看板等の増設」が31.4%、「専門員による市内パトロールの強化（実施区域や実施時間の拡大）」が29.9%と続いている。



性別では、男性で「禁止行為に対する罰則の制定や強化」が31.4%と女性より5.7ポイント高くなっている。

年代別では、40歳代で「専門員による市内パトロールの強化（実施区域や実施時間の拡大）」が全体より11.1ポイント高くなっている。

(%)

		調査数	ホームページ・SNSなどを 使った禁止行為の周知や マナー啓発	禁止行為の周知やマナー啓発の ポスターや看板等の増設	芦屋市のマナー向上の 取組についての市外からの 来訪者に向けた情報発信	専門員による 市内パトロールの強化 (実施区域や実施時間の拡大)	禁止行為に対する罰則の 制定や強化	地域での取組(住民による 見回りや声の掛け合いなど) への支援
市全体		1598	26.6	31.4	22.1	29.9	28.4	16.3
性別	男性	724	27.9	②31.6	22.4	③31.5	31.4	15.2
	女性	855	25.6	②31.7	21.9	③28.4	25.7	17.3
年代別	10歳代	32	③31.3	②34.4	15.6	12.5	25.0	15.6
	20歳代	153	①32.0	③30.1	22.9	23.5	26.8	17.0
	30歳代	151	31.8	③33.1	23.2	32.5	②33.8	10.6
	40歳代	271	25.8	24.4	22.1	①41.0	②33.6	10.7
	50歳代	337	③32.3	①33.8	22.3	29.4	29.1	14.2
	60歳代	220	24.1	①35.5	③30.5	27.7	25.9	16.4
	70歳代	244	21.7	③28.7	20.5	28.3	25.4	25.0
	80歳以上	183	16.4	②36.1	13.7	③25.7	24.6	21.3
		調査数	地域と行政が一体となって 行う啓発(イベントや キャンペーンなど)	子ども・地域・家庭への マナー教育の実施	マナーの教育(マナー講座等) ができる人材の育成	その他	特になし	無回答
市全体		1598	24.6	34.9	10.0	3.3	4.4	2.1
性別	男性	724	23.3	①33.4	10.5	4.0	5.0	1.4
	女性	855	25.6	①36.3	9.7	2.7	3.9	2.7
年代別	10歳代	32	21.9	①40.6	9.4	6.3	6.3	6.3
	20歳代	153	17.6	②31.4	7.2	2.0	5.9	0.7
	30歳代	151	21.2	①36.4	6.6	4.0	3.3	-
	40歳代	271	21.4	③32.5	9.2	3.3	4.1	1.1
	50歳代	337	24.6	②33.5	10.4	3.6	4.2	0.9
	60歳代	220	③30.5	②34.5	5.9	1.8	5.0	1.8
	70歳代	244	②29.5	①37.7	16.0	5.3	2.9	3.3
	80歳以上	183	24.6	①38.3	13.1	2.2	5.5	7.1

地区別では、奥池地区、朝日ヶ丘小学校区、精道小学校区、宮川小学校区では「禁止行為の周知やマナー啓発のポスターや看板等の増設」が最も高く、山手小学校区（奥池地区除く）、南芦屋浜地区では「専門員による市内パトロールの強化（実施区域や実施時間の拡大）」が最も高くなっている。また、岩園小学校区、打出浜小学校区、浜風小学校区、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）では「子ども・地域・家庭へのマナー教育の実施」が最も高くなっている。

(%)

		調査数	ホームページ・SNSなどを使った禁止行為の周知やマナー啓発	禁止行為の周知やマナー啓発のポスターや看板等の増設	芦屋市のマナー向上の取組についての市外からの来訪者に向けた情報発信	専門員による市内パトロールの強化（実施区域や実施時間の拡大）	禁止行為に対する罰則の制定や強化	地域での取組（住民による見回りや声の掛け合いなど）への支援
市全体		1598	26.6	31.4	22.1	29.9	28.4	16.3
地区別	奥池地区	27	②25.9	①29.6	③22.2	③22.2	18.5	18.5
	山手小学校区	307	25.7	26.1	25.1	①35.2	③30.3	15.0
	岩園小学校区	250	28.4	③30.8	22.4	②33.2	26.8	16.0
	朝日ヶ丘小学校区	157	③29.9	①37.6	21.0	22.9	26.8	18.5
	精道小学校区	221	27.1	①34.4	22.2	24.9	③31.2	19.5
	宮川小学校区	196	23.5	①36.7	19.9	③33.2	29.1	14.3
	打出浜小学校区	144	③27.8	②32.6	20.8	③27.8	③27.8	14.6
	浜風小学校区	129	②31.8	③30.2	18.6	20.9	25.6	15.5
	潮見小学校区	76	17.1	26.3	26.3	②31.6	23.7	22.4
南芦屋浜地区	85	21.2	③27.1	20.0	①37.6	②35.3	14.1	
		調査数	地域と行政が一体となって行う啓発（イベントやキャンペーンなど）	子ども・地域・家庭へのマナー教育の実施	マナーの教育（マナー講座等）ができる人材の育成	その他	特にない	無回答
市全体		1598	24.6	34.9	10.0	3.3	4.4	2.1
地区別	奥池地区	27	②25.9	②25.9	3.7	3.7	7.4	3.7
	山手小学校区	307	26.4	②33.9	7.5	4.2	4.2	1.6
	岩園小学校区	250	25.2	①35.2	10.8	5.2	4.8	2.8
	朝日ヶ丘小学校区	157	③29.9	②32.5	12.1	-	3.8	0.6
	精道小学校区	221	19.9	②32.6	9.0	3.2	5.0	3.2
	宮川小学校区	196	21.4	②34.2	10.7	2.0	5.1	2.0
	打出浜小学校区	144	25.7	①40.3	9.7	3.5	3.5	1.4
	浜風小学校区	129	21.7	①38.0	16.3	4.7	3.9	1.6
	潮見小学校区	76	③28.9	①36.8	6.6	1.3	5.3	2.6
南芦屋浜地区	85	24.7	②35.3	9.4	3.5	1.2	3.5	

マナー向上のために市が特に取り組むべきことについて「10.その他」延べ 62 件には、主に次のような回答がありました。

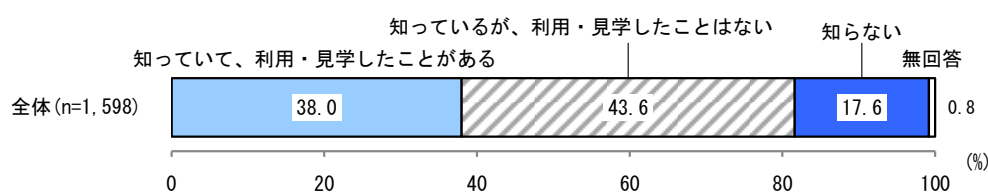
意見分類	延べ件数
マナー向上のために重点的に取り組むべきことについて	62
ペットに関する飼い主のマナーが悪い	6
市民が自発的にまちを綺麗にする活動をするべき	4
マナーの啓発をするべき	3
交通マナーがよくない	3
禁止の啓発だけでは効果的ではない	3
その他意見	43

V. 文化的なふれあいや学びについておたずねします。

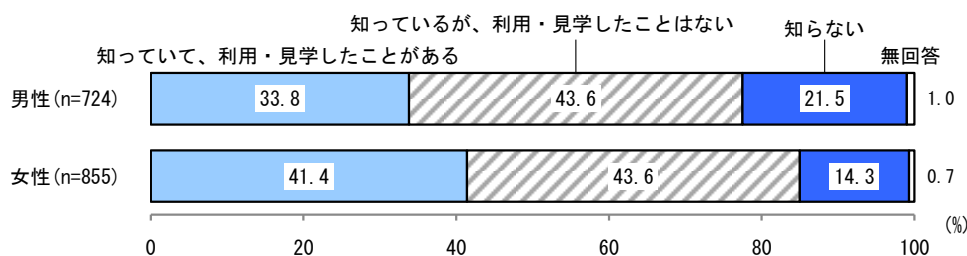
問25 市内文化的資源の利用・見学経験の有無

問25 あなたは、市内の文化的資源（例：会下山遺跡・ヨドコウ迎賓館・芦屋仏教会館など）をご存知ですか。また、利用・見学したことはありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。※市立美術博物館や図書館などの公共施設は除く。

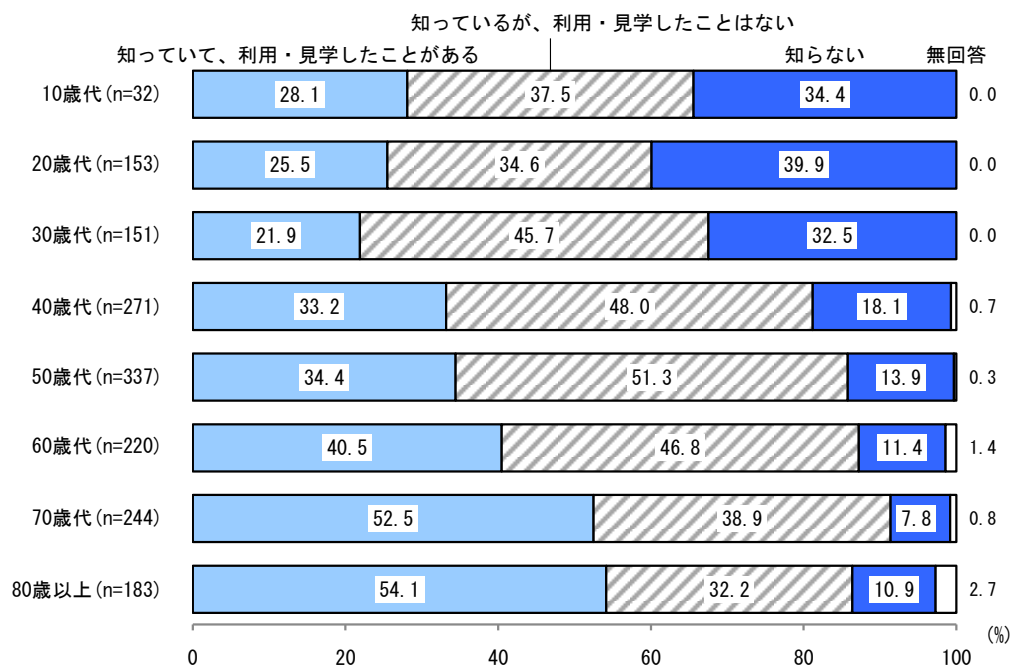
全体では、「知っているが、利用・見学したことはない」が43.6%で最も高く、「知っていて、利用・見学したことがある」が38.0%、「知らない」が17.6%と続いている。



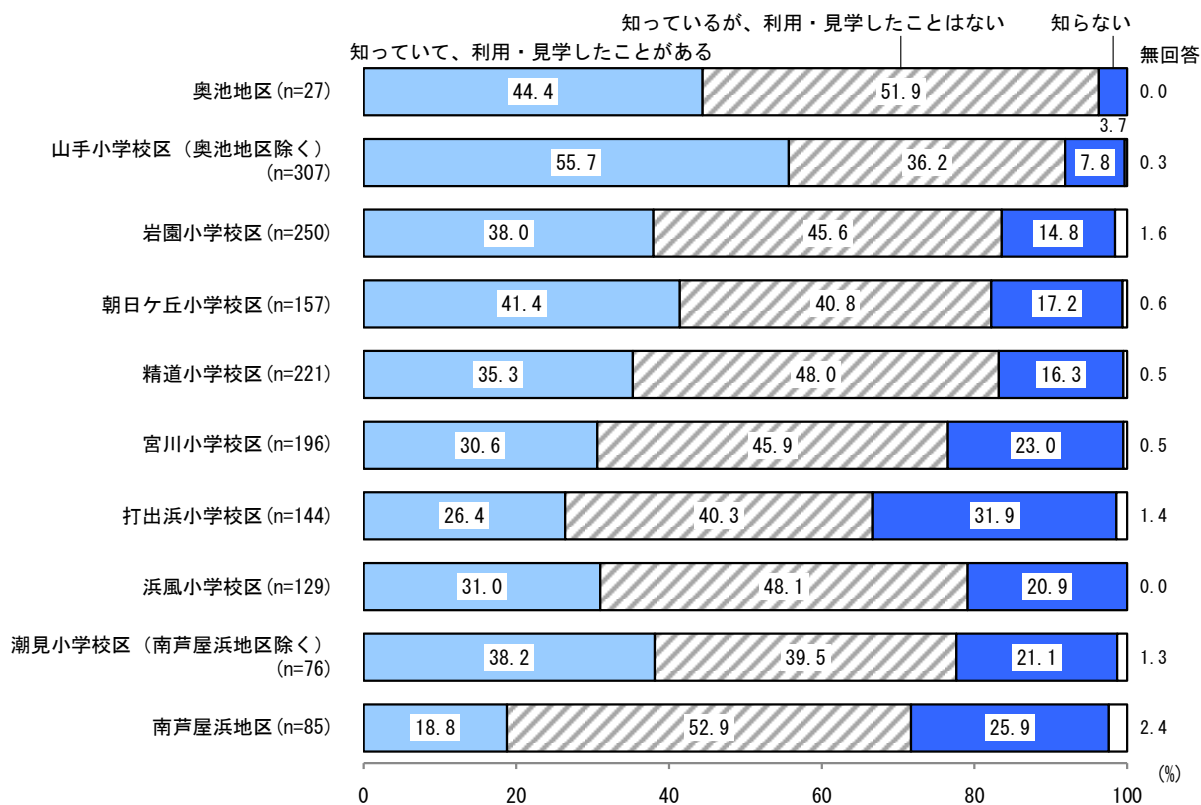
性別では、女性で「知っていて、利用・見学したことがある」が41.4%と4割を超え、男性より7.6ポイント高くなっている。一方で、男性で「知らない」が21.5%と2割を超え、女性より7.2ポイント高くなっている。



年代別では、概ね年代が高い程『知っている』（「知っていて、利用・見学したことがある」+「知っているが、利用・見学したことはない」）割合が高くなる傾向がみられる。



地区別では、「知らない」は打出浜小学校区で31.9%と3割を超え最も高くなっている。



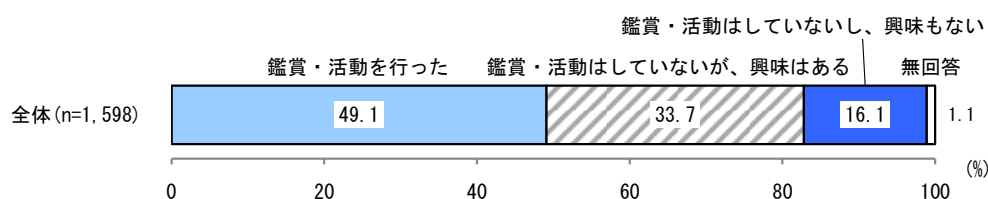
問26 過去1年間で文化的活動の有無

問26 あなたは、この1年間で文化的なコト・モノ（※）に触れたり、体験したり、また、演奏や創作（絵画、工芸、ダンス等）などの文化的な活動を行いましたか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

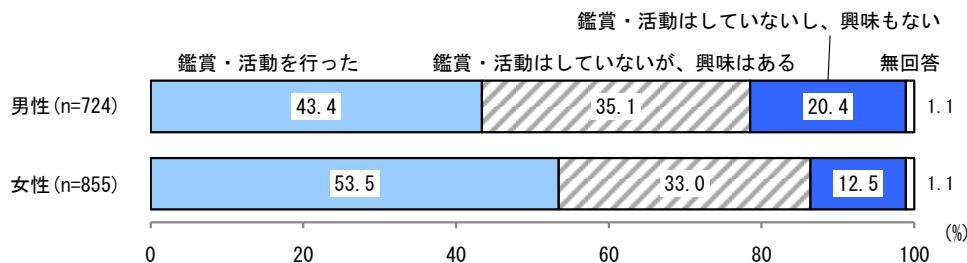
※文化的なコト・モノとは下記を指します。

（例）文学、音楽、美術、写真撮影・展示、演劇、舞踊、映画・アニメーション、伝統芸能、食文化、歴史、伝統行事、自然体験など

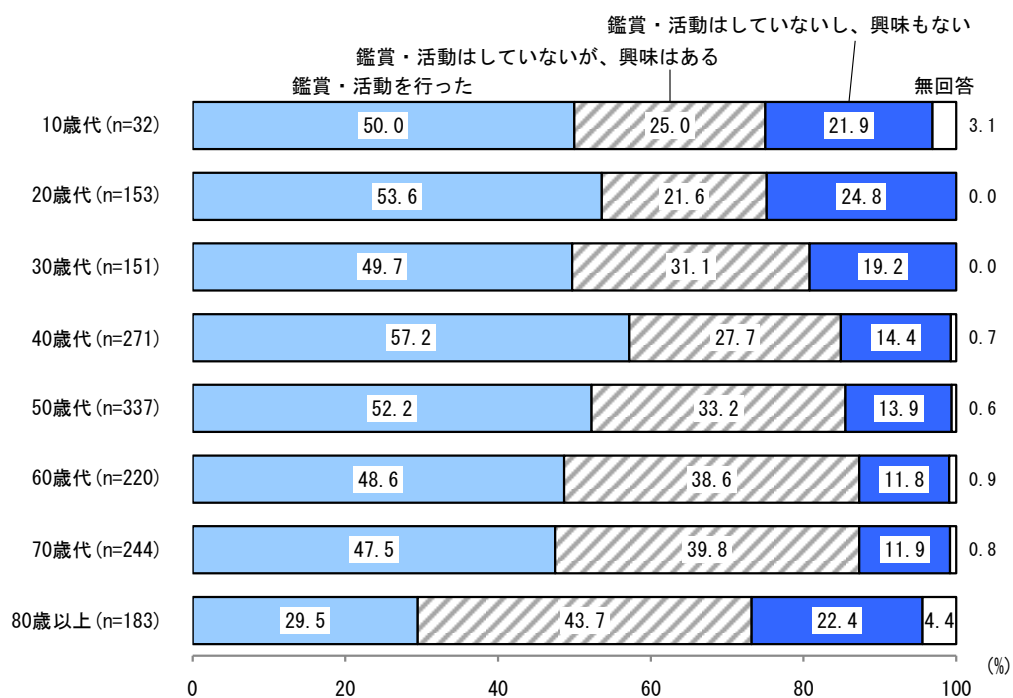
全体では、「鑑賞・活動を行った」が49.1%で最も高く、「鑑賞・活動はしていないが、興味はある」が33.7%、「鑑賞・活動はしていないし、興味もない」が16.1%と続いている。



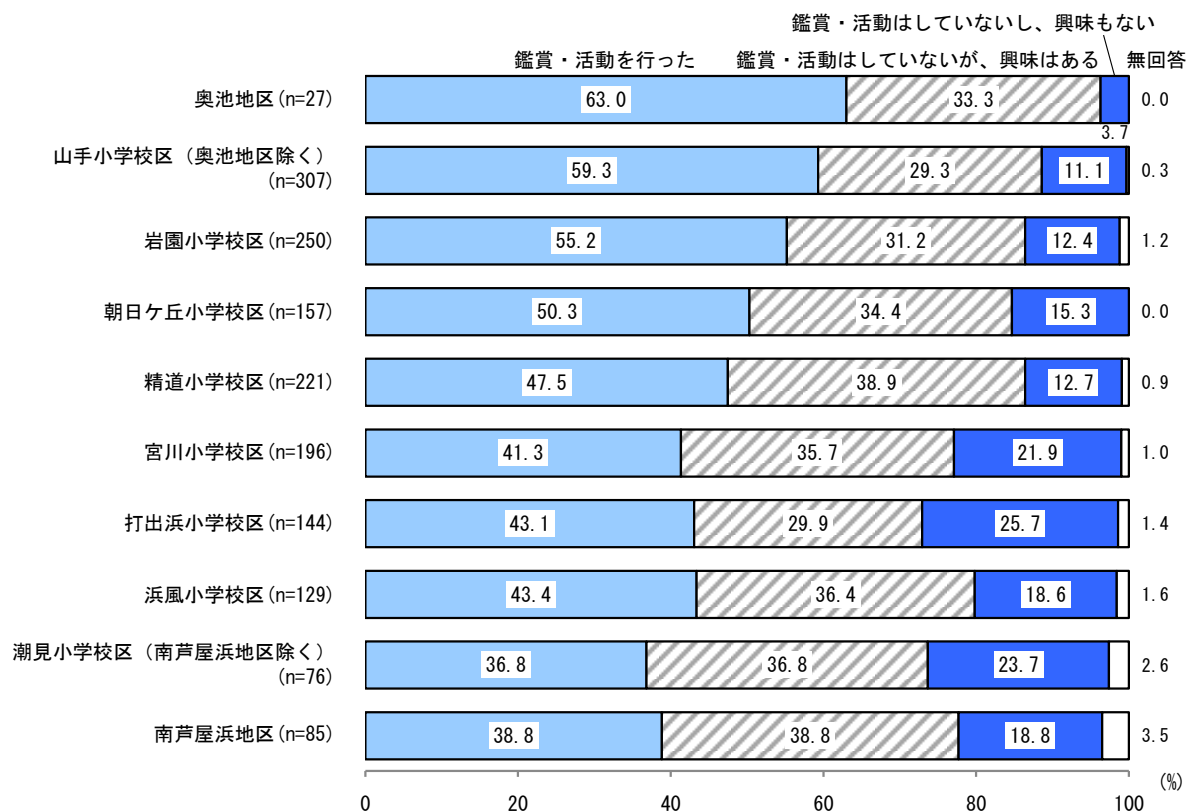
性別では、女性で「鑑賞・活動を行った」が53.5%と男性より10.1ポイント高くなっている。一方で、男性で「鑑賞・活動はしていないし、興味もない」が20.4%と女性より7.9ポイント高くなっている。



年代別では、80歳以上で「鑑賞・活動はしていないが、興味はある」が全体より10.0ポイント高くなっている。



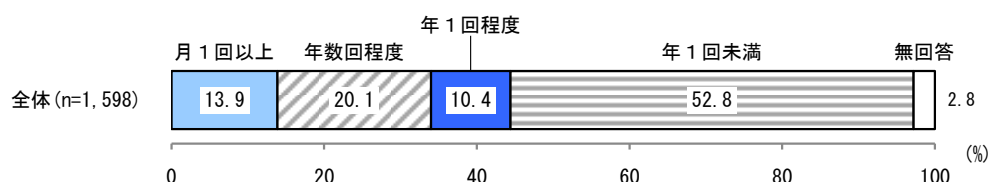
地区別では、奥池地区で「鑑賞・活動を行った」が63.0%と6割を超え、全体より13.9ポイント高くなっている。一方で、「鑑賞・活動はしていないし、興味もない」は宮川小学校区、打出浜小学校区、潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で2割を超えている。



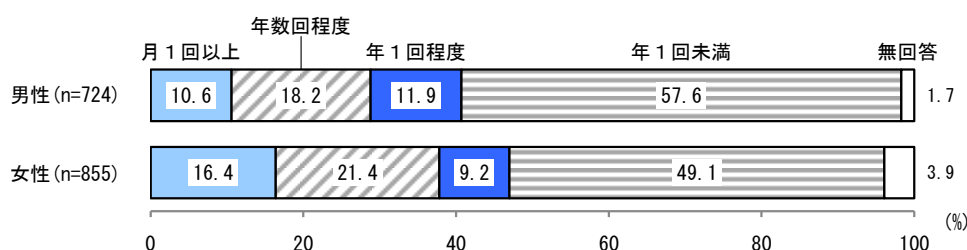
問27 自分の学びのための学習会・セミナーへの参加頻度

問27 あなたは、知識・技術の習得など、自分の学びのため、学習会・セミナーへの参加などの機会がどれくらいの頻度でありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

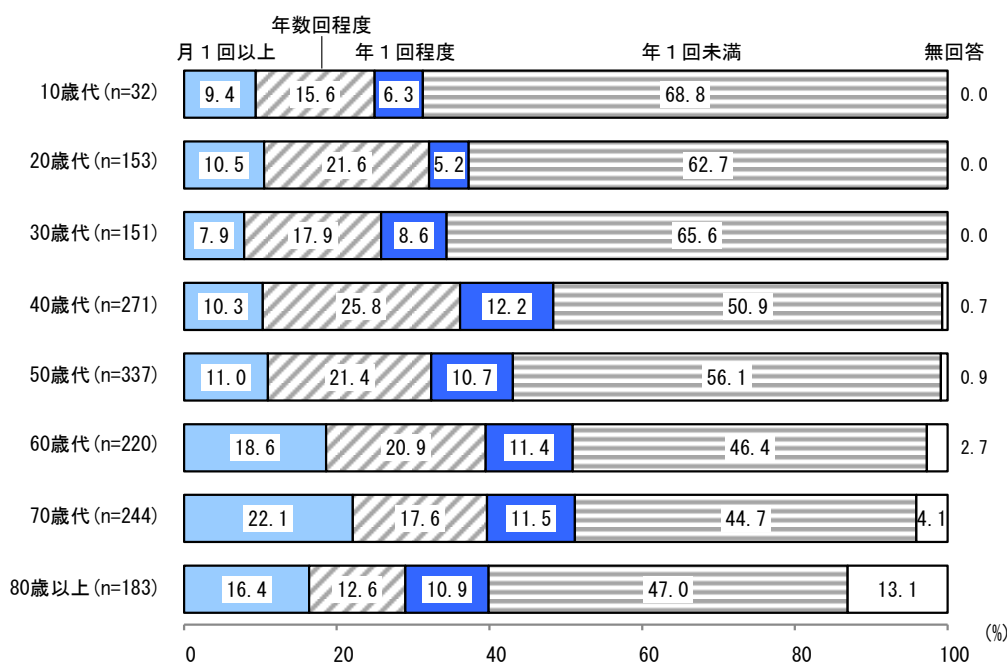
全体では、「年1回未満」が52.8%で最も高く、「年数回程度」が20.1%、「月1回以上」が13.9%と続いている。



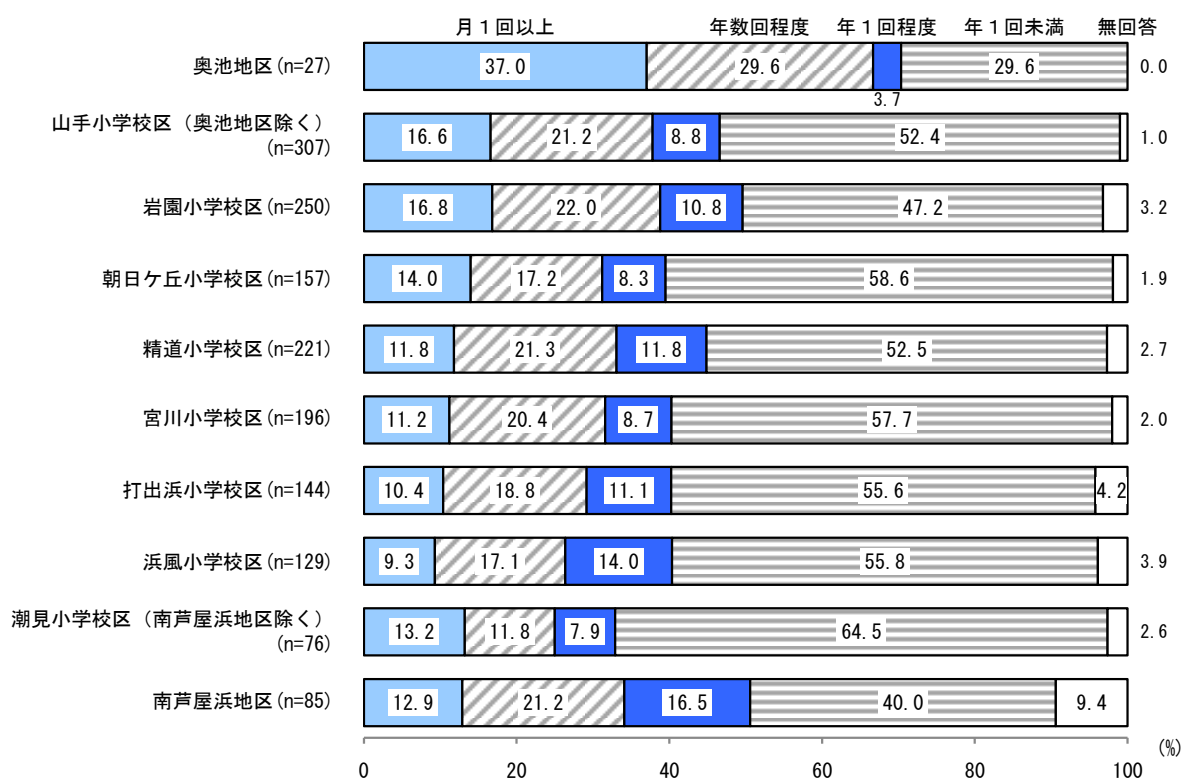
性別では、女性で「月1回以上」が16.4%と男性より5.8ポイント高くなっている。一方で、男性で「年1回未満」が57.6%と女性より8.5ポイント高くなっている。



年代別では、『年1回以上』（「月1回以上」+「年数回程度」+「年1回程度」）の割合は60歳代と70歳代で5割を超えている。一方で、10歳代から30歳代で「年1回未満」が6割を超えている。



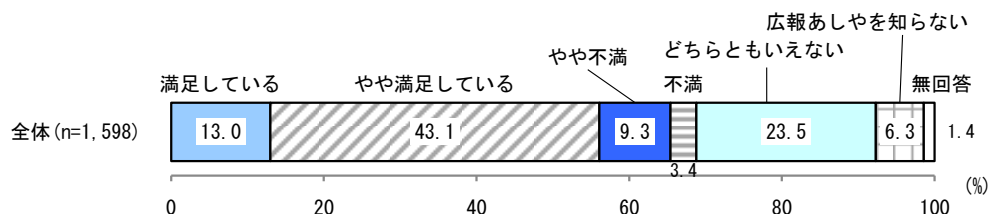
地区別では、『年1回以上』（「月1回以上」+「年数回程度」+「年1回程度」）の割合が奥池地区、南芦屋浜地区で5割を超えている。一方で、「年1回未満」は潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で全体より11.7ポイント高くなっている。



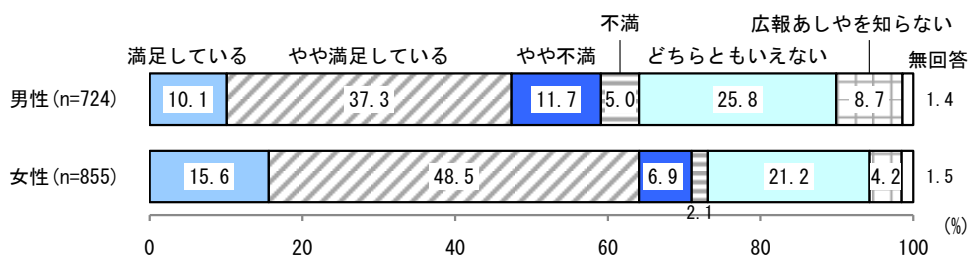
問28 「広報あしや」の満足度

問28 あなたは、「広報あしや」に満足していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

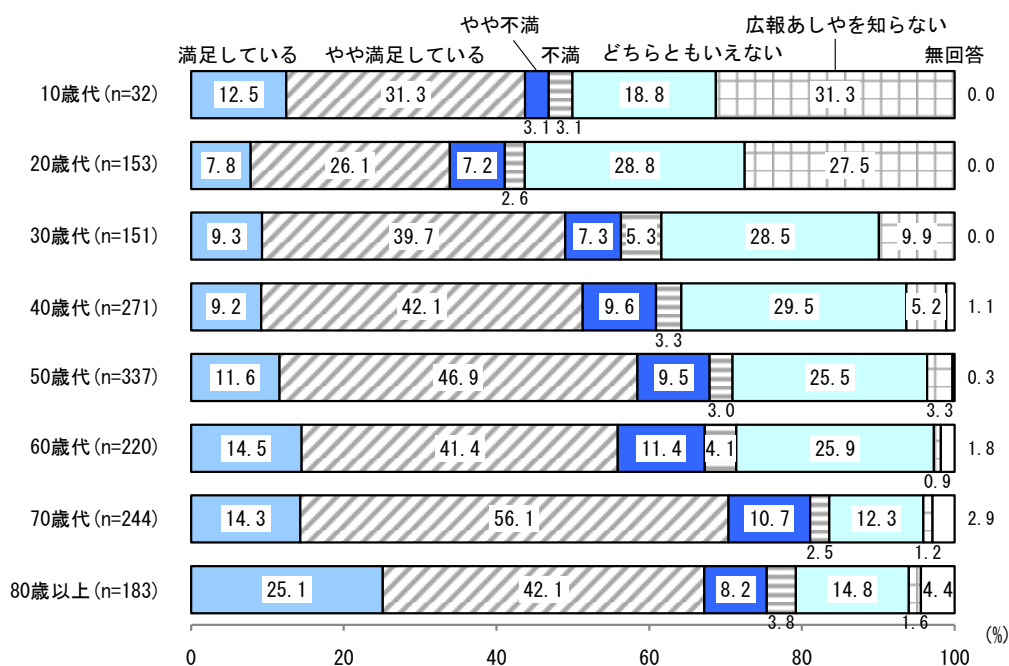
全体では、「やや満足している」が43.1%で最も高く、「どちらともいえない」が23.5%、「満足している」が13.0%となっている。『満足している』（「満足している」+「やや満足している」）割合は56.1%となっている。



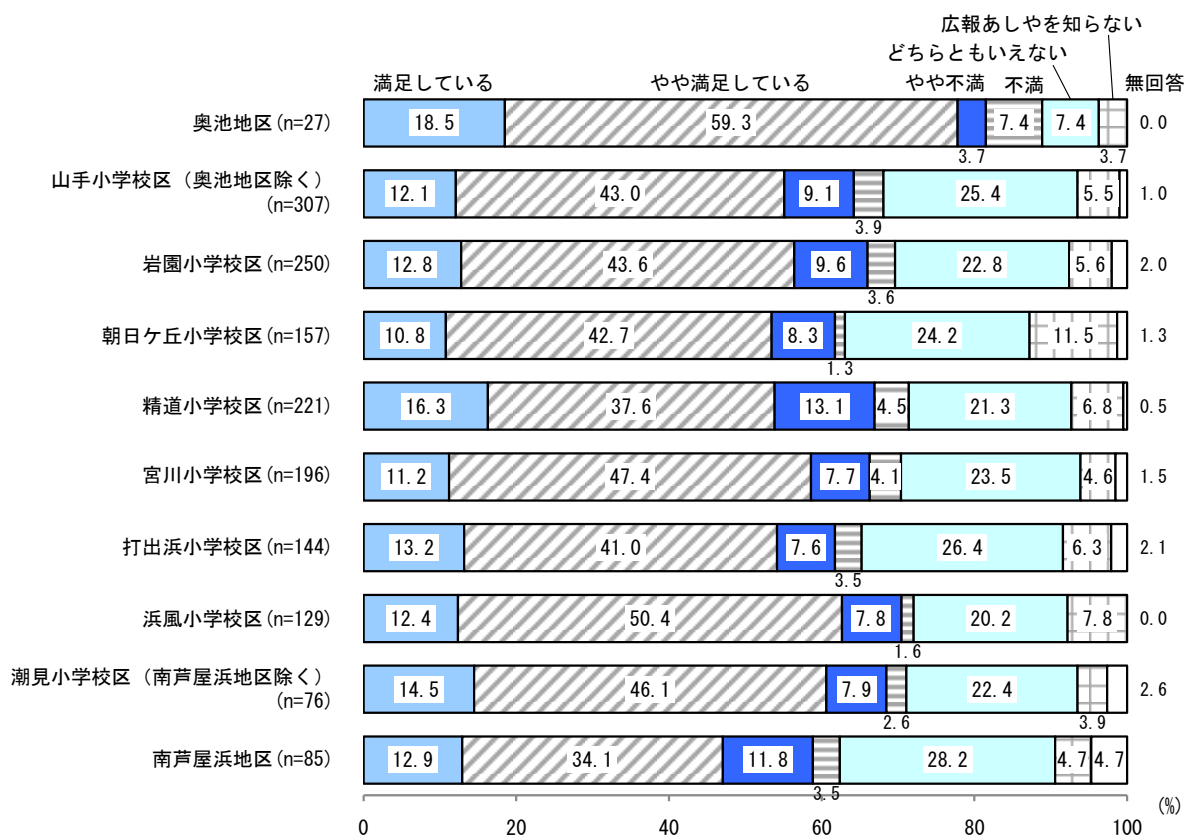
性別では、女性で『満足している』（「満足している」+「やや満足している」）割合が64.1%と男性より16.7ポイント高くなっている。



年代別では、『満足している』（「満足している」+「やや満足している」）割合は70歳以上で6割を超え、全体より10ポイント以上高くなっている。一方で、10歳代と20歳代で「広報あしやを知らない」が2割を超え、全体より20ポイント以上高くなっている。



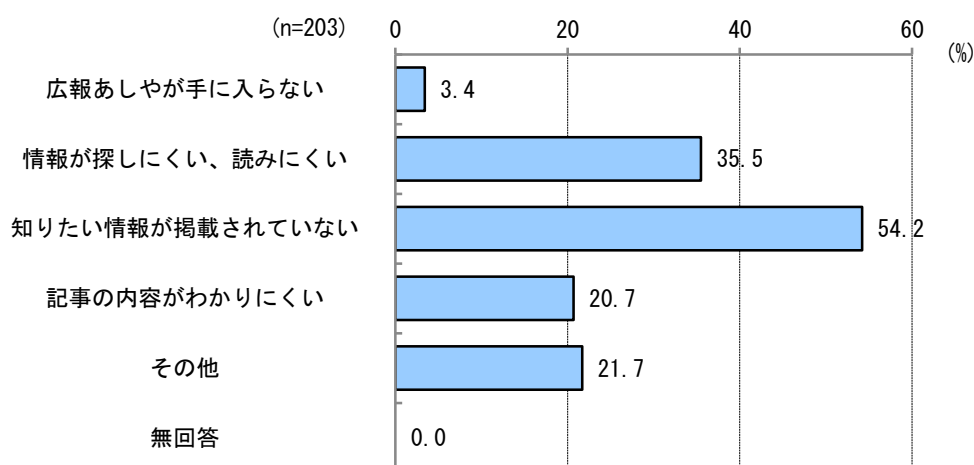
地区別では、『満足している』（「満足している」+「やや満足している」）割合は奥池地区、浜風小学校区、潮見小学校区（南芦屋浜地区を除く）で6割を超えている。



問29 「広報あしや」について不満な理由

【問28で「やや不満」・「不満」を回答された方のみ回答（1,598人中203人（12.7%））】
 問29 不満の理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「知りたい情報が掲載されていない」が54.2%で最も高く、「情報が探しにくい、読みにくい」が35.5%と続いている。



性別では、女性で「情報が探しにくい、読みにくい」が45.5%と男性より14.9ポイント高くなっている。

年代別では、60歳代と70歳代で「情報が探しにくい、読みにくい」が全体より10ポイント以上高くなっている。また、40歳代で「知りたい情報が掲載されていない」が6割を超え、全体より11.5ポイント高くなっている。

(%)

		調査数	広報あしやが手に入らない	情報が探しにくい、読みにくい	知りたい情報が掲載されていない	記事の内容がわかりにくい	その他	無回答
市全体		203	3.4	35.5	54.2	20.7	21.7	-
性別	男性	121	4.1	②30.6	①56.2	③21.5	20.7	-
	女性	77	2.6	②45.5	①50.6	18.2	③22.1	-
年代別	10歳代	2	-	①50.0	①50.0	①50.0	-	-
	20歳代	15	-	②33.3	①53.3	13.3	③20.0	-
	30歳代	19	5.3	③26.3	①47.4	③26.3	②31.6	-
	40歳代	35	5.7	③22.9	①65.7	②25.7	8.6	-
	50歳代	42	2.4	③26.2	①54.8	16.7	②35.7	-
	60歳代	34	5.9	①52.9	①52.9	③11.8	②14.7	-
	70歳代	32	-	②46.9	①56.3	21.9	③25.0	-
	80歳以上	22	4.5	①40.9	①40.9	②31.8	③9.1	-

地区別では、全ての地区で「知りたい情報が掲載されていない」が最も高くなっている。

(%)

	調査数	広報あしやが 手に入らない	情報が探しにくい、 読みにくい	知りたい情報が 掲載されていない	記事の内容が わかりにくい	その他	無回答	
市全体	203	3.4	35.5	54.2	20.7	21.7	-	
地区別	奥池地区	3	-	-	①100.0	②33.3	③33.3	-
	山手小学校区	40	7.5	②22.5	①65.0	③17.5	②22.5	-
	岩園小学校区	33	-	②30.3	①36.4	③18.2	②30.3	-
	朝日ヶ丘小学校区	15	-	②26.7	①66.7	③20.0	13.3	-
	精道小学校区	39	③2.6	①46.2	①46.2	②23.1	②23.1	-
	宮川小学校区	23	-	①52.2	①52.2	②34.8	③13.0	-
	打出浜小学校区	16	6.3	③31.3	①68.8	25.0	②37.5	-
	浜風小学校区	12	③8.3	①41.7	①41.7	③8.3	②16.7	-
	潮見小学校区	8	-	①50.0	①50.0	②25.0	-	-
南芦屋浜地区	13	③7.7	②38.5	①61.5	③7.7	③7.7	-	

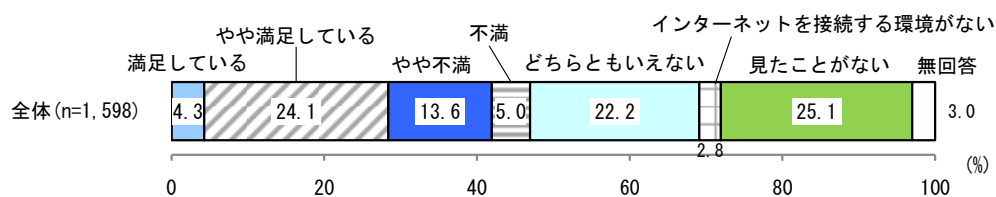
「広報あしや」に対して不満な理由について「5.その他」延べ52件には、主に次のような回答がありました。

意見分類	延べ件数
「広報あしや」に対して不満な理由について	52
内容にもう少し力を入れてほしい	15
費用をかけすぎている	4
求める情報が載っていない	4
おもしろくない	3
ネットでも掲載すべき	3
その他意見	23

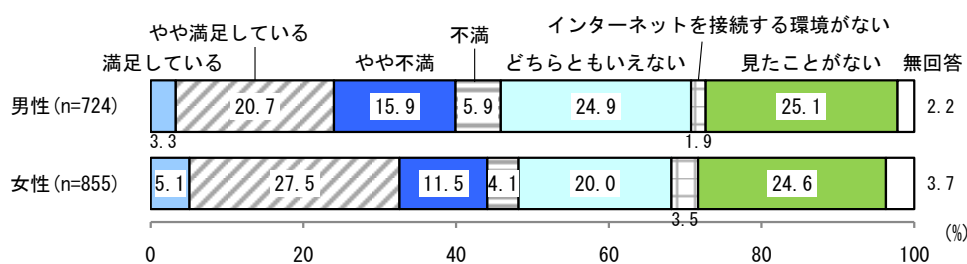
問30 「市のホームページ」の満足度

問30 あなたは、「市のホームページ」に満足していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

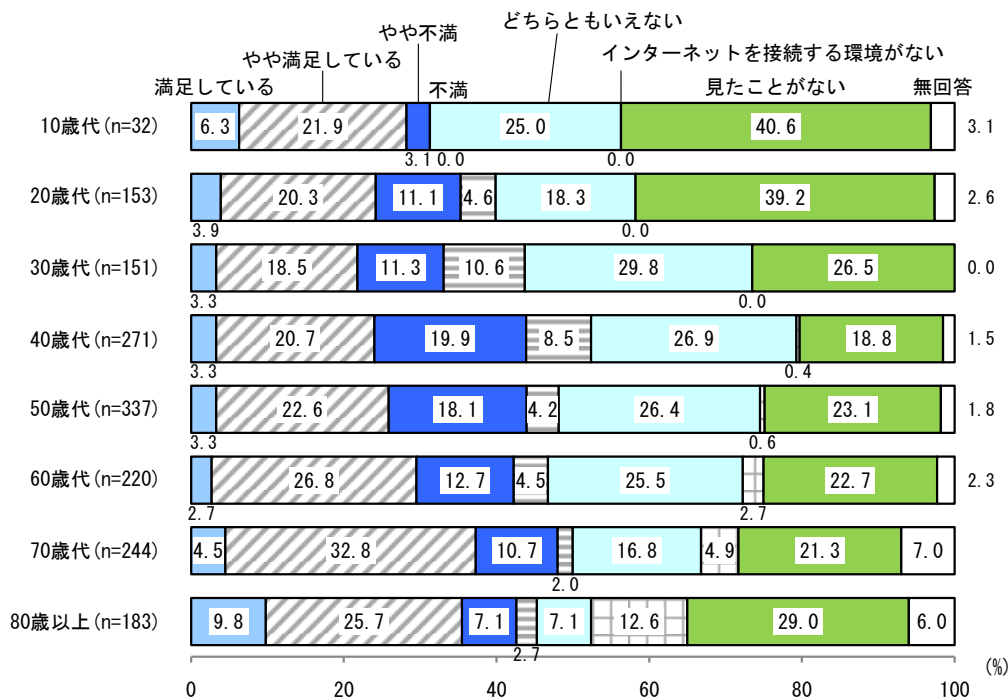
全体では、「見たことがない」が25.1%で最も高く、「やや満足している」が24.1%、「どちらともいえない」が22.2%と続いている。



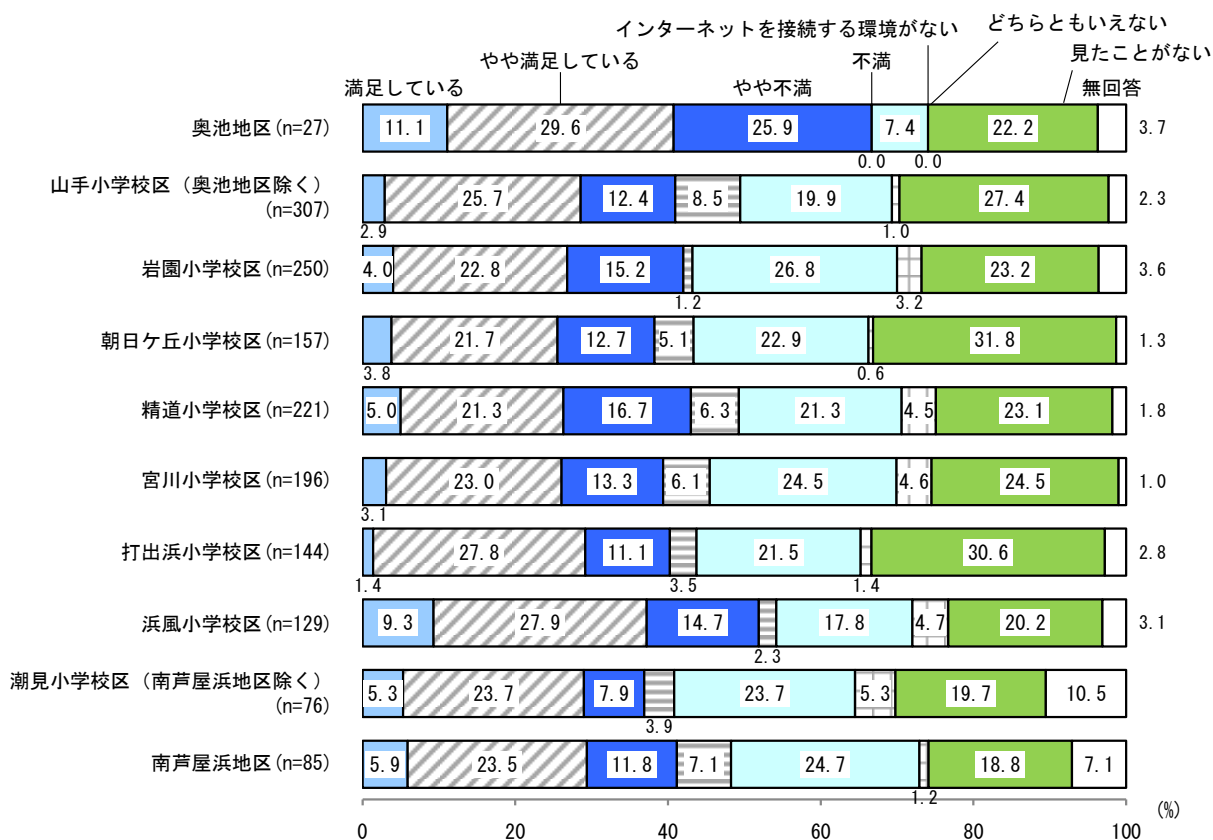
性別では、女性で『満足している』（「満足している」+「やや満足している」）が男性より8.6ポイント高くなっている。



年代別では、『満足している』（「満足している」+「やや満足している」）割合が70歳以上で3割を超えている。一方で、『不満』（「やや不満」+「不満」）の割合は30歳代と40歳代で『満足している』割合を上回っている。10歳代と20歳代では「見たことがない」が3割を超えている。80歳以上では「インターネットを接続する環境がない」が12.6%と1割を超えている。



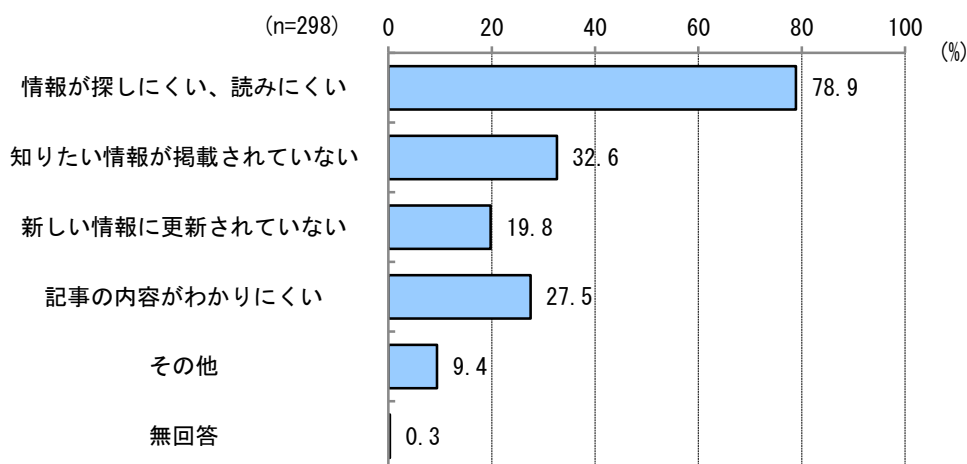
地区別では、『満足している』（「満足している」+「やや満足している」）割合は奥池地区で40.7%と最も高くなっている。一方で、『不満』（「やや不満」+「不満」）の割合は奥池地区、山手小学校区（奥池地区除く）、精道小学校区で2割を超えている。



問3 1 「市のホームページ」について不満な理由

【問3 0で「やや不満」・「不満」を回答された方のみ回答（1,598人中298人（18.6%））】
 問3 1 不満の理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「情報が探しにくい、読みにくい」が78.9%で最も高く、「知りたい情報が掲載されていない」が32.6%、「記事の内容がわかりにくい」が27.5%と続いている。



性別では、女性で「新しい情報に更新されていない」が23.3%と男性より6.8ポイント高くなっている。

年代別では、全ての年代で「情報が探しにくい、読みにくい」が最も高くなっている。また、20歳代で「知りたい情報が掲載されていない」が45.8%と全体より13.2ポイント高くなっている。30歳代と70歳代では「記事の内容がわかりにくい」が全体より10ポイント以上高くなっている。

(%)

		調査数	情報が探しにくい、読みにくい	知りたい情報が掲載されていない	新しい情報に更新されていない	記事の内容がわかりにくい	その他	無回答
市全体		298	78.9	32.6	19.8	27.5	9.4	0.3
性別	男性	158	①76.6	②34.2	16.5	③29.7	7.6	0.6
	女性	133	①81.2	②29.3	23.3	③24.8	11.3	-
年代別	10歳代	1	① 100.0	-	-	-	-	-
	20歳代	24	① 66.7	② 45.8	③25.0	16.7	16.7	-
	30歳代	33	① 87.9	③39.4	24.2	② 42.4	6.1	-
	40歳代	77	① 81.8	③26.0	10.4	②31.2	7.8	-
	50歳代	75	① 82.7	②32.0	③24.0	17.3	8.0	1.3
	60歳代	38	① 84.2	③23.7	②28.9	③23.7	7.9	-
	70歳代	31	① 74.2	②38.7	③16.1	② 38.7	9.7	-
	80歳以上	18	① 44.4	②38.9	11.1	③33.3	16.7	-

地区別では、全ての地区で「情報が探しにくい、読みにくい」が最も高くなっている。

(%)

	調査数	情報が探しにくい、 読みにくい	知りたい情報が 掲載されていない	新しい情報に 更新されていない	記事の内容が わかりにくい	その他	無回答	
市全体	298	78.9	32.6	19.8	27.5	9.4	0.3	
地区別	奥池地区	7	①85.7	14.3	③28.6	②42.9	-	-
	山手小学校区	64	①79.7	②46.9	③32.8	③32.8	17.2	-
	岩園小学校区	41	①80.5	②24.4	7.3	③17.1	9.8	-
	朝日ヶ丘小学校区	28	①75.0	③28.6	21.4	②32.1	-	-
	精道小学校区	51	①76.5	②31.4	17.6	③21.6	11.8	2.0
	宮川小学校区	38	①81.6	②34.2	③13.2	②34.2	2.6	-
	打出浜小学校区	21	①71.4	②47.6	19.0	③23.8	9.5	-
	浜風小学校区	22	①90.9	9.1	③13.6	②22.7	-	-
	潮見小学校区	9	①77.8	②44.4	③33.3	11.1	11.1	-
	南芦屋浜地区	16	①68.8	③12.5	③12.5	②43.8	③12.5	-

「市ホームページ」に対して不満な理由について「5.その他」延べ34件には、主に次のような回答がありました。

意見分類	延べ件数
「市ホームページ」に対して不満な理由について	34
内容が不十分	8
デザインが古い・よくない	5
情報掲載・更新が遅い	3
知りたい情報にたどり着くのが難しい	3
その他意見	15

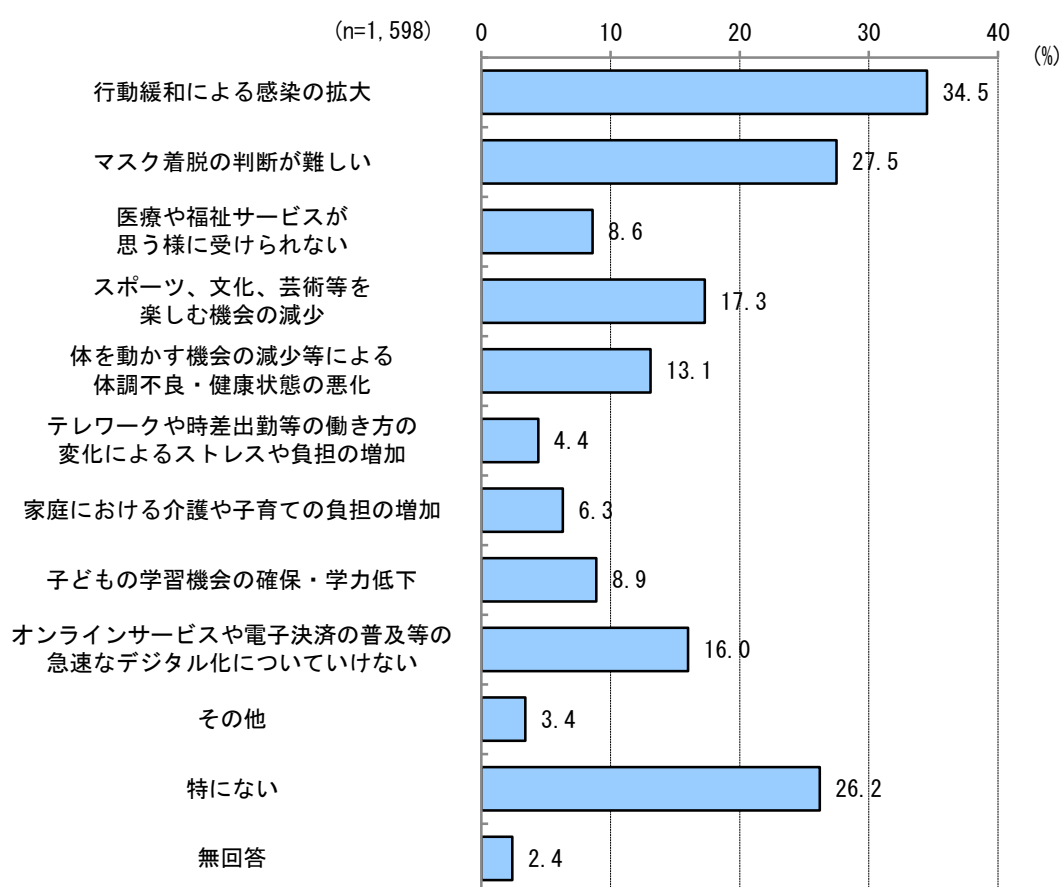
VI. 新型コロナウイルス感染症の影響についておたずねします。

問3 2 新型コロナウイルス感染症による困りごと・不安なこと

問3 2 新型コロナウイルス感染症により、あなたが現在困っていることや不安に感じていることはありますか。あてはまるものをすべて選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「行動緩和による感染の拡大」が34.5%で最も高く、「マスク着脱の判断が難しい」が27.5%、「スポーツ、文化、芸術等を楽しむ機会の減少」が17.3%と続いている。

一方で、「特にない」が26.2%と全体で3位となっている。



性別では、女性で「オンラインサービスや電子決済の普及等の急速なデジタル化についていけない」が20.1%と男性より8.9ポイント高くなっている。

年代別では、20歳代以外の全ての年代で「行動緩和による感染の拡大」が最も高く、70歳代では全体より10.2ポイント高くなっている。また40歳代では「子どもの学習機会の確保・学力低下」が全体より12.5ポイント高く、70歳以上で「オンラインサービスや電子決済の普及等の急速なデジタル化についていけない」が10ポイント以上高くなっている。

(%)

		調査数	行動緩和による感染の拡大	マスク着脱の判断が難しい	医療や福祉サービスが思う様に受けられない	スポーツ、文化、芸術等を楽しむ機会の減少	体を動かす機会の減少等による体調不良・健康状態の悪化	テレワークや時差出勤等の働き方の変化によるストレスや負担の増加
市全体		1598	34.5	27.5	8.6	17.3	13.1	4.4
性別	男性	724	①31.4	②27.3	8.6	③16.2	12.8	4.7
	女性	855	①37.2	②28.0	8.5	18.0	13.2	4.2
年代別	10歳代	32	①28.1	①28.1	9.4	②18.8	②18.8	6.3
	20歳代	153	②22.9	①31.4	4.6	③21.6	17.0	7.8
	30歳代	151	①30.5	②23.8	6.0	14.6	15.9	7.3
	40歳代	271	①26.9	③19.9	7.4	17.3	12.2	7.7
	50歳代	337	①34.7	②27.0	14.8	③17.8	9.2	4.7
	60歳代	220	①39.5	②27.3	9.1	13.2	10.0	2.7
	70歳代	244	①44.7	②32.4	9.8	16.8	13.1	1.2
80歳以上	183	①39.3	③33.9	2.2	20.2	19.1	-	
		調査数	家庭における介護や子育ての負担の増加	子どもの学習機会の確保・学力低下	オンラインサービスや電子決済の普及等の急速なデジタル化についていけない	その他	特になし	無回答
市全体		1598	6.3	8.9	16.0	3.4	26.2	2.4
性別	男性	724	5.2	9.9	11.2	4.0	28.3	1.8
	女性	855	7.3	8.2	③20.1	2.8	24.2	2.9
年代別	10歳代	32	③15.6	12.5	6.3	-	21.9	3.1
	20歳代	153	4.6	7.2	4.6	3.9	29.4	-
	30歳代	151	16.6	③17.2	5.3	4.0	28.5	-
	40歳代	271	9.6	②21.4	6.6	3.0	33.2	1.1
	50歳代	337	5.9	6.2	13.9	4.5	29.4	1.2
	60歳代	220	0.5	4.5	③17.3	1.8	26.4	1.8
	70歳代	244	4.1	4.5	③29.1	3.3	17.6	5.3
80歳以上	183	3.8	0.5	②34.4	3.3	16.9	7.1	

地区別では、全ての地区で「行動緩和による感染の拡大」が最も高くなっている。

(%)

		調査数	行動緩和による感染の拡大	マスク着脱の判断が難しい	医療や福祉サービスが 思う様に受けられない	スポーツ、文化、芸術等を 楽しむ機会の減少	体を動かす機会の 減少等による体調不良・ 健康状態の悪化	テレワークや時差出勤等の 働き方の変化による ストレスや負担の増加
市全体		1598	34.5	27.5	8.6	17.3	13.1	4.4
地区別	奥池地区	27	①29.6	②25.9	7.4	14.8	③18.5	-
	山手小学校区	307	①34.5	②23.5	6.8	③16.3	14.3	7.5
	岩園小学校区	250	①36.8	②26.4	6.4	12.8	11.6	3.6
	朝日ヶ丘小学校区	157	①29.3	②28.7	9.6	③21.7	10.8	3.8
	精道小学校区	221	①35.3	②32.1	9.5	③19.9	12.7	4.1
	宮川小学校区	196	①38.8	②29.1	10.2	20.4	11.7	5.1
	打出浜小学校区	144	①30.6	②27.1	9.7	③17.4	13.2	2.1
	浜風小学校区	129	①34.9	②31.8	10.1	16.3	③17.1	3.1
	潮見小学校区	76	①39.5	②23.7	9.2	11.8	14.5	2.6
南芦屋浜地区	85	①30.6	②27.1	10.6	③18.8	11.8	5.9	
		調査数	家庭における介護や子育ての 負担の増加	子どもの学習機会の確保・ 学力低下	オンラインサービスや 電子決済の普及等の急速な デジタル化についていけない	その他	特にな い	無回 答
市全体		1598	6.3	8.9	16.0	3.4	26.2	2.4
地区別	奥池地区	27	-	11.1	③18.5	3.7	37.0	-
	山手小学校区	307	7.2	7.8	15.0	4.9	27.0	1.6
	岩園小学校区	250	6.0	6.4	③13.2	2.0	30.8	2.8
	朝日ヶ丘小学校区	157	8.9	5.7	17.8	2.5	25.5	1.9
	精道小学校区	221	4.1	7.2	16.7	2.7	20.4	1.4
	宮川小学校区	196	7.7	16.8	③22.4	3.1	23.5	1.0
	打出浜小学校区	144	5.6	9.0	13.9	4.2	30.6	1.4
	浜風小学校区	129	5.4	10.9	14.7	3.1	24.0	3.9
	潮見小学校区	76	2.6	3.9	③17.1	2.6	22.4	9.2
南芦屋浜地区	85	10.6	12.9	11.8	4.7	27.1	4.7	

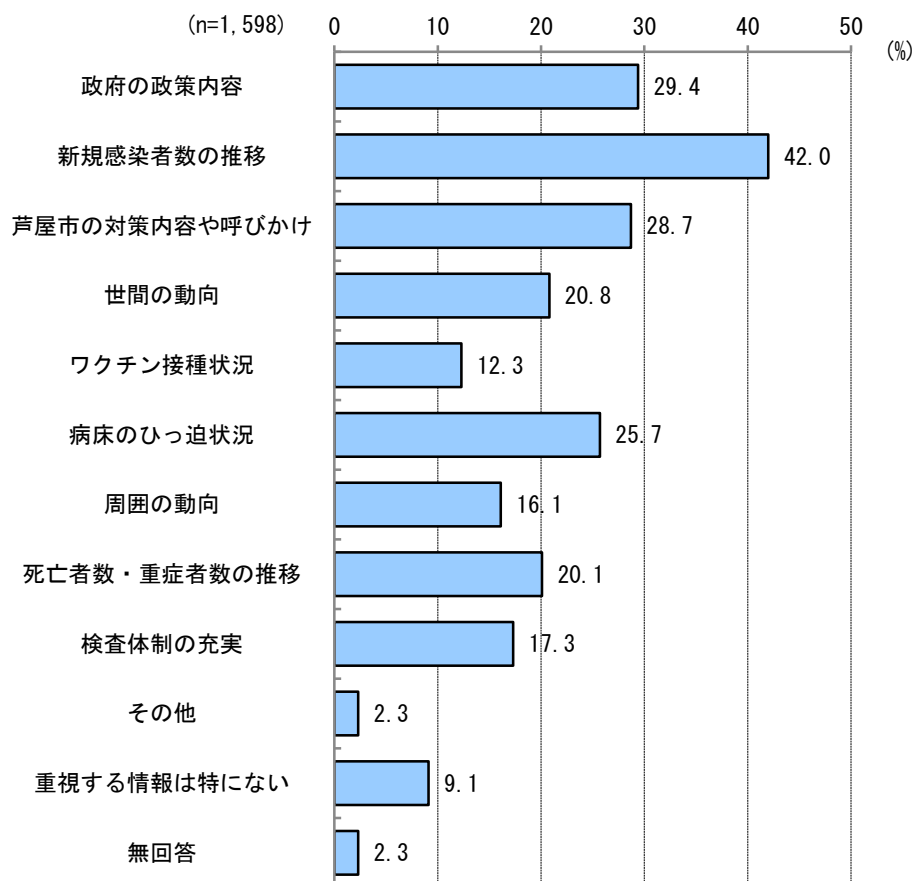
新型コロナウイルス感染症による困りごと・不安について「10.その他」延べ53件には、主に次のような回答がありました。

意見分類		延べ件数
新型コロナウイルス感染症による困りごと・不安について		53
	子どもへの影響が心配	7
	感染時の対応への懸念	4
	社会・地域活動が減少している	3
	その他意見	39

問33 感染拡大を判断する際に重視すること

問33 今後の感染拡大を判断する際に、どのような情報を重視しますか。重視するものを次の中から3つまで選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「新規感染者数の推移」が42.0%で最も高く、「政府の政策内容」が29.4%、「芦屋市の対策内容や呼びかけ」が28.7%と続いている。



性別では、女性で「芦屋市の対策内容や呼びかけ」が33.1%と男性より9.8ポイント高くなっている。

年代別では、全ての年代で「新規感染者数の推移」が最も高くなっている。70歳以上では「芦屋市の対策内容や呼びかけ」が4割を超え全体より15ポイント以上高くなっている。また、80歳以上で「ワクチン接種状況」が全体より16.7ポイント高くなっている。

(%)

		調査数	政府の政策内容	新規感染者数の推移	芦屋市の対策内容や呼びかけ	世間の動向	ワクチン接種状況	病床のひっ迫状況
市全体		1598	29.4	42.0	28.7	20.8	12.3	25.7
性別	男性	724	②29.7	①43.8	23.3	23.6	12.3	③24.9
	女性	855	③28.7	①40.6	②33.1	18.2	12.2	26.2
年代別	10歳代	32	③28.1	①50.0	12.5	②31.3	6.3	②31.3
	20歳代	153	②29.4	①30.7	17.0	③22.2	7.2	②29.4
	30歳代	151	③25.2	①36.4	③25.2	②26.5	4.0	24.5
	40歳代	271	②31.0	①34.3	18.1	21.8	7.7	③26.9
	50歳代	337	③30.0	①41.2	22.6	24.9	9.8	②32.6
	60歳代	220	③30.0	①47.3	②30.9	16.8	9.5	24.5
	70歳代	244	③27.9	①53.3	②46.3	16.8	19.3	21.3
	80歳以上	183	③30.6	①45.4	②44.3	13.7	29.0	14.8
		調査数	周囲の動向	推移 死亡者数・重症者数の	検査体制の充実	その他	重視する情報は 特でない	無回答
市全体		1598	16.1	20.1	17.3	2.3	9.1	2.3
性別	男性	724	15.1	20.7	15.2	2.3	9.9	1.7
	女性	855	17.4	19.5	18.9	2.1	8.7	2.9
年代別	10歳代	32	25.0	21.9	6.3	-	12.5	3.1
	20歳代	153	16.3	20.9	13.7	2.0	11.1	0.7
	30歳代	151	17.2	23.2	15.2	0.7	15.2	-
	40歳代	271	15.5	26.2	11.8	3.0	11.1	1.1
	50歳代	337	16.0	19.3	16.0	3.3	10.1	0.6
	60歳代	220	15.0	21.8	17.7	2.3	10.5	1.8
	70歳代	244	13.5	15.6	25.8	2.0	3.3	5.7
	80歳以上	183	20.2	13.1	22.4	1.6	3.8	6.6

地区別では、全ての地区で「新規感染者数の推移」が最も高くなっている。

(%)

	調査数	政府の政策内容	新規感染者数の推移	呼びかけ 芦屋市の対策内容や	世間の動向	ワクチン接種状況	病床のひっ迫状況	
市全体	1598	29.4	42.0	28.7	20.8	12.3	25.7	
地区別	奥池地区	27	14.8	①48.1	②29.6	22.2	7.4	②29.6
	山手小学校区	307	②29.6	①46.3	22.1	18.2	12.7	③26.7
	岩園小学校区	250	27.6	①37.6	③29.2	23.2	11.6	②30.0
	朝日ヶ丘小学校区	157	②33.8	①40.1	③26.8	19.7	14.0	25.5
	精道小学校区	221	②32.1	①44.3	③28.5	23.1	14.0	19.0
	宮川小学校区	196	③27.0	①43.4	②38.3	17.3	12.2	21.9
	打出浜小学校区	144	②31.3	①44.4	③26.4	24.3	8.3	②31.3
	浜風小学校区	129	②29.5	①36.4	③27.9	25.6	14.7	21.7
	潮見小学校区	76	③26.3	①40.8	②28.9	18.4	10.5	25.0
南芦屋浜地区	85	28.2	①36.5	②35.3	16.5	9.4	③30.6	
	調査数	周囲の動向	推移 死亡者数・重症者数の	検査体制の充実	その他	重視する情報は 特でない	無回答	
市全体	1598	16.1	20.1	17.3	2.3	9.1	2.3	
地区別	奥池地区	27	18.5	③25.9	11.1	3.7	7.4	-
	山手小学校区	307	15.0	21.8	16.9	3.3	8.1	1.3
	岩園小学校区	250	15.2	22.4	16.8	2.4	9.2	2.8
	朝日ヶ丘小学校区	157	19.7	19.7	21.7	1.9	8.9	1.3
	精道小学校区	221	18.6	18.6	16.7	1.4	7.7	2.3
	宮川小学校区	196	13.3	19.4	19.4	2.0	10.2	1.0
	打出浜小学校区	144	17.4	19.4	13.2	1.4	10.4	1.4
	浜風小学校区	129	16.3	16.3	17.1	1.6	12.4	3.1
	潮見小学校区	76	17.1	22.4	19.7	2.6	5.3	10.5
南芦屋浜地区	85	14.1	16.5	15.3	3.5	11.8	3.5	

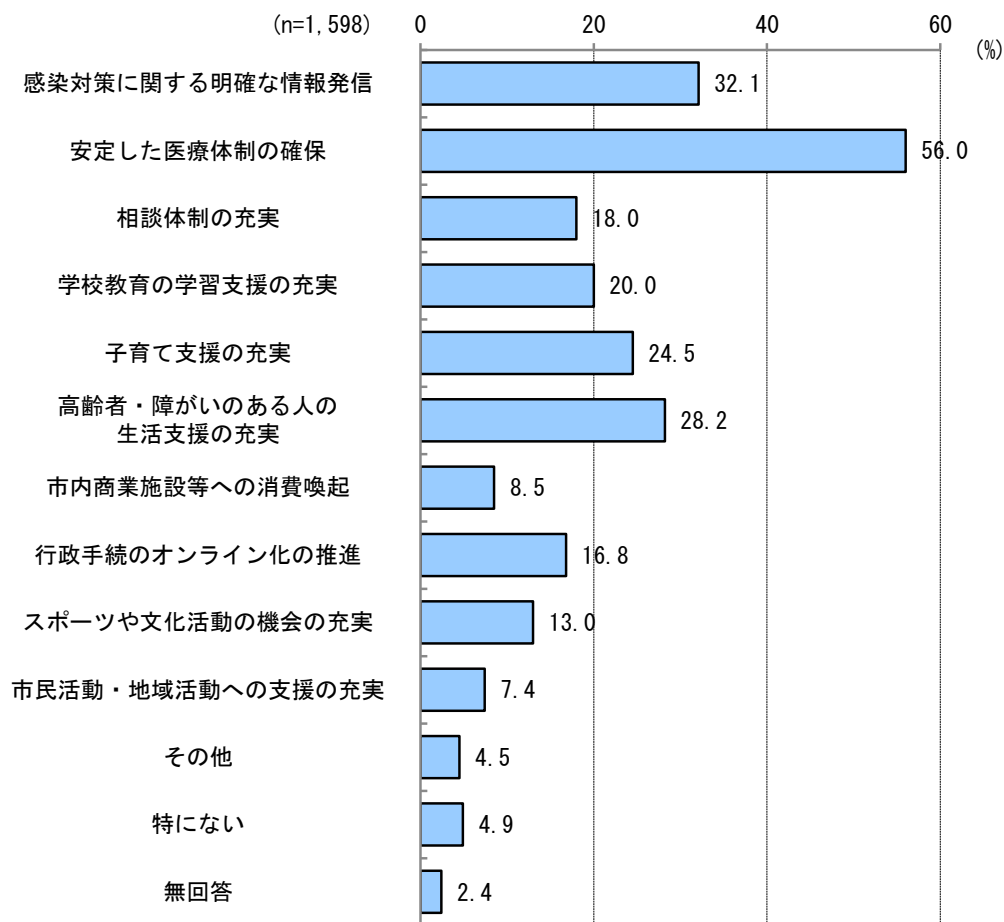
感染拡大を判断するために重視する情報について「10.その他」延べ34件には、次のような回答がありました。

意見分類		延べ件数
感染拡大を判断するために重視する情報について		34
自分で判断する		4
その他意見		30

問34 市に対して重点的に取り組んでほしい施策

問34 今後、市に重点的に取り組んでほしい施策はありますか。特に重視するものを次の中から3つまで選んで、数字に○をつけてください。

全体では、「安定した医療体制の確保」が56.0%で最も高く、「感染対策に関する明確な情報発信」が32.1%、「高齢者・障がいのある人の生活支援の充実」が28.2%と続いている。



性別では、男性で「行政手続のオンライン化の推進」が19.6%と女性より5.6ポイント高くなっている。

年代別では、10歳代と20歳代、40歳以上は「安定した医療体制の確保」が最も高く、30歳代では「子育て支援の充実」が60.3%と6割を占め最も高くなっている。また、10歳代で「スポーツや文化活動の機会の充実」、20歳代で「行政手続のオンライン化の推進」、30歳代と40歳代で「学校教育の学習支援の充実」が全体より15ポイント以上高くなっている。加えて、10歳代から40歳代で「子育て支援の充実」、50歳以上で「感染対策に関する明確な情報発信」、60歳以上で「高齢者・障がいのある人の生活支援の充実」が3割を超えている。

(%)

		調査数	感染対策に関する 明確な情報発信	安定した 医療体制の確保	相談体制の充実	学校教育の 学習支援の充実	子育て支援の充実	高齢者・障がいのある人 の生活支援の充実	市内商業施設等への 消費喚起
市全体		1598	32.1	56.0	18.0	20.0	24.5	28.2	8.5
性別	男性	724	②30.2	①56.4	15.3	21.1	24.3	③26.7	9.9
	女性	855	②33.9	①55.4	20.5	19.2	24.7	③29.6	6.8
年代別	10歳代	32	25.0	①40.6	12.5	25.0	②37.5	9.4	25.0
	20歳代	153	20.9	①42.5	10.5	21.6	③33.3	11.8	14.4
	30歳代	151	14.6	②44.4	9.9	③37.1	①60.3	12.6	9.3
	40歳代	271	16.6	①50.6	14.8	③38.0	②38.4	19.6	8.5
	50歳代	337	②32.3	①64.4	21.1	17.2	15.4	③25.8	9.8
	60歳代	220	③34.5	①62.3	21.4	11.8	13.6	②35.9	9.5
	70歳代	244	②52.5	①58.2	20.1	11.1	15.6	③42.6	1.2
	80歳以上	183	②48.6	①60.7	24.0	4.9	7.1	③47.5	5.5
		調査数	行政手続の オンライン化の推進	スポーツや文化活動の 機会の充実	市民活動・地域活動 への支援の充実	その他	特にな い	無回 答	
市全体		1598	16.8	13.0	7.4	4.5	4.9	2.4	
性別	男性	724	19.6	13.5	7.0	4.6	5.1	1.8	
	女性	855	14.0	12.3	7.8	4.2	4.9	2.9	
年代別	10歳代	32	9.4	③31.3	6.3	-	6.3	3.1	
	20歳代	153	②34.0	12.4	5.2	7.2	7.8	0.7	
	30歳代	151	19.9	13.9	7.3	5.3	6.6	-	
	40歳代	271	20.3	14.4	4.8	6.3	3.3	1.1	
	50歳代	337	20.5	14.5	8.0	6.2	4.7	0.9	
	60歳代	220	14.5	13.2	6.4	1.8	5.5	2.3	
	70歳代	244	9.0	9.4	7.0	2.5	2.9	5.3	
	80歳以上	183	2.7	8.7	14.2	2.2	6.0	6.6	

地区別では、全ての地区で「安定した医療体制の確保」が最も高くなっている。また、「感染対策に関する明確な情報発信」は潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）で全体より 11.3 ポイント高くなっている。

(%)

		調査数	感染対策に関する 明確な情報発信	安定した医療体制の確保	相談体制の充実	学校教育の学習支援の充実	子育て支援の充実	高齢者・障がいのある人の 生活支援の充実	市内商業施設等への 消費喚起
市全体		1598	32.1	56.0	18.0	20.0	24.5	28.2	8.5
地区別	奥池地区	27	③22.2	①55.6	11.1	14.8	③22.2	②33.3	7.4
	山手小学校区	307	②30.0	①61.6	19.2	16.6	24.4	③26.1	7.2
	岩園小学校区	250	②32.8	①52.4	16.0	20.4	21.6	③27.2	14.4
	朝日ヶ丘小学校区	157	②33.1	①53.5	14.6	21.7	26.1	③28.7	7.6
	精道小学校区	221	②34.4	①58.8	18.1	18.1	24.4	③29.9	9.5
	宮川小学校区	196	②31.1	①54.6	21.4	24.0	③29.6	27.6	6.1
	打出浜小学校区	144	25.0	①55.6	20.8	③27.1	②28.5	26.4	4.9
	浜風小学校区	129	②38.8	①50.4	22.5	20.9	24.0	③37.2	3.9
	潮見小学校区	76	②43.4	①56.6	11.8	10.5	14.5	③26.3	9.2
	南芦屋浜地区	85	②27.1	①54.1	14.1	21.2	23.5	③25.9	11.8
		調査数	行政手続のオンライン化 の推進	スポーツや文化活動の 機会の充実	市民活動・地域活動への 支援の充実	その他	特にな い	無回 答	
市全体		1598	16.8	13.0	7.4	4.5	4.9	2.4	
地区別	奥池地区	27	③22.2	14.8	3.7	3.7	11.1	-	
	山手小学校区	307	22.1	16.6	7.8	5.9	4.2	1.0	
	岩園小学校区	250	24.0	11.2	8.8	3.2	5.6	2.8	
	朝日ヶ丘小学校区	157	15.9	9.6	7.0	1.9	7.0	1.9	
	精道小学校区	221	11.3	14.0	5.0	5.4	2.7	2.3	
	宮川小学校区	196	13.8	12.8	7.7	4.1	4.1	2.0	
	打出浜小学校区	144	11.8	14.6	9.7	4.9	5.6	1.4	
	浜風小学校区	129	11.6	11.6	7.8	2.3	7.0	3.9	
	潮見小学校区	76	11.8	7.9	5.3	3.9	5.3	9.2	
	南芦屋浜地区	85	18.8	11.8	7.1	9.4	3.5	2.4	

職業別では、派遣社員・契約社員で「相談体制の充実」、学生で「スポーツや文化活動の機会の充実」、無職（5及び6を除く）で「感染対策に関する明確な情報発信」、「高齢者・障がいのある人の生活支援の充実」がそれぞれ全体より10ポイント以上高くなっている。

(%)

		調査数	感染対策に関する 明確な情報発信	安定した医療体制の確保	相談体制の充実	学校教育の学習支援の充実	子育て支援の充実	高齢者・障がいのある人の 生活支援の充実	市内商業施設等への 消費喚起
市全体		1598	32.1	56.0	18.0	20.0	24.5	28.2	8.5
職業別	自営業・会社経営	170	②33.5	①50.0	19.4	25.9	26.5	③31.2	10.0
	正社員・正職員（常勤）	537	22.7	①56.4	14.5	③26.3	②33.5	17.1	10.6
	派遣社員・契約社員	50	②36.0	①58.0	③34.0	14.0	16.0	③34.0	6.0
	パート・アルバイト	150	③24.7	①50.0	22.0	22.7	22.0	②32.0	4.0
	主婦・主夫	334	②41.9	①61.7	20.1	16.8	19.8	③34.4	5.7
	学生	79	25.3	①41.8	6.3	19.0	②27.8	12.7	17.7
	無職（5及び6を除く）	233	③44.6	①57.9	19.7	9.0	13.3	②45.1	6.0
		調査数	行政手続のオンライン化 の推進	スポーツや文化活動の 機会の充実	市民活動・地域活動への 支援の充実	その他	特にな い	無回 答	
市全体		1598	16.8	13.0	7.4	4.5	4.9	2.4	
職業別	自営業・会社経営	170	20.6	10.6	4.7	3.5	4.7	1.8	
	正社員・正職員（常勤）	537	22.7	15.5	5.6	6.9	5.2	0.7	
	派遣社員・契約社員	50	10.0	14.0	12.0	2.0	6.0	2.0	
	パート・アルバイト	150	12.7	7.3	8.7	6.0	6.7	2.7	
	主婦・主夫	334	10.8	12.3	8.1	1.8	2.7	4.2	
	学生	79	③26.6	24.1	6.3	5.1	3.8	1.3	
	無職（5及び6を除く）	233	10.3	9.0	10.7	3.0	6.4	3.0	

市に重点的に取り組んでほしい施策について「11.その他」延べ74件には、主に次のような回答がありました。

意見分類	延べ件数
市に重点的に取り組んでほしい施策について	74
マナー啓発をすべき	5
ゴミ収集について	3
緑・自然の手入れ	3
新型コロナウイルスへの対応の継続	3
その他意見	60

4 自由意見

問35 自由意見

問35 今後の芦屋市のまちづくり全般について、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

芦屋市のまちづくり全般について、延べ1,128件の回答があった。

施策項目別に整理すると、「まちづくり全体について」が201件で最も多く、次いで「④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる」が146件、「⑧日常の安全安心が確保されている」が127件、「⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている」が104件、「①誰もが安心して産み育てられる環境が充実している」が102件と続いている。

施策名	延べ件数	前回調査
まちづくり全体について	201	93
①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している	102	32
②未来への道を切り拓く力が育っている	24	34
③生涯を通じた学びの文化が醸成されている	24	23
④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる	146	35
⑤健康になるまちづくりが進んでいる	6	13
⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている	104	84
⑦災害に強いまちづくりが進んでいる	16	41
⑧日常の安全安心が確保されている	127	52
⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている	37	125
⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる	33	131
⑪協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる	9	50
⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている	12	68
⑬急速な社会変化に対応できる組織になっている	89	21
その他	198	42
合計	1,128	844

※網掛けの部分は上位5位の項目

意見分類	延べ件数
まちづくり全体について	201
まちづくりについて	94
住みやすいまちづくりをしてほしい	21
安心・安全なまちづくりをしてほしい	14
住み続けたいと思えるまちづくりをしてほしい	13
魅力的なまちづくりをしてほしい	12
住みたいと思われるまちづくりをしてほしい	11
現状の良いところを維持してほしい	8
環境に優しいまちづくりをしてほしい	6
全ての人に優しいまちづくりをしてほしい	4
文化的なまちづくりをしてほしい	3
その他	2
JR芦屋駅南側の開発について	44
南側の開発への期待	11
文化的施設を作ってほしい	7
JR芦屋駅南側の開発を早く完成させてほしい	5
高層マンションの建設は反対	4
商業施設を充実させてほしい	3
ゆっくりできる場所を作ってほしい	3
その他	11
駅・駅周辺を整備してほしい	18
芦屋ブランドを活用したまちづくりをしてほしい	14
駅前駐車場所・ロータリーの整備をしてほしい	11
まちの活性化	7
芦屋市屋外広告物条例はやめてほしい	3
「市民マナー条例」は強化・続けてほしい	3
その他	7
①誰もが安心して生み育てられる環境が充実している	102
子育てに優しいまちづくりをしてほしい	29
子育て支援の拡充をしてほしい	21
教育に力を入れたまちづくりをしてほしい	21
所得制限を撤廃してほしい	14
医療費無償化をしてほしい	8
その他	9

②自らの未来への道を切り拓く力が育っている	24
イベントを企画してほしい	10
学習できる場所がほしい	4
子どもの学力・体力レベル別の教育が必要	4
教育環境の改善・向上をすべき	3
その他	3
③生涯を通じた学びの文化が醸成されている	24
図書館を充実させてほしい	12
ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホールの施設をもっとよい施設にして欲しい	4
その他	8
④あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる	146
今の住環境に満足しています	29
若い人に魅力あるまちづくりをしてほしい	26
自然・環境を維持・推進してほしい	25
高齢者に対する施策を充実させてほしい	23
まちの景観を整備してほしい	12
ペットの糞尿の処理ができていない	8
ごみのポイ捨てが多い	6
障がい者福祉を充実させてほしい	4
近くに銀行・郵便局がない	4
鳥害の改善をしてほしい	3
その他	6
⑤健康になるまちづくりが進んでいる	6
医療機関を充実させてほしい	4
その他	2
⑥良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている	104
商業施設等を整備・活性化させてほしい	29
ゴミ袋の指定を見直してほしい	15
カラスによる被害への対策をしてほしい	11
喫煙マナーが悪い	9
飲食店を充実させてほしい	6
ゴミ収集場所を増設してほしい	5
喫煙所を撤去してほしい	4
ドッグランの建設を進めてほしい	4
娯楽施設を増やしてほしい	3
休憩用ベンチを設置してほしい	3
その他	15

⑦災害に強いまちづくりが進んでいる	16
災害時の対策・防災の強化してほしい	8
電柱の地中化を推進してほしい	8
⑧日常の安全安心が確保されている	127
道路環境を整備してほしい	18
歩道を整備してほしい	13
街路樹や草を整備してほしい	12
自転車の運転マナー・ルール啓発をしてほしい	10
駐輪場を増設してほしい	10
車の運転マナーが悪い	9
路上駐車を取り締まりを強化してほしい	9
狭い道を拡張してほしい	7
交通事故を防ぐ取り組みをしてほしい	6
自転車道を整備してほしい	6
パトロールを強化してほしい	5
道路の白線等を整備してほしい	5
バリアフリー化を推進してほしい	4
防犯カメラを設置してほしい	4
治安が良い	4
その他	5
⑨住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている	37
公園を整備・増やしてほしい	13
スポーツ施設・設備を充実させてほしい	7
川を整備・きれいにしてほしい	6
公園をきれいにしてほしい	5
芦屋川の桜を手入れしてほしい	3
その他	3
⑩持続可能なインフラ整備が進んでいる	33
交通の利便性を向上させてほしい	27
交通機関の高齢者割引を推進してほしい	5
その他	1
⑪協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる	9
住民同士のあいさつが少ない	5
地域交流を活性化させてほしい	4
⑫人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている	12
少子化対策に力を入れるべき	7
空き家の活用・対策をしてほしい	5

⑬急速な社会変化に対応できる組織となっている		89
情報・魅力を発信・更新してほしい		20
税金が高い		11
市職員への感謝		8
(公的手続等を含む)オンライン化を推進してほしい		6
市職員の仕事への意識を改善してほしい		6
市民との対話の機会を増やしてほしい		4
物価が高い		4
税金の無駄遣いを省いてほしい		3
多言語で情報を発信してほしい		3
議会改革が必要		3
その他		21
その他		198
新市長への応援		84
市への応援		38
市政全般への提言		21
アンケート実施への感謝		13
調査結果の公表をしてほしい		5
調査結果を今後どのようにまちづくりに反映していくのか示すべき		4
その他		33

5 資料編（調査票）

芦屋のまちづくりについての市民意識調査

◆ アンケートご協力をお願い ◆

市民の皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、芦屋市では、10年間のまちづくりの指針となる「第5次芦屋市総合計画」を令和3年9月に定め、「人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市」を目指して、様々な取組を行っています。令和5年度末に、同計画の中間点を迎えること、また全国的な課題でもある少子化や人口減少などに対する本市の状況を把握するため、「市民意識調査」を実施いたします。
本調査は、市内にお住まいの18歳以上の中から無作為抽出した3,000人の方を対象としており、ご回答は個人が特定されないよう統計的に処理し、今後の市政運営の基礎資料とするほか、ホームページなどで公表します。
お忙しいところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年(2023年)6月

芦屋市

ご回答にあたってのお願い

◇ 次の2つの方法からいずれか1つをお選びいただき、**6月30日(金)まで**に回答してください。

1 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

- ① 右記二次元コードまたは下記URLよりご回答ください。
URL: <https://logoform.jp/form/pfd9/213468>



インターネットでの
回答が便利です！

※専用サイトへのログインの際には、次のID・パスワードを入力してください。

◇ID

◇パスワード

*ID・パスワードは、調査専用画面に入るための認証キーです。回答者を特定するためのものではありません。

2 アンケート用紙(この冊子)に直接記入し、郵送により回答

- ① 黒のボールペン又は濃い鉛筆でご記入ください。
② お答えは、「1つだけ」「3つまで」「すべて」などの表記に従って、該当する番号に○印を付けてください。(一部、記述をお願いする質問もあります。)
③ ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ポストにご投函ください。

◇ 封筒のあて名の方がご回答ください。(できるだけご本人がお答えください。ご本人が記入等しにくい場合は同居のご家族や介助者の方の入力、代筆をお願いします。)

◇ この調査資料の利用に当たっては、芦屋市個人情報保護法施行条例の規定に基づき、適正に行います。

■本調査のお問合せ先(受付時間:月～金曜日(祝日除く)9時～12時/13時～17時)

▷回答方法やWEBアクセスなどについて

〈調査委託会社〉株式会社サーベイリサーチセンター大阪事務所
芦屋市市民意識調査サポートセンター

☎ 0120-186-189(フリーダイヤル)

▷調査目的や個人情報の取り扱いなどについて

芦屋市 企画部 市長公室 政策推進課

TEL 0797-38-2127

FAX 0797-31-4841

e-mail: seisakusuisin@city.ashiya.lg.jp

これは芦屋のまちづくりについてのアンケート用紙です。

ふりがな付きのアンケート用紙が必要な場合は、上記Eメールまでご連絡ください。

芦屋市 企画部 市長公室 政策推進課

Survey on the Community Development in Ashiya City

If you need a Japanese with *furigana* version of the questionnaire, please contact the office by email listed above
Ashiya City Planning Department Mayoral Public Office The Policy Promotion Section

I. あなた(回答者)ご自身についておたずねします。

問 1 あなたの年齢(令和5年4月1日現在)は、以下のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上

問 2 あなたの性別は、以下のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 男性	2. 女性
3. 1、2に当てはまらない	4. 答えたくない

問 3 あなたの主な職業等は何ですか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 自営業・会社経営	2. 正社員・正職員(常勤)	3. 派遣社員・契約社員
4. パート・アルバイト	5. 主婦・主夫	6. 学生
7. 無職(5及び6を除く)	8. その他()	

問 4 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。校区番号1～10から1つだけ選んで数字に○をつけてください。

校区番号	町名
1. 奥池地区	奥池町、奥池南町
2. 山手小学校区 (奥池地区除く)	奥山、山手町、山芦屋町、東芦屋町、西山町、三条町、大原町、船戸町、松ノ内町、月若町、西芦屋町、三条南町、上宮川町、業平町、前田町、清水町、剣谷
3. 岩園小学校区	六麓荘町、岩園町、翠ヶ丘町、親王塚町、楠町
4. 朝日ヶ丘小学校区	朝日ヶ丘町、東山町
5. 精道小学校区	茶屋之町、大榎町、公光町、川西町、津知町、竹園町、精道町、浜芦屋町、平田北町、伊勢町、松浜町、平田町
6. 宮川小学校区	打出小槌町、宮塚町、若宮町、宮川町、浜町、西蔵町、呉川町
7. 打出浜小学校区	春日町、打出町、南宮町、大東町
8. 浜風小学校区	新浜町、浜風町、高浜町
9. 潮見小学校区 (南芦屋浜地区除く)	若葉町、緑町、潮見町
10. 南芦屋浜地区	陽光町、海洋町、南浜町、涼風町

II. お住まいの地域での生活や住みやすさについておたずねします。

問 5 あなたは、(転勤等による移転予定の有無に関わらず)今のお住まいにずっと住んでいたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の他の場所で住み続けたい |
| 3. いずれ市外に引っ越したい | 4. すでに市外に引っ越す予定がある |
| 5. その他() | |

問 6 あなたは、地域の活動や行事に参加していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. よく参加している(年数回以上参加/運営に関わっている) |
| 2. ときどき参加している(参加者として年1回以上参加) |
| 3. 参加していない |

問 7 あなたは、居住する地域にとらわれない活動や行事に参加していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. よく参加している(年数回以上参加/運営に関わっている) |
| 2. ときどき参加している(参加者として年1回以上参加) |
| 3. 参加していない |

問 8 あなたは、日常的に近所の子ともと接する機会がありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 一緒に地域活動等をすることがある | 2. 会話をすることがある |
| 3. あいさつをすることがある | 4. 全くない |

問 9 あなたは、家族や親族以外で、日々の生活の中で困りごとが発生したときに相談できる人(友人、知人、民生委員等)や場所がありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問10 あなたは、お住まいの地域のまちなみやまちなかの緑の景観について、どのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | | | |
|-------|---------------|---------------|-------|
| 1. 良い | 2. どちらかといえば良い | 3. どちらかといえば悪い | 4. 悪い |
|-------|---------------|---------------|-------|

問11 あなたは、まちなかの緑の景観を育てたり維持する活動(植物の育成や管理、清掃など緑化・保全に関する活動)にどれくらいの頻度で参加していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 月1回以上 | 2. 年数回程度 | 3. 年1回程度 | 4. 年1回未満 |
|----------|----------|----------|----------|

問12 あなたは、市内の公園をどれくらいの頻度で利用していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 月1回以上 | 2. 年数回程度 | 3. 年1回程度 | 4. 年1回未満 |
|----------|----------|----------|----------|

問13 地震や津波、大雨、暴風など、自然災害の発生に対し、日頃からの備えについてお聞きます。次の中からできていることをすべて選んで、数字に○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 芦屋市防災ガイドブックを読んだことがある |
| 2. あしや防災ネットに登録している |
| 3. 芦屋市の防災SNSをフォローしている |
| 4. 緊急告知ラジオを所持している |
| 5. 家具の転倒防止対策をしている |
| 6. 家族等で災害時の連絡方法や避難場所を決めている(知っている) |
| 7. 災害時の持ち出し袋を用意している |
| 8. 3日分以上の食料備蓄をしている |
| 9. 自分の家がハザードエリアにあるかどうか把握している |
| 10. 避難行動を始めるきっかけを決めている |
| 11. 地域の防災訓練に参加している |

問14 地球温暖化防止に向けた取組についてお聞きます。次の中からできていることをすべて選んで、数字に○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 買い物には、マイバッグを持っていく |
| 2. 冷暖房や給湯の温度設定は控えめにする |
| 3. 不要な電気は消す、使っていない家電のコンセントは抜くなど、節電に取り組む |
| 4. 省エネ製品を選んで買う |
| 5. 自動車の利用を控え公共交通機関を利用する |

問15 あなたは、徒歩、自転車、自家用車、公共交通などの手段に関わらず、市内の移動の便利さについて、どのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | | | |
|-------|--------------|--------------|-------|
| 1. 便利 | 2. どちらかという便利 | 3. どちらかという不便 | 4. 不便 |
|-------|--------------|--------------|-------|

問16 あなたは、下記の用品について普段どこで購入されていますか。①～⑥の項目ごとに、主なものを1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

	主に市内	主に市外	主にインターネット	購入しない
① 食料品	1	2	3	4
② 日用品 台所・掃除・洗濯用品等	1	2	3	4
③ 衣料品	1	2	3	4
④ 医薬品	1	2	3	4
⑤ 書籍	1	2	3	4
⑥ 化粧品	1	2	3	4

問17 あなたは、家事や育児など夫婦間での分担についてどのようにお考えですか。①～③の項目ごとに、<A 理想>と<B 現実>それぞれにあてはまるものを1つずつ選んで、数字に○をつけてください。

	A 理想 全員がお答えください。				B 現実 配偶者のいる方(事実婚及びパートナーシップを含む)がお答えください。 ③は該当する方のみお答えください。			
	主に自分	適宜分 担 同程度・	主に配偶者	わからない	主に自分	適宜分 担 同程度・	主に配偶者	わからない
① 生活費の負担	1	2	3	4	1	2	3	4
② 家事	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 育児・子育て	1	2	3	4	1	2	3	4

問18 あなたは、市役所への届け出や書類申請などの手続きについてどのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 利用しやすい	2. どちらかといえば利用しやすい
3. どちらかといえば利用しにくい	4. 利用しにくい
5. わからない	

Ⅲ. 芦屋市のまちづくりの目標の達成状況などについておたずねします。

問19 下表に示す13の項目は、第5次芦屋市総合計画(令和3年度～令和12年度)の基本構想に掲げる施策の目標です。13項目それぞれについて、芦屋市の現状をどのように感じていますか。各項目についてあなたの考えに最も近いものを1～5から1つずつ選び、数字に○をつけてください。

施策の目標 (13項目)	芦屋市の現状 についての考え				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
① 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している 【イメージ】家庭環境に応じて子育てできる施設・制度が整備されており、安心して子育てできる。	1	2	3	4	5
② 自らの未来への道を切り拓く力が育っている 【イメージ】時代に応じた質の高い教育が平等に受けることができ、子どもや若者が心身ともに健全に成長し社会で活躍できる環境が整っている。	1	2	3	4	5
③ 生涯を通じた学びの文化が醸成されている 【イメージ】歴史や芸術、スポーツなど、市民による活動や学びの機会・場が身近にあり、文化的資源が継承され、まちへの愛着の醸成や生活の質の向上に活用されている。	1	2	3	4	5
④ あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる 【イメージ】お互いに多様性を認め、助け合うことで、高齢者や障がいのある人なども含め誰もが暮らしやすい地域になっている。	1	2	3	4	5
⑤ 健康になるまちづくりが進んでいる 【イメージ】市民が気軽に健康づくりに取り組み、誰もがいつまでも自分らしく生き生きと過ごすことができる。	1	2	3	4	5
⑥ 良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている 【イメージ】日々を、快適に過ごすことができ、芦屋市で暮らすことにちょっとした価値を感じる。	1	2	3	4	5
⑦ 災害に強いまちづくりが進んでいる 【イメージ】まちの防災機能が充実しており、災害発生時には地域で協力し合えるようになっている。	1	2	3	4	5
⑧ 日常の安全安心が確保されている 【イメージ】犯罪や交通事故が起こりにくいまちになっている。また、必要な時に適切な医療を受けることができる。	1	2	3	4	5
⑨ 住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている 【イメージ】美しい緑と良好なまちなみの景観が保たれ、公園や公共施設などの公共空間が活用されている。	1	2	3	4	5
⑩ 持続可能なインフラ整備が進んでいる 【イメージ】道路や橋、上下水道、ごみ処理施設など生活に欠かせない施設・設備が整備されている。	1	2	3	4	5
⑪ 協働の意欲が高まり地域住民主体のまちづくりが進んでいる 【イメージ】市民が自分のまちに関わりたいと思い、地域主体での課題解決に向けた取組が行われている。	1	2	3	4	5
⑫ 人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている 【イメージ】今後、厳しい財政運営が予測されるなかで、長期的な視点に立った経営が行われている。	1	2	3	4	5
⑬ 急速な社会変化に対応できる組織になっている 【イメージ】行政がまちづくりの担い手として信頼できる組織になっている。	1	2	3	4	5

【問20・問21は前ページの施策の目標(13項目)をご参照いただきながらご回答ください。】

問20 問19にある13項目の施策の目標全体を通して見たときに、芦屋市の現状をどのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。
※直感的に選択してください。

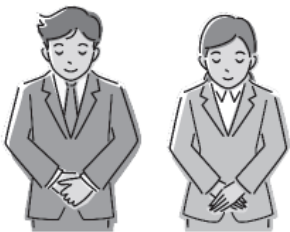
- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. とてもうまくいっている | 2. どちらかといえばうまくいっている |
| 3. どちらかといえばうまくいっていない | 4. うまくいっていない |

問21 問19にある13項目の施策の目標のうち、芦屋市の魅力創出の視点から今後特に力を入れて取り組むべきと思われる番号を問19の表の中から3つ以内で選んで、下記に数字をご記入ください。また、理由やご意見をお聞かせください。

力を入れるべき施策目標 (①～⑬の番号を記入)	選ばれた理由やご意見 (困っていること、今後期待されること、施策に対するアイデアなど)

アンケートはあと残り半分です。

お手数おかけしますが、最後までご協力の程、よろしくお願いいたします。



IV. 市民マナー条例についておたずねします。

問22 あなたは、芦屋市の「(通称)市民マナー条例」(歩行喫煙の禁止、犬の放し飼いや糞の放置、指定区域内でのバーベキューなどの禁止)をご存知ですか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 聞いたことがあるし、内容も知っていた
2. 聞いたことはあるが、内容は知らなかった
3. 聞いたこともなかった

問23 芦屋市は、美しく清潔で快適なまちだと思いますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 大いに思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらかといえば思わない
4. あまり思わない
5. わからない

問24 今後、生活環境に関するマナーが向上するために、市として特に重点的に取り組むべきことは何だと思えますか。次の中から3つまで選んで、数字に○をつけてください。

1. ホームページ・SNSなどを使った禁止行為の周知やマナー啓発
2. 禁止行為の周知やマナー啓発のポスターや看板等の増設
3. 芦屋市のマナー向上の取組についての市外から来訪者に向けた情報発信
4. 専門員による市内パトロールの強化(実施区域や実施時間の拡大)
5. 禁止行為に対する罰則の制定や強化
6. 地域での取組(住民による見回りや声の掛け合いなど)への支援
7. 地域と行政が一体となって行う啓発(イベントやキャンペーンなど)
8. 子ども・地域・家庭へのマナー教育の実施
9. マナーの教育(マナー講座等)ができる人材の育成
10. その他()
11. 特にない

V. 文化的なふれあいや学びについておたずねします。

問25 あなたは、市内の文化的資源(例:会下山遺跡・ヨドコウ迎賓館・芦屋仏教会館など)をご存知ですか。また、利用・見学したことはありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。
※市立美術博物館や図書館などの公共施設は除く。

1. 知っていて、利用・見学したことがある
2. 知っているが、利用・見学したことはない
3. 知らない

問26 あなたは、この1年間で文化的なコト・モノ(※)に触れたり、体験したり、また、演奏や創作(絵画、工芸、ダンス等)などの文化的な活動を行いましたか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 鑑賞・活動を行った
2. 鑑賞・活動はしていないが、興味はある
3. 鑑賞・活動はしていないし、興味もない

※文化的なコト・モノとは主に下記を指します。

(例)文学、音楽、美術、写真撮影・展示、演劇、舞踊、映画・アニメーション、伝統芸能、食文化、歴史、伝統行事、自然体験など

問27 あなたは、知識・技術の習得など、自分の学びのため、学習会・セミナーへの参加などの機会がどれくらいの頻度でありますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 月1回以上
2. 年数回程度
3. 年1回程度
4. 年1回未満

問28 あなたは、「広報あしや」に満足していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満
4. 不満
5. どちらともいえない
6. 広報あしやを知らない

【問28で「3」または「4」に○をつけられた方にお尋ねします。】

問29 不満の理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、数字に○をつけてください。

1. 広報あしやが手に入らない
2. 情報が探しにくい、読みにくい
3. 知りたい情報が掲載されていない
4. 記事の内容がわかりにくい
5. その他()

問30 あなたは、「市のホームページ」に満足していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している |
| 3. やや不満 | 4. 不満 |
| 5. どちらともいえない | 6. インターネットを接続する環境がない |
| 7. 見たことがない | |

【問30で「3」または「4」に○をつけられた方にお尋ねします。】

問31 不満の理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 情報が探しにくい、読みにくい | 2. 知りたい情報が掲載されていない |
| 3. 新しい情報に更新されていない | 4. 記事の内容がわかりにくい |
| 5. その他() | |

VI. 新型コロナウイルス感染症の影響についておたずねします。

問32 新型コロナウイルス感染症により、あなたが現在困っていることや不安に感じていることはありますか。あてはまるものをすべて選んで、数字に○をつけてください。

1. 行動緩和による感染の拡大
2. マスク着脱の判断が難しい
3. 医療や福祉サービスが思う様に受けられない
4. スポーツ、文化、芸術等を楽しむ機会の減少
5. 体を動かす機会の減少等による体調不良・健康状態の悪化
6. テレワークや時差出勤等の働き方の変化によるストレスや負担の増加
7. 家庭における介護や子育ての負担の増加
8. 子どもの学習機会の確保・学力低下
9. オンラインサービスや電子決済の普及等の急速なデジタル化についていけない
10. その他()
11. 特にない

問33 今後の感染拡大を判断する際に、どのような情報を重視しますか。重視するものを次の中から3つまで選んで、数字に○をつけてください。

1. 政府の政策内容
2. 新規感染者数の推移
3. 芦屋市の対策内容や呼びかけ
4. 世間の動向
5. ワクチン接種状況
6. 病床のひっ迫状況
7. 周囲の動向
8. 死亡者数・重症者数の推移
9. 検査体制の充実
10. その他()
11. 重視する情報は特にない

問34 今後、市に重点的に取り組んでほしい施策はありますか。特に重視するものを次の中から3つまで選んで、数字に○をつけてください。

1. 感染対策に関する明確な情報発信
2. 安定した医療体制の確保
3. 相談体制の充実
4. 学校教育の学習支援の充実
5. 子育て支援の充実
6. 高齢者・障がいのある人の生活支援の充実
7. 市内商業施設等への消費喚起
8. 行政手続きのオンライン化の推進
9. スポーツや文化活動の機会の充実
10. 市民活動・地域活動への支援の充実
11. その他()
12. 特にない

問35 今後の芦屋市のまちづくり全般について、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、**6月30日(金)**までにポストにご投函ください。
(切手は不要です。また、お名前・ご住所を返信用封筒にご記入いただく必要はありません。)